

Panasonic®

取扱説明書

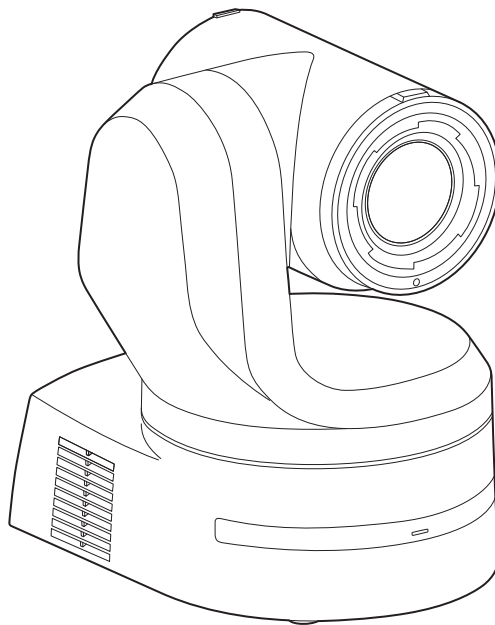
4K インテグレートドカメラ

品番

AW-UE160W

品番

AW-UE160K



HE Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

HDMI™

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(4～6ページ)を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

JAPANESE

DVQP2860WA

■ 商標および登録商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 10、Microsoft Edge、Internet Explorer®、ActiveX®およびDirectX® は、米国 Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iPadOS、iPhone、iPad、Safariは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Android™、Chrome™ ブラウザはGoogle LLC の商標です。
- Intel®、Intel® Core™は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe®およびReader®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- NDIはNewTek, Inc.の米国における登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、改造、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

■ 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Windows® Internet Explorer® 11 32/64ビット日本語版をInternet Explorerと表記しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AW-UE160W	AW-UE160
AW-UE160K	
AW-RP150G	AW-RP150
AW-RP60G	AW-RP60

■ 本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- Microsoft Edge (IEモード)のみ利用可能な機能には、**Microsoft Edge (I.E. Mode)** マークを付けて記載しています。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

安全上のご注意	4	TRACKING DATA OUTPUT	79
接地に関するご注意	6	CROP	81
はじめに	7	PAN/TILT	83
概要	7	PRESET	84
必要なパーソナルコンピューターの環境	7	FILES	89
免責について	8	MAINTENANCE	89
ネットワークに関するお願い	8	カメラメニュー項目一覧	92
特長	9	Web画面の表示	109
付属品	11	パーソナルコンピューターによるWeb画面の表示	109
レンズキャップの取り外しかた	11	ライブ画面[Live]/Web設定画面[Setup]の切り替え	111
別売品	11	Web画面へのログイン	111
使用上のお願い	12	Web画面からの操作	112
ワイヤレスリモコン(別売品)について	14	ライブ画面[Live]	112
各部の名前とはたらき	15	AUTO IRIS WINDOWの領域選択	118
カメラ部	15	Web画面からの設定	119
ワイヤレスリモコン: AW-RM50AG(別売品)	31	Web設定画面[Setup]	119
リモコンIDの設定	32	設定状態画面[Setting status]	121
システム構成例	33	システム画面[System]	121
NDI HX対応スイッチャーとの接続	33	カメラ画面[Image/Audio]	134
コントローラー(AW-RP150)との接続	34	連携機能[Linkage]	175
システム例1(シリアル制御)	35	ユーザー管理画面[User mng.]	179
システム例2(IP制御)	36	ネットワーク設定画面[Network]	181
システム例3(IP映像伝送、PoE++)	37	メンテナンス画面[Maintenance]	196
システム例4(NDI)	37	タッチパネル搭載PCによるWeb画面表示	200
システム例5(Fiber)	38	携帯端末によるWeb画面表示	202
システム例6(SMPTE ST2110)	38	カメラ操作画面[Camera Control]	202
システム例7(High Frame Rate)	39	リミッターについて	204
システム例8(USBテザリング)	39	リミッターの設定と解除	205
ネットワークの設定を行う	40	リミッターの基本操作	205
EasyIP Setup Tool Plusを使用して本機の設定を行う	40	リミッターの設定	205
初期アカウントを設定する	41	リミッターの解除	205
表示用プラグインソフトウェアをインストールする	42	リミッターの再設定	205
撮影の基本操作	43	セーフモード	206
電源の入れ方と切り方	44	セーフモードについて	206
電源の入れ方	44	機器の異常検知について	206
電源の切り方	44	トラブルシューティング	207
本機の選択	45	保証とアフターサービス(よくお読みください)	216
撮影する	46	修理を依頼されるとき	216
撮影の基本操作で困ったときは	47	定 格	217
より高度な使い方	48	さくいん	220
マニュアル撮影	49		
フォーカスのマニュアル調整	49		
アイリスのマニュアル調整	49		
シャッタースピードのマニュアル調整	49		
ゲインのマニュアル調整	49		
プリセットメモリー	50		
ホワイトバランス調整	51		
自動調整(AWB: AWB A/AWB B)	51		
自動追尾式ホワイト調整(ATW)	52		
3200K・5600Kプリセット	52		
VAR	52		
ブラックバランス調整	53		
自動調整	53		
黒レベル(マスターペダスタル)調整	53		
ゲンロック調整	54		
水平位相調整	54		
カメラメニュー項目	55		
トップメニュー画面	55		
BASIC CONFIG	55		
NETWORK	59		
OUTPUT	60		
RETURN	64		
AUDIO	64		
IP SIGNAL	65		
PAINT	67		
LENS	77		
MONITOR DISPLAY	78		

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告

カメラは…

 電源プラグ を抜く	異常があったときは、外部DC電源の電源プラグおよびPoE++ 給電のLANケーブルを抜く 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、 煙や異臭、異音などが出たとき (そのまま使うと、火災・感電の原因になります。) ⇒ 外部DC電源を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。 ⇒ 販売店にご相談ください。	
	回転動作中は本体部に手を触れない (回転部に指をとられ、けがの原因になります。) ぶら下がらない、足場代わりにしない (落下などの事故の原因になります。)	 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする (火災や感電の原因になります。) ⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。 ⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花びんなどの容器を置かないでください。 工事は販売店に依頼する (工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。) ⇒ 設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。 付属品・オプションは指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。) 使用しない場合は放置せず、カメラや取付金具は必ず撤去する ⇒ 販売店にご相談ください。
 接触禁止	雷が鳴り出したら、本機の金属部や外部DC電源などの電源プラグに触れない (落雷すると、感電につながります。)	
 分解禁止	分解や改造をしない (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。	
 水場使用禁止	水場で使用しない (火災・感電の原因になります。)	

外部DC電源、PoE++は…

	DCコネクタ・プラグ、LANケーブルを破損するようなことはしない 傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、 重いものを載せる、束ねるなど 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない (感電・火災の原因になります。) ⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
---	--

⚠ 警告 (つづき)

外部DC電源、PoE++は…(つづき)

	不安定な場所に設置しない (落下や転倒によるけがや事故の原因になります。)		電源プラグ、LANケーブルは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない (感電・火災の原因になります。)		電源プラグのほこり等は定期的にとる (プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。) ⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

小さな付属品は…

	本体取付ねじ、金具取付ねじ、落下防止ワイヤー取付ねじは乳幼児の手に届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
---	--

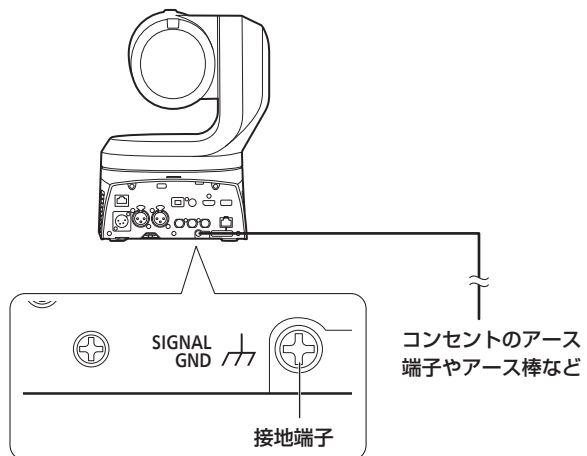
⚠ 注意

	本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)		落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因になります。)
	直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)		定期的な点検する (金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。) ⇒ 点検は販売店にご依頼ください。
	油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災や感電の原因になります。) DCコードを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒ 必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。	 電源プラグを抜く	長期間使用しないときや、お手入れのときは、外部DC電源の電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検(1年に1回をめやすに)をお願いします。

接地に関するご注意

- 本体の接地端子<SIGNAL GND>から接地を行ってください。



はじめに

概要

- 本製品は、4K/12G-SDIやSMPTE ST2110*¹に対応し、4K/60p、2K/120pにも対応した、回転台一体型リモートカメラです。

*¹ SMPTE ST2110の機能を有効にするには、別途オプションのソフトウェアキー(AW-SFU60)の購入が必要です。
AW-SFU60のアクティベーションはEasyIP Setup Tool Plusを使用して行います。アクティベーションの方法は、EasyIP Setup Tool Plusダウンロードページ掲載の操作説明書を参照してください。

- 4K対応の新開発のMOSセンサーと画像処理エンジンにより、高感度、高解像度(1600本)、高画質を実現しました。
また、光学20倍ズームレンズ、画揺れ補正やナイトモード機能に加えて、モアレを低減するLow Pass Filterの搭載や、高速・高精度で迷いの少ないAFを実現した像面位相差AF(PDAF)*²でさまざまなシーンでの撮影が可能となりました。

*² PDAF: Phase Detection Auto Focus

- 本製品はNewTek社のHigh Bandwidth NDI(以下、NDIと記載)およびNDI|HXに準拠しています。
High Bandwidth NDIは、NDI|HXで課題とされていたIP伝送遅延、画質劣化の課題解決を図ります。
- Pan/Tiltに関しては、新開発の光学式エンコーダーを組み込むことで静止精度を向上しました。
- 本機は、ネットワーク上でのNewTek High Bandwidth NDIおよびNDI|HXと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して、映像を送出することが可能です。
- コントローラーを接続すると、IP制御によるスムーズなカメラ操作が可能です。
- ナイトモードを備え、低照度下においても被写体に赤外線を照射することで撮影が可能です。
- パーソナルコンピュータと本機をIPネットワーク経由で接続することで、Web画面から本機を操作することができます。
- 多彩な4Kインターフェースを装備し、複数の3G-SDI出力も個別に搭載しているため、4K対応のリモートカメラとして幅広い運用シーンに柔軟に対応することができます。
- ご使用の用途や環境に応じて、AW-UE160W(パールホワイト)、AW-UE160K(ブラック)のカラーバリエーションがあります。

必要なパーソナルコンピュータの環境

CPU	Intel® Core™ 第7世代(Kaby Lake以降) 推奨
メモリー	【Windowsの場合】 4 GB以上 【Macの場合】 4 GB以上
ネットワーク機能	100BASE-T/TXまたは1000BASE-T RJ-45コネクター
画像表示機能	解像度：1920×1080ピクセル以上、 発色：True Color 24ビット以上
対応OSと Web ブラウザー	【Windows】 Microsoft® Windows® 10 Microsoft Edge Google Chrome
	【Mac】 macOS13 macOS12 Safari Google Chrome
	【iPhone / iPad】 iOS Safari iPadOS
	【Android】 Android OS Google Chrome
その他	Adobe® Reader® (Webサイトに掲載されている取扱説明書を閲覧 するため)

重要

- 必要なパーソナルコンピューターの環境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、Web ブラウザーが操作できなくなったりするなどの不具合が発生するおそれがあります。

〈NOTE〉

- 本体ソフトのバージョンによっては、アップデートが必要になります。
- 対応OSとWeb ブラウザーに関する最新情報については、下記のWebサイトのサポートサイトをご覧ください。
日本語：
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
英語：
<https://pro-av.panasonic.net/en/>

免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥お客様による撮影映像（記録を含む）が何らかの理由により公となり、または目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
- ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本機を経由した情報の漏えいや流出
- ②悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 管理者で本機にアクセスした後は、必ずすべてのWeb ブラウザーを閉じる。
- 管理者のパスワードは、定期的に変更する。
- パスワードは第三者が容易に推測できないよう、アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、特殊記号の少なくとも3つを含め8文字以上で設定してください。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 公衆回線を利用した接続はしない。

〈NOTE〉

ユーザー認証について

- 本機では、ユーザー認証機能はダイジェスト認証またはベーシック認証を使用しています。認証機能を有した専用機を用いないでベーシック認証を使用した場合、パスワードが漏えいする危険性があります。ダイジェスト認証を使用するか、ホスト認証を使用することを推奨します。

使用時の制約事項

- 本機とコントローラーもしくはパーソナルコンピューターを接続するネットワークは、同一セグメントを推奨します。
セグメントが異なる接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が起きる可能性がありますので、運用開始前に十分確認を行ってください。
- 当社製コントローラー(AW-RP150、AW-RP60)を使用する場合、ダイジェスト認証のときは[Wait time mode]を[Mode2]に設定してご利用ください。(→179ページ)
[Wait time mode]を[Mode1]に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。

■ 4K/HDフォーマットに対応

- 以下の複数のフォーマットをカメラメニューまたはWeb操作で切り替えが可能です。

【4Kフォーマット】

2160/60p、2160/59.94p、2160/50p、
2160/29.97p*¹、2160/25p*¹、2160/24p*¹、
2160/23.98p*¹

【HDフォーマット】

1080/119.88p、1080/100p、1080/60p、
1080/59.94p、1080/50p、1080/29.97p*¹、
1080/25p*¹、1080/24p*¹、1080/23.98p*¹、
1080/59.94i、1080/50i、720/59.94p、720/50p

*¹ Native出力

■ 1型(1")*² 4K新MOSセンサー、新イメージエンジンを搭載

- 新開発の大判1型(1")*² 4K MOSセンサーを搭載し、F11/2000lx [Normal]、F14/2000lx [Low Light]の高感度を実現しました。低照度下でもノイズの少ない撮影が可能です。

*² 有効サイズ

■ 広角 水平75.1°、高倍率 光学20倍ズームレンズを搭載

- 被写体との距離が近くても全体を広く映すことが可能です。
- 遠くの被写体も鮮明に捉えます。

■ 高性能回転台との一体型で快適操作

- 180°/sの高速動作が可能です。
- パン範囲：±175°、チルト範囲：-30°～210°の広い旋回角度に対応しています。
- 騒音レベルNC35以下の静かな動作が可能です（パン・チルト静止時はNC25以下）。
- 最大100ポジションのプリセットメモリーが可能です。

■ ナイトモードを搭載

- 赤外線撮影に対応しています。
通常では撮影が困難な低照度下においても、被写体に赤外線を照射することで、撮影が可能となります。
(映像出力は白黒画像となります。)
- IRISは開放固定となります。

■ IP映像出力機能を搭載

- 画像圧縮、IP伝送LSIを搭載。4K画質で、最大毎秒60フレームの出力ができます。
- 公衆回線でも高画質、低遅延、安全な映像伝送を可能にするSRT(Secure Reliable Transport)やHigh bandwidth NDI/NDI|HXに標準対応しています。
- IPコントロールとともに用いることで、遠隔地からのカメラ制御など、幅広い用途での使用が可能となります。

■ FreeDに対応し、AR/VRシステムの構築が可能

- FreeDに準拠したコマンドを出力することで、AR/VRシステムとの接続が可能です。
- カメラのトラッキング情報(パン・チルト/ズーム/フォーカス/アイリス)を同期信号に合わせて出力し、エンコーダーなしで簡単にシステムを構築することが可能です。

〈NOTE〉

- FreeDとは、AR/VRシステム用のカメラトラッキングデータを出力するプロトコルです。

■ PDAF (Phase Detection Auto Focus) 機能を搭載

- 像面位相差AFとコントラストAFを組み合わせた方式を採用し、高速かつ高精度で、迷いの少ない新AFを実現しました。

■ HFR (High Frame Rate) 機能を搭載

- FHD/120fpsの高速撮影を行うことにより、滑らかで美しいスローモーション動画の撮影が可能です。

■ Low Pass Filterを標準搭載

- 光学Low Pass Filter搭載で撮影時にLED/液晶パネルのモアレを大幅に軽減します。

■ SMPTE ST2110に対応

- 放送制作での利用を想定した映像の高品質なIP伝送に関する規格です。オプションのソフトウェアキー(AW-SFU60)と光トランシーバー(市販)をご購入いただくことで、非圧縮映像(1080/60p、50pまで)およびJPEG XS圧縮映像(2160/60p、50pまで)の伝送に対応します。
AW-SFU60のアクティベーションはEasyIP Setup Tool Plusを使用して行います。アクティベーションの方法は、EasyIP Setup Tool Plusダウンロードページ掲載の操作説明書を参照してください。

■ 音声入力用XLR端子(2ch)を搭載

- 2チャンネルを搭載しているので、会場の左右から高性能マイクで音声入力を行うことが可能です。ライブや演劇など、音響にこだわりたい現場での撮影にも対応できます。

■ IPコントロールによる簡単接続・設定

- 当社製コントローラー(AW-RP150、AW-RP60)からIP接続により、最大200台までの本機の操作が可能です。
(LANケーブルの最大長は、100 mまでです。)
- AW-RP150またはAW-RP60とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。(→41ページ)
初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。
- 当社製コントローラー(AW-RP150、AW-RP60)を使用する場合、ダイジェスト認証のときは[Wait time mode]を[Mode2]に設定してご利用ください。(→179ページ)
[Wait time mode]を[Mode1]に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。

■ 簡単操作なワイヤレスリモコン(別売品)が使用可能

- 本機を最大4台まで操作できるワイヤレスリモコンを使用できます。
各種機能の設定や切り替えも、メニュー画面を見ながら簡単に行うことができます。

■ 簡単接続&設置で柔軟なカメラレイアウト

- ・ パーソナルコンピュータからのIP制御、ひとりで施工(屋内限定)できるターンロック機構で優れた接続性・設置性を実現しています。

〈NOTE〉

- ・ 本機は屋内専用です。
屋外での使用はできませんのでご注意ください。

■ PoE++*¹ 搭載によりカメラ電源工事が不要

- ・ PoE++規格対応のネットワーク機器(IEEE 802.3btに準拠)*²に接続することによって、カメラ電源工事が不要となります。
ソフト認証(LLDP)にも対応していますが、ネットワーク機器(IEEE 802.3btに準拠)*²の設定が必要となる場合があります。

〈NOTE〉

- ・ 外部DC電源とPoE++給電の両方を接続した場合は、外部DC電源が優先となります。両方を接続した状態から、外部DC電源を抜くと自動で再起動となり、映像出力が途切れます。
- ・ PoE++給電に使用するケーブルは、カテゴリ5e以上のケーブルをご使用ください。また、給電装置と本装置間のケーブル長は最大100 mです。カテゴリ5eより低いカテゴリのケーブルをご使用されると給電能力が低下するおそれがあります。

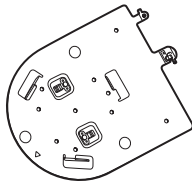
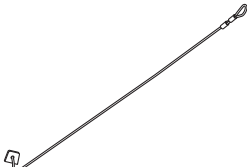
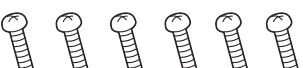
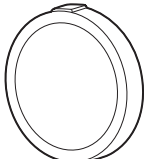
*¹ Power over Ethernet Plus Plusの略です。以降「PoE++」と表記いたします。

*² 動作確認済みのPoE++給電装置については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

付属品

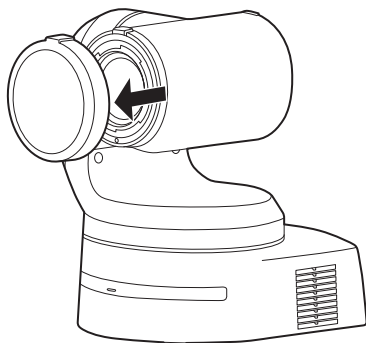
付属品をご確認ください。

- 電源コードキャップ (付属している場合) および包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

設置面用 取付金具 (吊り下げ・据え置き) (1) 	本体取付ねじ (平ワッシャー／スプリングワッシャー付) M3 × 6 mm (1) 	落下防止ワイヤー (1) 落下防止ワイヤー取付ねじ (1) (本体に装着済み) 
金具取付ねじ (バインド頭) M4 × 10 mm (6) 	レンズキャップ (1) (本体に装着済み) 	

レンズキャップの取り外しかた

レンズキャップを矢印の方向に動かして外す。



別売品

- ワイヤレスリモコン AW-RM50AG (単3乾電池×2、電池は別売)

〈NOTE〉

- 別売品については、カタログをご覧になるか、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 油煙やほこりの多い場所では、本機を使わないでください

微粒子などが製品内部に入ると、性能が劣化するおそれがあります。特に舞台演出用のスモークなどを使用した環境では、お気をつけください。

■ 回転部に異物の混入がないようにしてください

故障の原因になります。

■ お手入れは

お手入れは、電源を切ってから行ってください。けがの原因になります。
乾いた柔らかい布でふいてください。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。

■ 本機を手で持つときは、底面を両手で持ってください

レンズ部や側面を持つとモーターに負荷がかかり、故障の原因になります。

■ カメラヘッド部分を手で回さないで

カメラヘッド部分を手で回すと、故障の原因になります。

■ レンズ／回転台について

レンズやパン・チルト回転台などは、長期間操作しないと内部に塗布されたグリースの粘度が高まり、動かなくなることがあります。レンズやパン・チルト回転台は、定期的に動かしてください。

■ 撮影は適正な照明で

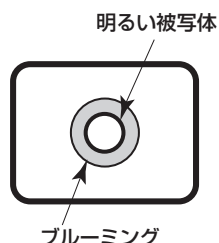
美しいカラー映像を得るには、適正な照明で撮影してください。蛍光灯の照明では、正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。

■ 長時間安定した性能でお使いいただくために

高温・多湿の場所で長時間使用した場合は、部品の劣化により寿命が短くなります。
(推奨温度 35℃以下)
設置場所の冷房および暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

■ 強い光にカメラを向けないでください

MOSセンサーの一部にスポット光のような強い光が当たると、ブルーミング(強い光の周りにじむ現象)を生じることがあります。



■ 高輝度の被写体では

きわめて明るい光源がレンズに向けられていると、フレアが生じることがあります。その場合は、アングルを変えるなどしてください。

■ オート機能使用のときは

- カメラメニューなどの「Scene」では、一部の項目で初期設定がオートとなっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行う場合は、必要に応じてオート設定からマニュアル設定に切り替えてください。
- 蛍光灯下のATW(自動追尾式ホワイト調整)機能の使用は、ホワイトバランスが変動する場合があります。
- 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。その場合は、マニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。

■ ズーム操作とフォーカスについて

フォーカスがマニュアル設定のとき、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。
ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。
フォーカスをマニュアル設定で使用する際は、フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス位置を合わせてからズーミングしてください。(ただし、被写体までの距離が1.2 mよりも近い場合には、ワイド端でフォーカスがずれることがあります。)
ワイド端でフォーカス調整を行った後にテレ端にズーミングすると、フォーカスがずれる場合があります。

■ 電源を入れたときのレンズ動作について

本機の電源を入れたとき、ズーム、フォーカス、アイリスが自動的に調整動作を行います。

■ 本機にはセーフモード機能があります

セーフモードは、本機の損傷を防止するための機能です。
詳細については、「セーフモード」(→206ページ)を参照してください。

■ HDMIについて

本機はHDMI認証機器ですが、接続されるHDMI機器によってはまれに出画しない場合があります。

■ USBについて

USBケーブルは、USB3.0規格に準拠したケーブルをご用意ください。また、1.5 m以内のケーブルのご使用をお勧めします。
USB2.0用のケーブルでは、動作保証ができません。誤って接続した場合は、本機の電源の再起動が必要になります。

■ カラーバーについて

カラーバーは色位相調整用であり、バーの幅や位置が他機種と異なる場合があります。

■ H.264/H.265特許プールライセンスについて

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること
- 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること

詳細についてはMPEG LA, LLCのWebサイト(<http://www.mpegla.com>)を参照してください。

■ PoE++ 給電について

本機は、IEEE 802.3btに準拠しています。
PoE++ 給電時には、対応したイーサネットハブ、およびPoE++インジェクターをご使用ください。
ソフト認証(LLDP)は、IEEE 802.3btに準拠していますが、ネットワーク機器の設定が必要となる場合があります。
動作確認済みイーサネットハブ、およびPoE++インジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切って

本機に電源スイッチはありません。
ケーブルを抜き差しする場合には、DC 12 V電源、あるいはPoE++給電装置の電源をOFFにしてください。

■ 使用しない場合は

使用しないときは電源を切ってください。
使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。

■ 光学系部には触れないで

光学系部はカメラの“命”です。
光学系には絶対に触れないでください。
万一、ほこりがついた場合は、カメラ用のブロワーやレンズクリー
ニングペーパーで軽く清掃してください。

■ 太陽光に向けない、レーザー光に向けない

太陽光・レーザー光などを長時間撮像すると、撮像素子を傷める原
因となります。

■ 使用するパーソナルコンピュータについて

パーソナルコンピュータのモニター上に長時間同じ画像を表示す
ると、モニターに損傷を与える場合があります。スクリーンセーバー
の使用をお勧めします。

■ IPアドレスの設定について

1 台のカメラに対して、複数のパーソナルコンピュータ上の
EasyIP Setup Tool Plus を操作して、同時に IP アドレスを設定
しないでください。
IP アドレスの設定がわからなくなる原因となります。

■ 廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業
者に廃棄を依頼してください。

■ 移動について

- ・持ち運ぶ場合、本機に強い衝撃を与えたり、落としたりしないよ
うにご注意ください。
- ・移動するときは、接続ケーブル類を外してください。
- ・移動するときは、システム電源を切ってください。
- ・衝撃を与えないように緩衝材などで包んで移動させてください。
- ・本機に振動や衝撃を与えないようていねいにお取り扱いくださ
い。

■ 設置場所について

揺れのない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れによ
り、画揺れの原因になります。
お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、設置してください。
強度が十分ある天井(コンクリート天井など)に設置してください。
強度が不十分な天井に設置する場合は、十分な補強を施してください。

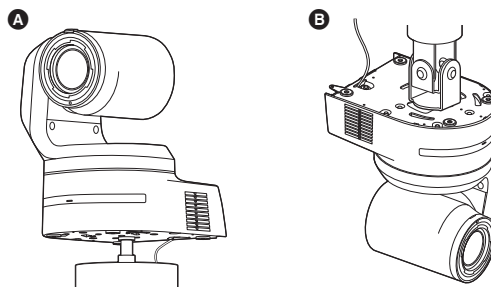
剛性が十分に確保されている、揺れのない安定した場所に設置してく
ださい。設置場所の揺れにより、本機の性能劣化や故障の原因になる
ことがあります。

剛性が不十分な場所にカメラを設置した場合、パン/チルトの制御
特性に影響を与えて動作が不安定になることがあります。

- ・下図のような環境では、パン/チルトの動作異音や動作エラーが
発生する原因になりますのでご注意ください。
設置後にパン/チルト動作が不安定になることでお困りの場合は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

<性能劣化や不具合の可能性がある設置事例>

- A 径が小さい円筒支柱構造への 1 点固定
- B 可動部構造への 1 点固定



■ 本製品に関するソフトウェア情報

本製品には、GNU General Public License(GPL)、ならびに GNU Lesser General Public License(LGPL) に基づきライセンスされるソフ
トウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

本製品には、The BSD License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

ソースコードの入手については、下記の Web サイトをご覧ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

個人情報の保護について

システムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*
法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】
を参照してください。

■ JPEG XS patent pool licensing

This product or service includes JPEG XS compliant features that are covered by patents in the United States and in other
jurisdictions owned by intoPIX SA ("intoPIX") and/or Fraunhofer-Gesellschaft zur Foerderung der angewandten Forschung E.V.
("Fraunhofer") and listed at www.jpegxspool.com. Additional patents may be pending in United States and elsewhere.

ワイヤレスリモコン(別売品)について

本機は、別売のワイヤレスリモコン(品番: AW-RM50AG)から遠隔操作することができます。

ワイヤレスリモコンは、以下の内容をご確認のうえご使用ください。

- 本機のワイヤレスリモコン信号受光部(前面/背面)に向けて10 m以内の場所でワイヤレスリモコンを操作してください。

- 右の<ワイヤレスリモコン信号受光部配置図>を参照してください。

- ワイヤレスリモコン信号の受光角度が大きくなると、受光距離が短くなります。

受光感度は、ワイヤレスリモコン信号受光部(前面/背面)それぞれの位置の正面から40°で約半分になります。

特に背面方向からの操作では、動作しにくくなる、もしくは動作しなくなる場合があります。

- 本機を蛍光灯やプラズマモニターなどの近くに設置した場合や、太陽の光が当たる場合、それらの光の影響によってワイヤレスリモコンで操作できないことがあります。

必ず以下の方法で設置、使用してください。

- ・蛍光灯やプラズマモニター、太陽などからの光がワイヤレスリモコン信号受光部に入らないようにする。
- ・蛍光灯やプラズマモニターなどから離れた場所に設置する。

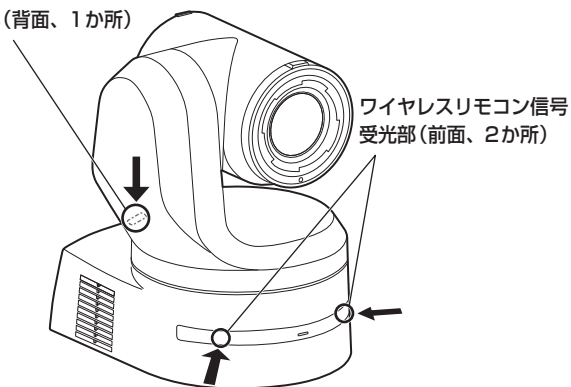
- ワイヤレスリモコンは、電池を抜いても約10分間は操作対象の選択(最後に押したCAMERA<1>～<4>ボタン)を記憶していますが、さらに時間がたつとCAMERA<1>ボタンを押した状態にリセットされます。

<ワイヤレスリモコン信号受光部配置図>

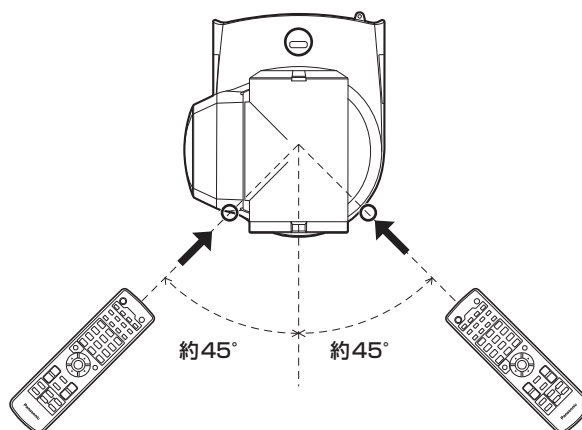
<NOTE>

- ・下図の矢印は、ワイヤレスリモコン信号の受光方向を示しています。

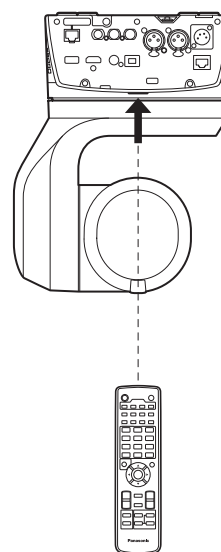
ワイヤレスリモコン信号受光部(背面、1か所)



・天面図

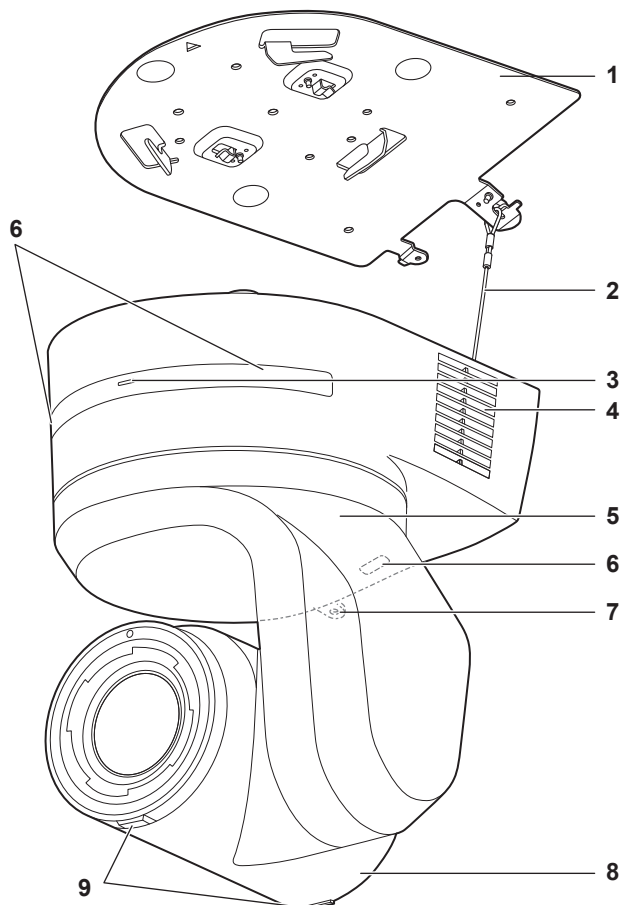


・背面図

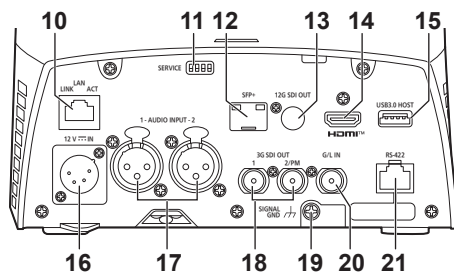


各部の名前とはたらき

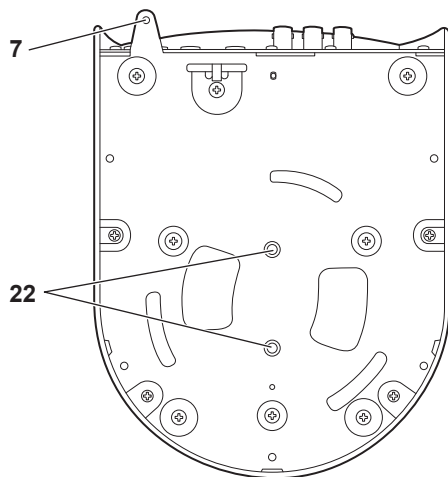
カメラ部



背面パネル



底面パネル



1. 設置面用取付金具 (付属品)

設置面に取り付けて、カメラ本体を取り付けます。

2. 落下防止ワイヤー

カメラ本体の底面にねじ止めしてあります。ワイヤーの輪の部分を取付金具のフック部に取り付けます。

3. 状態表示ランプ

本機の状態によって、次のように点灯します。

橙色	点灯	待機 (Standby) 状態
	2回点滅	電源ON時に、ワイヤレスリモコン (別売品) からリモコンIDが異なる信号を受信しているとき
	低速で点滅	ファームウェアアップデート中 (STEP 1: ファイル転送中)
	高速で3回点滅	EasyIP Setup Tool PlusによるIdentify機能 (指定したカメラの状態表示ランプを点滅させる機能) を動作させたとき
緑色	点灯	電源ON時
	2回点滅	電源ON時に、ワイヤレスリモコン (別売品) からリモコンIDが一致する信号を受信しているとき
	高速で点滅	初期化処理が完了したとき
赤色	点灯	機器異常時
	低速で点滅	ファームウェアアップデート中 (STEP 2: データ書き込み中)
	高速で点滅	PoE++ソフトの認証エラーが発生したとき

4. 通風孔

通風孔をふさぐと故障の原因となります。通風孔周囲には十分な空間を確保してください。

5. チルトヘッド部

左右方向に回転します。

6. ワイヤレスリモコン信号受光部

カメラ台座部の前面および後面上部の3か所にあります。

7. カメラ台座部固定用穴

カメラ台座部の底板にあります。

8. カメラヘッド部

上下方向に回転します。

9. タリーランプ

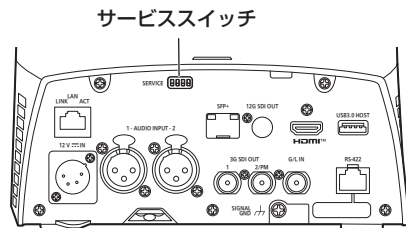
タリーランプ使用設定が「ON」に設定されている場合のみコントロールの制御で点灯/消灯します。タリーランプは赤色/緑色/黄色の3色あります。

10. IP制御用LAN端子 <LAN LINK/ACT>

外部機器から本機をIP制御する際に接続するLAN端子 (RJ-45) です。接続には、LANケーブル (カテゴリー5e以上、STP最大100 m) を使用してください。

11. サービススイッチ<SERVICE>

スイッチの設定は本機の電源を入れる前に行ってください。



機能		工場出荷時の設定
SW1	初期化 / 初期設定用のSW	OFF
SW2	(「初期化1」「初期化2」「ダイレクト起動モード」の説明参照)	OFF
SW3		OFF
SW4		OFF

初期化1

- Network接続時のユーザー認証設定およびホスト認証設定をリセットします。
(登録済みのユーザー情報(ID/パスワード)およびホスト情報(IPアドレス)をすべて削除します)
- サービススイッチを以下の設定にした状態で、本機の電源を入れてください。



<NOTE>

- 初期化が終わると本機前面の状態表示ランプが緑色に点滅します。サービススイッチを元の状態(SW1～SW4をすべてOFF)に戻して、再起動を実施してください。

初期化2

- 本機を購入したときの状態にリセットします。(カメラメニューの設定値、およびNetwork設定値をすべてリセットします)
- サービススイッチを以下の設定にした状態で、本機の電源を入れてください。



<NOTE>

- 初期化が終わると本機前面の状態表示ランプが緑色に点滅します。サービススイッチを元の状態(SW1～SW4をすべてOFF)に戻して、再起動を実施してください。
- 初期化完了後、出力映像が乱れる場合があります。サービススイッチを元の状態に戻して再起動を実施すれば、映像の乱れは解消されます。

ダイレクト起動モード

- 本機の電源ON時、レンズの初期動作時に回転台(チルト)を水平にしません。狭い場所への設置などでチルトを水平にできない場合にご使用ください。



<NOTE>

- トラッキング性能に若干の影響が出ることがあります。

12. SFP端子<SFP+>

SFP+光ファイバー用モジュールの接続端子です。SFP+光用のファイバーモジュールを接続することにより、SMPTE ST2110*¹またはSDI信号を光変換した信号を出力します。フォーマットごとの信号帯域*²に合ったファイバーモジュールを選んでください。

*¹ SMPTE ST2110の機能を有効にするには、別途オプションのソフトウェアキー(AW-SFU60)の購入が必要です。

- *²
- 4K (60p, 59.94p, 50p): 12G
 - 4K (60p, 59.94p, 50p以外): 6G
 - HD (60p, 59.94p, 50p): 3G
 - HD (60p, 59.94p, 50p以外): 1.5G

<NOTE>

- 本機は、光信号入力には対応していません。

13. 12G SDI OUT端子<12G SDI OUT>

12G-SDI映像信号の出力端子です。

14. HDMI端子<HDMI>

HDMI映像出力端子です。

15. USB3.0 HOST端子<USB3.0 HOST>

5Gモバイルルーター(USBテザリング対応)*³を接続することで、無線回線を使用して映像伝送が可能となります。

- *³ 動作保証されている製品を使用してください。詳しくは、当社Webサイトをご覧ください。

<NOTE>

- 5Gモバイルルーターの使用時間については、ご使用の機器のカタログをご確認ください。
- USBケーブルは、USB3.0規格に準拠したケーブルをご用意ください。また、1.5 m以内のケーブルのご使用をお勧めします。
- USB2.0用のケーブルでは、動作保証ができません。誤って接続した場合は、本機の電源の再起動が必要になります。
- 接続する製品によっては、USB Type A - Type C変換アダプターが必要になります。

16. DC IN端子<12V ≒ IN>(XLRコネクター)

DC 12 Vを入力してください。

<NOTE>

- DCコードは、以下の長さのコードを使用してください。
12 V入力時：最長3 m (AWG16コード使用時)

■ 外部DC電源について

外部DC電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。
外部DC電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものを選びください。
接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。

総消費電力÷電圧

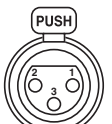
本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機および本機の電源が入ったときと連動して電源が入る接続機器(レンズ、ワイヤレスマイクレシーバーなど)の、総消費電力の2倍以上の電力を確保できる、外部DC電源のご使用をお勧めします。

- 外部DC電源のDC出力端子と、本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。
誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。

12V ≒ IN		
	1	GND
	2	—
	3	—
	4	+12V

17. 音声入力端子<AUDIO INPUT 1、2>

外部音声(マイク、ライン)の入力用端子です。

AUDIO INPUT 1、2		
	1	GND
	2	AUDIO IN (H)
	3	AUDIO IN (C)

18. 3G SDI OUT 端子<3G SDI OUT 1、2/PM>

SDI映像信号の出力端子です。出力信号フォーマットにより、3G-SDIまたは1.5G-SDI信号が出力されます。
SMPTE ST2110使用時、SFP+に映像を入力すると、RETURN信号として入力された映像を3G SDI OUT2/PMから出力することができます。

<NOTE>

- SMPTE ST2110の機能を有効にするには、別途オプションのソフトウェアキー(AW-SFU60)の購入が必要です。

19. 接地端子

コンセントのアース端子やアース棒などと接続して、接地を行ってください。(→6ページ)

20. G/L IN 端子<G/L IN>

外部同期信号の入力端子です。

本機は、BBS(Black Burst Sync)および3値同期に対応しています。設定した映像フォーマットに適した信号を入力してください。(→217ページ)

21. RS-422 端子<RS-422>

外部機器から本機をシリアル制御する際に接続するRS-422 端子(RJ-45)です。接続には、以下のケーブルを使用してください。
また、R-TALLY 信号(2-pin)をGND(1-pin)とショートすると、本機のカメラヘッド部にあるタリールンプ(赤色)を点灯させることができます。

<NOTE>

- RS-422 端子にはPoEケーブルを接続しないでください。
- R_TALLY_IN 信号には電圧を加えないでください。
- メニュー設定により、本機で受信した赤タリール、緑タリールを7pin、8pinに出力することができます。出力は接点出力で、通常時は「OPEN」、出力時は「MAKE」になります。(→57ページ、124ページ)
- 当社製コントローラー(AW-RP150、AW-RP60)からは、RS-422 端子経由(シリアル接続)で本機を制御することはできません。
当社製コントローラー(AW-RP150、AW-RP60)から本機を制御する場合、LAN 端子経由(IP 接続)で本機を制御してください。

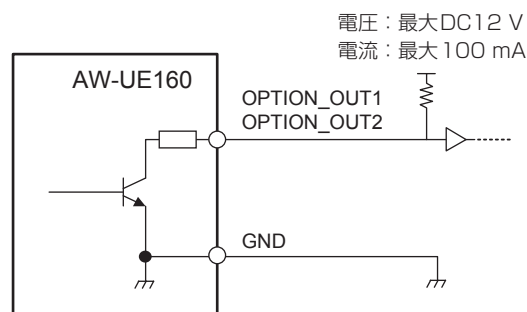
LANケーブル*1(カテゴリ5e以上、ストレートケーブル)
最大1000 m

*1 STP(Shielded Twisted Pair)をご使用ください。



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	GND	5	TXD+
2	R_TALLY_IN	6	RXD+
3	RXD-	7	OPTION_OUT1
4	TXD-	8	OPTION_OUT2

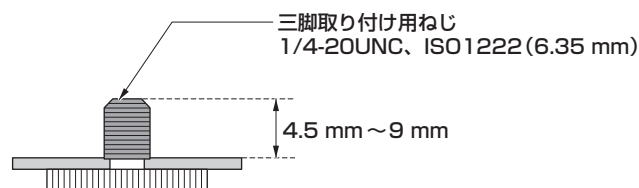
■ OPTION_OUT1、OPTION_OUT2 端子接続例



22. カメラ取り付け用ねじ穴

(ねじ：1/4-20UNC、ISO1222 (6.35 mm))

三脚などに固定する場合に、このねじ穴を使用します。
三脚は、段差のない平面に設置します。
三脚取り付け用ねじを手でしっかり締め付けてください。
三脚取り付け用のねじは、次の規格のものを使用してください。



■ 出力フォーマット一覧

Frequency	System Format	HDMI			12G SDI OUT / SFP+		
60Hz	2160/60p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		2160/60p 1080/60p	2160/60p 1080/60p		2160/60p 1080/60p	2160/60p 1080/60p	
	1080/60p	1080/60p	1080/60p		1080/60p	1080/60p	
59.94Hz	2160/59.94p	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)
		2160/59.94p 1080/59.94p	2160/59.94p 1080/59.94p	2160/59.94p 720/59.94p	2160/59.94p 1080/59.94p	2160/59.94p 1080/59.94p	2160/59.94p 720/59.94p
	2160/29.97p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		2160/29.97p 1080/29.97p	2160/29.97p 1080/29.97p		2160/29.97p 1080/29.97p	2160/29.97p 1080/29.97p	
	1080/119.88p	1080/119.88p			1080/59.94p* ¹		
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i			1080/59.94p 1080/59.94i		
	1080/29.97p	1080/29.97p			1080/29.97p		
	720/59.94p	720/59.94p			720/59.94p		
50Hz	2160/50p	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)
		2160/50p 1080/50p	2160/50p 1080/50p	2160/50p 720/50p	2160/50p 1080/50p	2160/50p 1080/50p	2160/50p 720/50p
	2160/25p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		2160/25p 1080/25p	2160/25p 1080/25p		2160/25p 1080/25p	2160/25p 1080/25p	
	1080/100p	1080/100p			1080/50p* ¹		
	1080/50p	1080/50p 1080/50i			1080/50p 1080/50i		
	1080/25p	1080/25p			1080/25p		
	720/50p	720/50p			720/50p		
24Hz	2160/24p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		2160/24p 1080/24p	2160/24p 1080/24p		2160/24p 1080/24p	2160/24p 1080/24p	
	1080/24p	1080/24p			1080/24p		
23.98Hz	2160/23.98p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		2160/23.98p 1080/23.98p	2160/23.98p 1080/23.98p		2160/23.98p 1080/23.98p	2160/23.98p 1080/23.98p	
	1080/23.98p	1080/23.98p			1080/23.98p		

*¹ 119.88p(100p)に対して、フレームレートを1/2(59.94p(50p))に間引いた「第1フレーム」を出力します。

各部の名前とはたらき (つづき)

Frequency	System Format	3G SDI OUT 1			3G SDI OUT2/PM		
60Hz	2160/60p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		1080/60p	1080/60p		1080/60p	1080/60p	
	1080/60p	1080/60p	1080/60p		1080/60p	1080/60p	
59.94Hz	2160/59.94p	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)
		1080/59.94p 1080/59.94i		720/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i		720/59.94p
		2160/29.97p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)
		1080/29.97p		1080/29.97p			
	1080/119.88p	1080/59.94p* ¹			1080/59.94p* ²		
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i			1080/59.94p 1080/59.94i		
	1080/29.97p	1080/29.97p			1080/29.97p		
	720/59.94p	720/59.94p			720/59.94p		
50Hz	2160/50p	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)
		1080/50p 1080/50i		720/50p	1080/50p 1080/50i		720/50p
		2160/25p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)
		1080/25p			1080/25p		
	1080/100p	1080/50p* ¹			1080/50p* ²		
	1080/50p	1080/50p 1080/50i			1080/50p 1080/50i		
	1080/25p	1080/25p			1080/25p		
	720/50p	720/50p			720/50p		
24Hz	2160/24p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		1080/24p			1080/24p		
	1080/24p	1080/24p			1080/24p		
23.98Hz	2160/23.98p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		1080/23.98p			1080/23.98p		
	1080/23.98p	1080/23.98p			1080/23.98p		

*¹ 119.88p(100p)に対して、フレームレートを1/2(59.94p(50p))に間引いた「第1フレーム」を出力します。

*² 119.88p(100p)に対して、フレームレートを1/2(59.94p(50p))に間引いた「第2フレーム」を出力します。

各部の名前とはたらき (つづき)

Frequency	System Format	ST2110 (非圧縮) OUT *1 (MAIN/CROP/MONITOR)			ST2110 (非圧縮) IN *1 (RETURN)		
60Hz	2160/60p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		1080/60p			1080/60p		
	1080/60p	1080/60p			1080/60p		
59.94Hz	2160/59.94p	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)
		1080/59.94p		720/59.94p	1080/59.94p		—
	2160/29.97p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		1080/29.97p			1080/29.97p		
	1080/119.88p	1080/59.94p*2			1080/59.94p		
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i			1080/59.94p 1080/59.94i		
		1080/29.97p			1080/29.97p		
	720/59.94p	720/59.94p			—		
50Hz	2160/50p	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)
		1080/50p		720/50p	1080/50p		—
	2160/25p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		1080/25p			1080/25p		
	1080/100p	1080/50p*2			1080/50p		
	1080/50p	1080/50p 1080/50i			1080/50p 1080/50i		
		1080/25p			1080/25p		
	720/50p	720/50p			—		
24Hz	2160/24p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		1080/24p			1080/24p		
	1080/24p	1080/24p			1080/24p		
23.98Hz	2160/23.98p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop OFF	Crop(1080)	
		1080/23.98p			1080/23.98p		
	1080/23.98p	1080/23.98p			1080/23.98p		

*1 SMPTE ST2110ソフトウェアキー (AW-SFU60) が有効なときのみ出力します。

*2 119.88p (100p) に対して、フレームレートを 1/2 (59.94p (50p)) に間引いた「第1フレーム」を出力します。

各部の名前とはたらき (つづき)

Frequency	System Format	ST2110 JPEG XS(圧縮)OUT * ¹ (MAIN/CROP)				ST2110 JPEG XS(圧縮)IN * ¹ (RETURN)		
60Hz	2160/60p	Crop OFF	Crop(1080)			Crop OFF	Crop(1080)	
			MAIN	CROP				
		2160/60p 1080/60p	2160/60p 1080/60p	1080/60p		1080/60p		
	1080/60p	1080/60p				1080/60p		
59.94Hz	2160/59.94p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop(720)	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)
			MAIN	CROP				
		2160/59.94p 1080/59.94p	2160/59.94p 1080/59.94p	1080/59.94p	—	1080/59.94p		—
	2160/29.97p	Crop OFF	Crop(1080)			Crop OFF	Crop(1080)	
			MAIN	CROP				
		2160/29.97p 1080/29.97p	2160/29.97p 1080/29.97p	1080/29.97p		1080/29.97p		
	1080/119.88p	1080/59.94p* ²				1080/59.94p		
	1080/59.94p	1080/59.94p				1080/59.94p 1080/59.94i		
	1080/29.97p	1080/29.97p				1080/29.97p		
	720/59.94p	—				—		
50Hz	2160/50p	Crop OFF	Crop(1080)		Crop(720)	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)
			MAIN	CROP				
		2160/50p 1080/50p	2160/50p 1080/50p	1080/50p	—	1080/50p		—
	2160/25p	Crop OFF	Crop(1080)			Crop OFF	Crop(1080)	
			MAIN	CROP				
		2160/25p 1080/25p	2160/25p 1080/25p	1080/25p		1080/25p		
	1080/100p	1080/50p* ²				1080/50p		
	1080/50p	1080/50p				1080/50p 1080/50i		
	1080/25p	1080/25p				1080/25p		
720/50p	—				—			
24Hz	2160/24p	Crop OFF	Crop(1080)			Crop OFF	Crop(1080)	
			MAIN	CROP				
		2160/24p 1080/24p	2160/24p 1080/24p	1080/24p		1080/24p		
	1080/24p	1080/24p				1080/24p		
23.98Hz	2160/23.98p	Crop OFF	Crop(1080)			Crop OFF	Crop(1080)	
			MAIN	CROP				
		2160/23.98p 1080/23.98p	2160/23.98p 1080/23.98p	1080/23.98p		1080/23.98p		
	1080/23.98p	1080/23.98p				1080/23.98p		

*¹ SMPTE ST2110ソフトウェアキー (AW-SFU60) が有効なときのみ出力します。

*² 119.88p(100p)に対して、フレームレートを1/2(59.94p(50p))に間引いた「第1フレーム」を出力します。

各部の名前とはたらき (つづき)

Frequency	System Format	NDI *1		
60Hz	2160/60p	Crop OFF	Crop(1080)	
		2160/60p 1080/60p	1080/60p	
	1080/60p	1080/60p		
59.94Hz	2160/59.94p	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)
		2160/59.94p 1080/59.94p	1080/59.94p	720/59.94p
	2160/29.97p	Crop OFF	Crop(1080)	
		2160/29.97p 1080/29.97p	1080/29.97p	
	1080/119.88p	1080/59.94p*2		
	1080/59.94p	1080/59.94p		
	1080/29.97p	1080/29.97p		
720/59.94p	720/59.94p			
50Hz	2160/50p	Crop OFF	Crop(1080)	Crop(720)
		2160/50p 1080/50p	1080/50p	720/50p
	2160/25p	Crop OFF	Crop(1080)	
		2160/25p 1080/25p	1080/25p	
	1080/100p	1080/50p*2		
	1080/50p	1080/50p		
	1080/25p	1080/25p		
720/50p	720/50p			
24Hz	2160/24p	Crop OFF	Crop(1080)	
		2160/24p 1080/24p	1080/24p	
	1080/24p	1080/24p		
23.98Hz	2160/23.98p	Crop OFF	Crop(1080)	
		2160/23.98p 1080/23.98p	1080/23.98p	
	1080/23.98p	1080/23.98p		

*1 [SFP+ MODE]が[ST2110 JPEG XS]のときは出力されません。

*2 119.88p(100p)に対して、フレームレートを1/2(59.94p(50p))に間引いた「第1フレーム」を出力します。

■ IP画像出力1 (H.265、H.264他)

・「Streaming mode」が「H.265(UHD)」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
解像度		3840×2160	—	—	—	—	1920×1080 1280×720 640×360	640×360	640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	60fps 30fps	—	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	50fps 25fps	—	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	30fps	—	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	25fps	—	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	24fps	—	—	—	—	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps

・「Streaming mode」が「H.265」(FHD以下)のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
解像度		1920×1080 1280×720	1920×1080 1280×720 640×360	—	—	—	1920×1080 1280×720	640×360	640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	60fps 30fps	60fps 30fps	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	50fps 25fps	50fps 25fps	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	30fps	30fps	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	25fps	25fps	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	24fps	24fps	—	—	—	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps

各部の名前とはたらき (つづき)

- ・「Streaming mode」が「SRT H.265(UHD)」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
解像度		3840x2160	—	—	—	—	1920×1080 1280×720 640×360	640×360	640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	60fps 30fps	—	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	50fps 25fps	—	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	30fps	—	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	25fps	—	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	—	—	—	—	—	—

- ・「Streaming mode」が「SRT H.265」(FHD以下)のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
解像度		1920×1080 1280×720	—	—	—	—	1920×1080 1280×720 640×360	640×360	640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	60fps 30fps	—	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	50fps 25fps	—	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	30fps	—	—	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	25fps	—	—	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	—	—	—	—	—	—

- ・システムフォーマットで設定されている解像度およびフレームレート以上の設定はできません。

各部の名前とはたらき (つづき)

・「Streaming mode」が「H.264(UHD)」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
解像度		—	—	3840×2160	—	—	1920×1080 1280×720 640×360	640×360	640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	—	—	60fps 30fps	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	—	—	50fps 25fps	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	—	—	30fps	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	—	—	25fps	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	24fps	—	—	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps

・「Streaming mode」が「H.264」(FHD以下)のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
解像度		—	—	1920×1080 1280×720	1920×1080 1280×720 640×360	1280×720 640×360	1920×1080 1280×720 640×360	640×360	640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	—	—	60fps 30fps	60fps 30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	—	—	50fps 25fps	50fps 25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	—	—	30fps	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	—	—	25fps	25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	24fps	24fps	—	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps

各部の名前とはたらき（つづき）

- ・「Streaming mode」が「SRT H.264(UHD)」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
解像度		—	—	3840x2160	—	—	1920×1080 1280×720 640×360	640×360	640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	—	—	60fps 30fps	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	—	—	50fps 25fps	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	—	—	30fps	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	—	—	25fps	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	—	—	—	—	—	—

- ・「Streaming mode」が「SRT H.264」(FHD以下)のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
解像度		—	—	1920×1080 1280×720	—	—	1920×1080 1280×720 640×360	640×360	640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	—	—	60fps 30fps	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	—	—	50fps 25fps	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	—	—	30fps	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	—	—	25fps	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	—	—	—	—	—	—

- ・システムフォーマットで設定されている解像度およびフレームレート以上の設定はできません。

各部の名前とはたらき (つづき)

・「Streaming mode」が「RTMP(UHD)」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
解像度		—	—	3840x2160	—	—	1920×1080 1280×720 640×360	640×360	640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	—	—	60fps 30fps	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	—	—	50fps 25fps	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	—	—	30fps	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	—	—	25fps	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	24fps	—	—	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps

・「Streaming mode」が「RTMP」(FHD以下)のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
解像度		—	—	1920×1080 1280×720	—	—	1920×1080 1280×720 640×360	640×360	640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	—	—	60fps 30fps	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	—	—	50fps 25fps	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	—	—	30fps	—	—	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	—	—	25fps	—	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	24fps	—	—	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps	24fps 12fps 4fps 1fps

各部の名前とはたらき (つづき)

・「Streaming mode」が「JPEG」のとき

設定		H.265(1)	H.265(2)	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	JPEG(1)	JPEG(2)	JPEG(3)
解像度		—	—	1920×1080 1280×720	1920×1080 1280×720 640×360	1280×720 640×360	3840×2160	—	—
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	—	—	60fps 30fps	60fps 30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps	5fps 1fps	—	—
	システム周波数 50Hz	—	—	50fps 25fps	50fps 25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps	5fps 1fps	—	—
	システム周波数 29.97Hz	—	—	30fps	30fps 15fps 5fps	30fps 15fps 5fps	5fps 1fps	—	—
	システム周波数 25Hz	—	—	25fps	25fps 12.5fps 5fps	25fps 12.5fps 5fps	5fps 1fps	—	—
	システム周波数 24/23.98Hz	—	—	24fps	24fps	—	4fps 1fps	—	—

・「Streaming mode」が「NDI|HX」のとき

設定		NDI HX	JPEG(1)
解像度		1920×1080 1280×720	1280×720 640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	60fps 30fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	50fps 25fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	30fps	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	25fps	25fps 12.5fps 5fps 1fps

- 「Streaming mode」が「High Bandwidth NDI」のとき

設定		High Bandwidth NDI	JPEG(1)
解像度		—	1920×1080 1280×720 640×360
フレームレート	システム周波数 60Hz/ 59.94Hz	—	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 50Hz	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 29.97Hz	—	30fps 15fps 5fps 1fps
	システム周波数 25Hz	—	25fps 12.5fps 5fps 1fps
	システム周波数 24/23.98Hz	—	24fps 12fps 4fps 1fps

■ SMPTE ST2110仕様

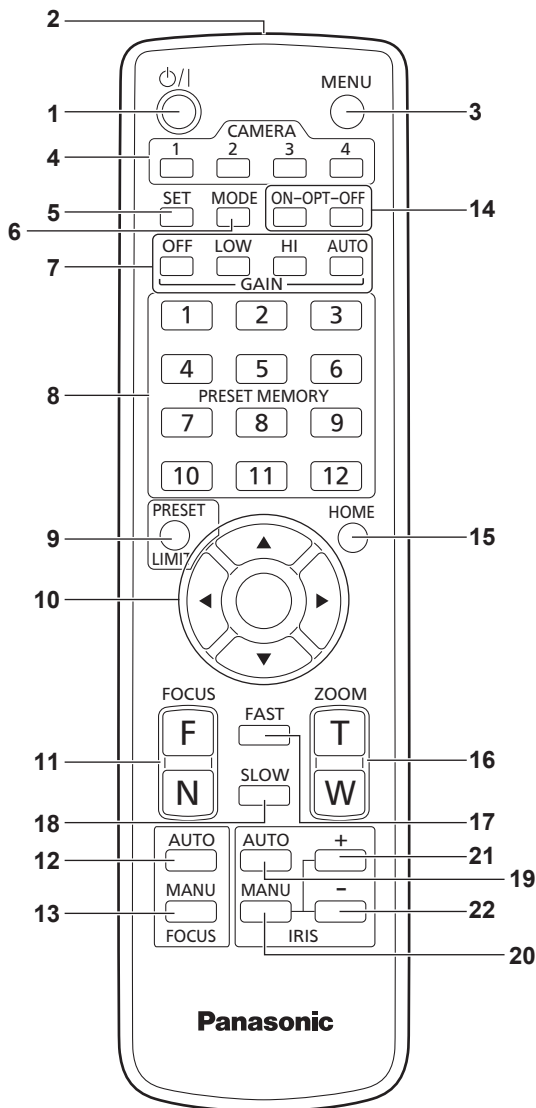
大項目		小項目	仕様
対応規格		SMPTE ST2110	SMPTE ST2110-10/-20/-21/-22/-30
		PTP	SMPTE ST2059-1/2
		NMOS	IS-04/IS-05
非圧縮	出力数 (TX)	映像	3本
		音声	2本
		補助データ	—
	入力数 (RX)	映像	1本
		音声	—
		補助データ	—
	出力仕様	映像フォーマット (MAIN)	1080/60p、1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/29.97p* ¹ 、1080/25p* ¹ 、1080/24p* ¹ 、1080/23.98p* ¹ 、720/59.94p、720/50p
		映像フォーマット (CROP)	1080/60p、1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/29.97p* ¹ 、1080/25p* ¹ 、1080/24p* ¹ 、1080/23.98p* ¹ 、720/59.94p、720/50p
		映像フォーマット (MONITOR)	1080/60p、1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/29.97p* ¹ 、1080/25p* ¹ 、1080/24p* ¹ 、1080/23.98p* ¹ 、720/59.94p、720/50p
		音声仕様 MIC1/2	PCM/48 kHz/24bit/1ch × 2
	入力仕様	映像フォーマット (RETURN)	1080/60p、1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/29.97p* ¹ 、1080/25p* ¹ 、1080/24p* ¹ 、1080/23.98p* ¹
		音声仕様 MIC1/2	—
JPEG XS (圧縮)	出力数 (TX)	映像	1本
		音声	2本
		補助データ	—
	入力数 (RX)	映像	1本
		音声	—
		補助データ	—
	出力仕様	映像フォーマット (MAIN)	2160/60p、2160/59.94p、2160/50p、2160/29.97p* ¹ 、2160/25p* ¹ 、2160/24p* ¹ 、2160/23.98p* ¹ 、1080/60p、1080/59.94p、1080/50p、1080/29.97p* ¹ 、1080/25p* ¹ 、1080/24p* ¹ 、1080/23.98p* ¹
		映像フォーマット (CROP)	1080/60p、1080/59.94p、1080/50p、1080/29.97p* ¹ 、1080/25p* ¹ 、1080/24p* ¹ 、1080/23.98p* ¹
		音声仕様 MIC1/2	PCM/48 kHz/24bit/1ch × 2
	入力仕様	映像フォーマット (RETURN)	1080/60p、1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/29.97p* ¹ 、1080/25p* ¹ 、1080/24p* ¹ 、1080/23.98p* ¹
		音声仕様 MIC1/2	—

*¹ Native出力

〈NOTE〉

- SMPTE ST2110の機能を有効にするには、別途オプションのソフトウェアキー(AW-SFU60)の購入が必要です。AW-SFU60のアクティベーションは、EasyIP Setup Tool Plusを使用して行います。アクティベーションの方法は、EasyIP Setup Tool Plusダウンロードページ掲載の操作説明書を参照してください。

ワイヤレスリモコン: AW-RM50AG (別売品)



1.ON/STANDBY ボタン< 〇/| >

2秒間押すごとに、本機の電源ONと待機状態(Standby)を切り替えます。

2.信号発信部

3.MENU ボタン<MENU>

2秒間押すごとに、本機のカメラメニューの表示とカメラメニューの終了を切り替えます。
カメラメニューを表示中に、このボタンを短く(約2秒未満)押すと、設定変更をキャンセルします。
また、このボタンとPRESET、LIMIT ボタン<PRESET/LIMIT>、パン・チルトボタン<▲> <▼> <◀> <▶>の操作で、パン・チルトの可動範囲の制限(リミッター)の設定と解除を行います。
詳しくは、「リミッターの設定と解除」(→205ページ)を参照してください。

4.CAMERA<1> ~ <4> ボタン

操作する本機を選択します。
一度選択すると、以後は選択した本機に対して操作が可能になります。

5.SET ボタン<SET>

ホワイトバランス調整で「AWB A」メモリまたは「AWB B」メモリを選択しているとき、このボタンを約2秒間押すと、ブラックバランスを自動調整して、選択中のメモリに登録します。
このボタンを約2秒未満で押すと、ホワイトバランスを自動調整します。

6.MODE ボタン<MODE>

本機から出力する映像信号を切り替えます。
このボタンを押すごとに、カラーバー信号とカメラ映像の信号が切り替わります。

<NOTE>

- [Audio]の設定が[On]の場合、カラーバーを表示しているときにテストサウンド(1 kHz)を出力します。外部機器の音量にご注意ください。

7.GAIN ボタン<OFF> <LOW> <HI> <AUTO>

ゲインを設定します。
<OFF>、<LOW>、<HI> ボタンで、ゲインアップを3段階で設定できます。
<LOW>は6 dB、<HI>は12 dBに設定されます。
また、<AUTO>ボタンを押すとAGC機能が動作し、光量によりゲインが自動で調整されます。
AGC機能の最大ゲインは、カメラメニューで設定できます。

8.PRESET MEMORY<1> ~ <12> ボタン

本機のプリセットメモリNo.1 ~ No.12に登録されている、本機の向きなどの情報を呼び出し、再現します。
ワイヤレスリモコンからプリセットメモリNo.13以上を呼び出すことはできません。

9.PRESET、LIMIT ボタン<PRESET/LIMIT>

プリセットメモリの登録やリミッターの設定・解除をします。
このボタンを押しながらPRESET MEMORY ボタンを押すと、現在の向きなどの情報を登録します。
PRESET MEMORY ボタンの<1> ~ <12>は、本機のプリセットメモリNo.1 ~ No.12に対応しています。
また、このボタンとMENU ボタン<MENU>、パン・チルトボタン<▲> <▼> <◀> <▶>の操作で、パン・チルトの可動範囲の制限(リミッター)の設定と解除を行います。
詳しくは、「リミッターの設定と解除」(→205ページ)を参照してください。

10.パン・チルトボタン/メニュー操作ボタン

<▲> <▼> <◀> <▶> <○>

- 1) 本機の向きを変えます。
<▲> <▼> ボタンで上下方向(チルト)、<◀> <▶> ボタンで左右方向(パン)に動きます。
このとき<○> ボタンは、機能しません。
<▲>または<▼> ボタンと、<◀>または<▶> ボタンを同時に押すと、斜め方向に動きます。
- 2) 本機がカメラメニューを表示しているときは、メニュー操作を行います。
<▲> <▼> (<◀> <▶>) ボタンで項目の選択を行います。
選択した項目にサブメニューがあるときは、<○> ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。
最下層の設定画面で、任意の項目にカーソルを合わせて<○> ボタンを押すと、選択した項目の設定値が点滅します。
<▲> <▼> (<◀> <▶>) ボタンで設定値の変更を行った後<○> ボタンを押すと、点滅が止まり設定が確定されます。
通常のメニュー項目は、点滅表示状態で設定値を変更すると、すぐに設定が反映されます。
また、点滅表示状態でMENU ボタン<MENU>を短く(約2秒未満)押すと、変更がキャンセルされ変更前の設定に戻ります。

<NOTE>

- 誤動作を防止するため、一部のメニュー項目([SCENE]、[FORMAT]、[FREQUENCY])では、点滅表示状態で設定値を変更しても、すぐには設定が反映されません。
<○> ボタンを押して点滅が止まり設定が確定された時点で反映されます。
- 一部のメニュー項目では、設定を確定する前に確認画面が表示されます。

11. FOCUS ボタン<F> <N>

レンズのフォーカスがマニュアル設定のとき、手でレンズのフォーカスを調整します。
<F> ボタンで遠く (Far) へ、<N> ボタンで近く (Near) へフォーカスを調整します。

12. FOCUS AUTO ボタン<FOCUS AUTO>

レンズのフォーカスを自動で調整するように設定します。

13. FOCUS MANU ボタン<FOCUS MANU>

レンズのフォーカスをマニュアルで調整するように設定します。
調整は、FOCUS ボタン (<F>、<N>) で行います。

14. OPT ボタン<ON> <OFF>

ナイトモードの ON/OFF を切り替えます。

<NOTE>

- ・ナイトモード時、映像出力は白黒となります。また、レンズ絞りは強制的に開放となります。
- ・ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。
- ・ナイトモードでは、ND フィルターの切り替えはできません。

15. HOME ボタン<HOME>

2秒間押すと、本機の向き（パン・チルト）を基準位置に戻します。

16. ZOOM ボタン<T> <W>

レンズのズームを調整します。
<T> ボタンで望遠 (Tele) へ、<W> ボタンで広角 (Wide) へレンズのズームを調整します。

17. FAST ボタン<FAST>

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、高速側に切り替えます。
短押しで通常の高速動作、長押しすると、速度をさらに高速に設定することができます。短押しで通常の高速動作に戻ります。

<NOTE>

- ・プリセットメモリーを呼び出したときのパン・チルトの動作速度は、カメラメニューの「PRESET SPEED」項目で変更できます。

18. SLOW ボタン<SLOW>

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、低速側に切り替えます。
短押しで通常の低速動作、長押しすると、速度をさらに低速に設定することができます。短押しで通常の低速動作に戻ります。

19. IRIS AUTO ボタン<IRIS AUTO>

レンズのアイリスを光量に合わせて自動で調整するように設定します。

20. IRIS MANU ボタン<IRIS MANU>

レンズのアイリスをマニュアルで調整するように設定します。
調整は、<IRIS +> ボタンと<IRIS -> ボタンで行います。

21. IRIS + ボタン<IRIS +>

レンズのアイリスを開く方へ調整します。

22. IRIS - ボタン<IRIS ->

レンズのアイリスを閉じる方へ調整します。

リモコンIDの設定

ワイヤレスリモコン（別売品）で、本機を最大4台まで操作することができます。
ワイヤレスリモコンのCAMERA<1>～<4>ボタンのどのボタンを押したときに、どの本機を選択するかを設定します。

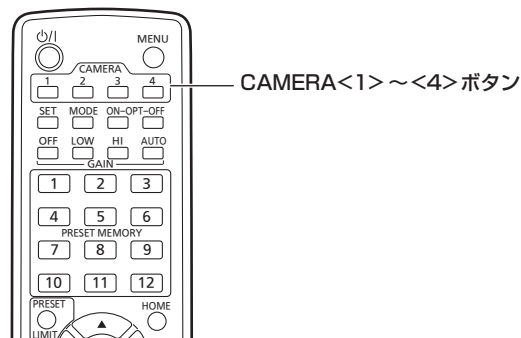
- ・ワイヤレスリモコンから複数の本機を使用する場合は、それぞれ異なるリモコンIDに設定してください。
- ・本機を1台で使用する場合は、特に変更の必要がなければ、リモコンIDを「CAM1」に設定してください。

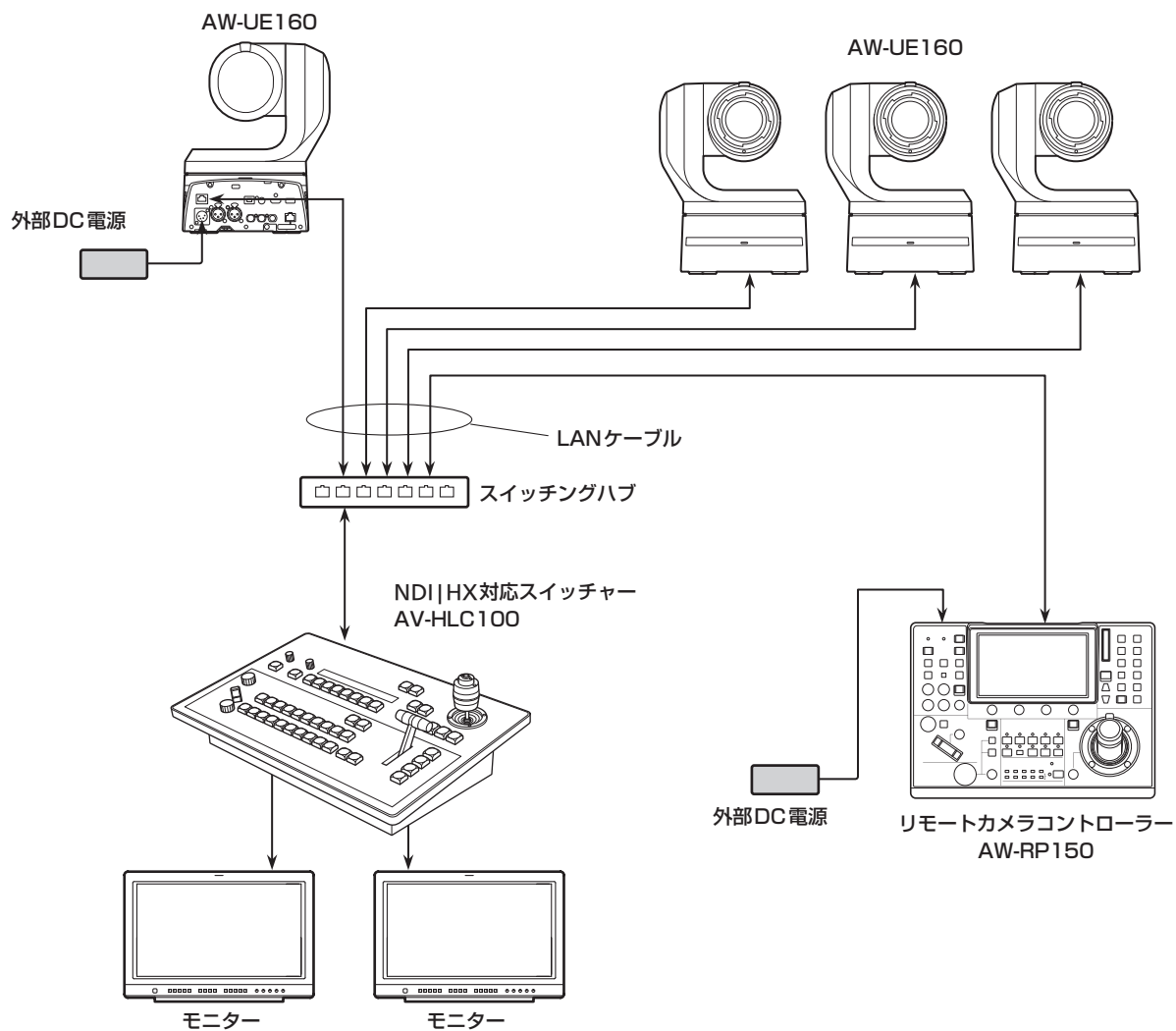
■ 設定方法

本機のOSDメニューの [MAINTENANCE] – [WIRELESS CONTROL] – [WIRELESS ID]にて、[CAM1]～[CAM4]を設定してください。

WIRELESS ID [CAM1、CAM2、CAM3、CAM4]

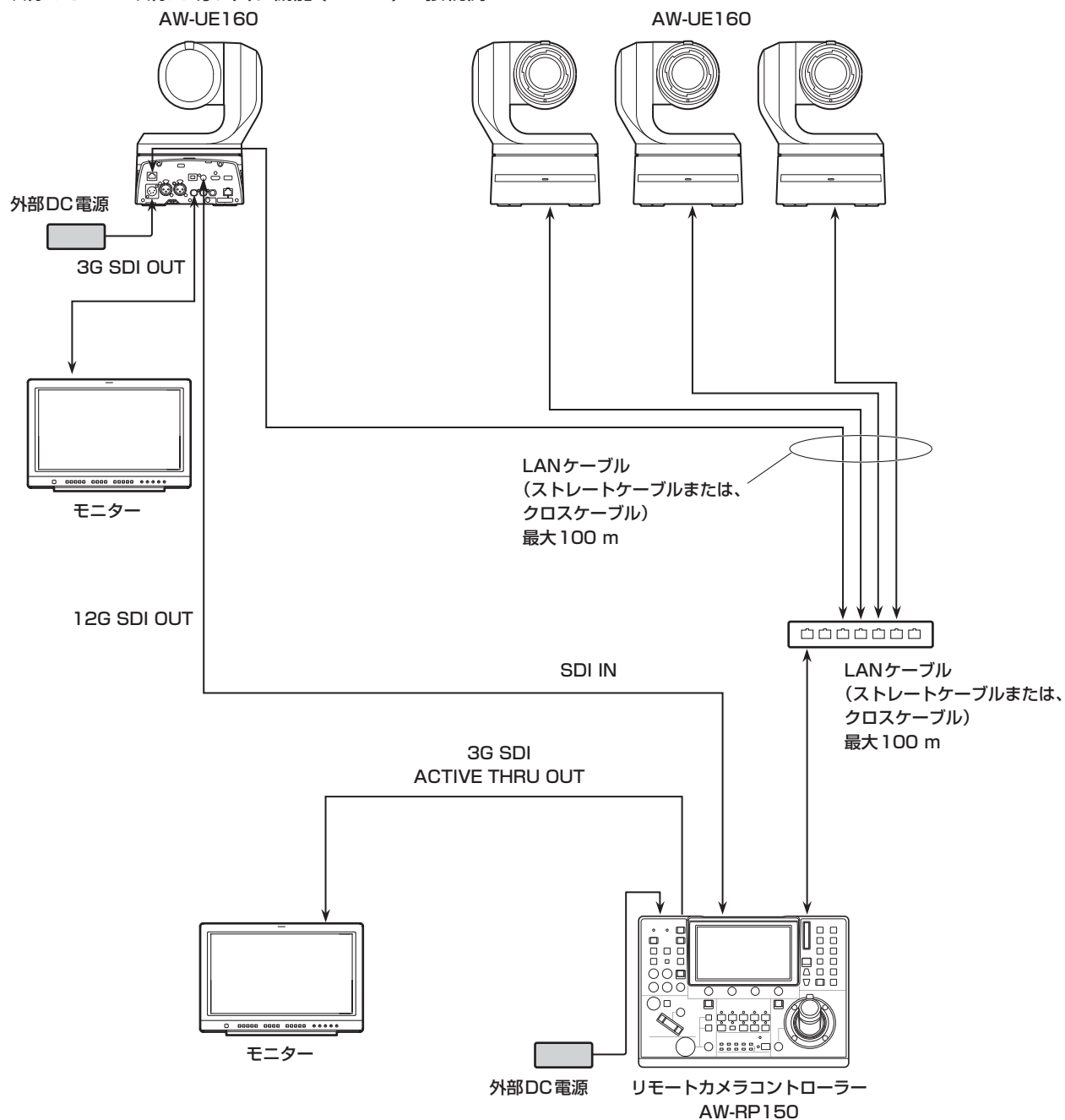
リモコンID (CAM1～CAM4) を設定します。
本設定の「CAM1」～「CAM4」がワイヤレスリモコンのCAMERA<1>～<4>ボタンに対応しています。
(出荷時は、「CAM1」に設定されています。)





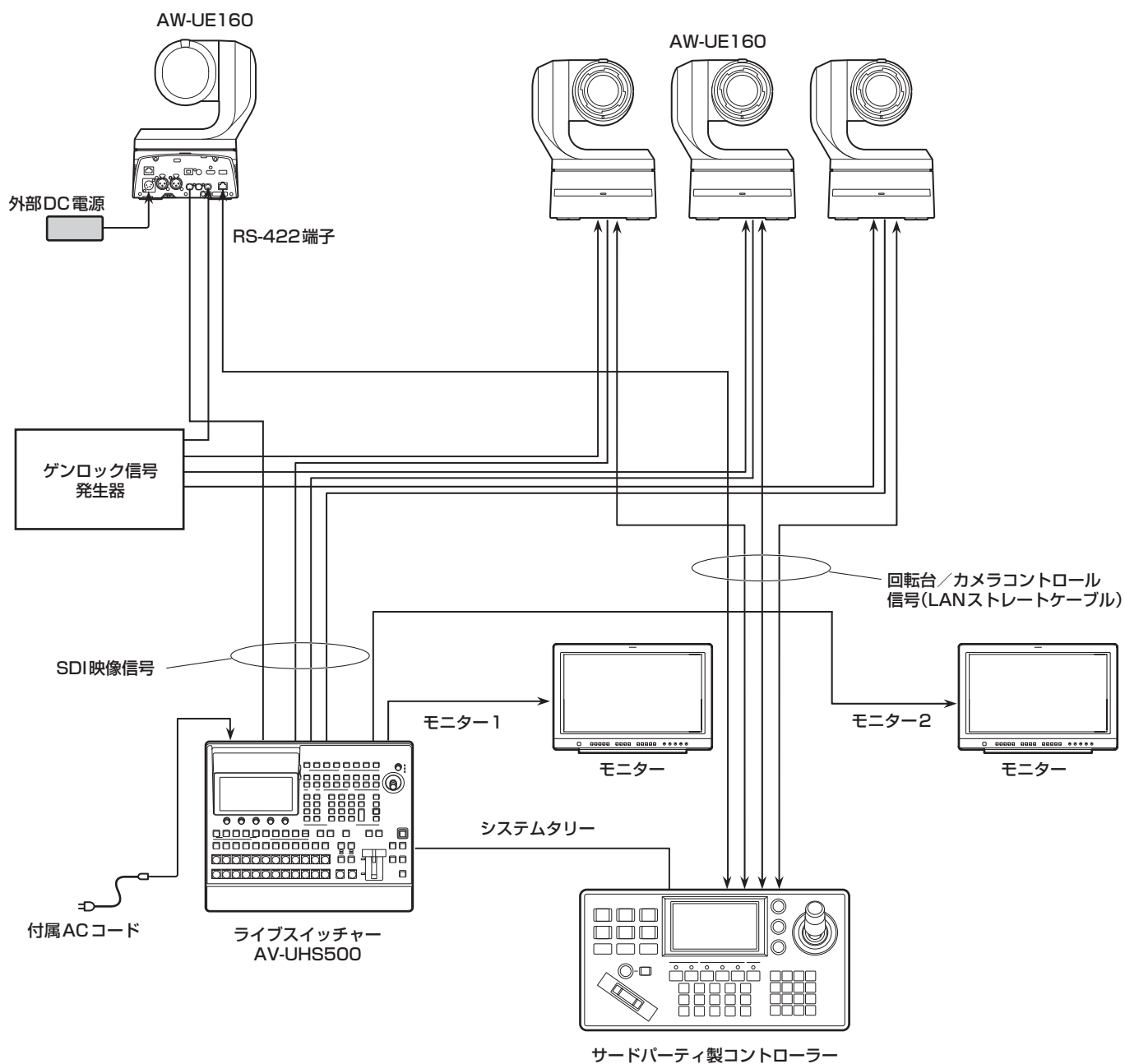
コントローラー (AW-RP150) との接続

■ 4K 映像から HD 映像を切り出す機能 (CROP) の接続例

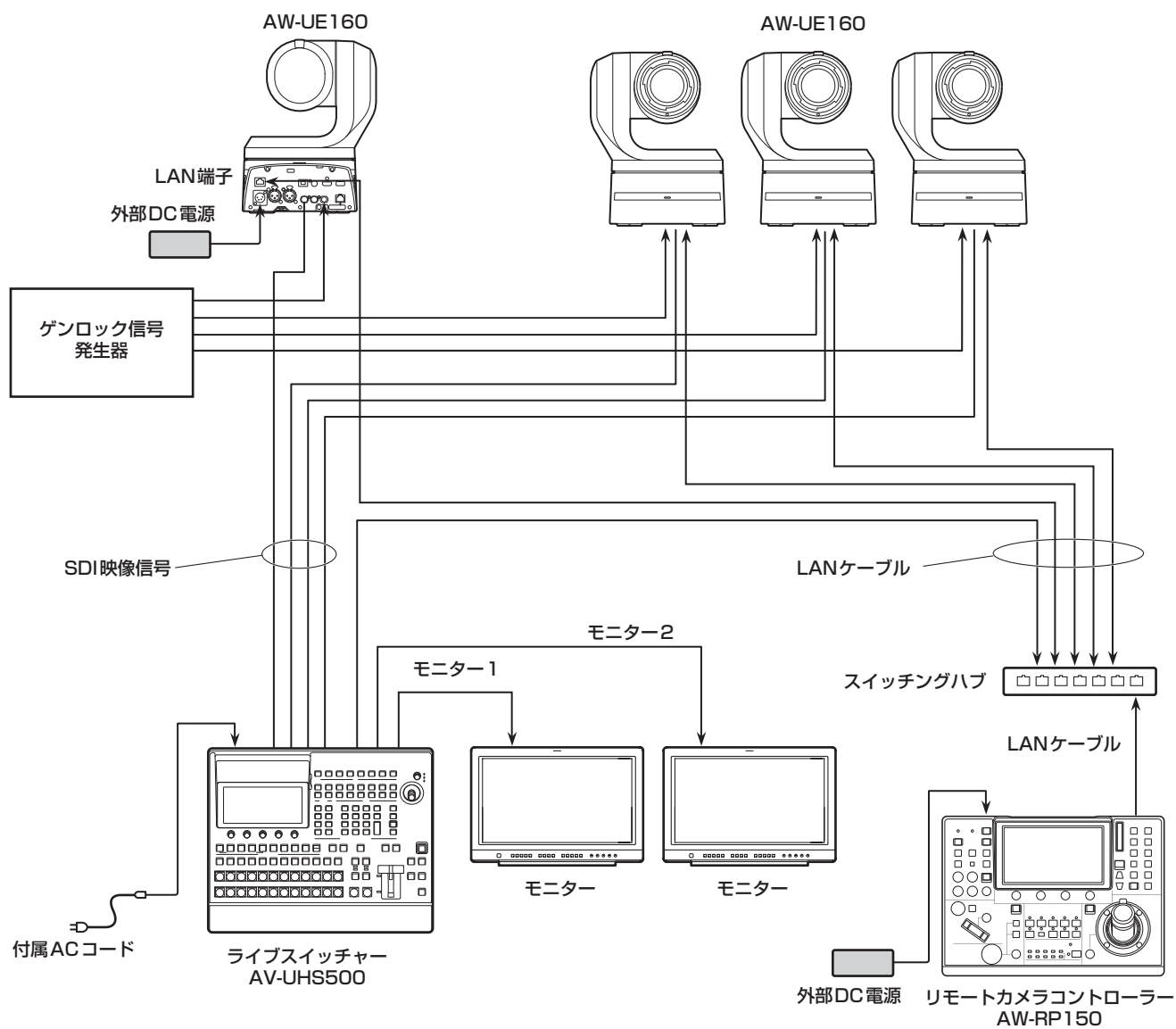


- LANケーブルは、カテゴリー 5eケーブルを使用してください。
- 12G SDI OUT と 3G SDI OUT を使用して Crop 操作、出力を行う場合は、4K 映像は HDMI 出力を使用してください。

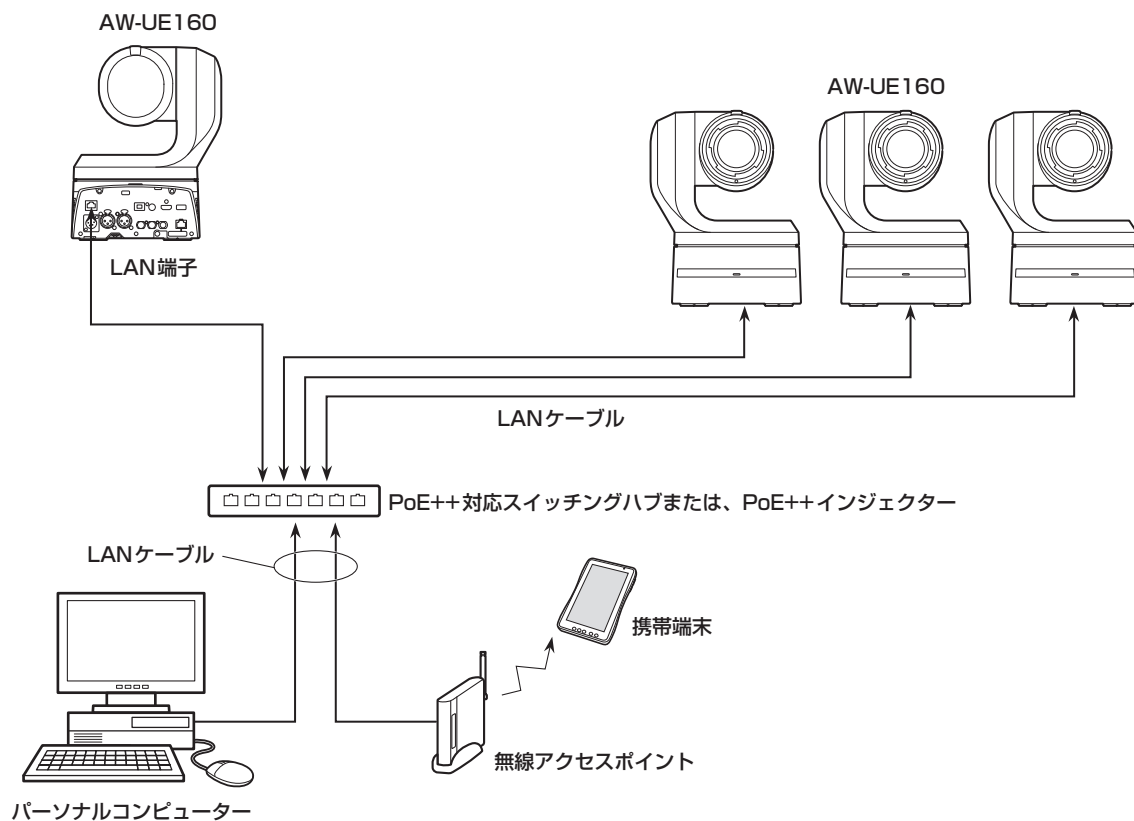
システム例 1 (シリアル制御)



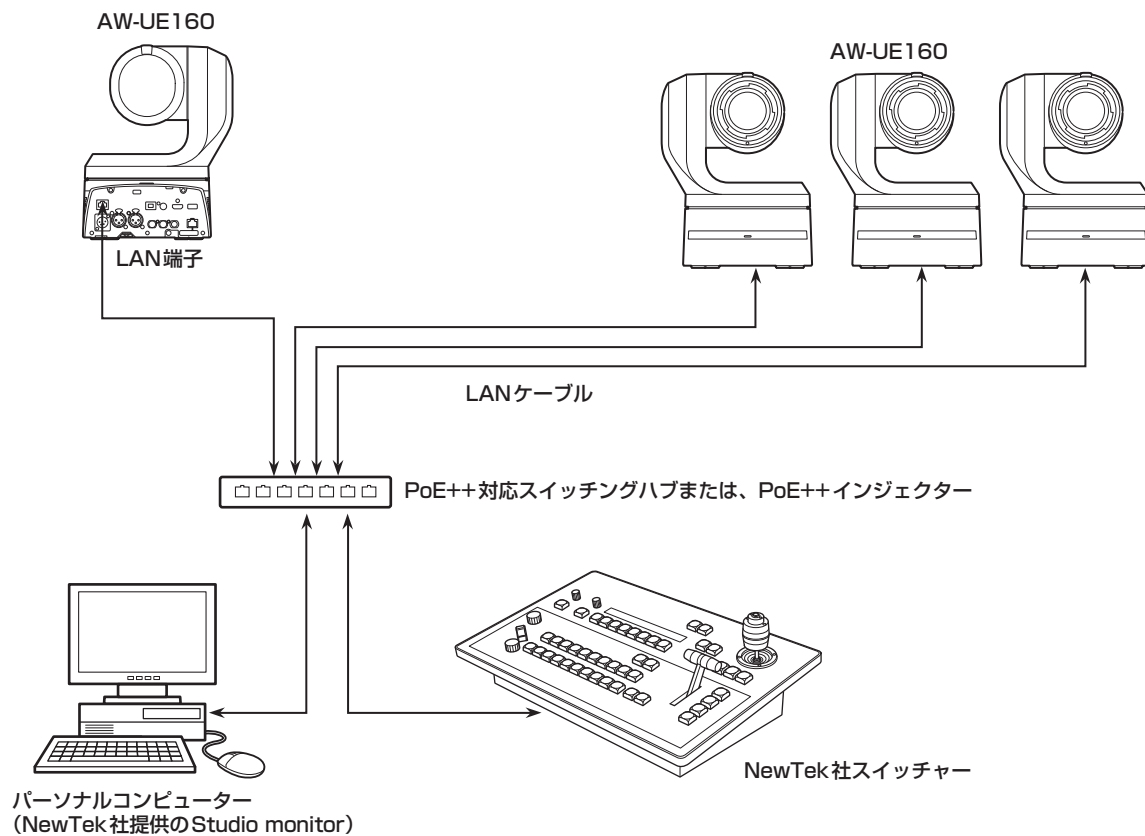
システム例2 (IP制御)



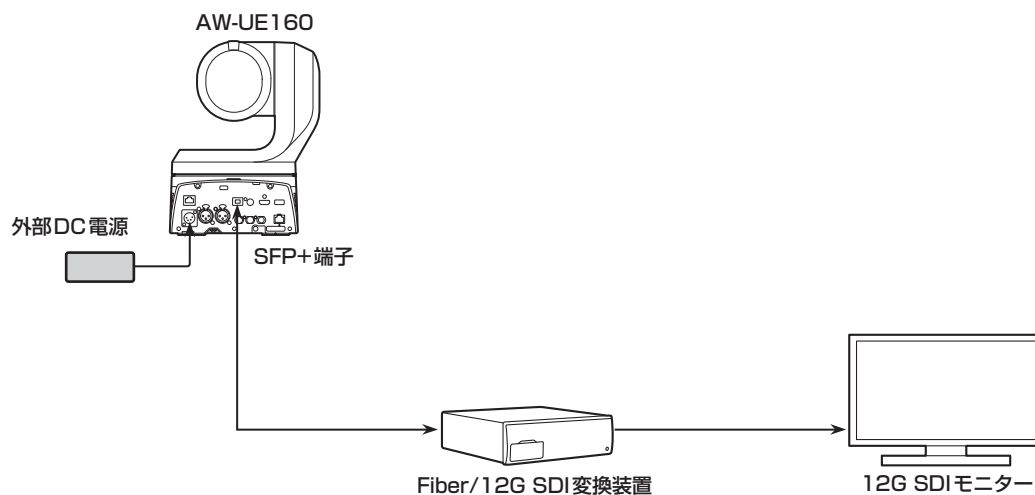
システム例3 (IP映像伝送、PoE++)



システム例4 (NDI)

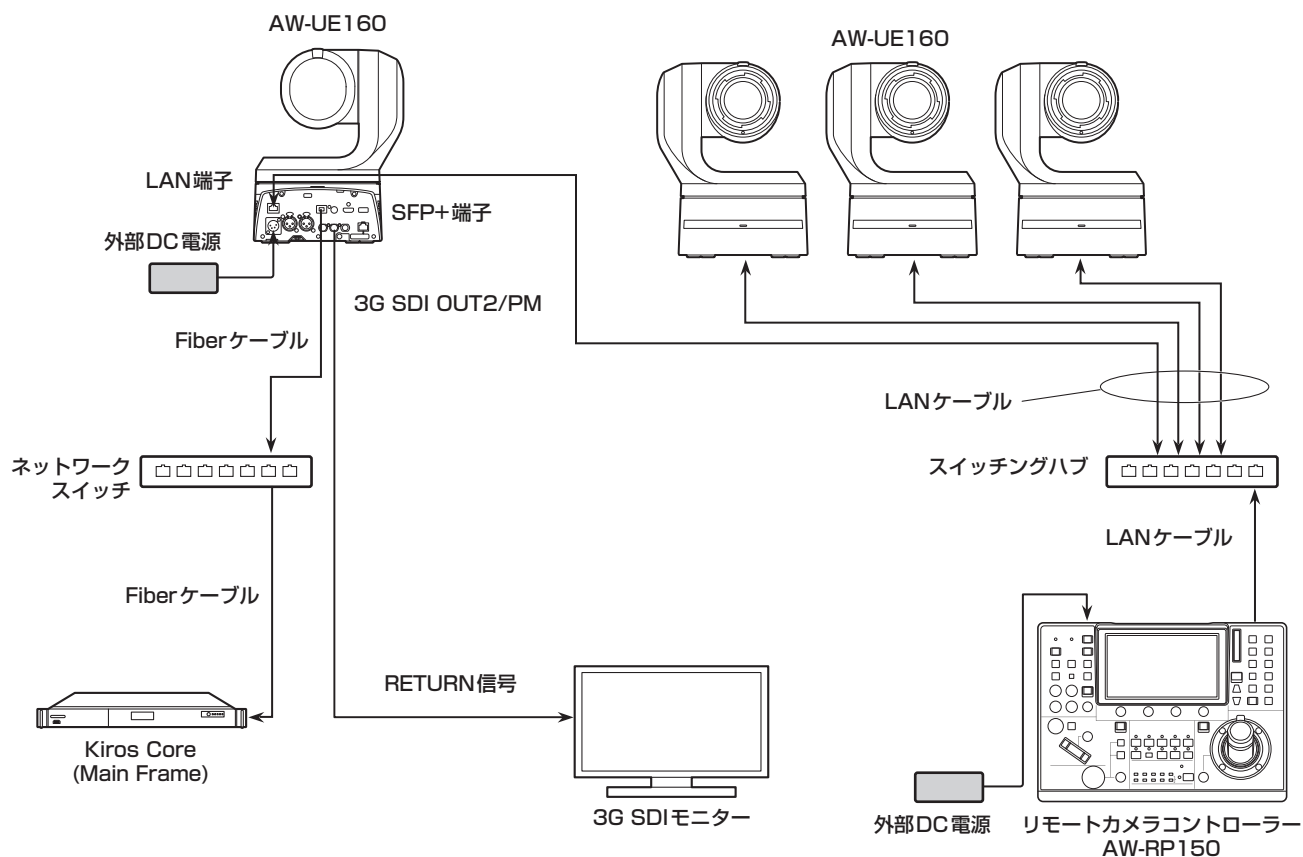


システム例5 (Fiber)



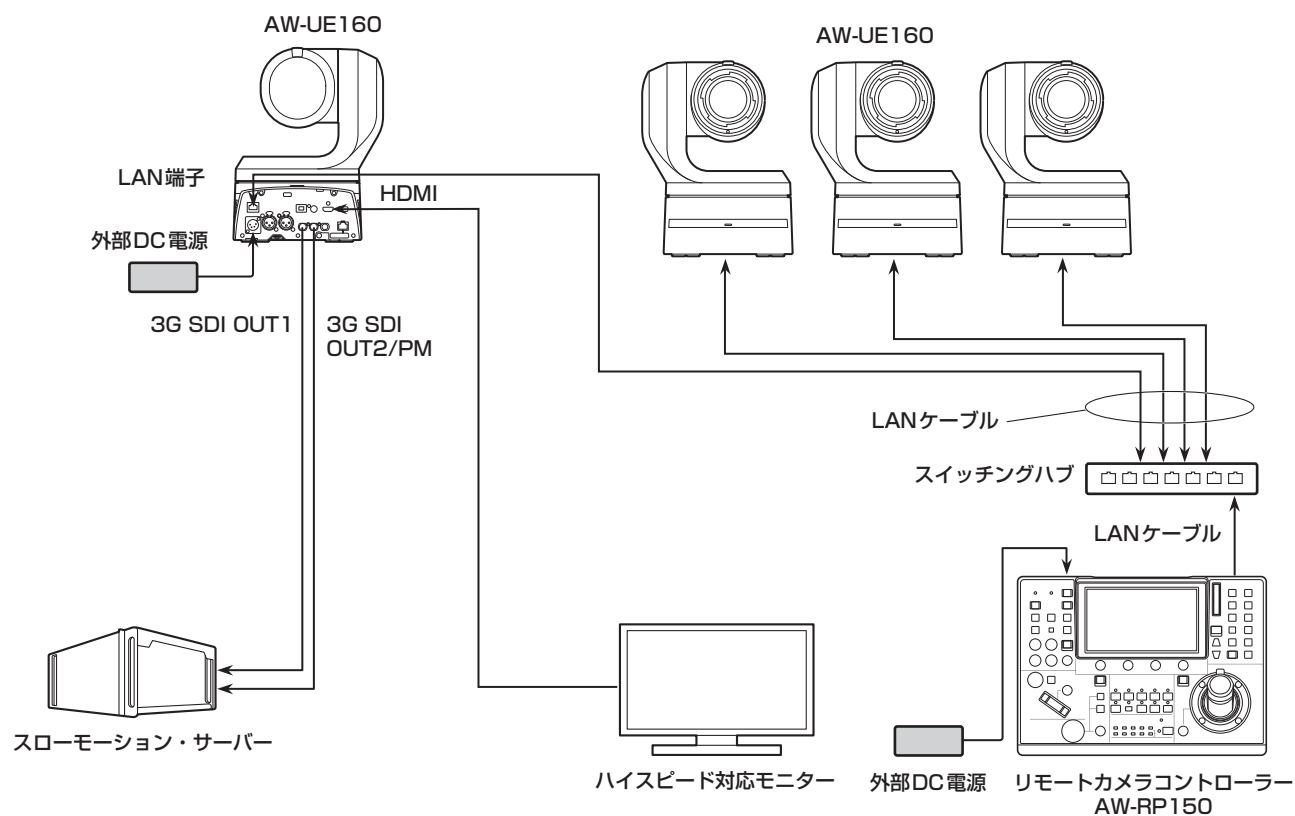
- 動作保証されている SFP+ 光トランシーバーを使用してください。詳しくは、当社 Web サイトをご覧ください。

システム例6 (SMPTE ST2110)

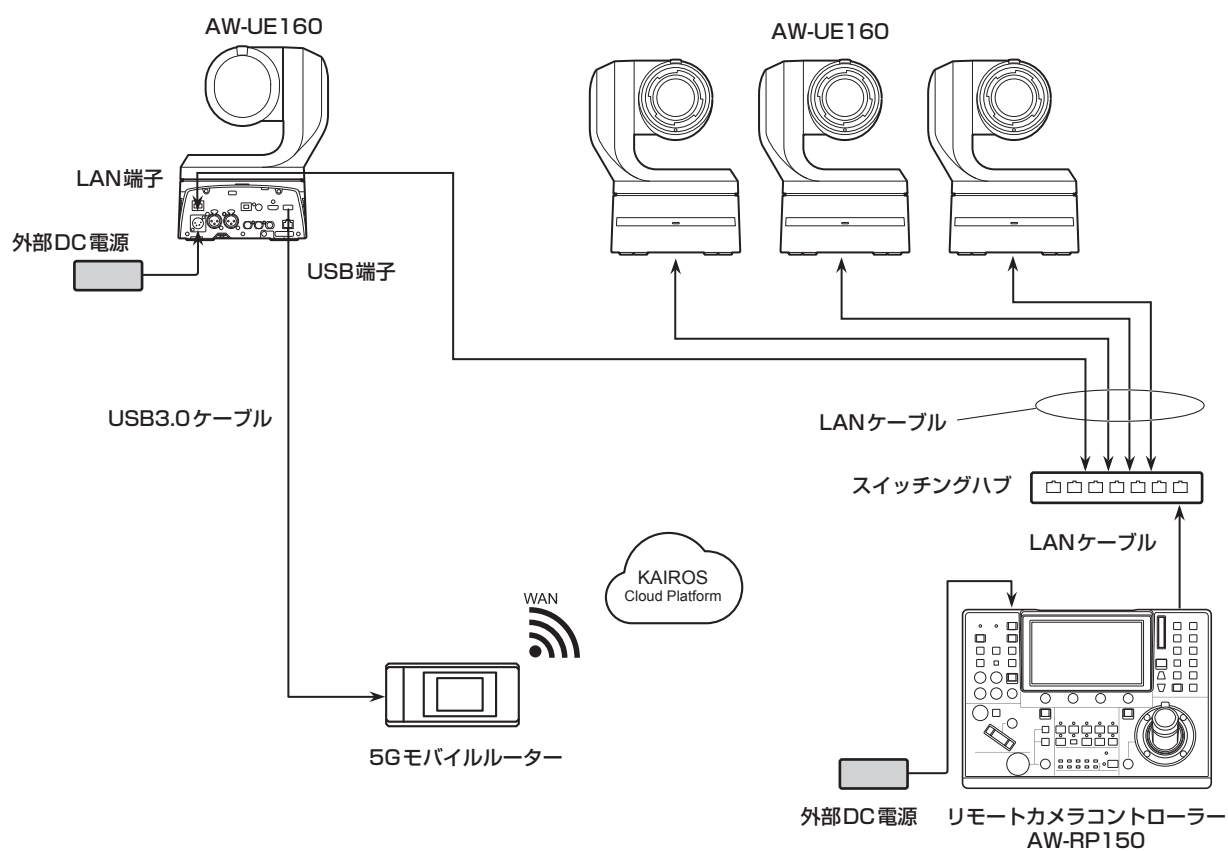


- 動作保証されている SFP+ 光トランシーバーを使用してください。詳しくは、当社 Web サイトをご覧ください。
- SMPTE ST2110 の機能を有効にするには、別途オプションのソフトウェアキー (AW-SFU60) の購入が必要です。AW-SFU60 のアクティベーションは、EasyIP Setup Tool Plus を使用して行います。アクティベーションの方法は、EasyIP Setup Tool Plus ダウンロードページ掲載の操作説明書を参照してください。

システム例 7 (High Frame Rate)



システム例 8 (USBデザリング)



• USBケーブルは、USB3.0規格に準拠したケーブルをご用意ください。また、1.5 m以内のケーブルのご使用をお勧めします。

ネットワークの設定を行う

EasyIP Setup Tool Plusを使用して本機の設定を行う

本機のネットワークに関する設定・カメラ映像表示・ファームウェアアップデートをEasyIP Setup Tool Plusを使って行うことができます。バージョンアップが可能なPTZカメラを判別し、ファームウェアのダウンロードからバージョンアップまでアプリがすべて行います。EasyIP Setup Tool Plusは以下のWebサイトからダウンロードして入手することができます。

日本語：

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

英語：

<https://pro-av.panasonic.net/en/>

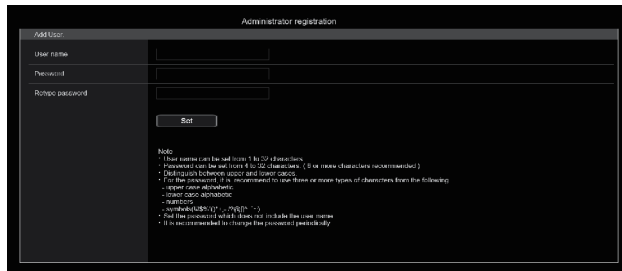
詳細はEasyIP Setup Tool PlusのHelpページで確認することができます。

初期アカウントを設定する

1. 初期アカウントを設定する

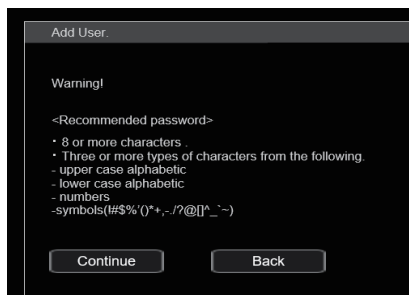
初期状態でWeb画面を表示する場合、初期アカウント設定画面が表示されます。

ユーザー名とパスワードを設定してください。（→109ページ）



〈NOTE〉

- 第三者に容易に推測されやすい文字列は設定しないでください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パスワードは下記4つの文字種類から少なくとも3つを含めて8文字以上で設定してください。
 - アルファベット大文字
 - アルファベット小文字
 - 数字
 - 特殊記号 (! \$ % ' () * + , - . / ? @ [] ^ _ ` ~)
- 上記ポリシーを守らないパスワードを設定する場合、設置環境などのセキュリティ上のリスクを十分考慮したうえ、使用者の責任のもと運用してください。
- 設定したパスワードが推奨設定ポリシーに反する場合は、警告が表示されます。パスワードを変更する場合は[Back]ボタンをクリックして再度パスワードを設定してください。
セキュリティリスクを理解の上、設定を継続する場合は[Continue]をクリックして設定を完了してください。
- 設定したアカウント情報を忘れた場合、サービススイッチの初期化用SWを使用してネットワーク接続用のユーザー情報をリセットしてください。（→16ページ）

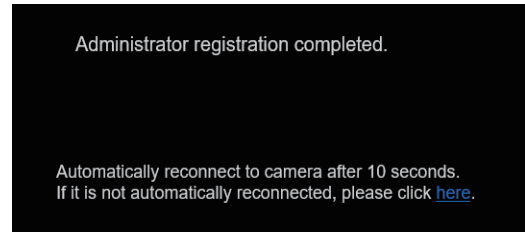


2. 初期アカウントの登録完了

初期アカウントの登録が完了後、以下のような登録完了画面が表示されます。

完了画面表示後10秒程度経過すると自動でライブ画面[Live]が表示されます。10秒以上経過してもライブ画面[Live]に移行しない場合は、"please click here"のリンクからライブ画面[Live]に手動で移動してください。

以上で初期アカウント登録操作は完了となります。

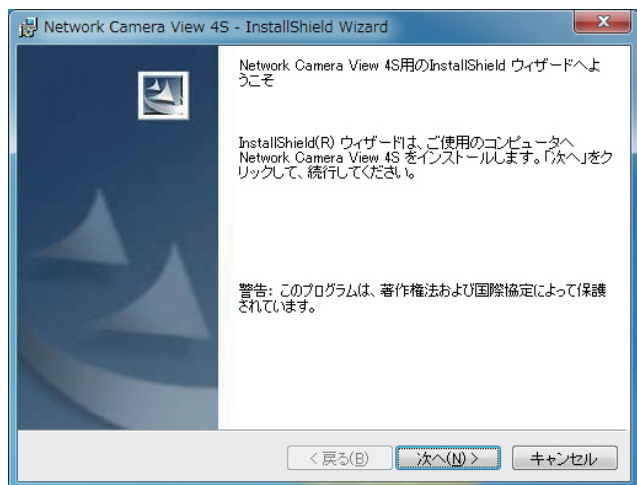


〈NOTE〉

- AW-RP150またはAW-RP60とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。
初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。

表示用プラグインソフトウェアをインストールする

本機のIP映像をMicrosoft Edge (IEモード) で表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」(ActiveX®) をインストールする必要があります。
表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールしてください。



〈NOTE〉

- お買い上げ時は、[Automatic installation of viewer software]が[On]に設定されており、本機から直接インストールすることができます。Webブラウザの情報バーにメッセージが表示される場合は、215ページを参照してください。
- 最初にパーソナルコンピュータからライブ画面[Live]を表示すると、表示用プラグインソフトウェア (ActiveX) のインストール画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。(Microsoft Edge (IE) モード使用時のみ)
- 表示用プラグインソフトウェア (ActiveX) のインストールが完了しても、画面を切り替えるたびにインストール画面が表示される場合は、パーソナルコンピュータを再起動してください。
- 表示用プラグインソフトウェアは、パーソナルコンピュータごとにライセンスが必要です。表示用プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、製品情報確認画面の[Product info.] (198ページ) で確認できます。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 表示用プラグインソフトウェアをアンインストールするには、Windows上で[コントロールパネル]→[プログラム]→[プログラムのアンインストール]を選択し、「Network Camera View 4S」を削除してください。

撮影の基本操作

1. 被写体の照度を適正にする

2. 各機器の電源を入れる

3. 操作する本機を選ぶ

本機を1台で使用する場合でも、必ずワイヤレスリモコンまたはコントローラーから本機を選択してください。

4. 撮影モードを選ぶ

撮影状況に合わせて、8種類(Scene1、Scene2、Scene3、Scene4、Scene5、Scene6、Scene7、Scene8)の撮影モードから選択できます。

各撮影モードはユーザーが設定します。

工場出荷時の設定については、92ページ～108ページを参照してください。

撮影条件、好みに応じて選択してください。

同じ撮影状況で使い続けるときは、再度選択する必要はありません。

5. 撮影する

(終わったら各機器の電源を切る)

〈NOTE〉

- ・初期設定では、一部の項目がオート設定となっており、マニュアル操作ができません。マニュアル操作を行いたい場合は、必要に応じてオート設定をマニュアル設定に切り替えてください。

すでに設定が変更されていて、元の設定に戻す場合は、「撮影の基本操作で困ったときは」(→47ページ)を参照してください。

電源の入れ方と切り方

電源の入れ方

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. 接続している機器すべての電源スイッチをONにする

- 本機には、電源スイッチがありません。
本機に電源が供給されると、状態表示ランプが橙色に点灯し、Standbyモードになります。

〈NOTE〉

- 工場出荷状態ではじめて電源を供給したときは、Power ONモードです。(状態表示ランプ: 緑色)
- Standbyモードで給電が絶たれたときは、次回、電源供給時はStandbyモードとなります。(状態表示ランプ: 橙色)
- Power ONモードで給電が絶たれたときは、次回、電源供給時はPower ONモードとなります。(状態表示ランプ: 緑色)

2. ワイヤレスリモコンのCAMERA<1>～<4> ボタンのいずれかを押して、本機を選ぶ

3. ワイヤレスリモコンの<⏏/|> ボタンを約2秒間押す

Power ONモードになり映像が出力され、コントロールが可能になります。

- このとき本機の状態表示ランプは、緑色に点灯します。

〈NOTE〉

- 初期設定動作は、1台につき最大30秒かかる場合があります。この間、本機の操作はできません。
(状態表示ランプ: 橙色)

4. 本機が複数台あるときは、必要に応じて手順2～3を繰り返す

本機の状態表示ランプは、リモコンIDが一致する信号を受信したときは緑色に点滅し、リモコンIDが異なる信号を受信したときは橙色に点滅します。

〈NOTE〉

- Standbyモード移行時：
現在のズーム、フォーカス、アイリス位置を記憶 (Power ONプリセット) します。
- Power ONモード移行時：
Standbyモード移行時に記憶 (Power ONプリセット) した位置にズーム、フォーカス、アイリスを合わせます。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

市販のコントローラーを接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

電源の切り方

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. ワイヤレスリモコンのCAMERA<1>～<4> ボタンのいずれかを押して、本機を選ぶ

2. ワイヤレスリモコンの<⏏/|> ボタンを約2秒間押す

Standbyモードになります。

- このとき本機の状態表示ランプは、橙色に点灯します。

3. 本機が複数台あるときは、必要に応じて手順1～2を繰り返す

4. 接続している機器すべての電源スイッチをOFFにする

- 本機には、電源スイッチがありません。

〈NOTE〉

- Standbyモード移行時：
現在のズーム、フォーカス、アイリス位置を記憶 (Power ONプリセット) します。
- Power ONモード移行時：
Standbyモード移行時に記憶 (Power ONプリセット) した位置にズーム、フォーカス、アイリスを合わせます。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

市販のコントローラーを接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

本機を選択

ワイヤレスリモコンまたはコントローラーから操作したい本機を選択してください。

本機を1台で使用する場合でも、必ず選択をしてください。

本機のOSDメニューの「WIRELESS ID」にて設定してください。

(32ページ)

ワイヤレスリモコンで操作する場合

ワイヤレスリモコン1台で、本機を最大4台まで操作することができます。

1. CAMERA<1>～<4> ボタンのいずれかを押す

本機の状態表示ランプは、リモコンIDが一致する信号を受信したときは緑色に点滅し、リモコンIDが異なる信号を受信したときは橙色に点滅します。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

- AW-RP150またはAW-RP60とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。(→41ページ)

初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。

- AW-RP150またはAW-RP60等のコントローラーをネットワーク接続してカメラ操作を行うと、[TRACKING DATA OUTPUT]の[SERIAL]または[IP]が[ON]のときに出力されるトラッキングデータが遅延したり、値が更新されない場合があります。(→80ページ)

撮影する

ワイヤレスリモコンで操作する場合

■ カメラの向きを変える

左右に動かす(パン)：

<◀>または<▶>ボタンを押す。

上下に動かす(チルト)：

<▲>または<▼>ボタンを押す。

斜めに動かす：

<▲>または<▼>ボタンと、<◀>または<▶>ボタンを同時に押す。

基準の位置に戻す：

<HOME> ボタンを約2秒間押す。

■ ズーム機能を使う

拡大(ズームイン)：

<ZOOM>の<T> ボタンを押す。

縮小(ズームアウト)：

<ZOOM>の<W> ボタンを押す。

■ パン・チルトやレンズの動作スピードを切り替える

高速にする：

<FAST> ボタンを押す。

長押しすると、さらに高速にすることができます。

短押しすると、通常(高速)に戻ります。

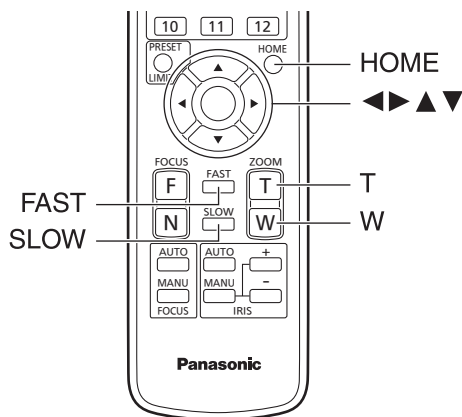
低速にする：

<SLOW> ボタンを押す。

長押しすると、さらに低速にすることができます。

短押しすると、通常(低速)に戻ります。

パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスの制御スピードが切り替わります。



コントローラーで操作する場合

■ カメラの向きを変える

左右に動かす(パン)：

<PAN/TILT>レバーをL方向またはR方向に傾ける。

上下に動かす(チルト)：

<PAN/TILT>レバーをUP方向またはDOWN方向に傾ける。

斜めに動かす：

<PAN/TILT>レバーを斜めに傾ける。

■ ズーム機能を使う

拡大(ズームイン)：

<ZOOM>レバーをTELE方向に傾ける。

縮小(ズームアウト)：

<ZOOM>レバーをWIDE方向に傾ける。

■ パン・チルトやレンズの動作スピードを切り替える

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

撮影の基本操作で困ったときは

下記で解決しないときは、「トラブルシューティング」(→207ページ)を参照してください。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

本機が動かない

- CAMERA<1>～<4> ボタンのいずれかを押し、操作したい本機を選択してください。
本機が1台のみの場合、通常はCAMERA<1>ボタンで選択できます。
- 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯している場合は、本機の電源が入っていません。
「電源の入れ方」(→44ページ)を参照して電源を入れてください。
- ワイヤレスリモコンを本機のワイヤレスリモコン信号受光部の近くで操作しても、本機の状態表示ランプが点滅しない場合は、ワイヤレスリモコンの電池が消耗しています。
電池を交換してください。

複数の色の帯(カラーバー)が表示される

<MODE> ボタンを押して、カメラ映像に切り替えてください。

メニュー画面が表示される

<MENU> ボタンを2秒間押し、カメラメニューを終了してください。

レンズフォーカスが自動的に合わない

<FOCUS AUTO> ボタンを押して、オートフォーカスに切り替えてください。

カメラ映像が明るすぎる、または、暗すぎる

- <IRIS AUTO> ボタンを押して、レンズのアイリス調整を自動に切り替えてください。
- <GAIN>の<AUTO> ボタンを押して、ゲイン調整を自動に切り替えてください。

カメラ映像の色合いがおかしい

「自動追尾式ホワイト調整(ATW)」(→52ページ)を参照して[ATW]に切り替えてください。

カメラメニューが表示されない

カメラ再起動後、約1分以内にカメラメニューを起動すると、全出力にメニューが表示されます。

コントローラーで操作する場合

本機が動かない

- 次の方法で、操作したい本機を選択してください。
AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合
詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。
- 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯している場合は、本機の電源が入っていません。
「電源の入れ方」(→44ページ)を参照して電源を入れてください。
- 本機のアカウント設定が正しく設定されていることを確認してください。(→110ページ)
- AW-RP150またはAW-RP60とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。(→41ページ)
初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。
- 当社製コントローラー(AW-RP150、AW-RP60)を使用する場合、ダイジェスト認証のときは[Wait time mode]を[Mode2]に設定してご利用ください。(→179ページ)
[Wait time mode]を[Mode1]に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。

複数の色の帯(カラーバー)が表示される

<BARS> ボタンを押して、カメラ映像に切り替えてください。

レンズフォーカスが自動的に合わない

<FOCUS>の<AUTO> ボタンを押して、オートフォーカスに切り替えてください。

カメラ映像が明るすぎる、または、暗すぎる

- <IRIS>の<AUTO> ボタンを押して、レンズのアイリス調整を自動に切り替えてください。
- <GAIN>の<AUTO> ボタンを押して、ゲイン調整を自動に切り替えてください。

カメラ映像の色合いがおかしい

「自動追尾式ホワイト調整(ATW)」(→52ページ)を参照して[ATW]に切り替えてください。

カメラメニューが表示されない

カメラ再起動後、約1分以内にカメラメニューを起動すると、全出力にメニューが表示されます。

より高度な使い方

マニュアル撮影(→49ページ)

- ・フォーカスのマニュアル調整
- ・アイリスのマニュアル調整
- ・シャッタースピードのマニュアル調整
- ・ゲインのマニュアル調整

プリセットメモリー(→50ページ)

- ・カメラの向き(パンとチルト)、ズーム、フォーカス、アイリス、ゲインアップ、ホワイトバランスを最大100件登録して、再生することができます。
- ・登録・再生できる件数は、操作に使用するワイヤレスリモコン(12件)やコントローラーの種類によって異なります。

ホワイトバランス調整(→51～52ページ)

- ・白を正確に表現するための調整です。画面全体の色調にも影響します。
- ・初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- ・照明条件、明るさが変わったときに必要です。
- ・一度調整すると、同条件で使うときは調整の必要はありません。
- ・ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。

ブラックバランス調整(→53ページ)

- ・黒を正確に再現するための調整です。画面全体の色調にも影響します。
- ・初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- ・周囲温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要です。
- ・一度調整すると、同条件で使うときは調整の必要はありません。

黒レベル(マスターペDESTAL)調整(→53ページ)

- ・複数のカメラの黒レベル(ペDESTALレベル)を合わせるときに調整します。

ゲンロック調整(→54ページ)

- ・複数のカメラを使用するときや、ほかの機器と組み合わせるなど、外部同期をかけて位相を合わせるための調整です。

マニュアル撮影

フォーカスのマニュアル調整

レンズのフォーカスをマニュアルで調整することができます。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1.<FOCUS MANU> ボタンを押して、フォーカスをマニュアル調整に切り替える

2.<FOCUS>の<F>または<N> ボタンを押して、フォーカスを調整する

<F> ボタンを押すと遠くへ (Far)、<N> ボタンを押すと近くへ (Near) フォーカスが移動します。
また、<FAST>/<SLOW> ボタンでフォーカスなどのスピードを高速または低速に切り替えることができます。

3.必要に応じてフォーカスを自動調整に戻すには、<FOCUS AUTO> ボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

<NOTE>

- フォーカスがマニュアル設定のとき、パン、チルト、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。本機はその補正機能を持ちます。(FOCUS ADJUST WITH PTZ.)
この機能を[OFF]に設定した場合は、ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。(→83ページ、127ページ)
- フォーカスモード (Manual/Auto) の切り替えを行うと、[TRACKING DATA OUTPUT]の[SERIAL]または[IP]が[ON]のときに出力されるトラッキングデータが遅延したり、値が更新されない場合があります。(→80ページ)

アイリスのマニュアル調整

レンズのアイリスをマニュアルで調整することができます。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1.<IRIS MANU> ボタンを押して、アイリスをマニュアル調整に切り替える

2.<IRIS +>または<IRIS -> ボタンを押して、アイリスを調整する

<IRIS +> ボタンを押すと開く方へ、<IRIS -> ボタンを押すと閉じる方へ動作します。
また、<FAST>/<SLOW> ボタンでアイリスなどのスピードを高速または低速に切り替えることができます。

3.必要に応じてアイリスを自動調整に戻すには、<IRIS AUTO> ボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

<NOTE>

- ナイトモードでは、盗撮防止のため、絞りは「開放」に設定されます。光源側で明るさを調整してください。
- アイリスモード (Manual/Auto) の切り替えを行うと、[TRACKING DATA OUTPUT]の[SERIAL]または[IP]が[ON]のときに出力されるトラッキングデータが遅延したり、値が更新されない場合があります。(→80ページ)

シャッタースピードのマニュアル調整

シャッタースピードは2種類の方法で設定することができます。ひとつは時間での指定方法(1/250秒など)、もうひとつは周波数での指定方法(シンクロスキャン、60.2 Hzなど)です。
テレビ画面やパーソナルコンピュータのモニターの画面を撮影するとき、画面の周波数に合わせてシンクロスキャンで調整すると、画面を撮影したときに発生する水平方向のノイズを最小限にできます。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

カメラメニューにて調整します。

詳しくは、[PAINT] – [SHUTTER SPEED] (→69ページ) を参照してください。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ゲインのマニュアル調整

ゲインの調整は、ワイヤレスリモコンやコントローラーのボタンなどで調整する方法と、カメラメニューまたはWeb設定画面[Setup]で調整する方法があります。カメラメニューとWeb設定画面[Setup]では、より細かな調整が可能です。
詳しくは、[PAINT] – [GAIN SETTING] (→67ページ) を参照してください。

<NOTE>

- ゲインを調整する際、光量が急激に変化する(映像出力にショックが出る)場合があります。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1.<GAIN>の<OFF> / <LOW> / <HI> ボタンのいずれかを押す

ゲインアップを3段階で切り替えできます。
<LOW> ボタンは6 dB、<HI> ボタンは12 dBとなります。

2.必要に応じてゲインを自動調整(AGC)に戻すには、<GAIN>の<AUTO> ボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

どの場合も、自動調整(AGC)の最大ゲインはカメラメニューまたはWeb設定画面[Setup]で設定できます。
[PAINT] – [GAIN SETTING] – [AGC MAX GAIN] (→77ページ) を参照してください。

プリセットメモリー

本機は、カメラの向き（パンとチルト）、ズーム、フォーカス、アイリス、ゲイン、ホワイトバランスを最大100件登録し、再生することができます。ただし、操作に使用するワイヤレスリモコンやコントローラーの種類によって、登録・再生できる件数は異なります。

- ・フォーカスとアイリスについて、動作モード（マニュアル／オート設定）は登録・再生しません。現在のフォーカス値、アイリス値を登録します。
- ・フォーカスとアイリスは、マニュアル設定のときに再生できます。
- ・ホワイトバランスは、選択されているWHITE BALANCE MODEの調整値が登録されます。AWB A、AWB Bを選択時にプリセット再生すると、プリセット登録時の調整値が再生されます。

〈NOTE〉

- ・登録時と再生時の環境温度が大きく異なると、プリセット位置にズレが生じる場合があります。
- ・ズレが生じた場合は、再登録をしてください。
- ・プリセット再生中にパン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスいずれかのマニュアル操作を行うと、パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスのプリセット動作を中断します。
- ・プリセット再生中に他のプリセット再生を呼び出した場合、再生中のプリセットを中断し、最後に呼び出したプリセット動作を行います。
- ・プリセットメモリーの再生中に、プリセットメモリーの再生を行う（最初のプリセットメモリー再生を中断して、次のプリセットメモリーの再生を実施する）と、[TRACKING DATA OUTPUT]の[SERIAL]または[IP]が[ON]のときに出力されるトラッキングデータが遅延したり、値が更新されない場合があります。（→80ページ）

ワイヤレスリモコンで操作する場合

ワイヤレスリモコンで登録・再生が可能な件数は12件（プリセットNo.1～12）です。

<1>～<12>のボタンは、本機のプリセットメモリーNo.1～No.12に対応しています。

■ プリセットメモリーの登録

1.撮影する映像をモニターに映す

パン・チルトボタンやズームボタンを操作して、カメラアングルを決めます。

必要に応じてフォーカス、アイリス、ゲイン、ホワイトバランスを調整してください。

2.<PRESET> ボタンを押しながら、登録したいプリセットメモリーNo.のボタンを押す

- ・登録済みのプリセットメモリーNo.を指定した場合は、以前の内容を消して新たに登録します。

■ プリセットメモリーの再生

1.プリセットメモリーが登録されているボタンを押す

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

登録・再生が可能な件数は100件です。

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ホワイトバランス調整

白を正確に再現するために、RGB三原色の比率を調整します。ホワイトバランスがずれていると、白の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

- 本機を初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 照明条件、明るさが変わったときに必要です。

調整は、コントローラーの<AWB>ボタンを押したときに自動調整する「AWB」(自動ホワイトバランス調整)か、常時調整し続ける「ATW」(自動追尾式ホワイト調整)のどちらかを選択できます。

AWBの調整結果は、ホワイトバランスに「AWB A」または「AWB B」を選択したとき、AとBの2か所のメモリーにセット(記憶)しておくことができます。

- 設定内容と同条件下で使用する場合は一度調整しておく、カメラメニューまたはWeb設定画面[Setup]で選択、またはコントローラーのボタンを押すだけで設定完了です。改めてセットする必要はありません。
- 新たにセットすると以前の内容は消去されます。
- ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。
- プリセット再生中は、ホワイトバランス調整はできません。

撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。

〈NOTE〉

- ホワイトバランス調整を行うと、[TRACKING DATA OUTPUT]の[SERIAL]または[IP]が[ON]のときに出力されるトラッキングデータが遅延したり、値が更新されない場合があります。(→80ページ)

自動調整 (AWB : AWB A/AWB B)

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. [PAINT] – [W/B BAL SETTING] – [WHITE BALANCE MODE]の値を「AWB A」または「AWB B」に設定する

2. 白い被写体(白壁や白いハンカチなど)を画面いっぱいに映す
• 光ったものや高輝度の被写体が入らないようにしてください。

3. <SET> ボタンを押す

自動ホワイトバランス調整 (AWB) を実行し、ホワイトバランスがセットされます。

- [MONITOR DISPLAY] – [STATUS INDICATOR] – [STATUS(AUTO)]が[ON]で、各出力端子 ([OUTPUT] – [12G SDI OUT/SFP+]など)の[OUTPUT ITEM]が[STATUS]になっている端子において、ホワイトバランスの調整が正常に終了すると、画面の中央に「AWB OK」と表示されます。



〈NOTE〉

- カラーバーを表示していると、調整できません。
<MODE> ボタンを押してカメラ映像に切り替えてください。
- プリセット再生中は、ホワイトバランス調整はできません。
- 調整に失敗すると、「OUT RANGE NG」、「HIGH LIGHT NG」、「LOW LIGHT NG」、「ATW NG」などのエラーメッセージが表示されます。
- OSDメニューの表示中は、[OUTPUT ITEM]が[STATUS]になっていなくても、AWB実行結果が表示されます。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

〈NOTE〉

- 被写体照度が不足している場合は、ホワイトバランスが正しく調整できないことがあります。
- ホワイトバランスをセットしたあとは、本機の電源を切っても内蔵のメモリーに長時間保持されています。被写体の色温度の状態がセットする前と変わらなければセットし直す必要はありませんが、設定条件が変わる場合(撮影場所が屋外から屋内に変わる、またはその逆など)はホワイトバランスをセットし直してください。

自動追尾式ホワイト調整（ATW）

ホワイトバランス調整を[ATW]に設定すると、常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動補正し、違和感のない映像にします。

[PAINT]－[W/B BALANCE SETTING]－[ATW]を[ON]に設定すると機能します。

〈NOTE〉

- ・高輝度（蛍光灯など）が画面に入った場合、ATWが正しく動作しないことがあります。
- ・画面上に白い被写体がない場合、ホワイトバランスがずれることがあります。
- ・太陽光と蛍光灯など、異なる種類の光源がある場合、ホワイトバランスがずれることがあります。

3200K・5600Kプリセット

ホワイトバランスに[3200K]または[5600K]を選択すると、それぞれ色温度3200 K（ハロゲンライト相当）、5600 K（デイトライト相当）でホワイトバランスがセットされた状態になります。

「ホワイトバランス調整」の「自動調整」の手順（→51 ページ）で、[AWB A]や[AWB B]の代わりに[3200K]または[5600K]を選択すると機能します。

VAR

ホワイトバランスに[VAR]を選択すると、色温度2000K～15000Kを選択することができます。

〈NOTE〉

- ・表示されている[VAR]の値は、絶対値を保証するものではありません。参考値としてご使用ください。

ブラックバランス調整

黒を正確に再現するために、RGB三原色のゼロレベルを調整します。ブラックバランスがずれていると、黒の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。ブラックバランスは、通常、調整し直す必要はありませんが、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。
- 周囲の温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要です。

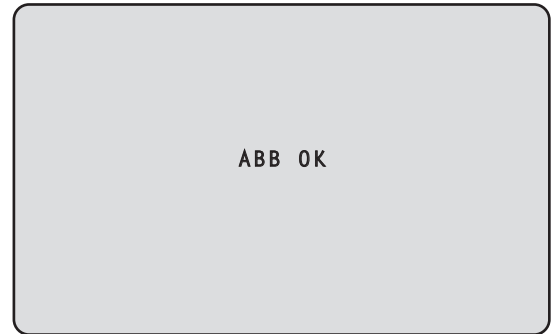
〈NOTE〉

- ブラックバランス調整を行うと、[TRACKING DATA OUTPUT]の[SERIAL]または[IP]が[ON]のときに出力されるトラッキングデータが遅延したり、値が更新されない場合があります。(→80ページ)

自動調整

ワイヤレスリモコンで操作する場合

- 「ホワイトバランス調整」の「自動調整」(→51ページ)の手順3で、<SET>ボタンを約2秒間押すと、自動ブラックバランス調整(ABB)を実行し、ブラックバランスがセットされます。このときレンズをクローズにして調整を行いますので、画面が一時黒くなります。
- ブラックバランスの調整が正常に終了すると、画面の中央に「ABB OK」と表示されます。



〈NOTE〉

- カラーバーを表示していると、調整できません。
<MODE>ボタンを押してカメラ映像に切り替えてください。
- プリセット再生中は、ブラックバランス調整はできません。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

黒レベル(マスターペDESTAL)調整

本機を含むカメラを複数台使用しているときに、黒レベルを合わせることができます。調整は販売店に依頼してください。
(調整はオシロスコープまたはウェーブフォームモニターを使用)
黒レベルの調整は、使用する機器に合わせてください。

ワイヤレスリモコンで操作する場合

1. <IRIS MANU> ボタンを押す

アイリスをマニュアルモードにします。

2. <IRIS -> ボタンを押す

レンズのアイリスを絞り込みます。

3. [PAINT] - [PEDESTAL] - [MASTER PEDESTAL] の値を調整し、黒レベルが同じになるように調整します。 [R PEDESTAL] / [G PEDESTAL] / [B PEDESTAL] などの設定により、微調整ができます。

コントローラーで操作する場合

AW-RP150またはAW-RP60を接続している場合

詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

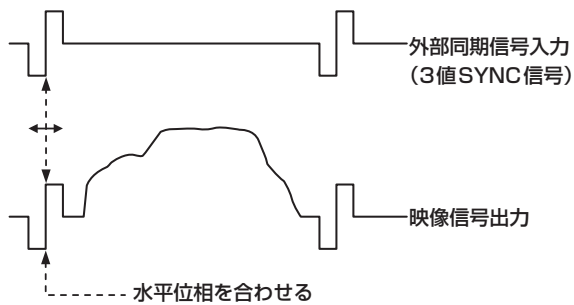
ゲンロック調整

本機を複数台使用するときや、ほかの機器と組み合わせるなど、外部同期をかけて位相を合わせるためには位相調整する必要があります。
本機はBBSおよび3値同期の外部同期信号に対応します。

[BASIC CONFIG] – [SYNC SIGNAL] – [REF SIGNAL]を[BBS/TRI-LEVEL SYNC]に設定することで、G/L端子からの外部同期信号との同期が可能となります。
調整は販売店に依頼してください。
(調整は2現象オシロスコープを使用)

水平位相調整

外部同期信号入力(3値SYNC信号)と映像信号出力の波形を2現象オシロスコープで観測し、水平位相が合うようにワイヤレスリモコンまたはコントローラーで調整します。



例) 3値SYNC位相調整の場合

[BASIC CONFIG] – [SYNC SIGNAL] – [GEN-LOCK] – [H PHASE-COARSE] および [H PHASE-FINE] の値を変更することで、水平位相を調整することができます。

カメラメニュー項目

トップメニュー画面

BASIC CONFIG

カメラの基本的な設定項目（システム設定項目）を設定します。

NETWORK

ネットワーク関連の基本設定項目を設定します。

OUTPUT

各出力端子の項目を設定します。

RETURN

リターン映像に関する項目を設定します。

AUDIO

音声関連の項目を設定します。

IP SIGNAL

IP関連の映像/音声出力に関する項目を設定します。

PAINT

カメラ映像に関する項目を設定します。

LENS

レンズ関連の項目を設定します。

MONITOR DISPLAY

ステータス表示/インジケータ表示などの項目を設定します。

TRACKING DATA OUTPUT

トラッキングデータ出力に関する項目を設定します。

CROP

CROP（切り出し）に関する項目を設定します。

PAN/TILT

PAN/TILT動作に関する項目を設定します。

PRESET

PRESET動作に関する項目を設定します。

FILES

SCENEファイル/USERファイルに関する項目を設定します。

MAINTENANCE

メンテナンスに関する項目を設定します。

〈NOTE〉

- IP映像配信時（H.264/H.265/M-JPEG）に、OSDメニュー操作が遅れる場合があります。[IP SIGNAL]－[IP(H.264/H.265)]－[CHAR]の設定を[OFF]にすることで、スムーズなOSDメニュー操作が可能となります。（→66ページ、133ページ）

BASIC CONFIG

FREQUENCY

[60Hz、59.94Hz、50Hz、24Hz、23.98Hz]

フレーム周波数を切り替えます。

- 周波数変更方法の詳細については、「周波数変更について」（→58ページ）を参照してください。

FORMAT

[60Hz]のとき

2160/60p、1080/60p

[59.94Hz]のとき

2160/59.94p、2160/29.97p、1080/119.88p、

1080/59.94p、1080/29.97p、720/59.94p

[50Hz]のとき

2160/50p、2160/25p、1080/100p、1080/50p、

1080/25p、720/50p

[24Hz]のとき

2160/24p、1080/24p

[23.98Hz]のとき

2160/23.98p、1080/23.98p

〈NOTE〉

- システムフォーマット変更時にストリーミングが停止します。
- フォーマット変更方法の詳細については、「フォーマット変更について」（→59ページ）を参照してください。

SFP+ MODE

[12G OUTPUT、ST2110、ST2110 JPEG XS]

SFP+端子の動作モードを設定します。

12G OUTPUT	12G SDI OUT端子から出力する映像と同等の映像信号を出力します。
ST2110	SMPTE ST2110（非圧縮）に準拠した映像/音声データを出力します。
ST2110 JPEG XS	SMPTE ST2110 JPEG XS（圧縮）に準拠した映像/音声データを出力します。

〈NOTE〉

- [SFP+ MODE]を変更すると、本機は自動的に再起動します。
- [12G OUTPUT]を選択しているときは、以下の各機能は利用できません。
 - SMPTE ST2110（非圧縮）およびJPEG XS（圧縮）映像/音声出力
 - SMPTE ST2110（非圧縮）およびJPEG XS（圧縮）映像入力（RETURN）（66ページ）
 - PTP同期（57ページ）
- [ST2110 JPEG XS]を選択しているときは、以下の各機能は利用できません。
 - BAR ID（57ページ）
 - WFM（WaveForm）（78ページ）
 - High bandwidth NDI（65ページ、144ページ）

V-LOG [OFF、ON]

V-LOGモードの設定をします。

OFF	カメラで詳細な画質調整を行う設定にします。
ON	幅広い階調と広いラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブに設定します。撮影後のグレーディング処理が必要です。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG]－[HDR]が[ON]のときは、設定できません。
- [BASIC CONFIG]－[V-LOG]が[ON]のときは、画質調整機能が制限されます。

カメラメニュー項目 (つづき)

V-LOG PAINT SW [OFF、ON]

[BASIC CONFIG] – [V-LOG] が [ON] のときに、[PAINT] メニューを設定可能にするかどうかを選択します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] – [V-LOG] が [OFF] のときは、設定できません。

HDR [OFF、ON]

HDR モードの有効/無効を設定します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] – [V-LOG] が [ON] のときは、設定できません。

GAMUT [NORMAL、WIDE_G2]

色域を設定します。

NORMAL	BT.709相当の色域です。
WIDE_G2	BT.2020相当の色域です。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] – [HDR] が [OFF] のときは、設定できません。

SHOOTING MODE [NORMAL、LOW LIGHT]

撮影環境に応じた撮影モードを選択します。

NORMAL	通常の明るさの環境で撮影するときに選択します。
LOW LIGHT	高感度撮影を選択します。(暗い環境での撮影に適しています)

〈NOTE〉

- [LOW LIGHT] 選択時に黒レベルの変動が起こる場合がありますが、カメラ性能には異常はありません。

SERIAL CONNECTION

BAUD RATE [9600bps、38400bps、115200bps]

RS-422 端子の通信速度 (ボーレート) を設定します。

〈NOTE〉

- [TRACKING DATA OUTPUT] – [SERIAL] が [ON] のときは、本項目は無効です。

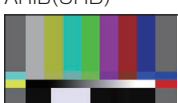
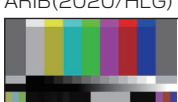
BAR [OFF、ON]

OFF	カメラ映像を出力します。
ON	カラーバーを出力します。

COLOR BAR TYPE

[TYPE1、TYPE2、TYPE3、TYPE4、TYPE5]

表示するカラーバーのタイプを選択します。

COLOR BAR TYPE		出力されるカラーバー	
		IP 配信系 (H.264/H.265/M-JPEG)	SDI/HDMI または SMPTE ST2110/ High bandwidth NDI
TYPE1	SMPTE 	TYPE1	SDI/HDMI または SMPTE ST2110/ High bandwidth NDI
			HD (720または1080)
			UHD (2160)
TYPE2	FULL 	TYPE2	SDI/HDMI
			TYPE2
			SMPTE ST2110/ High bandwidth NDI
			TYPE2
TYPE3	ARIB (FHD) 	TYPE1	SDI/HDMI
			TYPE3
			SMPTE ST2110/ High bandwidth NDI
			TYPE3
TYPE4	ARIB (UHD) 	TYPE1	SDI/HDMI
			TYPE3
			SMPTE ST2110/ High bandwidth NDI
			TYPE3
TYPE5	ARIB (2020/HLG) 	TYPE1	SDI/HDMI
			TYPE3
			SMPTE ST2110/ High bandwidth NDI
			TYPE3

〈NOTE〉

- [BAR] が [ON] のときは、HDR/GAMUT/V-LOG の各種設定画面のカラーバーは、[HDR] が [OFF]/[V-LOG] が [OFF] のカラーバーを出力します。
- IP 配信系 (H.264/H.265/M-JPEG) のカラーバーは、SMPTE 準拠しません。
- [TYPE4]/[TYPE5] では、BAR ID (→57ページ) は出力されません。
- [TYPE4] では、709 設定時も 2020 が出力されます。
- IP 配信系 (H.264/H.265/M-JPEG) では、TYPE3/TYPE4/TYPE5 は出力されません。
- SMPTE ST2110 および High bandwidth NDI では、TYPE4/TYPE5 は出力されません。

TONE [OFF、ON]

カラーバー映像のときに出力するテストトーン信号 (1 kHz) に関する設定を行います。

OFF	テストトーンを出力しません。
ON	テストトーンを出力します。

TALLY

TALLY [ENABLE、DISABLE]

タリーの制御信号によってタリーランプを点灯または消灯する機能の無効 [DISABLE]/有効 [ENABLE] を設定します。

TALLY BRIGHTNESS [LOW、MID、HIGH]

タリーLEDの光量を調整します。

TALLY GUARD [OFF、ON]

Rタリー信号の入力中に限り、以下の機能を抑止します。

- オートホワイトバランス、オートブラックバランスの動作
- OSDメニュー表示
- OSDステータス表示

TALLY LED LIMIT

タリー制御信号の色 (R/G/Y) ごとに、タリーランプの点灯を抑止するかどうかを設定します。

R [LIMIT、UNLIMIT]

G [LIMIT、UNLIMIT]

Y [LIMIT、UNLIMIT]

LIMIT	タリーランプの点灯を抑止します。
UNLIMIT	タリーランプを点灯させます。

〈NOTE〉

- ・ [TALLY LED LIMIT] で [LIMIT] を選択した場合、本機のタリーランプの点灯のみ抑止し、外部機器 (AW-RP150、AW-RP60 の盤面等) でのタリー状態表示は有効となります。

EXTERNAL OUTPUT

RS-422 端子の External Output の信号線 (Output1、Output2) から出力する信号の種類を選択します。(→ 17 ページ)

OUTPUT1

[OFF、R-TALLY、G-TALLY、Y-TALLY]

OUTPUT2

[OFF、R-TALLY、G-TALLY、Y-TALLY]

OFF	信号を出力しません。
R-TALLY	赤タリー信号受信状態を出力します。
G-TALLY	緑タリー信号受信状態を出力します。
Y-TALLY	黄タリー信号受信状態を出力します。

TSL5.0

TSL プロトコルバージョン 5.0 に関する設定を行います。

TSL5.0 機能では、TSL5.0 プロトコルに対応した機器から本機のタリーを制御するために必要な情報を設定します。

INDEX NO. [1～65534]

TSL5.0 制御機器に設定されている INDEX と本機の Index number を合わせることで、個別に本機のタリーを制御することができます。

PORT [1～65535]

TSL5.0 プロトコルによる制御を受け付けるポート番号を設定します。

SYNC SIGNAL

映像/音声出力信号の同期をとるための設定を行います。

REF SIGNAL [BBS/TRI-LEVEL SYNC、PTP]

BBS/TRI-LEVEL SYNC	G/L 端子からの SDI 基準信号で同期をとります。
PTP	SFP+ 端子からの PTP により同期をとります。

〈NOTE〉

- ・ SMPTE ST2110 ソフトウェアキー (AW-SFU60) が無効なときは、[PTP] は選択できません。
- ・ [BASIC CONFIG] - [SFP+ MODE] が [12G OUTPUT] のときは、[PTP] は選択できません。
- ・ [IP SIGNAL] - [ST2110] - [MOIP MODE] が [OFF] のときは、[PTP] は選択できません。
- ・ [SFP+ MODE] が [ST2110 JPEG XS] のとき、ST2110 JPEG XS (圧縮) 映像の出力タイミングは、基準信号 (BBS/TRI-LEVEL SYNC または PTP) に対して約 12 ライン遅れて出力されます。

GEN-LOCK

位相調整を行います。

H PHASE-COURSE [-5～5]

ゲンロック時の水平位相の粗調整を行います。

H PHASE-FINE [-100～100]

ゲンロック時の水平位相の微調整を行います。

〈NOTE〉

- ・ [BASIC CONFIG] - [SYNC SIGNAL] - [REF SIGNAL] が [PTP] のときは、設定できません。

BAR ID

BAR ID [OFF、ON]

カラーバー上の ID 表示の OFF/ON を選択します。

BRIGHTNESS [0～100%]

カラーバー上のカメラ ID の文字色を設定します。

ID1 POSITION V [0～5]

カラーバー上のカメラ ID1 の表示開始位置 (V 方向：行番号) をフォント単位で指定します。

ID1 POSITION H [0～15]

カラーバー上のカメラ ID1 の表示開始位置 (H 方向：列番号) をフォント単位で指定します。

ID1

[BAR ID]の文字列を設定します。

最大16文字

(半角英数字、空白、!#%&'()*+,-./:;<=>?[]_~\$@|)

ID2 POSITION V [0~5]

カラーバー上のカメラID2の表示開始位置（V方向：行番号）をフォント単位で指定します。

ID2 POSITION H [0~15]

カラーバー上のカメラID2の表示開始位置（H方向：列番号）をフォント単位で指定します。

ID2

[BAR ID]の文字列を設定します。

最大16文字

(半角英数字、空白、!#%&'()*+,-./:;<=>?[]_~\$@|)

OFFSET V [0~89]

[BAR ID]の表示位置（フォント内の画素オフセット位置：V方向）を微調整します。

OFFSET H [0~79]

[BAR ID]の表示位置（フォント内の画素オフセット位置：H方向）を微調整します。

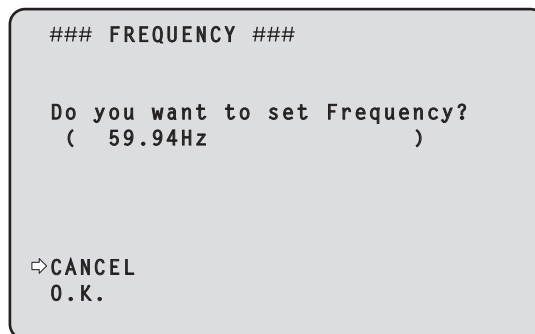
〈NOTE〉

- BAR IDは、SDI、HDMI、SMPTE ST2110、High bandwidth NDIの各出力にのみ表示し、IP配信（H.264/H.265/M-JPEG）には表示されません。
- [SFP+ MODE]が[ST2110 JPEG XS]のときは、BAR IDは無効となります。

■ 周波数変更について

[FREQUENCY]で、周波数を現在選択中のものから変更すると、Frequency切り替え前確認画面を表示します。

Frequency切り替え前確認画面



- 画面中の（ ）内には、設定対象の周波数が表示されます。
- Frequency切り替え前確認画面で[O.K.]にカーソルを合わせて決定すると、周波数が変更されます。

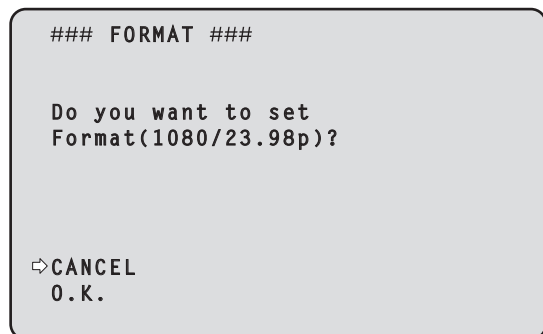
〈NOTE〉

- 60Hz/59.94Hz/50Hz/24Hz/23.98Hzの各周波数に対応していないモニターを使用している場合、周波数変更後に映像が出なくなってしまう場合があります。周波数を変更する前に、モニターが変更後の周波数に対応しているかどうかを確認してください。
- Frequencyを変更すると、本機は再起動します。

■ フォーマット変更について

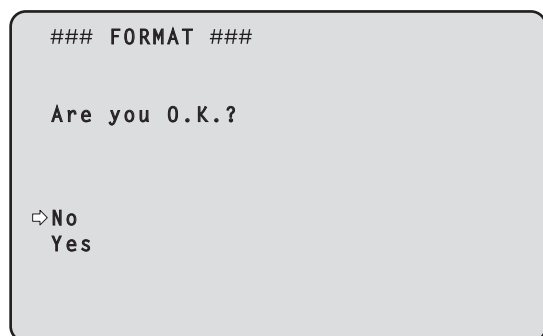
[FORMAT]で、フォーマットを現在選択中のものから変更すると、Format切り替え前確認画面を表示します。

Format切り替え前確認画面



- 画面中の()内には設定対象のフォーマットが表示されます。
- Format切り替え前確認画面で、[O.K.]にカーソルを合わせて決定すると、Format切り替え後確認画面が表示されます。

Format切り替え後確認画面



- [Yes]にカーソルを合わせて決定すると、切り替え後のフォーマットで[FORMAT]選択画面に戻ります。
- [No]にカーソルを合わせて決定すると、切り替え前のフォーマットに再度変更した後に、[FORMAT]選択画面に戻ります。30秒以上操作しなかった場合も同様です。
- Formatを変更すると、IP映像配信は停止します。
- Formatを変更すると、各出力端子(12G SDI OUT、3G SDI OUT、HDMI)のFormatは、所定の値にリセットされます。

NETWORK

LAN

LAN端子に関する各種設定を行います。

DHCP [OFF、ON]

DHCPのOFF/ONを設定します。

IP ADDRESS

本機のIPアドレスを設定します。

[SET EXECUTE]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

SUBNET MASK

本機のサブネットマスクを設定します。

[SET EXECUTE]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

DEFAULT GATEWAY

本機のデフォルトゲートウェイを設定します。

[SET EXECUTE]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

MAC ADDRESS

本機のMACアドレスが表示されます。

SFP+

SFP+端子に関する各種設定を行います。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG]－[SFP+ MODE]が[12G OUTPUT]のときは、設定できません。

DHCP [OFF、ON]

DHCPのOFF/ONを設定します。

IP ADDRESS

本機のIPアドレスを設定します。

[SET EXECUTE]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

SUBNET MASK

本機のサブネットマスクを設定します。

[SET EXECUTE]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

DEFAULT GATEWAY

本機のデフォルトゲートウェイを設定します。

[SET EXECUTE]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

MAC ADDRESS

本機のMAC アドレスが表示されます。

USB

USB端子に関する各種設定を行います。

DHCP [OFF、ON]

DHCPのOFF/ONを設定します。

IP ADDRESS

本機のIPアドレスを設定します。

[SET EXECUTE]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

SUBNET MASK

本機のサブネットマスクを設定します。

[SET EXECUTE]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

DEFAULT GATEWAY

本機のデフォルトゲートウェイを設定します。

[SET EXECUTE]を実施したときに、設定した値が本機に適用されます。

COMMON SETTING

DNS [MANUAL、AUTO]

DNSサーバーのアドレス、ドメイン名を自動[AUTO]で取得するか、手動[MANUAL]で入力するかを設定します。

[MANUAL]に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。DHCP機能を使用する場合は、[AUTO]に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

PRIMARY

SECONDARY

DOMAIN

DNSサーバーのIPアドレス/ドメイン名を表示します。

OSDメニューでは設定変更できないため、設定変更する場合はWeb画面から設定してください。

HTTP PORT [1～65535]

ポート番号を個別に割り当てます。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

HTTPS PORT [1～65535]

ポート番号を個別に割り当てます。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

OUTPUT

12G SDI OUT/SFP+

12G SDI OUT/SFP+端子の出力設定を行います。

FORMAT SELECT

出力フォーマットを設定します。

[BASIC CONFIG]の[FORMAT]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (12G SDI OUT/SFP+)
60Hz	2160/60p	2160/60p 1080/60p
	1080/60p	1080/60p
59.94Hz	2160/59.94p	2160/59.94p 1080/59.94p ^{*1}
	2160/29.97p	2160/29.97p 1080/29.97p
	1080/119.88p	1080/59.94p ^{*3}
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/50p	2160/50p 1080/50p ^{*2}
	2160/25p	2160/25p 1080/25p
	1080/100p	1080/50p ^{*3}
	1080/50p	1080/50p 1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	2160/24p 1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	2160/23.98p 1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p

^{*1} [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/59.94pとなります。

^{*2} [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/50pとなります。

^{*3} 119.88p(または100p)に対して、フレームレートを1/2(59.94p(または50p))に間引いた「第1フレーム」を出力します。

HDR OUTPUT SELECT

[SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]

[HDR]が[ON]のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR出力(BT.709相当の色域)信号を選択します。
HDR(2020)	HDR出力(BT.2020相当の色域)信号を選択します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG]－[HDR]が[OFF]のときは、設定できません。
- [HDR(2020)]は、[BASIC CONFIG]－[GAMUT]が[WIDE_G2]のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709]

[V-LOG]が[ON]のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い階調とラティチュード(露光範囲)が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG]－[V-LOG]が[OFF]のときは、設定できません。

OUTPUT ITEM [MENU ONLY、STATUS]

出力映像の重畳する、OSDの種類を選択します。

MENU ONLY	OSDメニューのみを表示します。
STATUS	OSDメニューおよびOSDステータスを表示します。

CHAR [OFF、ON]

OSDを重畳させるかどうかを設定します。

3G SDI [LEVEL-A、LEVEL-B]

[FORMAT SELECT] (12G SDI OUT/SFP+)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のときに、3G SDI信号を出力するときのフォーマットを選択します。

〈NOTE〉

- [FORMAT SELECT] (12G SDI OUT/SFP+)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のとき以外、[3G SDI]は変更できません。

3G SDI OUT1

3G SDI OUT1端子の出力設定を行います。

FORMAT SELECT

出力フォーマットを設定します。

[BASIC CONFIG]の[FORMAT]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (3G SDI OUT1)
60Hz	2160/60p	1080/60p
	1080/60p	1080/60p
59.94Hz	2160/59.94p	1080/59.94p* ¹ 1080/59.94i* ¹
	2160/29.97p	1080/29.97p
	1080/119.88p	1080/59.94p* ³
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/50p	1080/50p* ² 1080/50i* ²
	2160/25p	1080/25p
	1080/100p	1080/50p* ³
	1080/50p	1080/50p 1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p

*¹ [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*² [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/50pとなります。

*³ 119.88p(または100p)に対して、フレームレートを1/2(59.94p(または50p))に間引いた「第1フレーム」を出力します。

HDR OUTPUT SELECT

[SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]

[HDR]が[ON]のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR出力(BT.709相当の色域)信号を選択します。
HDR(2020)	HDR出力(BT.2020相当の色域)信号を選択します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] – [HDR]が[OFF]のときは、設定できません。
- [HDR(2020)]は、[BASIC CONFIG] – [GAMUT]が[WIDE_G2]のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709]

[V-LOG]が[ON]のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い階調とラティチュード(露光範囲)が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] – [V-LOG]が[OFF]のときは、設定できません。

OUTPUT ITEM [MENU ONLY、STATUS]

出力映像の重畳する、OSDの種類を選択します。

MENU ONLY	OSDメニューのみを表示します。
STATUS	OSDメニューおよびOSDステータスを表示します。

CHAR [OFF、ON]

OSDを重畳させるかどうかを設定します。

3G SDI [LEVEL-A、LEVEL-B]

[FORMAT SELECT] (3G SDI OUT1)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のときに、3G SDI信号を出力するときのフォーマットを選択します。

〈NOTE〉

- [FORMAT SELECT] (3G SDI OUT1)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のとき以外は、[3G SDI]は変更できません。

3G SDI OUT2/PM

3G SDI OUT2/PM端子の出力設定を行います。

OUTPUT SELECT [CAM、RETURN]

カメラ映像を出力するか、リターン(RETURN)で受信した映像(SMPTE ST2110からの入力映像)を出力するかを切り替えます。

CAM	カメラ入力映像を出力します。
RETURN	リターン(RETURN)で受信した映像(SMPTE ST2110入力映像)を出力します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] – [FORMAT]が[720/59.94p]または[720/50p]のときは、設定できません。
- [BASIC CONFIG] – [SFP+ MODE]が[12G OUTPUT]のときは、設定できません。
- [CROP] – [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、設定できません。
- SMPTE ST2110ソフトウェアキー(AW-SFU60)が無効なときは、本項目は設定できません。

FORMAT SELECT

出力フォーマットを設定します。

[BASIC CONFIG]の[FORMAT]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (3G SDI OUT2/PM)
60Hz	2160/60p	1080/60p
	1080/60p	1080/60p
59.94Hz	2160/59.94p	1080/59.94p* ¹ 1080/59.94i* ¹
	2160/29.97p	1080/29.97p
	1080/119.88p	1080/59.94p* ³
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/50p	1080/50p* ² 1080/50i* ²
	2160/25p	1080/25p
	1080/100p	1080/50p* ³
	1080/50p	1080/50p 1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p

*¹ [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*² [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/50pとなります。

*³ 119.88p(または100p)に対して、フレームレートを1/2(59.94p(または50p))に間引いた「第2フレーム」を出力します。

〈NOTE〉

- [3G SDI OUT2/PM] – [OUTPUT SELECT]が[RETURN]のときは、[IP SIGNAL] – [ST2110] – [RET VIDEO RX]と同じフォーマットが表示され、変更できません。

HDR OUTPUT SELECT

[SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]

[HDR]が[ON]のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR出力 (BT.709相当の色域) 信号を選択します。
HDR(2020)	HDR出力 (BT.2020相当の色域) 信号を選択します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] – [HDR]が[OFF]のときは、設定できません。
- [HDR(2020)]は、[BASIC CONFIG] – [GAMUT]が[WIDE_G2]のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709]

[V-LOG]が[ON]のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い階調とラティチュード (露光範囲) が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] – [V-LOG]が[OFF]のときは、設定できません。

OUTPUT ITEM [MENU ONLY、STATUS]

出力映像の重畳する、OSDの種類を選択します。

MENU ONLY	OSDメニューのみを表示します。
STATUS	OSDメニューおよびOSDステータスを表示します。

CHAR [OFF、ON]

OSDを重畳させるかどうかを設定します。

3G SDI [LEVEL-A、LEVEL-B]

[FORMAT SELECT] (3G SDI OUT2/PM)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のときに、3G SDI信号を出力するときのフォーマットを選択します。

〈NOTE〉

- [FORMAT SELECT] (3G SDI OUT2/PM)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のとき以外は、[3G SDI]は変更できません。

HDMI

HDMI端子の出力設定を行います。

FORMAT SELECT

出力フォーマットを設定します。

[BASIC CONFIG]の[FORMAT]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (HDMI)
60Hz	2160/60p	2160/60p 1080/60p
	1080/60p	1080/60p
59.94Hz	2160/59.94p	2160/59.94p 1080/59.94p ^{*1}
	2160/29.97p	2160/29.97p 1080/29.97p
	1080/119.88p	1080/119.88p
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/50p	2160/50p 1080/50p ^{*2}
	2160/25p	2160/25p 1080/25p
	1080/100p	1080/100p
	1080/50p	1080/50p 1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	2160/24p 1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	2160/23.98p 1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p

^{*1} [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/59.94pとなります。

^{*2} [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/50pとなります。

HDR OUTPUT SELECT

[SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]

[HDR]が[ON]のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR出力 (BT.709相当の色域) 信号を選択します。
HDR(2020)	HDR出力 (BT.2020相当の色域) 信号を選択します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] – [HDR]が[OFF]のときは、設定できません。
- [HDR(2020)]は、[BASIC CONFIG] – [GAMUT]が[WIDE_G2]のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709]

[V-LOG]が[ON]のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い階調とラティチュード(露光範囲)が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] – [V-LOG]が[OFF]のときは、設定できません。

VIDEO SAMPLING [4:2:2/10bit、4:2:0/8bit]

[HDMI]の[FORMAT SELECT]が[2160/59.94p]、[2160/60p]または[2160/50p]のときに、HDMI端子から出力するビデオサンプリングを選択します。

〈NOTE〉

- [HDMI]の[FORMAT SELECT]が[2160/59.94p]、[2160/60p]または[2160/50p]のとき以外は[VIDEO SAMPLING]は変更できず、[4:2:2/10bit]固定になります。

CHAR [OFF、ON]

OSDを重畳させるかどうかを設定します。

RETURN

RETURN1 ID

リターン映像(SMPTE ST2110入力映像)に名称を設定することができます。

5文字を設定できます。

半角英数字、空白、!#%&'()*+,-./:;<=>?[]_~\$@|

設定した名称は、[OUTPUT] – [3G SDI OUT2/PM] – [OUTPUT SELECT]で[RETURN]が選択されているときに、同端子の出力映像に重畳されます。

〈NOTE〉

- SMPTE ST2110ソフトウェアキー(AW-SFU60)が無効なときは、設定できません。

AUDIO

AUDIO [OFF、ON]

AUDIO入力をOFF/ONします。

INPUT1 SETTING

INPUT SELECT [LINE、MIC、MIC+48V]

AUDIO INPUT1 入力の切り替えを設定します。

LINE	ライン入力に設定します。
MIC	マイク入力に設定します。
MIC+48V	ファントム電源+48Vマイク入力に設定します。

[AUDIO]が[ON]のときに有効です。

MIC GAIN [60dB、40dB]

AUDIO INPUT1 マイク入力のマイクアンプGAINを設定します。

[AUDIO] – [INPUT1 SETTING] – [INPUT SELECT]が[MIC]または[MIC+48V]のときのみ有効です。

LINE LEVEL [+4dB、0dB]

AUDIO INPUT1 ライン入力の入力レベルを設定します。

[AUDIO] – [INPUT1 SETTING] – [INPUT SELECT]が[LINE]のときのみ有効です。

INPUT2 SETTING

INPUT SELECT [LINE、MIC、MIC+48V]

AUDIO INPUT2入力の切り替えを設定します。

LINE	ライン入力に設定します。
MIC	マイク入力に設定します。
MIC+48V	ファントム電源+48Vマイク入力に設定します。

[AUDIO]が[ON]のときに有効です。

MIC GAIN [60dB、40dB]

AUDIO INPUT2 マイク入力のマイクアンプGAINを設定します。

[AUDIO] – [INPUT2 SETTING] – [INPUT SELECT]が[MIC]または[MIC+48V]のときのみ有効です。

LINE LEVEL [+4dB、0dB]

AUDIO INPUT2 ライン入力の入力レベルを設定します。

[AUDIO] – [INPUT2 SETTING] – [INPUT SELECT]が[LINE]のときのみ有効です。

OUTPUT SETTING

音声出力の設定状態を表示します。

CH SELECT [INPUT1/INPUT2、INPUT1、INPUT2]

音声出力先の選択をします。

INPUT1/INPUT2	CH1-INPUT1/CH2-INPUT2
INPUT1	CH1-INPUT1/CH2-INPUT1
INPUT2	CH1-INPUT2/CH2-INPUT2

〈NOTE〉

- [CH SELECT]が[INPUT1]のとき、ST2110のINPUT2 AUDIO TXは出力されません。
- [CH SELECT]が[INPUT2]のとき、ST2110のINPUT1 AUDIO TXは出力されません。

CH1 VOLUME LEVEL

[−40dB〜0dB〜+20dB (1dBステップ)]

CH1 音声出力のボリュームを設定します。

CH2 VOLUME LEVEL

[−40dB〜0dB〜+20dB (1dBステップ)]

CH2 音声出力のボリュームを設定します。

HEAD ROOM [FS-12dB、FS-18dB、FS-20dB]

オーディオのヘッドルーム (基準レベル) を設定します。

FS-12dB	-12dBFS
FS-18dB	-18dBFS
FS-20dB	-20dBFS

ST2110 AUDIO FORMAT

INPUT1 [1ms/8ch、0.125ms/8ch]

SMPTE ST2110のAUDIO (INPUT1)のフォーマットを設定します。

INPUT2 [1ms/8ch、0.125ms/8ch]

SMPTE ST2110のAUDIO (INPUT2)のフォーマットを設定します。

〈NOTE〉

- SMPTE ST2110ソフトウェアキー (AW-SFU60)が無効なときは、本項目は設定できません。
- [BASIC CONFIG]−[SFP+ MODE]が[12G OUTPUT]のときは、設定できません。

IP SIGNAL

NDI

High bandwidth NDIの映像に関する各種設定を行います。

FORMAT SELECT

出力フォーマットを設定します。

Frequency	System Format	Format (NDI)
60Hz	2160/60p	2160/60p* ⁹ 1080/60p
	1080/60p	1080/60p
59.94Hz	2160/59.94p	2160/59.94p* ^{1,2} 1080/59.94p
	2160/29.97p	2160/29.97p* ³ 1080/29.97p
	1080/119.88p	1080/59.94p* ¹⁰
	1080/59.94p	1080/59.94p
	1080/29.97p	1080/29.97p
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/50p	2160/50p* ^{4,5} 1080/50p
	2160/25p	2160/25p* ⁶ 1080/25p
	1080/100p	1080/50p* ¹⁰
	1080/50p	1080/50p
	1080/25p	1080/25p
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	2160/24p* ⁷ 1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	2160/23.98p* ⁸ 1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p

*1 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/59.94pとなります。

*2 [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*3 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/29.97pとなります。

*4 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/50pとなります。

*5 [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/50pとなります。

*6 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/25pとなります。

*7 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/24pとなります。

*8 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/23.98pとなります。

*9 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/60pとなります。

*10 119.88p (または 100p) に対して、フレームレートを 1/2 (59.94p (または 50p)) に間引いた「第1フレーム」を出力します。

〈NOTE〉

- High bandwidth NDIの出力映像には、OSDメニューは表示されません。
- [SFP+ MODE]が[ST2110 JPEG XS]のときはHigh bandwidth NDIは出力されません。また、映像フォーマットも表示されません。

IP(H.264/H.265)

IP 配信映像 (H.264/H.265/M-JPEG) に関する各種設定を行います。

OUTPUT ITEM [MENU ONLY, STATUS]

出力映像の重畳する、OSDの種類を選択します。

MENU ONLY	OSDメニューのみを表示します。
STATUS	OSDメニューおよびOSDステータスを表示します。

CHAR [OFF, ON]

OSDを重畳させるかどうかを設定します。

<NOTE>

- IP 映像配信時 (H.264/H.265/M-JPEG) に、OSDメニュー操作が遅れる場合があります。本項目を [OFF] にすることで、スムーズなOSDメニュー操作が可能となります。

ST2110

SMPTE ST2110 映像に関する各種設定/表示を行います。

<NOTE>

- SMPTE ST2110 ソフトウェアキー (AW-SFU60) が無効なときは、設定できません。
- [BASIC CONFIG] - [SFP+ MODE] が [12G OUTPUT] のときは、設定できません。

MOIP MODE [OFF, ON]

MOIP (SMPTE ST2110 映像/音声の入出力) の OFF/ON を設定します。

MAIN VIDEO TX

FORMAT

SMPTE ST2110 (非圧縮) の MAIN 映像信号の映像フォーマットの設定/表示を行います。

<NOTE>

- MAIN VIDEO TX からは OSD メニューや CROP 枠などを重畳していないカメラ映像が出力されます。
- [MOIP MODE] が [OFF] のときは、MAIN VIDEO TX は出力されません。また、映像フォーマットの表示もされません。
- [SFP+ MODE] が [ST2110 JPEG XS] のときは、MAIN VIDEO TX は出力されません。また、映像フォーマットの表示もされません。

CROP VIDEO TX

FORMAT

SMPTE ST2110 (非圧縮) の CROP 映像信号の映像フォーマットの設定/表示を行います。

<NOTE>

- CROP VIDEO TX からは OSD メニューなどを重畳していない CROP 映像が出力されます。
- [MOIP MODE] が [OFF] のとき、[UHD CROP] が [OFF] のときは、CROP VIDEO TX は出力されません。また映像フォーマットの表示もされません。
- [SFP+ MODE] が [ST2110 JPEG XS] のときは、CROP VIDEO TX は出力されません。また、映像フォーマットの表示もされません。

MONITOR VIDEO TX

FORMAT

SMPTE ST2110 (非圧縮) のモニター映像信号の映像フォーマットの設定/表示を行います。

<NOTE>

- ST2110 の MONITOR VIDEO TX の出力映像での OSD メニュー表示は、[OUTPUT] - [3G SDI OUT2/PM] - [CHAR] および [OUTPUT ITEM] の設定内容に連動して表示されます。
- [MOIP MODE] が [OFF] のとき、[OUTPUT] - [3G SDI OUT2/PM] - [OUTPUT SELECT] が [RETURN] のときは、MONITOR VIDEO TX は出力されません。また、映像フォーマットの表示もされません。
- [SFP+ MODE] が [ST2110 JPEG XS] のときは、MONITOR VIDEO TX は出力されません。また、映像フォーマットの表示もされません。

RETURN VIDEO RX

FORMAT

SMPTE ST2110 (非圧縮) の RETURN 映像信号の映像フォーマットの設定/表示を行います。

<NOTE>

- [MOIP MODE] が [OFF] のとき、[BASIC CONFIG] - [FORMAT] が [720/59.94p] または [720/50p] のときは、RETURN VIDEO RX は入力できません。また、映像フォーマットの表示もされません。
- [UHD CROP] が [CROP(720)] のときは、RETURN VIDEO RX は入力できません。また、映像フォーマットの表示もされません。

JPEG XS TX VIDEO SELECT [MAIN, CROP]

SMPTE ST2110 JPEG XS (圧縮) の出力を選択します。

MAIN	本線映像を出力します。
CROP	CROP 映像を出力します。

<NOTE>

- [MAIN] と [CROP] の両方を同時に出力できません。
- [MOIP MODE] が [OFF] のときは、本項目は設定できません。
- [SFP+ MODE] が [ST2110] のときは、本項目は設定できません。
- [BASIC CONFIG] - [FORMAT] が [720/59.94p] または [720/50p] のときは、本項目は設定できません。
- [UHD CROP] が [CROP(720)] のときは、本項目は設定できません。
- [SFP+ MODE] が [ST2110 JPEG XS] で [MOIP MODE] が [ON] かつ [UHD CROP] が [OFF] のときは、本項目は [MAIN] 固定となります。

MAIN VIDEO JPEG XS TX

FORMAT

SMPTE ST2110 JPEG XS (圧縮) の MAIN 映像信号の映像フォーマットの設定/表示を行います。

<NOTE>

- MAIN VIDEO JPEG XS TX からは OSD メニューなどを重畳していないカメラ映像が出力されます。
- [MOIP MODE] が [OFF] のときは、MAIN VIDEO JPEG XS TX は出力されません。また映像フォーマットの表示もされません。
- [SFP+ MODE] が [ST2110] のときは、MAIN VIDEO JPEG XS TX は出力されません。また映像フォーマットの表示もされません。
- [JPEG XS TX VIDEO SELECT] が [CROP] のときは、MAIN VIDEO JPEG XS TX は出力されません。また映像フォーマットの表示もされません。

CROP VIDEO JPEG XS TX

FORMAT

SMPTE ST2110 JPEG XS (圧縮) のCROP映像信号の映像フォーマットの設定/表示を行います。

〈NOTE〉

- CROP VIDEO JPEG XS TXからはOSDメニューなどを重畳していないCROP映像が出力されます。
- [MOIP MODE] が[OFF]のときは、CROP VIDEO JPEG XS TXは出力されません。また映像フォーマットの表示もされません。
- [SFP+ MODE] が[ST2110]のときは、CROP VIDEO JPEG XS TXは出力されません。また映像フォーマットの表示もされません。
- [JPEG XS TX VIDEO SELECT] が[MAIN]のときは、CROP VIDEO JPEG XS TXは出力されません。また映像フォーマットの表示もされません。

RET VIDEO JPEG XS RX

FORMAT

SMPTE ST2110 JPEG XS (圧縮) のRETURN映像信号の映像フォーマットの設定/表示を行います。

〈NOTE〉

- [MOIP MODE] が[OFF]のときは、RET VIDEO JPEG XS RXは入力できません。また映像フォーマットの表示もされません。
- [SFP+ MODE] が[ST2110]のときは、RET VIDEO JPEG XS RXは入力できません。また映像フォーマットの表示もされません。
- [BASIC CONFIG] – [FORMAT] が[720/59.94p]または[720/50p]のときは、RET VIDEO JPEG XS RXは入力できません。また映像フォーマットの表示もされません。
- [UHD CROP] が[CROP(720)]のときは、RET VIDEO JPEG XS RXは入力できません。また映像フォーマットの表示もされません。

PAINT

AUTO

オート動作の設定を行います。

AGC [OFF, ON]

オートゲイン制御の動作を設定します。

AUTO IRIS [OFF, ON]

自動アイリス調整のOFF/ONを選択します。

ATW [OFF, ON]

オートトラッキングホワイトバランス機能の動作を設定します。

AUTO SHUTTER [OFF, ON]

オートシャッター制御の動作を設定します。

KNEE MODE [AUTO, MANUAL]

階調圧縮 (ニー) の動作モードを設定します。

GAIN SETTING

映像のゲイン調整を行います。

GAIN [– 6dB ~ 12dB]

映像のゲイン調整を行います。

暗すぎる場面ではゲインを上げ、明るすぎる場面ではゲインを下げて調整してください。

AGC [OFF, ON]

オートゲイン制御の動作を設定します。

AGC MAX GAIN [6dB, 12dB]

[AGC] 動作時の最大ゲインアップ量を設定します。

FRAME MIX SW [OFF, ON]

フレーム加算 (センサー蓄積によるゲインアップ) 制御を設定します。

FRAME MIX [6dB, 12dB, 18dB, 24dB]

フレーム加算 (センサー蓄積によるゲインアップ) の量を設定します。

フレーム加算を行うと、映像がコマ落ちしたように見えます。フォーマットが2160/29.97p、2160/23.98p、2160/24p、2160/25p、1080/29.97p、1080/23.98p、1080/24p、1080/25p、1080/119.88p、1080/100Pのときは設定できません。

〈NOTE〉

- 蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下では、明るさが周期的に変わったり、色が変わったり、横じまが上下に流れたりすることがあります。
- [FRAME MIX] が6dB、12dB、18dB、24dBのいずれかに設定されている状態で、[SHUTTER SW] を[ON]に設定すると、[FRAME MIX SW]は[OFF]に変更されます。

DAY/NIGHT [DAY, NIGHT]

通常撮影と暗視撮影 (赤外線照射による暗視撮影) を切り替えます。

DAY	通常撮影 (デイモード)
NIGHT	暗視撮影 (ナイトモード)

〈NOTE〉

- ナイトモード時、映像出力は白黒となります。また、レンズ絞りは強制的に開放となります。
- ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。
- ナイトモードでは、NDフィルターの切り替えができません。

IRIS

AUTO IRIS [OFF, ON]

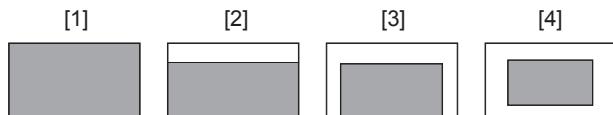
自動アイリス調整のOFF/ONを設定します。

OFF	自動でアイリス調整を行いません。
ON	自動でアイリス調整を行います。

WINDOW SELECT [1～5]

[AUTO IRIS] 時の測光範囲を設定します。

[1]～[4]を選択したときのウィンドウイメージは、次のようになります。



[5]を選択したときは、任意のウィンドウ(領域)を指定できます。領域の指定は、Webブラウザから設定可能です。(→118ページ)

PICTURE LEVEL [-50～+50]

自動露出補正の目標映像レベルを設定します。

次の自動露出補正機能のうち、いずれかが[ON]に設定されている場合に有効です。

- [AUTO IRIS]が[ON]に設定されている場合
- [AUTO SHUTTER]が[ON]に設定されている場合
- [AGC]が[ON]に設定されている場合

PEAK RATIO [0～100]

[AUTO IRIS] 時の測光のピーク値と平均値の割合を設定します。

設定値の数値が大きいほど、アイリス検出ウィンドウ内のピークに対して反応します。

設定値の数値が小さいほど、アイリス検出ウィンドウ内の平均値に対して反応します。

AUTO IRIS CLOSE LIMIT [NORMAL, F8, F7, F5.6]

オートアイリス機能の制御スピードを設定します。

NORMAL	通常の位置(F9付近)まで動作します。
F8	F8付近でリミットします。
F7	F7付近でリミットします。
F5.6	F5.6付近でリミットします。

IRIS SPEED [1～3]

アイリス機能の制御スピードを設定します。

1	緩やかなスピードでアイリス制御します。
2	標準的なスピードでアイリス制御します。
3	素早いスピードでアイリス制御します。

W/B BAL SETTING

ATW [OFF, ON]

オートトラッキングホワイトバランス機能の動作を設定します。

[ON]に設定した場合、常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動的に補正します。

WHITE BALANCE MODE

[AWB A, AWB B, 3200K, 5600K, VAR]

ホワイトバランス(白バランス)のモードを設定します。

光源などによって、色合いが自然でない場合に設定してください。

基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮影することができます。

AWB A AWB B	[AWB A]、[AWB B]を選択してホワイトバランスを実行すると、その調整結果を記憶します。[AWB A]または[AWB B]を選択すると、記憶しているホワイトバランスを呼び出すことができます。
3200K	3200Kのハロゲンライトが光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
5600K	5600Kの太陽光や蛍光灯が光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
VAR	色温度2000K～15000Kを指定できます。

W.BAL VAR [2000K～15000K]

色温度2000K～15000Kを指定できます。

ATW SPEED [NORMAL, SLOW, FAST]

ATW機能の制御スピードを設定します。

NORMAL	通常のスピードで追従します。
SLOW	[NORMAL]よりも遅いスピードで追従します。
FAST	[NORMAL]よりも速いスピードで追従します。

ATW TARGET R [-10～+10]

オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Rchの出力を微調整します。

ATW TARGET B [-10～+10]

オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Bchの出力を微調整します。

SHOCKLESS WB SW [OFF, ON]

[WHITE BALANCE MODE]を切り替えたときに、瞬時に移行するか、緩やかに移行するかの制御を設定します。

OFF	瞬時に移行します。
ON	緩やかに移行します。

SHOCKLESS WB SPEED [1～5]

[WHITE BALANCE MODE]を切り替えたときに、移行するまでのスピードを設定します。

SHUTTER SPEED

SHUTTER SW [OFF、ON]

シャッター機能のON/OFFを設定します。

AUTO SHUTTER [OFF、ON]

自動シャッターのON/OFFを設定します。

AUTO SHUTTER LIMIT [1/100、1/120、1/250]

AUTO SHUTTERの動作時の最大シャッター値を設定します。
[AUTO SHUTTER]が[ON]のときに有効です。

SHUTTER MODE [STEP、SYNCHRO]

シャッターモードを選択します。

STEP	ステップシャッターの設定(段階可変)を行います。
SYNCHRO	シンクロシャッターの設定(連続可変)を行います。

SHUTTER SPEED

設定できるシャッター速度は下記の通りです。

	[SHUTTER MODE]で[STEP]を選択した場合
60p/59.94p/ 59.94iモード	1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
29.97pモード	1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
23.98pモード	1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
50p/50iモード	1/60, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
25pモード	1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
119.88pモード	1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
100pモード	1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000

SYNCHRO SCAN

[SHUTTER MODE]で指定したモードのシャッター速度の調整を行います。

シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなりますが、映像は暗くなります。

設定できるシャッター速度は下記の通りです。

	[SHUTTER MODE]で[SYNCHRO]を選択した場合
60p/59.94p/ 59.94iモード	60.0 Hz～7200 Hz
29.97pモード	30.0 Hz～7200 Hz
23.98pモード	24.0 Hz～7200 Hz
50p/50iモード	50.0 Hz～7200 Hz
25pモード	25.0 Hz～7200 Hz
119.88pモード	120.1 Hz～7200 Hz
100pモード	100.1 Hz～7200 Hz

PEDESTAL

〈NOTE〉

- PEDESTALのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

MASTER PEDESTAL [-200～+200]

黒レベルの調整(ペデスタル調整)を行います。
マイナス方向にすると黒くなり、プラス方向にすると白っぽくなります。

R PEDESTAL [-800～+800]

Rペデスタルを調整できます。

G PEDESTAL [-800～+800]

Gペデスタルを調整できます。

B PEDESTAL [-800～+800]

Bペデスタルを調整できます。

PEDESTAL OFFSET [OFF、ON]

オートブラックバランスの調整を行ったときの、Rch、Gch、Bchのペデスタルレベルを設定します。

OFF	[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL]のペデスタルレベルを[0]にします。
ON	[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL]の各項目で設定した値を保持したままにします。

CHROMA

〈NOTE〉

- CHROMAのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

CHROMA LEVEL SW [OFF、ON]

クロマレベル制御のON/OFFを設定します。

CHROMA LEVEL [-100%～40%]

映像の色の濃淡を設定します。

COLOR TEMP SETTING

〈NOTE〉

- COLOR TEMP SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

COLOR TEMP ACH/BCH

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]、[AWB B]のときの色温度とゲインを設定します。

COLOR TEMP ACH [2000K ~ 15000K]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときの色温度を設定します。

R GAIN ACH [-400 ~ +400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのRゲインを調整できます。

B GAIN ACH [-400 ~ +400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのBゲインを調整できます。

G AXIS ACH [-400 ~ +400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのG-Mg方向のゲインを調整できます。

COLOR TEMP BCH [2000K ~ 15000K]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときの色温度を設定します。

R GAIN BCH [-400 ~ +400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのRゲインを調整できます。

B GAIN BCH [-400 ~ +400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのBゲインを調整できます。

G AXIS BCH [-400 ~ +400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのG-Mg方向のゲインを調整できます。

RGB GAIN CONTROL SETTING

〈NOTE〉

- RGB GAIN CONTROL SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

G GAIN REL CONTROL SW [OFF、ON]

Gゲインの相対値制御のON/OFFを設定します。

RGB GAIN PRESET

[WHITE BALANCE MODE]が[3200K]、[5600K]、[VAR]のときのゲインを設定します。

R GAIN [-1000 ~ +1000]

Rゲインを調整できます。

G GAIN [-1000 ~ +1000]

Gゲインを調整できます。

B GAIN [-1000 ~ +1000]

Bゲインを調整できます。

RGB GAIN ACH/BCH

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]、[AWB B]のときのゲインを設定します。

R GAIN ACH [-1000 ~ +1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのRゲインを調整できます。

G GAIN ACH [-1000 ~ +1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのGゲインを調整できます。

B GAIN ACH [-1000 ~ +1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのBゲインを調整できます。

GAIN OFFSET ACH [OFF、ON]

[WHITE BALANCE MODE]を[AWB A]にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rゲインと Bゲインの値を設定します。

OFF	[R GAIN ACH] と [B GAIN ACH] の値を [0] にします。
ON	[R GAIN ACH] と [B GAIN ACH] で設定した値を保持したままにします。

R GAIN BCH [-1000 ~ +1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのRゲインを調整できます。

G GAIN BCH [-1000 ~ +1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのGゲインを調整できます。

B GAIN BCH [-1000 ~ +1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのBゲインを調整できます。

GAIN OFFSET BCH [OFF、ON]

[WHITE BALANCE MODE]を[AWB B]にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rゲインと Bゲインの値を設定します。

OFF	[R GAIN BCH] と [B GAIN BCH] の値を [0] にします。
ON	[R GAIN BCH] と [B GAIN BCH] で設定した値を保持したままにします。

FLARE

〈NOTE〉

- FLAREのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

FLARE [OFF、ON]

フレア補正のOFF/ONを設定します。

MASTER FLARE [-200～0～+200]

マスターフレアを調整します。

R FLARE [-200～0～+200]

Rchフレアを調整します。

G FLARE [-200～0～+200]

Gchフレアを調整します。

B FLARE [-200～0～+200]

Bchフレアを調整します。

GAMMA/BLACK GAMMA

〈NOTE〉

- GAMMA/BLACK GAMMAのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。
- GAMMA/BLACK GAMMAのすべての項目において、[HDR]が[ON]のときは設定できません。

GAMMA [OFF、ON]

ガンマモードのON/OFFを選択します。

GAMMA MODE SELECT

[HD、NORMAL、CINEMA1、CINEMA2]

ガンマカーブのタイプを選択します。

HD	HD (High Definition) 用のビデオガンマ特性です。
NORMAL	標準的なガンマ特性です。
CINEMA1	コントラストが強めのガンマ特性です。
CINEMA2	落ち着いた調子のガンマ特性です。

MASTER GAMMA [0.15 ～ 0.75 (0.01 ステップ)]

ガンマ補正レベルの調整を行います。

低い値を設定すると、低輝度部の傾きが緩やかなガンマカーブとなり、コントラストはシャープになります。

高い値を設定すると、暗い部分の階調度を広げて明るいトーンの映像にします。低輝度部の傾きが急なガンマカーブとなり、コントラストはソフトになります。

R GAMMA [-75～+75]

Rchのガンマを設定します。

B GAMMA [-75～+75]

Bchのガンマを設定します。

BLACK GAMMA [OFF、ON]

暗部のガンマカーブのON/OFFを選択します。

MASTER BLACK GAMMA [-48～+48]

マスターブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

-48～-1	暗部を圧縮します。
+1～+48	暗部を伸張します。

R BLACK GAMMA [-20～+20]

Rchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

B BLACK GAMMA [-20～+20]

Bchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

BLACK GAMMA RANGE [1～3]

暗部のガンマカーブの圧縮/伸張を行う上限レベルを設定します。

1	20%程度
2	30%程度
3	40%程度

INITIAL GAMMA [4.0、4.5、5.0]

ガンマカーブの立ち上がり傾きを設定します。

[GAMMA MODE SELECT]が[HD]のときのみ設定可能です。

KNEE

〈NOTE〉

- KNEEのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。
- KNEEのすべての項目において、[HDR]が[ON]のときは設定できません。
- [DRS]を有効にしているときは、二一の設定が無効になります。

KNEE [OFF、ON]

階調圧縮 (二一) の動作モードのON/OFFを設定します。

KNEE MODE [AUTO、MANUAL]

階調圧縮 (二一) の動作モードを設定します。

AUTO	二一ポイントや二一の傾きを自動で設定します。
MANUAL	二一ポイントや二一の傾きを手動で設定します。

KNEE MASTER POINT

[80.00%～110.00% (0.25%ステップ)]

高輝度映像信号の圧縮レベル (二一ポイント) の位置設定を行います。

[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

KNEE R POINT [-25.00%～25.00% (0.25%ステップ)]

[KNEE MASTER POINT]に対してRchの圧縮レベル (二一ポイント) の位置設定を行います。

[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

KNEE B POINT [-25.00%～25.00% (0.25%ステップ)]

[KNEE MASTER POINT]に対してBchの圧縮レベル (二一ポイント) の位置設定を行います。

[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

KNEE MASTER SLOPE [00～199]

二一の傾きを設定します。

[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

KNEE R SLOPE [-99～+99]

[KNEE MASTER SLOPE]に対してRchの傾きを設定します。

[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

KNEE B SLOPE [-99～+99]

[KNEE MASTER SLOPE]に対してBchの傾きを設定します。

[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

AUTO KNEE RESPONSE [1～8]

オート二一応答速度を設定します。

設定値が小さいほど応答速度が速くなります。

WHITE CLIP

〈NOTE〉

- WHITE CLIPのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。
- WHITE CLIPのすべての項目において、[HDR]が[ON]のときは設定できません。

WHITE CLIP [OFF、ON]

ホワイトクリップ機能のOFF/ONを設定します。

MASTER WHITE CLIP LEVEL [80%～109%]

マスターホワイトクリップレベルを設定します。

R WHITE CLIP LEVEL [-15%～+15%]

[MASTER WHITE CLIP LEVEL]に対してRchのホワイトクリップレベルを設定します。

B WHITE CLIP LEVEL [-15%～+15%]

[MASTER WHITE CLIP LEVEL]に対してBchのホワイトクリップレベルを設定します。

HI-COLOR [OFF、ON]

色のダイナミックレンジを拡大するモードの制御を設定します。
高輝度部分の色再現性を改善します。

HI-COLOR LEVEL [1～32]

色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベルを設定します。

DRS

〈NOTE〉

- DRSのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOGT PAINTT SW]が[OFF]のときは設定できません。

DRS [OFF、ON]

明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行うDRS機能のON/OFFを設定します。

EFFECT DEPTH [1～5]

DRS機能の効果レベルを設定します。数値が大きいくほど効果レベルが大きくなります。

DETAIL SETTING

〈NOTE〉

- DETAIL SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

DETAIL [OFF、ON]

映像の輪郭(映像のシャープさ)の調整のON/OFFを設定します。

MASTER DETAIL [-31～+31]

輪郭補正レベル(マスター)の調整を行います。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

PEAK FREQUENCY [1～8]

ディテールのブースト周波数を設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

CRISP [00～63]

ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DETAIL GAIN(+) [-31～+31]

プラス方向(明るくする方向)のディテールレベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DETAIL GAIN(-) [-31～+31]

マイナス方向(暗くする方向)のディテールレベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DETAIL CLIP(+) [00～63]

プラス方向(明るくする方向)のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DETAIL CLIP(-) [00～63]

マイナス方向(暗くする方向)のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

KNEE APERTURE LEVEL [00～39]

高輝度部のディテールのレベルを調整します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DETAIL KNEE [00～15]

二のディテール成分を調整します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

LEVEL DEPENDENT SW [OFF、ON]

暗部ディテールを除去するレベルのON/OFFを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

LEVEL DEPENDENT [00～15]

暗部ディテールを除去するレベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DARK DETAIL SW [OFF、ON]

暗部ディテールを付加する制御のON/OFFを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DARK DETAIL [0～7]

暗部ディテールのレベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DOWNCON SETTING

4KからHDへダウンコンバートした映像の輪郭や色を調整します。
[FORMAT]が以下のときに有効です。

2160/59.94p、2160/29.97p、2160/23.98p、
2160/24p、2160/50p、2160/25p

<NOTE>

- DOWNCON SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

CHROMA

CHROMA LEVEL SW [OFF、ON]

クロマレベル制御のON/OFFを設定します。

CHROMA LEVEL [-100%～40%]

映像の色の濃淡を設定します。

DETAIL SETTING

DETAIL [OFF、ON]

映像の輪郭(映像のシャープさ)の調整のON/OFFを設定します。

MASTER DETAIL [-31～+31]

輪郭補正レベル(マスター)の調整を行います。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

H DETAIL LEVEL [00～63]

水平方向のディテールのレベルを調整します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

V DETAIL LEVEL [00～63]

垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

PEAK FREQUENCY [12.4MHz～37.1MHz]

ディテールのブースト周波数を設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

V DETAIL FREQUENCY [00～31]

ディテール(垂直方向)のブースト周波数を設定します。

00：低周波数

└

31：高周波数

高周波数にすると、より細かい被写体にディテール効果がつきます。

[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

CRISP [00～63]

ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DETAIL CLIP(+) [00～63]

プラス方向(明るくする方向)のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DETAIL CLIP(-) [00～63]

マイナス方向(暗くする方向)のディテール信号をクリップするレベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

KNEE APERTURE LEVEL [00～39]

高輝度部のディテールのレベルを調整します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DETAIL KNEE [00～15]

二のディテール成分を調整します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

LEVEL DEPENDENT SW [OFF、ON]

暗部ディテールを除去する制御のON/OFFを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

LEVEL DEPENDENT [00～15]

暗部ディテールを除去するレベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DARK DETAIL SW [OFF、ON]

暗部ディテールを付加する制御のON/OFFを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

DARK DETAIL [0～7]

暗部ディテールのレベルを設定します。
[DETAIL]が[ON]のときに有効です。

SKIN TONE DETAIL SETTING

<NOTE>

- SKIN TONE DETAIL SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

SKIN TONE DETAIL [OFF、ON]

人の肌を滑らかに、よりきれいに映す機能です。
スキントーンディテール機能のON/OFFを設定します。

MEMORY SELECT [A、B、C]

スキントーンを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。

ZEBRA [OFF、ON]

スキントーンエリアのゼブラ表示のON/OFFを設定します。
ゼブラパターンは、3G SDI OUT2/PM端子に接続した機器のみに表示されます。

<NOTE>

- [SKIN TONE DETAIL SETTING]の[ZEBRA]が[ON]のときは、設定できません。

ZEBRA EFFECT MEMORY

[A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]

ゼブラ表示する肌色テーブルを選択します。

SKIN TONE EFFECT MEMORY

[A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]

スキントーンを効かせる肌色テーブルを選択します。

SKIN TONE CRISP [0～8]

スキントーンディテールを調整します。

I CENTER [000～255]

I軸上の中心位置(スキントーンを効かせるエリア)を設定します。

I WIDTH [000～255]

[I CENTER]を中心としたI軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。

Q WIDTH [000～127]

[I CENTER]を中心としたQ軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。

Q PHASE [0～359]

Q軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。

SKIN TONE DETAIL SETTING

〈NOTE〉

- SKIN TONE DETAIL SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

SKIN TONE DETAIL [OFF、ON]

人の肌を滑らかに、よりきれいに映す機能です。
スキントーンディテール機能のON/OFFを設定します。

MEMORY SELECT [A、B、C]

スキントーンを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。

ZEBRA [OFF、ON]

スキントーンエリアのゼブラ表示のON/OFFを設定します。
ゼブラパターンは、3G SDI OUT2/PM端子に接続した機器のみに表示されます。

〈NOTE〉

- [DOWNCON SETTING]の[ZEBRA]が[ON]のときは、設定できません。

ZEBRA EFFECT MEMORY

[A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]

ゼブラ表示する肌色テーブルを選択します。

SKIN TONE EFFECT MEMORY

[A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]

スキントーンを効かせる肌色テーブルを選択します。

SKIN TONE CRISP [-63～0～+63]

スキントーンディテールを調整します。

I CENTER [000～255]

I軸上の中心位置(スキントーンを効かせるエリア)を設定します。

I WIDTH [000～255]

[I CENTER]を中心としたI軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。

Q WIDTH [000～255]

[I CENTER]を中心としたQ軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。

Q PHASE [0～359]

Q軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。

LINEAR MATRIX

〈NOTE〉

- LINEAR MATRIXのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

PRESET MATRIX

[HD、NORMAL、CINEMA1、CINEMA2、USER]

マトリクスのタイプを選択します。

HD	当社製の放送機器に準じたマトリクス設定です。
NORMAL	標準的なマトリクス設定です。
CINEMA1	コントラストが強めのマトリクス設定です。
CINEMA2	落ち着いた調子のマトリクス設定です。
USER	当社リモートカメラAW-UE150に準じたマトリクス設定です。 AW-UE150と色再現を合わせたい場合にご使用ください。

MATRIX [OFF、ON]

マトリクス(リニアマトリクス/カラーコレクション)のON/OFF設定をします。

LINEAR MATRIX [OFF、ON]

リニアマトリクス機能のON/OFFを設定します。

LINEAR TABLE [A、B]

リニアマトリクスのテーブルを選択します。

COLOR CORRECT [OFF、ON]

カラーコレクション機能のON/OFFを設定します。

COLOR CORRECT TABLE [A、B]

カラーコレクションのテーブルを選択します。

MATRIX (R-G)_N [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。R-GのN方向を設定します。

MATRIX (R-G)_P [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。R-GのP方向を設定します。

MATRIX (R-B)_N [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。R-BのN方向を設定します。

MATRIX (R-B)_P [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。R-BのP方向を設定します。

MATRIX (G-R)_N [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。G-RのN方向を設定します。

MATRIX (G-R)_P [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。G-RのP方向を設定します。

MATRIX (G-B)_N [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。G-BのN方向を設定します。

MATRIX (G-B)_P [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。G-BのP方向を設定します。

MATRIX (B-R)_N [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。B-RのN方向を設定します。

MATRIX (B-R)_P [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。B-RのP方向を設定します。

MATRIX (B-G)_N [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。B-GのN方向を設定します。

MATRIX (B-G)_P [-31～+31]

リニアマトリクスの調整を行います。B-GのP方向を設定します。

COLOR CORRECTION

色飽和度と色相の調整を行います。

〈NOTE〉

- COLOR CORRECTIONのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

PRESET MATRIX

[HD、NORMAL、CINEMA1、CINEMA2、USER]

マトリクスのタイプを選択します。

HD	当社製の放送機器に準じたマトリクス設定です。
NORMAL	標準的なマトリクス設定です。
CINEMA1	コントラストが強めのマトリクス設定です。
CINEMA2	落ち着いた調子のマトリクス設定です。
USER	当社リモートカメラAW-UE150に準じたマトリクス設定です。 AW-UE150と色再現を合わせたい場合にご使用ください。

MATRIX [OFF、ON]

マトリクス（リニアマトリクス/カラーコレクション）のON/OFFを設定します。

LINEAR MATRIX [OFF、ON]

リニアマトリクス機能のON/OFFを設定します。

LINEAR TABLE [A、B]

リニアマトリクスのテーブルを選択します。

COLOR CORRECT [OFF、ON]

カラーコレクション機能のON/OFFを設定します。

COLOR CORRECT TABLE [A、B]

カラーコレクションのテーブルを選択します。

G SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。緑方向の色を設定します。

G PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。緑方向の色を設定します。

G_CY SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。緑とシアンの間の色を設定します。

G_CY PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。緑とシアンの間の色を設定します。

CY SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。シアン方向の色を設定します。

CY PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。シアン方向の色を設定します。

CY_B SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。シアンと青の間の色を設定します。

CY_B PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。シアンと青の間の色を設定します。

B SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。青方向の色を設定します。

B PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。青方向の色を設定します。

B_MG SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。青とマゼンタの間の色を設定します。

B_MG PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。青とマゼンタの間の色を設定します。

MG SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。マゼンタ方向の色を設定します。

MG PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。マゼンタ方向の色を設定します。

MG_R SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。マゼンタと赤の間の色を設定します。

MG_R PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。マゼンタと赤の間の色を設定します。

R SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。赤方向の色を設定します。

R PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。赤方向の色を設定します。

R_YE SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。赤と黄の間の色を設定します。

R_YE PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。赤と黄の間の色を設定します。

YE SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。黄方向の色を設定します。

YE PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。黄方向の色を設定します。

YE_G SAT [-127～0～+126]

色飽和度を調整します。黄と緑の間の色を設定します。

YE_G PHASE [-127～0～+126]

色相を調整します。黄と緑の間の色を設定します。

DNR

夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するために、デジタルノイズリダクションを設定します。数値を大きくすると、ノイズを除去することができます。ただし、残像が増える場合があります。

〈NOTE〉

- DNRのすべての項目において、[V-LOG]が[ON]で[V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときは設定できません。

DNR [OFF、ON]

デジタルノイズリダクション機能のON/OFFを設定します。

DNR LEVEL [1～5]

デジタルノイズリダクションのレベルを設定します。

V-LOG PAINT

V-LOG時に色温度とノイズリダクションを設定できます。

〈NOTE〉

- [V-LOG PAINT SW]が[OFF]のときにのみ有効です。

COLOR TEMP SETTING

COLOR TEMP ACH/BCH

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]、[AWB B]のときの色温度とゲインを設定します。

COLOR TEMP ACH [2000K～15000K]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときの色温度を設定します。

R GAIN ACH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのRゲインを調整します。

B GAIN ACH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのBゲインを調整します。

G AXIS ACH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのG-Mg方向のゲインを調整します。

COLOR TEMP BCH [2000K～15000K]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときの色温度を設定します。

R GAIN BCH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのRゲインを調整します。

B GAIN BCH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのBゲインを調整します。

G AXIS BCH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのG-Mg方向のゲインを調整します。

DNR

夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するために、デジタルノイズリダクションを設定します。数値を大きくすると、ノイズを除去することができます。

ただし、残像が増える場合があります。

DNR [OFF, ON]

デジタルノイズリダクション機能のON/OFFを設定します。

DNR LEVEL [1～5]

デジタルノイズリダクションのレベルを設定します。

HDR PAINT

HDR時の画質設定をします。

〈NOTE〉

- [HDR]が[ON]のときにのみ有効です。
- [V-LOG]が[ON]のときは無効です。

HLG MODE [FIX, VAR]

HLGの設定モードを選択します。

FIX	固定モード
VAR	可変モード

SDR CONVERT MODE [FIX, VAR]

SDRに変換するモードを選択します。

FIX	固定モード
VAR	可変モード

GAMMA/BLACK GAMMA

[HLG MODE]で[FIX]を選択した場合は、設定は無効になり設定できません。

BLACK GAMMA [OFF, ON]

ブラックガンマのON/OFFを設定します。

MASTER BLACK GAMMA [-32～+32]

マスターブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

R BLACK GAMMA [-32～+32]

Rchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

B BLACK GAMMA [-32～+32]

Bchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

KNEE

[HLG MODE]で[FIX]を選択した場合は、設定は無効になり設定できません。

KNEE [OFF, ON]

二一のON/OFFを設定します。

KNEE POINT [60.00～100.00 (0.25%ステップ)]

二一ポイントの位置を設定します。

KNEE SLOPE [0～199]

二一の傾きを設定します。

SDR CONVERT

[SDR CONVERT MODE]で[FIX]を選択した場合は、設定は無効になり設定できません。

GAIN

[0dB、-5dB、-6dB、-7dB、-8dB、-9dB、-10dB、-11dB、-12dB]

SDR映像のゲインを設定します。

POINT [0～100]

SDR映像に圧縮を開始する映像レベルを設定します。

SLOPE [0～127]

SDR映像を圧縮する傾きを設定します。

BLACK OFFSET [-100～+100]

SDR映像の黒レベルオフセットを調整します。

PAINT SWITCH

FLARE [OFF、ON]

フレア補正のOFF/ONを設定します。

GAMMA [OFF、ON]

ガンマモードのON/OFFを選択します。

BLACK GAMMA [OFF、ON]

暗部のガンマカーブのON/OFFを設定します。

KNEE [OFF、ON]

階調圧縮(ニー)の動作モードのON/OFFを設定します。

WHITE CLIP [OFF、ON]

ホワイトクリップ機能のON/OFFを設定します。

DRS [OFF、ON]

明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行うDRS機能のON/OFFを設定します。

DETAIL [OFF、ON]

映像の輪郭(映像のシャープさ)の調整のON/OFFを設定します。

SKIN TONE DETAIL [OFF、ON]

スキントーンディテール機能のON/OFFを設定します。

MATRIX [OFF、ON]

マトリクス(リニアマトリクス/カラーコレクション)のON/OFFを設定します。

LINEAR MATRIX [OFF、ON]

リニアマトリクス機能のON/OFFを設定します。

COLOR CORRECT [OFF、ON]

カラーコレクション機能のON/OFFを設定します。

LENS

FOCUS MODE [MANUAL、AUTO]

フォーカス調整(ピント合わせ)機能の自動/手動を選択します。

MANUAL	フォーカスをマニュアル操作します。
AUTO	常にフォーカスを自動的に合わせます。

AF SENSITIVITY [NORMAL、STABLE]

オートフォーカス機能の追従モードを選択します。

NORMAL	通常の追従性でフォーカス合わせをします。
STABLE	安定性を重視してフォーカス合わせをします。

ZOOM MODE [Opt.ZOOM、i.ZOOM、D.ZOOM]

ズームの最大倍率を設定します。

Opt.ZOOM	光学ズームのみを使用します。 光学20倍までズームが可能です。 ・[PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]のとき、強制的に[Opt.ZOOM]となります。
i.ZOOM	i.Zoom機能を有効にします。 この機能を有効にすると、画質劣化を軽減しながらデジタルズームを行います。 [BASIC CONFIG] – [FORMAT]が2160/59.94p、2160/29.97p、2160/50p、2160/25p、2160/24p、2160/23.98pのとき 光学ズームとデジタルズームを合わせて24倍までズームが可能です。 ・[BASIC CONFIG] – [FORMAT]がそれ以外のときは、光学ズームとデジタルズームを合わせて32倍までズームが可能です。 ・[i.ZOOM]に設定されている状態で、[PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]に変更されると、強制的に[Opt.ZOOM]に変更されます。
D.ZOOM	デジタルズーム機能を有効にします。 デジタルズーム時は、倍率を大きくするほど画質は粗くなります。 ・[D.ZOOM]に設定されている状態で、[PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]に変更されると、強制的に[Opt.ZOOM]に変更されます。

<NOTE>

- ・[PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]のとき、ZOOM MODEは強制的に[Opt.ZOOM]に変更されます。

MAX DIGITAL ZOOM

[×2、×3、×4、×5、×6、×7、×8、×9、×10]

デジタルズームの倍率の上限を設定します。

[ZOOM MODE]が[D.ZOOM]のときに有効です。

<NOTE>

- ・デジタルズーム時は、倍率を大きくするほど画質は粗くなります。

DIGITAL EXTENDER [OFF、×1.4、×2.0]

デジタルエクステンダー機能の設定を行います。

OFF	デジタルエクステンダーの機能をOFFにします。
×1.4	常にデジタルズームが1.4倍として動作します。
×2.0	常にデジタルズームが2.0倍として動作します。

[ZOOM MODE]が[Opt.ZOOM]のときに有効です。

O.I.S. [OFF、ON]

光学式画揺れ補正機能(O.I.S.)のOFF/ONの設定をします。

O.I.S. MODE

[O.I.S.(STABLE)、O.I.S.(PAN/TILT)、HYBRID(STABLE)、HYBLID(PAN/TILT)]

光学式画揺れ補正 (O.I.S.) およびロール方向の電子式画揺れ補正 (E.I.S.) のモードを設定します。

O.I.S. (STABLE)	光学式画揺れ補正機能 (O.I.S.) を ON にします。 パン・チルトを固定した撮影シーンでご使用ください。
O.I.S. (PAN/TILT)	光学式画揺れ補正機能 (O.I.S.) を ON にします。 パン・チルトを操作しながらの撮影で画揺れ補正の効果を高めたいシーンでご使用ください。
HYBRID (STABLE)	光学式画揺れ補正機能 (O.I.S.) とロール方向の電子式画揺れ補正機能 (E.I.S.) を ON にします。 パン・チルトを固定した撮影シーンでご使用ください。
HYBRID (PAN/TILT)	光学式画揺れ補正機能 (O.I.S.) とロール方向の電子式画揺れ補正機能 (E.I.S.) を ON にします。 パン・チルトを操作しながらの撮影で画揺れ補正の効果を高めたいシーンでご使用ください。

〈NOTE〉

- [O.I.S.(STABLE)] および [HYBRID(STABLE)] では、パン・チルト動作時の画揺れ補正の収束応答を小さくするため、パン・チルト動作中は画揺れ補正機能 (O.I.S.) による補正量を低下させます。
- [O.I.S. (PAN/TILT)] および [HYBRID(PAN/TILT)] では、パン・チルト動作中の画揺れ補正の効果を高めることを優先しているため、パン・チルト制御中に画揺れ補正により生じる収束応答が気になる場合があります。
画揺れ補正による収束応答を抑えたいシーンでは [O.I.S.(STABLE)] または [HYBRID(STABLE)] をご使用ください。

ND FILTER [THROUGH、1/4、1/16、1/64]

レンズ内蔵のNDフィルター (減光フィルター) の透過率を設定します。

設定項目を確定した時点でフィルターが切り替わります。

THROUGH	ND フィルターを設定しません。
1/4	ND フィルターの透過率を 1/4 に設定します。
1/16	ND フィルターの透過率を 1/16 に設定します。
1/64	ND フィルターの透過率を 1/64 に設定します。

〈NOTE〉

- [PAINT] – [GAIN SETTING] – [DAY/NIGHT] が [DAY] のときのみ有効です。

MONITOR DISPLAY

WFM

MODE [OFF、ON(Y)、ON(Y/Pb/Pr)]

WaveForm 表示の設定を切り替えます。

OFF	WaveForm を表示しません。
ON(Y)	Y 成分のみ波形を表示します。
ON(Y/Pb/Pr)	Y/Pb/Pr 成分のそれぞれの波形を表示します。

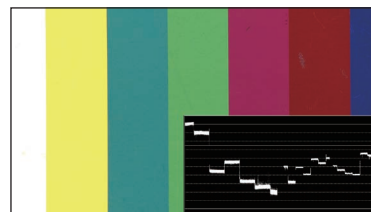
POSITION [UR、BR、BL、UL]

WaveForm を表示するエリア選択します。

UR	WaveForm を右上エリアに表示します。
BR	WaveForm を右下エリアに表示します。
BL	WaveForm を左下エリアに表示します。
UL	WaveForm を左上エリアに表示します。

(例)

[MODE] を [ON(Y/Pb/Pr)]、[POSITION] の [BR] を選択したときの WaveForm 表示 (表示画像は参考イメージです。)



〈NOTE〉

- WaveForm は 3G SDI OUT2/PM 端子に接続した機器のみに表示し、他の出力系統の端子に接続した機器には表示されません。
- [SFP+ MODE] が [ST2110 JPEG XS] のときは、WaveForm は無効となります。

STATUS INDICATOR

[ON] に設定した項目に対して、所定のステータスになると、[CHAR] が [ON] かつ、[OUTPUT ITEM] が [STATUS] に設定されている端子映像に各ステータスが表示されます。

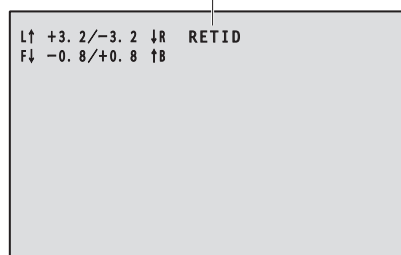
RETURN SELECT [OFF、ON]

[ON] のとき、[RETURN] – [RETURN1 ID] で設定した文字列を、画面上部中央領域に OSD 表示します。

RETURN SELECT の文字列は、3G SDI OUT2/PM 端子に接続した機器のみに表示されます。

(例)

RETURN SELECT (常時表示)



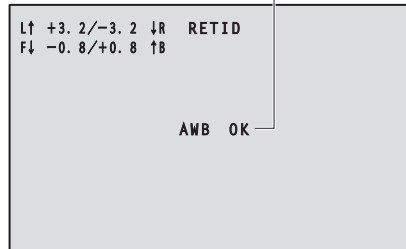
STATUS(AUTO) [OFF, ON]

[ON]のとき、OSDにて以下のステータス表示を行います。

- オートホワイトバランスを実施した後の結果表示
- オートブラックバランスを実施した後の結果表示
- エラーが発生したときのエラー表示

(例)

STATUS(AUTO)
(所定の条件のときに5秒間のみ表示)

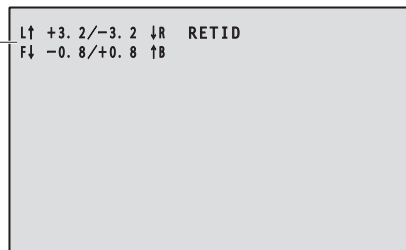


LEVEL GAUGE [OFF, ON]

[ON]のとき、本機の設置の傾き状態(水平方向：左右および前後)を、画面左上領域にOSD表示します。

(例)

LEVEL GAUGE (常時表示)



上記表示の場合、左右方向：左上に3.2°、前後方向：前上に1.8°で設置されています。

傾きの最大は±9.9°で、10°以上傾いている場合は「±9.9」と表示されます。

〈NOTE〉

- LEVEL GAUGEは、SDI、HDMI、SMPTE ST2110のみ表示し、High bandwidth NDIおよびIP配信(H.264/H.265/M-JPEG)には表示されません。
- PAN/TILT動作中は、LEVEL GAUGEの値は更新されません。
- CSP Control動作中は、LEVEL GAUGEの値は更新されません。
(→177ページ)

TRACKING DATA OUTPUT

バーチャルスタジオのシステムなどで利用するトラッキングデータの出力に関する設定を行います。(→80ページ)

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] - [FORMAT]が[1080/119.88p]または[1080/100p]のときは、トラッキングデータの出力はできません。

SERIAL [OFF, ON]

シリアル出力(RS-422)から、Pan/Tilt/Zoom情報などのトラッキングデータを、GENLOCK信号に同期して出力する機能のON/OFFを設定します。(→80ページ)

〈NOTE〉

- [SERIAL]が[ON]のときは、RS-422端子からのカメラ制御コマンドは動作しません。

IP [OFF, ON]

IP出力から、Pan/Tilt/Zoom情報などのトラッキングデータを、GENLOCK信号に同期してUDPで出力する機能のON/OFFを設定します。(→80ページ)

〈NOTE〉

- [IP]が[ON]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。
IP配信映像の遅延およびフレーム欠落を避けたい場合は、[IP]を[OFF]にすることを推奨します。

INVERT PAN/TILT AXIS [OFF, ON]

トラッキングデータのうち、PAN/TILTの情報を反転させて出力するかどうかを設定します。

OFF	PAN/TILTの情報を反転しません。
ON	PAN/TILTの情報を反転させて出力します。

CAMERA ID [0x00~0xFF]

トラッキングデータのCAMERA IDを設定します。

■ トラッキングデータ出力について

[TRACKING DATA OUTPUT]の[SERIAL]または[IP]を[ON]にすると、バーチャルスタジオシステム等に連携するためのPan/Tilt/Zoom等のトラッキングデータを、シリアル(RS-422)またはIPから出力します。

● シリアル(RS-422)出力

- [TRACKING DATA OUTPUT]の[SERIAL]を[ON]にすると、シリアル出力(RS-422)から、Pan/Tilt/Zoom情報等のトラッキングデータを、GENLOCK信号に同期して出力します。
- free-dプロトコルに準拠した形式でstream modeで出力し、メッセージタイプはType D1 (camera position/orientation data)のみ対応します。

詳細格納データ

free-dプロトコルのType D1で規定されているパケット構造において、本機では以下のデータを格納して出力します。

Camera ID

00h～FFhを選択可能です。

Camera Pan Angle

本機のPanの角度(−175°～+175°)を、free-dプロトコルにて規定された形式で格納します。

Camera Tilt Angle

本機のTiltの角度(−30°～+210°)を、free-dプロトコルにて規定された形式で格納します。

〈NOTE〉

- free-dプロトコルの規定では、範囲が−90°～+90°となっていますが、本機では+90°より大きな角度(～+210°)も格納します。

Camera Roll Angle

本機のFLIPの状態(上下左右反転)に応じた回転角度(0°または180°)を、free-dプロトコルに規定された形式で格納します。
上下左右反転の状態([SMART PICTURE FLIP]が[ON]のときの指定角度を超えた状態)では180°の角度を格納し、それ以外では0°を格納します。

Camera X-Position

常に000000hを格納します。

Camera Y-Position

常に000000hを格納します。

Camera Height (Z-Position)

常に000000hを格納します。

Camera Zoom

本機の光学ズームの倍率を、000555h(WIDE)～000FFFh(TELE)の値で格納します。

〈NOTE〉

- デジタルズームの倍率は格納されません。

Camera Focus

本機のフォーカス位置を、000555h(NEAR)～000FFFh(FAR)の値で格納します。

Spare / User Defined (16bit)

本機のアイリス位置を、0555h(CLOSE)～0FFFh(OPEN)の値で格納します。

Checksum

free-dプロトコル規定のチェックサム値を格納します。

〈NOTE〉

- [SERIAL]が[ON]のときは、RS-422端子からのカメラ制御コマンドは動作しません。

● IP出力

- [TRACKING DATA OUTPUT]の[IP]を[ON]にすると、IP出力にて、Pan/Tilt/Zoom情報等のトラッキングデータを、GENLOCK信号に同期してUDPパケットとして出力します。
- 所定のWEB画面(→176ページ)で設定したクライアント(IPアドレス)に対して、最大4か所に同時出力します。
- free-dプロトコルに準拠した形式で出力し、本機の出力仕様(モード、コマンドタイプ、詳細格納データ)は、シリアル(RS-422)出力のものと等価となります。

〈NOTE〉

- 複数のクライアントに通知する場合、2つ目以降のクライアントへのUDPパケットの送信タイミングは、GENLOCK信号に対して遅延が定常的に発生します。
(1クライアントごとに、約200～300 μ secの遅延が発生します。遅延量は本機のシステムの状態およびネットワーク環境によっては増加する場合があります。)
- [IP]が[ON]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。
IP配信映像の遅延およびフレーム欠落を避けたい場合は、[IP]を[OFF]にすることを推奨します。

CROP

UHD CROP [OFF、CROP(1080)、CROP(720)]

CROPモード全体の設定を行います。

OFF	CROP切り出しを実施しません。
CROP(1080)	CROP切り出し映像を1080画角で出力します。
CROP(720)	CROP切り出し映像を720画角で出力します。

〈NOTE〉

- [BASIC CONFIG] – [FORMAT]にて、[2160/59.94p] または [2160/50p] を選択しているときのみ、[OFF]、[CROP(1080)] および [CROP(720)] が選択可能であり、[2160/60p]、[2160/29.97p]、[2160/25p]、[2160/24p]、[2160/23.98p] のときは、[OFF] および [CROP(1080)] のみ選択可能です。
- その他のFORMATのときは、[OFF] となります。

CROP ZOOM [OFF、ON]

D-ZOOMを用いたCROPを実施するかどうかの設定を行います。
[ON]のときは、ZOOM倍率の設定ができます。(→「CROP ZOOM RATIO」)
[UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。

CROP AF [OFF、ON]

CROP切り出し枠内の映像でのAFを実施するかどうかの設定を行います。
[UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。

3G SDI OUT [FULL、CROP]

3G SDI OUT1 端子に出力する映像のFULL/CROPの設定を行います。

FULL	UHDの映像を切り出すことなく、そのままFHDにダウンコンバートした映像を出力します。
CROP	UHDの映像から、FHDを切り出した映像を出力します。 このとき、[CROP OUT]で指定した切り出し枠の映像を出力します。

[UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。

NDI OUT [FULL、CROP]

High bandwidth NDIに出力する映像のFULL/CROPの設定を行います。

FULL	UHDの映像を切り出すことなく、そのままFHDにダウンコンバートした映像を出力します。
CROP	UHDの映像から、FHDを切り出した映像を出力します。 このとき、[CROP OUT]で指定した切り出し枠の映像を出力します。

[UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。

IP(H.264/H.265) OUT1 [FULL、CROP]

IP(H.264/H.265) OUT2 [FULL、CROP]

H.264/H.265/M-JPEGの配信(LAN端子)に出力する映像のFULL/CROPの設定を行います。

[IP(H.264/H.265) OUT1]で指定した設定は、各配信のCH1 (H.264(1)、H.265(1)、JPEG(1))の配信映像に適用されます。
[IP(H.264/H.265) OUT2]で指定した設定は、各配信のCH2～CH3 (H.264(2)～(3)、H.265(2)～(3)、JPEG(2)～(3))の配信映像に適用されます。

FULL	UHDの映像を切り出すことなく、そのままFHDにダウンコンバートした映像を出力します。
CROP	UHDの映像から、FHDを切り出した映像を出力します。 このとき、[CROP OUT]で指定した切り出し枠の映像を出力します。

[UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。

WEB画面における[Streaming mode]が[NDI|HX V2]のときは、[IP(H.264/H.265) OUT1]および[IP(H.264/H.265) OUT2]は連動動作となります。

CROP MARKER [OFF、YL、G、MG、YL+G、YL+MG、G+MG、YL+G+MG]

3G SDI OUT1 端子、3G SDI OUT2/PM端子、SMPTE ST2110のMONITOR映像、LAN端子(H.264/H.265/M-JPEG)に出力する映像に表示する切り出し枠の設定を行います。

OFF	切り出し枠を表示しません。
YL	黄の切り出し枠のみを表示します。
G	緑の切り出し枠のみを表示します。
MG	マゼンタの切り出し枠のみを表示します。
YL+G	黄および緑の切り出し枠を表示します。
YL+MG	黄およびマゼンタの切り出し枠を表示します。
G+MG	緑およびマゼンタの切り出し枠を表示します。
YL+G+MG	黄および緑およびマゼンタの切り出し枠を表示します。

[UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。

〈NOTE〉

- 12G SDI OUT/SFP+端子、HDMI端子、SMPTE ST2110 MAIN映像、SMPTE ST2110 CROP映像においては、切り出し枠の表示はできません。

CROP OUT [YL、G、MG]

3G SDI OUT1 端子、SMPTE ST2110のCROP映像、High bandwidth NDI映像、LAN端子(H.264/H.265/M-JPEG)に出力する映像の切り出し枠の設定を行います。

YL	黄の切り出し枠の映像を出力します。
G	緑の切り出し枠の映像を出力します。
MG	マゼンタの切り出し枠の映像を出力します。

[UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。

〈NOTE〉

- [CROP OUT]で指定している色の枠は、他の色の枠に比べて濃色となります。
- 12G SDI OUT/SFP+端子、3G SDI OUT2/PM端子、HDMI端子、SMPTE ST2110 MAIN映像、SMPTE ST2110 MONITOR映像においては、切り出し映像は出力できません。

CROP ADJUST [YL、G、MG]

位置調整を行う切り出し枠の選択を行います。

YL	黄の切り出し枠の位置調整を行います。
G	緑の切り出し枠の位置調整を行います。
MG	マゼンタの切り出し枠の位置調整を行います。

[UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。

〈NOTE〉

- [CROP ADJUST]で指定されている色の枠は、他の色の枠に比べて太枠となります。

CROP H POSITION [0 ~ 3072]

[CROP ADJUST]で指定した切り出し枠の、水平方向の位置の設定を行います。

[UHD CROP]が[CROP(1080)]で、[CROP ZOOM]が[OFF]のときの可変範囲は0 ~ 1920であり、0が左端、1920が右端となり、偶数のみ設定可能です。

[UHD CROP]が[CROP(720)]で、[CROP ZOOM]が[OFF]のときの可変範囲は0 ~ 2560であり、0が左端、2560が右端となり、偶数のみ設定可能です。

[CROP ZOOM]が[ON]のときの可変範囲は、[CROP ZOOM RATIO]の設定値によって異なり、[CROP ZOOM RATIO]が500.00%のときの可変範囲が0 ~ 3072となり、偶数のみ設定可能です。

[UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。

CROP V POSITION [0 ~ 1728]

[CROP ADJUST]で指定した切り出し枠の、垂直方向の位置の設定を行います。

[UHD CROP]が[CROP(1080)]で、[CROP ZOOM]が[OFF]のときの可変範囲は0 ~ 1080であり、0が上端、1080が下端となります。

[UHD CROP]が[CROP(720)]で、[CROP ZOOM]が[OFF]のときの可変範囲は0 ~ 1440であり、0が上端、1440が下端となります。

[CROP ZOOM]が[ON]のときの可変範囲は、[CROP ZOOM RATIO]の設定値によって異なり、[CROP ZOOM RATIO]が500.00%のときの可変範囲が0 ~ 1728となります。

[UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。

CROP ZOOM RATIO [120.00% ~ 500.00%]

[CROP ZOOM]が[ON]のときの、CROP枠の大きさを指定します。指定可能な範囲は、120.00% ~ 500.00%であり、OSDメニューから設定できるのは10.00%単位の粒度となります。

本項目の設定値と、CROP枠のサイズ、[CROP H POSITION]および[CROP V POSITION]の可変範囲は以下のようになります。

CROP ZOOM RATIO	CROP枠サイズ	可変範囲	
		CROP H POSITION	CROP V POSITION
120.00%	3200 × 1800	0 ~ 640	0 ~ 360
⋮	⋮	⋮	⋮
200.00%	1920 × 1080	0 ~ 1920	0 ~ 1080
⋮	⋮	⋮	⋮
300.00%	1280 × 720	0 ~ 2560	0 ~ 1440
⋮	⋮	⋮	⋮
400.00%	960 × 540	0 ~ 2880	0 ~ 1620
⋮	⋮	⋮	⋮
500.00%	768 × 432	0 ~ 3072	0 ~ 1728

[UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。

[CROP ZOOM]が[ON]のときに有効です。

■ 切り出し機能(CROP機能)について

[UHD CROP]を[CROP(1080)]または[CROP(720)]にすると、UHD信号からの切り出し映像を、3G SDI OUT1端子、SMPTE ST2110のCROP映像、High bandwidth NDI映像、LAN端子(H.264/H.265/M-JPEG)から出力することができます。(図2) このとき、切り出し映像を出力していない他の端子には、切り出し前のUHD映像をFHDにダウンコンバートした映像信号が出力され、[CROP MARKER]のメニュー設定に従って切り出し枠が表示されます。(図1)

切り出し枠



図1

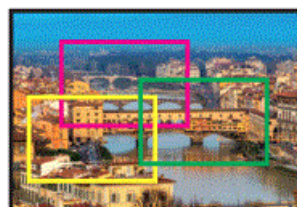
図2

[3G SDI1 OUT]、[NDI OUT]、[IP(H.264/H.265) OUT1]、[IP(H.264/H.265) OUT2]および[CROP OUT]の設定によって、3G SDI OUT端子およびLAN端子から出力する映像は以下のようになります。

3G SDI1 OUT / NDI OUT / IP(H.264/H.265) OUT1 / IP(H.264/H.265) OUT2	CROP OUT	3G SDI OUT端子およびLAN端子からの出力映像
FULL	-	切り出し前のUHD映像をFHDにダウンコンバートした映像
CROP	YL	黄枠の切り出し映像
	G	緑枠の切り出し映像
	MG	マゼンタ枠の切り出し映像

(NOTE)

- 12G SDI OUT/SFP+端子、3G SDI OUT2/PM端子、HDMI端子、SMPTE ST2110 MAIN映像、SMPTE ST2110 MONITOR映像においては、切り出し映像は出力できません。



[CROP MARKER]の設定によって、切り出し映像を出力していない端子で、3G SDI OUT1端子、3G SDI OUT2/PM端子、SMPTE ST2110のMONITOR映像、IP(H.264/H.265)端子に出力する切り出し枠を選択できます。

CROP MARKER	切り出し枠の表示
OFF	切り出し枠を表示しません。
YL	黄の切り出し枠のみを表示します。
G	緑の切り出し枠のみを表示します。
MG	マゼンタの切り出し枠のみを表示します。
YL+G	黄および緑の切り出し枠を表示します。
YL+MG	黄およびマゼンタの切り出し枠を表示します。
G+MG	緑およびマゼンタの切り出し枠を表示します。
YL+G+MG	黄および緑およびマゼンタの切り出し枠を表示します。

(NOTE)

- CROP枠(YL/G/MG)を移動する際、CROP枠の表示がカクつく場合がありますが、実際のCROP出力映像にカクツキは発生しません。
- 12G SDI OUT/SFP+端子、HDMI端子、SMPTE ST2110 MAIN映像、SMPTE ST2110 CROP映像においては、切り出し枠の表示はできません。

PAN/TILT

INSTALL POSITION [DESKTOP、HANGING]

本機の設置方法を [DESKTOP] (据え置き) または [HANGING] (吊り下げ) から選択します。

DESKTOP	据え置き設置
HANGING	吊り下げ設置

〈NOTE〉

- [HANGING] (吊り下げ) を選択した場合、映像が上下左右反転となり、パン、チルト制御も上下左右制御が反転となります。

SMART PICTURE FLIP [OFF、AUTO]

チルトが [FLIP DETECT ANGLE] で設定した角度になると、自動的に映像を上下逆転します。

OFF	上下逆転しません。
AUTO	自動的に映像を上下逆転します。

FLIP DETECT ANGLE [60deg ~ 120deg]

[SMART PICTURE FLIP] が [AUTO] の場合に、映像を上下逆転させるチルトの角度を設定します。

P/T SPEED MODE [NORMAL (60deg/s)、FAST1 (90deg/s)、FAST2 (180deg/s)]

PAN/TILT 動作のスピードを設定します。

NORMAL (60deg/s)	PAN/TILT を通常スピード (最大約 60° / 秒) で動作させます。
FAST1 (90deg/s)	PAN/TILT を高速スピード 1 (最大約 90° / 秒) で動作させます。
FAST2 (180deg/s)	PAN/TILT を高速スピード 2 (最大約 180° / 秒) で動作させます。

P/T ACCELERATION SETTING

パン・チルト動作の開始/停止時の加速度を設定するための詳細設定画面を表示します。

P/T ACCELERATION [MANUAL、AUTO]

パン・チルトのマニュアル操作時の加減度等の詳細設定を行うかどうかを設定します。

MANUAL	パン・チルト動作の開始/停止時や速度変更時における加速度等の詳細設定を行います。
AUTO	パン・チルトの動作の開始/停止や速度変更時の加減速等を自動で動作させます。

RISE S-CURVE [0 ~ 30]

パン・チルトの加速動作における S 字カーブを 31 段階で設定します。(数字が大きいほど S 字の程度が強くなります)

コントローラーによるレバー操作等パン・チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための加速が必要な場合、本設定で指定された S 字カーブにより加速処理を行います。

[P/T ACCELERATION] が [MANUAL] のときに有効です。

〈NOTE〉

- 加速応答を制限するため、S 字カーブの段階は加速度が高くなるほど自動的に制限されます。

FALL S-CURVE [0 ~ 30]

パン・チルトの減速動作における S 字カーブを 31 段階で設定します。(数字が大きいほど S 字の程度が強くなります)

コントローラーによるレバー操作等パン・チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための減速が必要な場合、本設定で指定された S 字カーブにより減速処理を行います。

[P/T ACCELERATION] が [MANUAL] のときに有効です。

〈NOTE〉

- 減速応答を制限するため、S 字カーブの段階は減速度が高くなるほど自動的に制限されます。
- [P/T ACCELERATION SETTING] の各種設定値の関係は、84 ページの図を参照してください。

RISE ACCELERATION [1 ~ 255]

パン・チルトの加速動作における加速度を 255 段階で設定します。(数字が大きいほど加速度は大きくなります)

コントローラーによるレバー操作等パン・チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための加速が必要な場合、本設定で指定された加速度により加速処理を行います。

[P/T ACCELERATION] が [MANUAL] のときに有効です。

〈NOTE〉

- 指定された加速度が小さい場合、仕様の最高速まで到達できない場合があります。

FALL ACCELERATION [1 ~ 255]

パン・チルトの減速動作における減速度を 255 段階で設定します。(数字が大きいほど減速度は大きくなります)

コントローラーによるレバー操作等パン・チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための減速が必要な場合、本設定で指定された減速度により減速処理を行います。

[P/T ACCELERATION] が [MANUAL] のときに有効です。

〈NOTE〉

- レンズ機構部先端までの減速、停止処理を行い、メカ衝突を回避するため、実動作では [FALL ACCELERATION] に制限がかかる場合があります。

SPEED WITH ZOOM POSITION [OFF、ON]

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能を OFF/ON します。

[ON] に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。

本機能はプリセット動作には効果がありません。

FOCUS ADJUST WITH PTZ. [OFF、ON]

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正する機能を OFF/ON します。

[OFF] に設定する場合は、ズーム操作後に必要に応じてフォーカスを調整するか、[FOCUS MODE] を [AUTO] に設定してください。

[FOCUS MODE] が [MANUAL] のときに有効です。

PRIVACY MODE [OFF、ON]

本機を STANDBY モードにしたときに、カメラの向きを後方に向けて機能の OFF/ON を設定します。

OFF	STANDBY モードに移行したときのカメラの向きを変更しません。(POWER ON 状態のときのカメラの向きを維持)
ON	STANDBY モードに移行したときに、カメラの向きを後方に移動します。 再度、POWER ON 状態に移行したときは、[POWER ON POSITION] に従った位置に移動します。

POWER ON POSITION

[NONE、STANDBY、HOME、PRESET]

電源を入れたとき、PAN/TILT/ZOOM の初期位置をどこにするかを選択します。

NONE	電源 ON 時の PAN/TILT の位置をキープし、ZOOM はワイド端となります。
STANDBY	前回 STANDBY モードに移行したときの PAN/TILT / ZOOM の位置に移動します。
HOME	PAN/TILT はホームポジション (正面) に移動し、ZOOM はワイド端となります。
PRESET	[PRESET NUMBER] で指定したプリセット位置でプリセット再生します。

PRESET NUMBER [001 ~ 100]

[POWER ON POSITION] で [PRESET] が設定されているとき、電源 ON 時にプリセット再生する番号を指定します。

〈NOTE〉

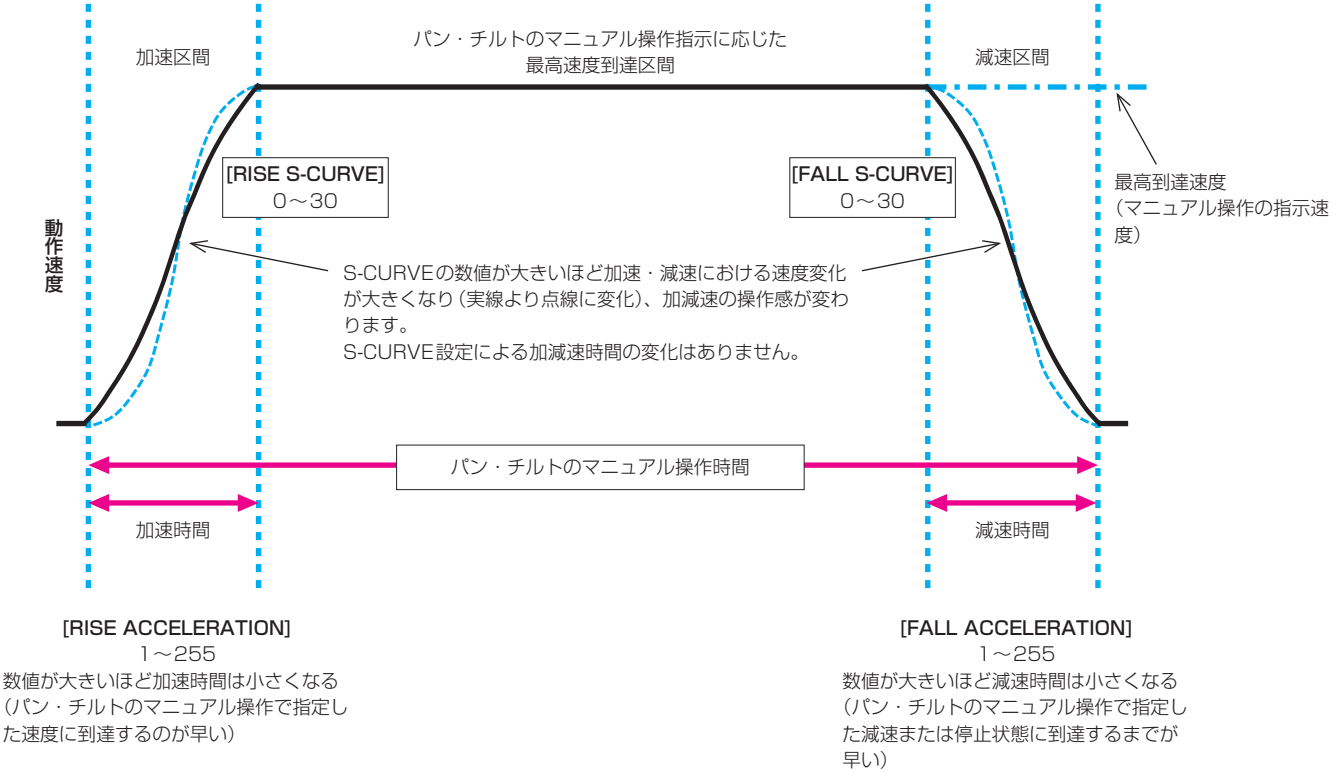
- 未登録のプリセット番号が設定されている場合は、プリセット再生せずに [STANDBY] の動作となります。

■ パン・チルトのマニュアル操作時の、[P/T ACCELERATION] を [MANUAL] に設定した場合の各種設定値の関係

応答性(最高速度、加速度、S字カーブの段階)を指定する操作が可能です。

〈NOTE〉

- 指定された加速度が小さい場合、仕様の最高速まで到達できない場合があります。



PRESET

PRESET PTZ SYNC MODE [OFF, ON]

プリセットメモリーを再生したときの、パン・チルト・ズームの同時性を優先させるモードを OFF/ON にします。

[ON] に設定すると、パン・チルト・ズームの動作開始/終了タイミングの同時動作と、移動中のパン・チルト・ズームの動きをそろえるよう制御を行います。

加えて、通常のプリセットメモリー再生よりも滑らかなズーム画角の変化で制御します。

〈NOTE〉

- [PRESET PTZ SYNC MODE] が [ON] のとき、[LENS] - [ZOOM MODE] が強制的に [Opt.ZOOM] に変更されます。(77ページ)
- [PRESET PTZ SYNC MODE] が [ON] のとき、[PRESET ACCELERATION SETTING] の一部の設定項目が利用できません。(85ページ)
- [PRESET PTZ SYNC MODE] が [ON] のとき、[PRESET ZOOM MODE] は設定できません。(86ページ)

PRESET SPEED UNIT [SPEED TABLE, TIME]

プリセットメモリーに登録されているカメラの向きなどの情報を再現するときに、その再生時間のスピードを指定するか時間を指定するかを選択します。

SPEED TABLE	プリセット再生時に、スピードを指定して再生します。
TIME	プリセット再生時に、時間を指定して再生します。

PRESET SPEED TABLE [SLOW, FAST]

プリセットスピードのテーブル (SLOW, FAST) を設定します。プリセット再生時には、ここで設定したテーブルに従った [PRESET SPEED] (1~30) の値でプリセットを実行します。

[PRESET SPEED UNIT] が [SPEED TABLE] のときに有効です。

PRESET SPEED [1～30 / 1s～99s]

[PRESET SPEED UNIT]が[SPEED TABLE]のとき：

[1～30]

プリセットメモリーを再生する時のパン・チルトの動作スピードを、30段階で設定します。

〈NOTE〉

- ・[PRESET SPEED]を大きな値に設定すると、停止するときに画面が揺らぐことがあります。

[PRESET SPEED UNIT]が[TIME]のとき：[1s～99s]

プリセットメモリーを再生する時のパン・チルトの動作時間を1秒～99秒で設定します。

〈NOTE〉

- ・パン・チルトの移動距離によっては、指定した時間と誤差が生じる場合があります。

PRESET ACCELERATION SETTING

プリセット再生の開始/停止時の加速度を設定するための詳細設定画面を表示します。

PRESET ACCELERATION [MANUAL、AUTO]

MANUAL	プリセット再生の開始/停止時の加速度等の詳細設定を行います。
AUTO	プリセット再生の開始/停止時の加速度等を自動で動作させます。

RISE S-CURVE [0～30]

パン・チルトの加速動作におけるS字カーブを31段階で設定します。(数字が大きいほどS字の程度が強くなります)

プリセット再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための加速動作において、本設定で指定されたS字カーブにより加速処理を行います。

[PRESET ACCELERATION]が[MANUAL]のときに有効です。

〈NOTE〉

- ・加速応答を制限するため、S字カーブの段階は加速度が高くなるほど自動的に制限されます。
- ・[PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]のとき、本項目は設定できません。

FALL S-CURVE [0～30]

パン・チルトの減速動作におけるS字カーブを31段階で設定します。(数字が大きいほどS字の程度が強くなります)

プリセット再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための減速動作において、本設定で指定されたS字カーブにより減速処理を行います。

[PRESET ACCELERATION]が[MANUAL]のときに有効です。

〈NOTE〉

- ・減速応答を制限するため、S字カーブの段階は減速度が高くなるほど自動的に制限されます。
- ・[PRESET ACCELERATION]の各種設定値の関係は、87ページ、88ページの図を参照してください。
- ・[PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]のとき、本項目は設定できません。

RISE ACCELERATION [1～255]

パン・チルトの加速動作における加速度を255段階で設定します。(数字が大きいほど加速度は大きくなります)

プリセット再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための加速動作において、本設定で指定された加速度により加速処理を行います。

[PRESET ACCELERATION]が[MANUAL]、かつ[PRESET SPEED UNIT]が[SPEED TABLE]のときに有効です。

〈NOTE〉

- ・プリセット再生の最高到達速度が[PRESET SPEED]の指定速度となることを優先するため、ここで指定した加速度が小さい場合では、指定通りの動作とならない場合があります。
- ・[PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]のとき、本項目の設定内容は[FALL ACCELERATION]にも適用されます。([RISE ACCELERATION]と[FALL ACCELERATION]は共通の値で動作します)

FALL ACCELERATION [1～255]

パン・チルトの減速動作における減速度を255段階で設定します。(数字が大きいほど減速度は大きくなります)

プリセット再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための減速動作において、本設定で指定された減速度により減速処理を行います。

[PRESET ACCELERATION]が[MANUAL]、かつ[PRESET SPEED UNIT]が[SPEED TABLE]のときに有効です。

〈NOTE〉

- ・プリセット再生の最高到達速度が[PRESET SPEED]の指定速度となることを優先するため、ここで指定した減速度が小さい場合では、指定通りの動作とならない場合があります。
- ・[PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]のとき、本項目は設定できません。([RISE ACCELERATION]で設定された値が、[FALL ACCELERATION]にも適用されます)

RISE RAMP TIME [0.1s～10.0s]

プリセット再生時の時間指定動作で加速時間を設定します。(0.1s～10.0sを0.1s単位で設定)

[PRESET ACCELERATION]が[MANUAL]、かつ[PRESET SPEED UNIT]が[TIME]のときに有効です。

〈NOTE〉

- ・プリセット再生のトータル時間が[PRESET SPEED]の指定時間となることを優先するため、ここで指定した時間が[PRESET SPEED]で指定した時間の半分よりも大きいときは指定通りの動作にはなりません。
- ・デバイスの最高加速度でも指定時間での加速動作ができない場合、指定時間通りの動作にはなりません。
- ・[PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]のとき、本項目の設定内容は[FALL RAMP TIME]にも適用されます。([RISE RAMP TIME]と[FALL RAMP TIME]は共通の値で動作します)

FALL RAMP TIME [0.1s～10.0s]

プリセット再生時の時間指定動作で減速時間を設定します。(0.1s～10.0sを0.1s単位で設定)

[PRESET ACCELERATION]が[MANUAL]、かつ[PRESET SPEED UNIT]が[TIME]のときに有効です。

〈NOTE〉

- ・プリセット再生のトータル時間が[PRESET SPEED]の指定時間となることを優先するため、ここで指定した時間が[PRESET SPEED]で指定した時間の半分よりも大きいときは指定通りの動作にはなりません。
- ・デバイスの最高減速度でも指定時間での減速動作ができない場合、指定時間通りの動作にはなりません。
- ・[PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]のとき、本項目は設定できません。([RISE RAMP TIME]で設定された値が、[FALL RAMP TIME]にも適用されます)

PRESET SCOPE [MODE A、MODE B、MODE C]

プリセットメモリーを再生したときに呼び出す設定項目を選択します。

MODE A	PAN、TILT、ZOOM (デジタルズーム含む)、FOCUS、IRIS、GAIN、SHUTTER、ホワイトバランス調整値
MODE B	PAN、TILT、ZOOM (デジタルズーム含む)、FOCUS、IRIS
MODE C	PAN、TILT、ZOOM (デジタルズーム含む)、FOCUS

PRESET DIGITAL EXTENDER [OFF、ON]

プリセットデジタルエクステンダー機能をOFF/ONします。

[ON]に設定すると、プリセットメモリー再生時にデジタルエクステンダー機能の設定状態を呼び出します。

[OFF]に設定すると、プリセットメモリー登録時のデジタルエクステンダー機能の設定状態は呼び出されません。

〈NOTE〉

- [PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]のとき、本項目は設定できません。

PRESET CROP [OFF、ON]

プリセットメモリーを再生したときに、[UHD CROP]の各メニューで設定していた内容を再現させるかどうかをOFF/ONします。

[ON]に設定すると、プリセットメモリー再生時に、[UHD CROP]の各メニューの値を再現させます。

[OFF]に設定すると、プリセットメモリー再生時に、[UHD CROP]の各メニューの値を再現せずに、現在の値をそのまま維持します。

〈NOTE〉

- [CROP] – [UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]のときに有効です。
- [CROP] – [UHD CROP]が[OFF]または[CROP(1080)]の状態ではプリセットメモリーを登録しておき、[UHD CROP]が[CROP(720)]の状態ではこのプリセット再生を実施した場合、[PRESET CROP]が[ON]であっても、[UHD CROP]の各メニューで設定していた内容は再現されません。
- [CROP] – [UHD CROP]が[CROP(720)]の状態ではプリセットメモリーを登録しておき、[UHD CROP]が[CROP(1080)]の状態ではこのプリセット再生を実施した場合、[PRESET CROP]が[ON]であっても、[UHD CROP]の各メニューで設定していた内容は再現されません。

PRESET THUMBNAIL UPDATE [OFF、ON]

プリセットメモリーを登録したときに、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)を登録する機能をOFF/ONします。

[ON]に設定すると、プリセットメモリー登録時に、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)を登録します。

[OFF]に設定すると、プリセットメモリー登録時に、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)を登録せずに、事前に登録していた静止画(サムネール)を継続します。

〈NOTE〉

- [IP SIGNAL] – [IP(H.264/H.265)] – [CHAR]が[ON]の場合は、静止画(サムネール)の生成時に表示されているOSDメニューの文字列およびCROP枠がサムネールに取り込まれます。
- [CROP] – [UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]の場合は、[CROP] – [IP(H.264/H.265) OUT 1]で指定している映像(FULLまたはCROP)の静止画を登録します。
- WEB画面などから、ユーザーファイルのアップロードを実施した場合、プリセットメモリーで登録されている静止画(サムネール)は消去されます。(→199ページ)
- プリセットメモリーの連続登録(3秒以内で連続登録)を行った場合、2つ目以降のプリセットメモリーに対する静止画(サムネール)が登録できずに黒映像の静止画(サムネール)になる場合があります。

PRESET NAME [RESET、HOLD]

プリセットメモリーを登録したときに、事前に登録されていたプリセット名称をリセットするか、維持するかを設定を行います。

RESET	プリセットメモリーを登録したときに、事前に登録していたプリセット名称をリセットします。 リセットするプリセット名称は、[PRESET***]となります。(***は3桁のプリセット番号：001～100)
HOLD	プリセットメモリーを登録したときに、事前に登録していたプリセット名称を維持します。

〈NOTE〉

- 工場出荷時には、プリセット名称は[PRESET***]が設定されています。(***は3桁のプリセット番号：001～100)
- プリセット名称の登録は、Webブラウザから設定できます。
0～9、A～Z、a～z、_、半角スペース

PRESET IRIS [OFF、ON]

プリセットメモリーを再生したときに、IRISに関する各種メニュー値を再現させるかどうかをOFF/ONします。

[ON]に設定すると、プリセットメモリー再生時に以下の各メニューの値を再現させます。

- [PAINT] – [IRIS] – [AUTO IRIS]
- [PAINT] – [IRIS] – [WINDOW SELECT]
- [PAINT] – [IRIS] – [PICTURE LEVEL]
- [PAINT] – [IRIS] – [IRIS SPEED]

〈NOTE〉

- [PRESET SCOPE]が[MODE A]または[MODE B]のときに有効です。

PRESET SHUTTER [OFF、ON]

プリセットメモリーを再生したときに、SHUTTERの設定値を再現させるかどうかをOFF/ONします。

〈NOTE〉

- [PRESET SCOPE]が[MODE A]のときに有効です。
- プリセットメモリーを登録したときのフレームレートと、プリセットメモリーを再生するときのフレームレートが一致するときのみ、SHUTTER値を再現させます。

PRESET ZOOM MODE [MODE A、MODE B]

プリセットメモリーを再生したときのズーム動作を選択します。

MODE A	パン・チルトの動作に合わせて滑らかなズーム動作を行います。
MODE B	パン・チルトの動作に合わせて一定速度でズーム動作を行います。

〈NOTE〉

- [PRESET PTZ SYNC MODE]が[ON]のとき、本項目は設定できません。

FREEZE DURING PRESET [OFF、ON]

プリセット再生中に映像をフリーズさせる機能をOFF/ONします。

[ON]に設定すると、プリセット再生開始直前の映像をフリーズ出力した状態でプリセット再生を実施し、プリセット再生を完了したときに映像のフリーズを解除します。

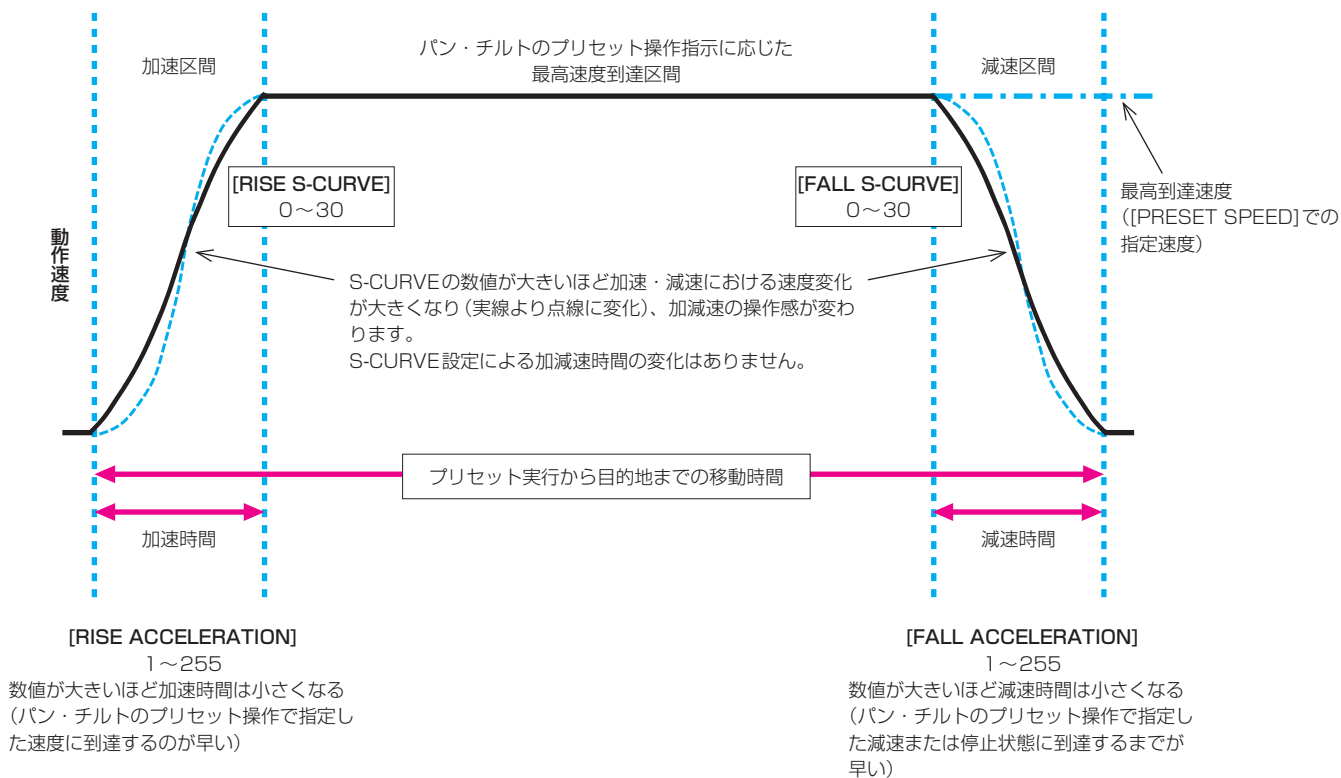
■ プリセット再生時の、[PRESET ACCELERATION] を [MANUAL] に設定した場合の各種設定値の関係

● [PRESET SPEED UNIT] が [SPEED TABLE] のとき

応答性 (最高速度、加速度、S字カーブの段階) を指定する操作が可能です。

〈NOTE〉

- ・ プリセット指定による移動量が小さい場合は指定速度に到達しない場合があります。
- ・ 速度指定値を優先するため加速度には自動で制限がかかります。(速度指定値により加速度の下限値が自動で制限されます。)
- ・ パン・チルトの同時動作を実現するため、移動量が小さい軸の最高速は自動的に制限されます。

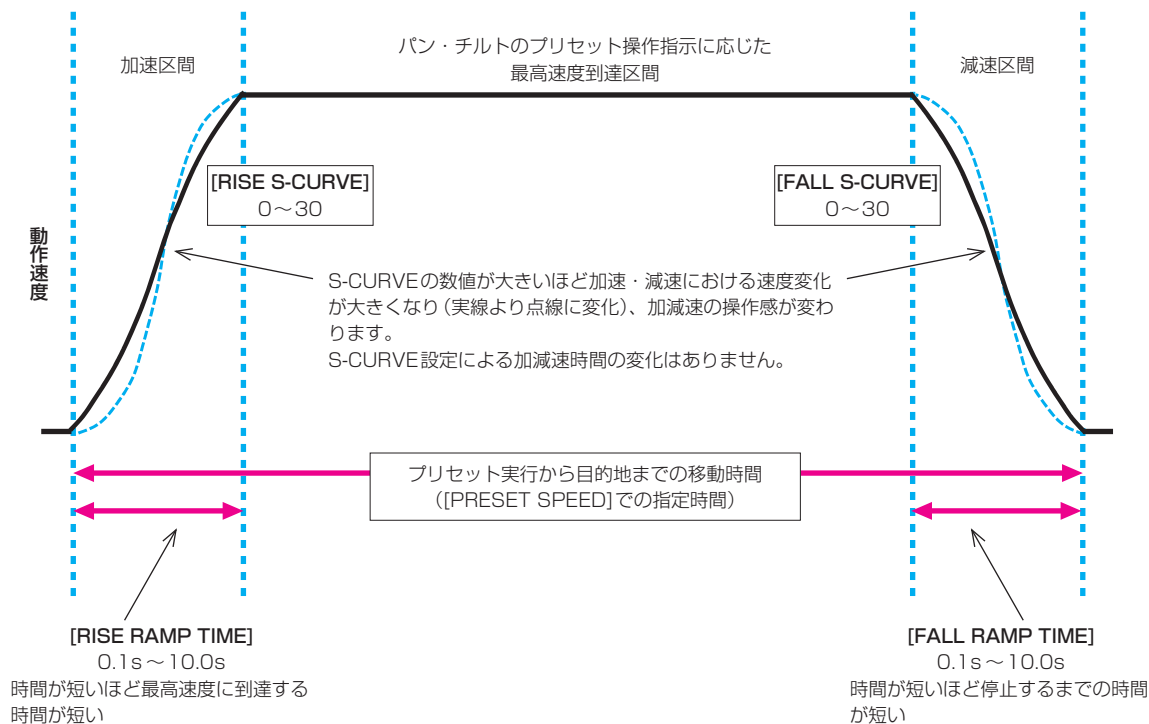


●[PRESET SPEED UNIT]が[TIME]のとき

時間(移動時間、加速時間、減速時間)およびS字カーブの段階を指定する操作が可能です。

〈NOTE〉

- ・デバイスの最高加速度でも指定時間での加速動作ができない場合、指定時間通りの動作にはなりません。
- ・プリセット再生のトータル時間が[PRESET SPEED]の指定時間となることを優先するため、[RISE RAMP TIME]と[FALL RAMP TIME]の指定した時間が、[PRESET SPEED]で指定した時間の半分よりも大きいときは、指定通りの動作になりません。



FILES

SCENE FILE

MODE [LOAD、STORE]

SCENE ファイルの動作モードを選択します。

LOAD	指定したSCENE ファイル番号の設定値を、現在の出力映像に適用します。
STORE	現在の出力映像の設定値を、指定したSCENE ファイル番号に適用します。

FILE NO [OFF、1～8]

LOAD/STORE を行う SCENE ファイル番号を設定します。

[MODE] が [LOAD] のときのみ [OFF] を設定できます。

FILE NAME

SCENE ファイルのファイル名を最大 15 文字で設定できます。
(半角英数字、空白、! # % & ' () * + , - . / : ; < = > ? [] _ ~ \$ @ |)

LIST

設定されている SCENE ファイルのファイル名をリスト表示します。
同時にリスト表示できるのは 3 つまでで、スクロール表示します。

EXECUTE [NO、YES]

設定した内容を実行します。

USER FILE

MODE [LOAD、STORE]

USER ファイルの動作モードを選択します。

LOAD	指定したUSER ファイル番号の設定値を、現在の出力映像に適用します。
STORE	現在の出力映像の設定値を、指定したUSER ファイル番号に適用します。

FILE NO [1、2、3]

LOAD/STORE を行う USER ファイル番号を設定します。

FILE NAME

USER ファイルのファイル名を最大 15 文字で設定できます。
(半角英数字、空白、! # % & ' () * + , - . / : ; < = > ? [] _ ~ \$ @ |)

LIST

設定されている USER ファイルのファイル名をリスト表示します。

EXECUTE [NO、YES]

設定した内容を実行します。

MAINTENANCE

FAN SETTING

FAN1 [AUTO、LOW、MID、HIGH]

冷却ファン 1 (LENS ユニット側) の動作を設定します。

FAN2 [AUTO、LOW、MID、HIGH]

冷却ファン 2 (ベースユニット側) の動作を設定します。

AUTO	冷却ファンを自動制御します。
LOW	冷却ファンを低速で動作させます。
MID	冷却ファンを中速で動作させます。
HIGH	冷却ファンを高速で動作させます。

<NOTE>

- [LOW]、[MID] または [HIGH] に設定していても、低温時には、冷却ファンを強制的に停止させる場合があります。
- [LOW] または [MID] に設定していても、高温時には、冷却ファンを強制的に [HIGH] に動作させる場合があります。

DATE/TIME

日付と時刻を設定します。

PRESENT

現在時刻を表示します。

DATE YY [23～99]

日付の「年」を表示します。

DATE MM [01～12]

日付の「月」を表示します。

DATE DD [1～31]

日付の「日」を表示します。

TIME HH [00～23]

時刻の「時」を表示します。

TIME MM [00～59]

時刻の「分」を表示します。

TIME SS [00～59]

時刻の「秒」を表示します。

SET EXECUTE [NO、YES]

上記で入力した日付/時刻を設定 (保存) します。

RESET [NO、YES]

日付/時刻を出荷時設定に戻します。

INITIALIZE

MENU INITIALIZE [NO、YES]

OSD メニューの各種設定値を初期化します。

ただし、以下の項目は初期化されません。

- [BASIC CONFIG] の [FREQUENCY]、[FORMAT] および [SFP+ MODE]
- [NETWORK] の各種設定項目
- [OUTPUT] の各出力端子の [FORMAT SELECT]
- SCENE ファイル 1～8 / USER ファイル 1～3 の各設定値
- PRESET 情報 (100 件分の登録情報)
- Web 画面から設定できる各種 NETWORK 関連の設定値
- [DATE/TIME] の各種設定項目

カメラメニュー項目（つづき）

ALL DATA INITIALIZE [NO, YES]

OSDメニューの各種設定値および、SCENEファイル1～8、USERファイル1～3の各種設定値を初期化します。

ただし、以下の項目は初期化されません。

- [BASIC CONFIG]の[FREQUENCY]、[FORMAT]および[SFP+ MODE]
- [NETWORK]の各種設定項目
- [OUTPUT]の各出力端子の[FORMAT SELECT]
- PRESET情報（100件分の登録情報）
- Web画面から設定できる各種NETWORK関連の設定値
- [DATE/TIME]の各種設定項目

VERSION

SYSTEM VERSION

本機のシステム全体のバージョンを表示します。

HOURL METER

動作履歴を表示する[HOURL METER]画面を表示します。

OPERATION

本機の累計の稼働時間（1時間単位）を表示します。

FAN1

冷却ファン1（LENSユニット側）の累計の稼働時間（1時間単位）を表示します。

FAN2

冷却ファン2（ベースユニット側）の累計の稼働時間（1時間単位）を表示します。

HDMI STATUS

CONNECT

HDMI端子の接続状態を表示します。

接続先のデバイス/モニターの製品仕様に応じて、以下のいずれかが表示されます。

UNCONNECT	接続されていません。
HDMI	HDMI形式で接続されています。
DVI	DVI形式で接続されています。

FORMAT

HDMI端子から出力されている映像のフォーマットを表示します。

[OUTPUT]-[HDMI]-[FORMAT]で指定されているものと同じフォーマットが表示されます。

VIDEO SAMPLING

HDMI端子から出力されている映像のビデオサンプリングが表示されます。

メニューおよび接続先のデバイス/モニターの製品仕様に応じて、以下のいずれかが表示されます。

---	[CONNECT]がHDMI以外の場合に表示されます。
RGB 8bit	[CONNECT]がHDMIで、RGB 8bitで出力している場合に表示されます。
YPbPr 4:2:2/10bit	[CONNECT]がHDMIで、YPbPr 4:2:2/10bitで出力している場合に表示されます。
YPbPr 4:2:0/8bit	[CONNECT]がHDMIで、YPbPr 4:2:0/8bitで出力している場合に表示されます。

〈NOTE〉

- [OUTPUT]-[HDMI]-[VIDEO SAMPLING]でビデオサンプリングを設定していても、HDMI接続先のデバイス/モニターの製品仕様によっては、指定した形式で出力できない場合があります。本項目では、実際に出力しているビデオサンプリングの状態を表示します。

MONITOR

HDMI端子の接続先のデバイス/モニターの状態を表示します。

接続先のデバイス/モニターの製品仕様に応じて、以下のいずれかが表示されます。

---	[CONNECT]がHDMI以外の場合に表示されます。
AVAILABLE	[CONNECT]がHDMIで、本機が出力するフォーマットに対して、接続先のデバイス/モニターが対応できているときに表示します。
UNSUPPORT UHD	[CONNECT]がHDMIで、本機が出力するフォーマットに対して、接続先のデバイス/モニターが非対応の内容を表示します。
UNSUPPORT UHD 60P/50P	
UNSUPPORT UHD 60P 4:2:2	
UNSUPPORT UHD 50P 4:2:2	
UNSUPPORT UHD 60P 4:2:0	
UNSUPPORT UHD 50P 4:2:0	
UNSUPPORT HLG/2020	
UNSUPPORT HLG	[CONNECT]がHDMIで、接続先のデバイス/モニターが上記以外の要因で非対応のときに表示されます。
UNSUPPORT 2020	
UNSUPPORT FORMAT	

ERROR STATUS

エラー発生状況を表示する[ERROR STATUS]画面を表示します。

LENS [NO ERROR, ERROR]

LENSのエラー状態を表示します。

PAN/TILT [NO ERROR, ERROR]

PAN/TILT駆動部のエラー状態を表示します。

FAN1 [NO ERROR, ERROR]

冷却ファン1（LENSユニット側）のエラー状態を表示します。

FAN2 [NO ERROR, ERROR]

冷却ファン2（ベースユニット側）のエラー状態を表示します。

TEMPERATURE

[NO ERROR, HIGH TEMPERATURE, SENSOR ERROR]

温度関連のエラー情報を表示します。

HIGH TEMPERATURE	高温状態を表示します。
SENSOR ERROR	温度センサーの異常を表示します。

WHITE SHADING

ホワイトシェーディング補正を行います。

RGB各チャンネルのノコギリ歯状波形とパラボラ波形を、水平方向と垂直方向に調整します。

CORRECT[OFF, ON]

ホワイトシェーディング(ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形)の補正のON/OFFを設定します。

W H SAW R [−100〜0〜+100]

Rchに対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

W H SAW G [−100〜0〜+100]

Gchに対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

W H SAW B [−100〜0〜+100]

Bchに対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

W H PARA R [−100〜0〜+100]

Rchに対して、パラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

W H PARA G [−100〜0〜+100]

Gchに対して、パラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

W H PARA B [−100〜0〜+100]

Bchに対して、パラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

W V SAW R [−100〜0〜+100]

Rchに対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

W V SAW G [−100〜0〜+100]

Gchに対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

W V SAW B [−100〜0〜+100]

Bchに対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

W V PARA R [−100〜0〜+100]

Rchに対して、パラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

W V PARA G [−100〜0〜+100]

Gchに対して、パラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

W V PARA B [−100〜0〜+100]

Bchに対して、パラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。

WIRELESS CONTROL

WIRELESS CONTROL [ENABLE, DISABLE]

ワイヤレスリモコンからの操作の有効 [ENABLE] / 無効 [DISABLE] を設定します。

WIRELESS ID [CAM1, CAM2, CAM3, CAM4]

リモコンID (CAM1 ~ CAM4) を設定します。
本設定の [CAM1] ~ [CAM4] がワイヤレスリモコンの CAMERA<1> ~ <4> ボタンに対応しています。

〈NOTE〉

- ワイヤレスリモコンで Standby から電源 ON 状態に遷移した場合、本設定値に関係なく、ワイヤレスリモコンによる操作が可能となります。
- 本項目は、設定値を変更した時点では、動作に反映されません。本機を Standby 状態にして、ワイヤレスリモコン以外の外部機器から電源を ON したときに反映されます。
- 本項目が [DISABLE] の状態で給電を開始した場合、本設定は動作に反映されません。本機を Standby 状態にして、ワイヤレスリモコン以外の外部機器から電源を ON したときに反映されます。

STATUS LAMP

STATUS LAMP [ENABLE, DISABLE]

状態表示ランプの無効 / 有効を設定します。本機動作中に状態表示ランプを常時消灯したい場合、[DISABLE] に設定してください。

〈NOTE〉

- [DISABLE] に設定していても、起動中やファームウェアのアップデート中、異常発生時など、状態表示ランプが点灯する場合があります。

カメラメニュー項目一覧

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
BASIC CONFIG	FREQUENCY		59.94Hz または 50Hz	60Hz, 59.94Hz, 50Hz, 24Hz, 23.98Hz		
	FORMAT		2160/59.94p または 2160/50p	([FREQUENCY]が[60Hz]のとき) 2160/60p, 1080/60p ([FREQUENCY]が[59.94Hz]のとき) 2160/59.94p, 2160/29.97p, 1080/119.88p, 1080/59.94p, 1080/29.97p, 720/59.94p ([FREQUENCY]が[50Hz]のとき) 2160/50p, 2160/25p, 1080/100p, 1080/50p, 1080/25p, 720/50p ([FREQUENCY]が[24Hz]のとき) 2160/24p, 1080/24p ([FREQUENCY]が[23.98Hz]のとき) 2160/23.98p, 1080/23.98p		
	SFP+ MODE		12G OUTPUT	12G OUTPUT, ST2110, ST2110 JPEG XS		
	V-LOG		OFF	OFF, ON		○
	V-LOG PAINT SW		OFF	OFF, ON		○
	HDR		OFF	OFF, ON		○
	GAMUT		WIDE_G2	NORMAL, WIDE_G2		○
	SHOOTING MODE		NORMAL	NORMAL, LOW LIGHT		○
	SERIAL CONNECTION	BAUD RATE	9600bps	9600bps, 38400bps, 115200bps		○
	BAR		OFF	OFF, ON		○
		COLOR BAR TYPE	TYPE1	TYPE1, TYPE2, TYPE3, TYPE4, TYPE5		○
		TOPE	ON	OFF, ON		○
	TALLY	TALLY	ENABLE	ENABLE, DISABLE		○
		TALLY BRIGHTNESS	LOW	LOW, MID, HIGH		○
		TALLY GUARD	OFF	OFF, ON		○
		TALLY LED LIMIT				○
		R	UNLIMIT	LIMIT, UNLIMIT		○
		G	UNLIMIT	LIMIT, UNLIMIT		○
		Y	UNLIMIT	LIMIT, UNLIMIT		○
		EXTERNAL OUTPUT				○
		OUTPUT1	OFF	OFF, R-TALLY, G-TALLY, Y-TALLY		○
		OUTPUT2	OFF	OFF, R-TALLY, G-TALLY, Y-TALLY		○
		TSL5.0				○
		INDEX NO.	1	1～65534		○
		PORT	62000	1～65535		○
	SYNC SIGNAL	REF SIGNAL	BBS/TRI-LEVEL SYNC	BBS/TRI-LEVEL SYNC, PTP		○
		GEN-LOCK				○
		H PHASE-COARSE	0	-5～5		○
		H PHASE-FINE	0	-100～100		○
	BAR ID	BAR ID	OFF	OFF, ON		○
		BRIGHTNESS	100%	0～100%		○
		ID1 POSITION V	0	0～5		○
		ID1 POSITION H	0	0～15		○
		ID1	(空白)	最大16文字 (半角英数字、空白、!#%&'()*+,-./:;<=>?[]_~\$@)		○
		ID2 POSITION V	1	0～5		○
		ID2 POSITION H	0	0～15		○
		ID2	(空白)	最大16文字 (半角英数字、空白、!#%&'()*+,-./:;<=>?[]_~\$@)		○
		OFFSET V	0	0～89		○
		OFFSET H	0	0～79		○

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
NETWORK	LAN	DHCP	OFF	OFF, ON		
		IP ADDRESS	192.168.0.10	- 第1オクテット：0～223 (127は設定不可) - 第2オクテット：0～255 - 第3オクテット：0～255 - 第4オクテット：0～255		
		SUBNET MASK	255.255.255.0	- 第1オクテット：128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255 - 第2オクテット：0, 128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255 - 第3オクテット：0, 128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255 - 第4オクテット：0, 128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255		
		DEFAULT GATEWAY	192.168.0.1	- 第1オクテット：0～223 (127は設定不可) - 第2オクテット：0～255 - 第3オクテット：0～255 - 第4オクテット：0～255		
		MAC ADDRESS		表示のみ		
	SFP+	DHCP	OFF	OFF, ON		
		IP ADDRESS	192.168.1.10	- 第1オクテット：0～223 (127は設定不可) - 第2オクテット：0～255 - 第3オクテット：0～255 - 第4オクテット：0～255		
		SUBNET MASK	255.255.255.0	- 第1オクテット：128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255 - 第2オクテット：0, 128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255 - 第3オクテット：0, 128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255 - 第4オクテット：0, 128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255		
		DEFAULT GATEWAY	192.168.1.1	- 第1オクテット：0～223 (127は設定不可) - 第2オクテット：0～255 - 第3オクテット：0～255 - 第4オクテット：0～255		
		MAC ADDRESS		表示のみ		
	USB	DHCP	OFF	OFF, ON		
		IP ADDRESS	192.168.3.10	- 第1オクテット：0～223 (127は設定不可) - 第2オクテット：0～255 - 第3オクテット：0～255 - 第4オクテット：0～255		
		SUBNET MASK	255.255.255.0	- 第1オクテット：128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255 - 第2オクテット：0, 128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255 - 第3オクテット：0, 128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255 - 第4オクテット：0, 128, 192, 224, 240, 248, 252, 254, 255		
		DEFAULT GATEWAY	192.168.3.1	- 第1オクテット：0～223 (127は設定不可) - 第2オクテット：0～255 - 第3オクテット：0～255 - 第4オクテット：0～255		
	COMMON SETTING	DNS	MANUAL	MANUAL, AUTO		
		PRIMARY		表示のみ		
		SECONDARY		表示のみ		
		DOMAIN		表示のみ		
		HTTP PORT	80	1～65535		
		HTTPS PORT	443	1～65535		

カメラメニュー項目一覧（つづき）

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目		SCENE FILE	USER FILE
OUTPUT	12G SDI OUT/SFP+	FORMAT SELECT	2160/59.94p または2160/50p	[System Format]	[12G SDI OUT/SFP+]		
				2160/60p	2160/60p 1080/60p		
				1080/60p	1080/60p		
				2160/59.94p	2160/59.94p 1080/59.94p* ¹		
				2160/29.97p	2160/29.97p 1080/29.97p		
				1080/119.88p	1080/59.94p* ³		
				1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i		
				1080/29.97p	1080/29.97p		
				720/59.94p	720/59.94p		
				2160/50p	2160/50p 1080/50p* ²		
				2160/25p	2160/25p 1080/25p		
				1080/100p	1080/50p* ³		
				1080/50p	1080/50p 1080/50i		
				1080/25p	1080/25p		
				720/50p	720/50p		
				2160/24p	2160/24p 1080/24p		
				1080/24p	1080/24p		
				2160/23.98p	2160/23.98p 1080/23.98p		
				1080/23.98p	1080/23.98p		
		HDR OUTPUT SELECT	HDR(2020)	SDR(709), HDR(709), HDR(2020)			
		V-LOG OUTPUT SELECT	V-LOG	V-LOG, V-709			
		OUTPUT ITEM	MENU ONLY	MENU ONLY, STATUS			
		CHAR	ON	OFF, ON			
		3G SDI	LEVEL-A	LEVEL-A, LEVEL-B			

*¹ [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*² [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/50pとなります。

*³ 119.88p (または100p) に対して、フレームレートを1/2 (59.94p (または50p)) に間引いた「第1 フレーム」を出力します。

カメラメニュー項目一覧（つづき）

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目		SCENE FILE	USER FILE
OUTPUT	3G SDI OUT1	FORMAT SELECT	1080/59.94p または 1080/50p	[System Format]	[3G SDI OUT1]		
				2160/60p	1080/60p		
				1080/60p	1080/60p		
				2160/59.94p	1080/59.94p* ¹ 1080/59.94i* ¹		
				2160/29.97p	1080/29.97p		
				1080/119.88p	1080/59.94p* ¹		
				1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i		
				1080/29.97p	1080/29.97p		
				720/59.94p	720/59.94p		
				2160/50p	1080/50p* ² 1080/50i* ²		
				2160/25p	1080/25p		
				1080/100p	1080/50p* ³		
				1080/50p	1080/50p 1080/50i		
				1080/25p	1080/25p		
				720/50p	720/50p		
				2160/24p	1080/24p		
				1080/24p	1080/24p		
				2160/23.98p	1080/23.98p		
				1080/23.98p	1080/23.98p		
		HDR OUTPUT SELECT	HDR(2020)	SDR(709), HDR(709), HDR(2020)			
		V-LOG OUTPUT SELECT	V-LOG	V-LOG, V-709			
		OUTPUT ITEM	MENU ONLY	MENU ONLY, STATUS			
		CHAR	ON	OFF, ON			
		3G SDI	LEVEL-A	LEVEL-A, LEVEL-B			

*¹ [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*² [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/50pとなります。

*³ 119.88p (または 100p) に対して、フレームレートを 1/2 (59.94p (または 50p)) に間引いた「第 1 フレーム」を出力します。

カメラメニュー項目一覧（つづき）

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目		SCENE FILE	USER FILE
OUTPUT	3G SDI OUT2/PM	OUTPUT SELECT	CAM	CAM, RETURN			
		FORMAT SELECT	1080/59.94p または 1080/50p	[System Format]	[3G SDI OUT2/PM]		
				2160/60p	1080/60p		
				1080/60p	1080/60p		
				2160/59.94p	1080/59.94p* ¹ 1080/59.94i* ¹		
				2160/29.97p	1080/29.97p		
				1080/119.88p	1080/59.94p* ³		
				1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i		
				1080/29.97p	1080/29.97p		
				720/59.94p	720/59.94p		
				2160/50p	1080/50p* ² 1080/50i* ²		
				2160/25p	1080/25p		
				1080/100p	1080/50p* ³		
				1080/50p	1080/50p 1080/50i		
				1080/25p	1080/25p		
				720/50p	720/50p		
				2160/24p	1080/24p		
				1080/24p	1080/24p		
				2160/23.98p	1080/23.98p		
				1080/23.98p	1080/23.98p		
		HDR OUTPUT SELECT	HDR(2020)	SDR(709), HDR(709), HDR(2020)			
		V-LOG OUTPUT SELECT	V-LOG	V-LOG, V-709			
		OUTPUT ITEM	MENU ONLY	MENU ONLY, STATUS			
		CHAR	ON	OFF, ON			
		3G SDI	LEVEL-A	LEVEL-A, LEVEL-B			

*¹ [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*² [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/50pとなります。

*³ 119.88p (または 100p) に対して、フレームレートを 1/2 (59.94p (または 50p)) に間引いた「第2フレーム」を出力します。

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目		SCENE FILE	USER FILE
OUTPUT	HDMI	FORMAT SELECT	2160/59.94p または2160/50p	[System Format]	[HDMI]		
				2160/60p	2160/60p 1080/60p		
				1080/60p	1080/60p		
				2160/59.94p	2160/59.94p 1080/59.94p*1		
				2160/29.97p	2160/29.97p 1080/29.97p		
				1080/119.88p	1080/119.88p		
				1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i		
				1080/29.97p	1080/29.97p		
				720/59.94p	720/59.94p		
				2160/50p	2160/50p 1080/50p*2		
				2160/25p	2160/25p 1080/25p		
				1080/100p	1080/100p		
				1080/50p	1080/50p 1080/50i		
				1080/25p	1080/25p		
				720/50p	720/50p		
				2160/24p	2160/24p 1080/24p		
				1080/24p	1080/24p		
				2160/23.98p	2160/23.98p 1080/23.98p		
				1080/23.98p	1080/23.98p		
		HDR OUTPUT SELECT	HDR(2020)	SDR(709), HDR(709), HDR(2020)			○
		V-LOG OUTPUT SELECT	V-LOG	V-LOG, V-709			○
		VIDEO SAMPLING	4:2:2/10bit	4:2:2/10bit, 4:2:0/8bit			○
		CHAR	ON	OFF, ON			○
RETURN	RETURN1 ID		RET.1	5文字 (半角英数字、空白、!#%&'()*+,-./:;<=>?[_~\$@)			○
AUDIO	AUDIO	AUDIO	OFF	ON, OFF			
	INPUT1 SETTING	INPUT SELECT	LINE	LINE, MIC, MIC+48V			
		MIC GAIN	60dB	40dB, 60dB			
		LINE LEVEL	0dB	0dB, +4dB			
	INPUT2 SETTING	INPUT SELECT	LINE	LINE, MIC, MIC+48V			
		MIC GAIN	60dB	40dB, 60dB			
		LINE LEVEL	0dB	0dB, +4dB			
	OUTPUT SETTING	CH SELECT	INPUT1/INPUT2	INPUT1/INPUT2, INPUT1, INPUT2			
		CH1 VOLUME LEVEL	0dB	-40dB ~ 0dB ~ +20dB (1dB ステップ)			
		CH2 VOLUME LEVEL	0dB	-40dB ~ 0dB ~ +20dB (1dB ステップ)			
		HEAD ROOM	FS-12dB	FS-12dB, FS-18dB, FS-20dB			
	ST2110 AUDIO FORMAT	INPUT1	1ms/8ch	1ms/8ch, 0.125ms/8ch			
		INPUT2	1ms/8ch	1ms/8ch, 0.125ms/8ch			

*1 [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*2 [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/50pとなります。

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目		SCENE FILE	USER FILE
IP SIGNAL	NDI	FORMAT SELECT	2160/59.94p または 2160/50p	[System Format]	[NDI]		
				2160/60p	2160/60p* ⁹ 1080/60p		
				1080/60p	1080/60p		
				2160/59.94p	2160/59.94p* ^{1, 2} 1080/59.94p		
				2160/29.97p	2160/29.97p* ³ 1080/29.97p		
				1080/119.88p	1080/59.94p* ¹⁰		
				1080/59.94p	1080/59.94p		
				1080/29.97p	1080/29.97p		
				720/59.94p	720/59.94p		
				2160/50p	2160/50p* ^{4, 5} 1080/50p		
				2160/25p	2160/25p* ⁶ 1080/25p		
				1080/100p	1080/50p* ¹⁰		
				1080/50p	1080/50p		
				1080/25p	1080/25p		
				720/50p	720/50p		
				2160/24p	2160/24p* ⁷ 1080/24p		
				1080/24p	1080/24p		
				2160/23.98p	2160/23.98p* ⁸ 1080/23.98p		
				1080/23.98p	1080/23.98p		
	IP(H.264/H.265)	OUTPUT ITEM	MENU ONLY	MENU ONLY, STATUS			
		CHAR	ON	OFF, ON			
	ST2110	MOIP MODE	OFF	OFF, ON			
		MAIN VIDEO TX					
		FORMAT	1080/59.94p または 1080/50p				
		CROP VIDEO TX					
		FORMAT	1080/59.94p または 1080/50p				
		MONITOR VIDEO TX					
		FORMAT	1080/59.94p または 1080/50p				
		RET VIDEO RX					
		FORMAT	1080/59.94p または 1080/50p				
		JPEG XS TX VIDEO SELECT	MAIN	MAIN, CROP			
		MAIN VIDEO JPEG XS TX					
		FORMAT	1080/59.94p または 1080/50p				
		CROP VIDEO JPEG XS TX					
		FORMAT	1080/59.94p または 1080/50p				
		RET VIDEO JPEG XS RX					
		FORMAT	1080/59.94p または 1080/50p				

*1 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/59.94pとなります。

*2 [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*3 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/29.97pとなります。

*4 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/50pとなります。

*5 [UHD CROP]が[CROP(720)]のときは、720/50pとなります。

*6 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/25pとなります。

*7 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/24pとなります。

*8 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/23.98pとなります。

*9 [UHD CROP]が[CROP(1080)]のときは、1080/60pとなります。

*10 119.88p (または 100p) に対して、フレームレートを 1/2 (59.94p (または 50p)) に間引いた「第1 フレーム」を出力します。

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
PAINT	AUTO	AGC	OFF	OFF, ON	☐	☐
		AUTO IRIS	ON	OFF, ON	☐	☐
		ATW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		AUTO SHUTTER	OFF	OFF, ON	☐	☐
		KNEE MODE	AUTO	AUTO, MANUAL	☐	☐
	GAIN SETTING	GAIN	0dB	-6dB ~ 12dB	☐	☐
		AGC	OFF	OFF, ON	☐	☐
		AGC MAX GAIN	12dB	6dB, 12dB	☐	☐
		FRAME MIX SW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		FRAME MIX	6dB	6dB, 12dB, 18dB, 24dB	☐	☐
		DAY/NIGHT	DAY	DAY, NIGHT	☐	☐
	IRIS	AUTO IRIS	ON	OFF, ON	☐	☐
		WINDOW SELECT	1	1 ~ 5	☐	☐
		PICTURE LEVEL	0	-50 ~ +50 (1ステップ)	☐	☐
		PEAK RATIO	30	0 ~ 100	☐	☐
		AUTO IRIS CLOSE LIMIT	NORMAL	NORMAL, F8, F7, F5.6	☐	☐
		IRIS SPEED	2	1 ~ 3	☐	☐
	W/B BAL SETTING	ATW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		WHITE BALANCE MODE	AWB A	AWB A, AWB B, 3200K, 5600K, VAR	☐	☐
		W.BAL VAR	3200K	2000K ~ 15000K	☐	☐
		ATW SPEED	NORMAL	NORMAL, SLOW, FAST	☐	☐
		ATW TARGET R	0	-10 ~ +10	☐	☐
		ATW TARGET B	0	-10 ~ +10	☐	☐
		SHOCKLESS WB SW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		SHOCKLESS WB SPEED	4	1 ~ 5	☐	☐
	SHUTTER SPEED	SHUTTER SW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		AUTO SHUTTER	OFF	OFF, ON	☐	☐
		AUTO SHUTTER LIMIT	1/100	1/100, 1/120, 1/250	☐	☐
		SHUTTER MODE	STEP	STEP, SYNCHRO	☐	☐
		SHUTTER SPEED	1/100	• 60pモード 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000 • 59.94i/59.94pモード 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000 • 50i/50pモード 1/60, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000 • 29.97pモード 1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000 • 25pモード 1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000 • 23.98pモード 1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000 • 119.88pモード 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000 • 100pモード 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000	☐	☐
		SYNCHRO SCAN	• 60p/59.94i/59.94p 60.0Hz • 50i/50p 50.0Hz • 29.97p 30.0Hz • 25p 25.0Hz • 23.98p 24.0Hz • 119.88p 120Hz • 100p 100Hz	• 60pモード 60.0Hz ~ 7200Hz • 59.94i/59.94pモード 60.0Hz ~ 7200Hz • 50i/50pモード 50.0Hz ~ 7200Hz • 29.97pモード 30.0Hz ~ 7200Hz • 25pモード 25.0Hz ~ 7200Hz • 23.98pモード 24.0Hz ~ 7200Hz • 119.88pモード 120.1Hz ~ 7200Hz • 100pモード 100.1Hz ~ 7200Hz	☐	☐

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
PAINT	PEDESTAL	MASTER PEDESTAL	0	-200～+200 (1ステップ)	☐	☐
		R PEDESTAL	0	-800～0～+800	☐	☐
		G PEDESTAL	0	-800～0～+800	☐	☐
		B PEDESTAL	0	-800～0～+800	☐	☐
		PEDESTAL OFFSET	OFF	OFF, ON	☐	☐
	CHROMA	CHROMA LEVEL SW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		CHROMA LEVEL	0	-100%～40%	☐	☐
	COLOR TEMP SETTING	COLOR TEMP ACH/BCH				
		COLOR TEMP ACH	3200K	2000K～15000K	☐	☐
		R GAIN ACH	0	-400～+400	☐	☐
		B GAIN ACH	0	-400～+400	☐	☐
		G AXIS ACH	0	-400～+400	☐	☐
		COLOR TEMP BCH	3200K	2000K～15000K	☐	☐
		R GAIN BCH	0	-400～+400	☐	☐
		B GAIN BCH	0	-400～+400	☐	☐
		G AXIS BCH	0	-400～+400	☐	☐
	RGB GAIN CONTROL SETTING	G GAIN REL CONTROL SW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		RGB GAIN PRESET			☐	☐
		R GAIN	0	-1000～+1000	☐	☐
		G GAIN	0	-1000～+1000	☐	☐
		B GAIN	0	-1000～+1000	☐	☐
		RGB GAIN ACH/BCH			☐	☐
		R GAIN ACH	0	-1000～+1000	☐	☐
		G GAIN ACH	0	-1000～+1000	☐	☐
		B GAIN ACH	0	-1000～+1000	☐	☐
		GAIN OFFSET ACH	OFF	OFF, ON	☐	☐
		R GAIN BCH	0	-1000～+1000	☐	☐
		G GAIN BCH	0	-1000～+1000	☐	☐
		B GAIN BCH	0	-1000～+1000	☐	☐
		GAIN OFFSET BCH	OFF	OFF, ON	☐	☐
	FLARE	FLARE	ON	OFF, ON	☐	☐
		MASTER FLARE	0	-200～0～+200	☐	☐
		R FLARE	0	-200～0～+200	☐	☐
		G FLARE	0	-200～0～+200	☐	☐
		B FLARE	0	-200～0～+200	☐	☐
	GAMMA/BLACK GAMMA	GAMMA	ON	OFF, ON	☐	☐
		GAMMA MODE SELECT	HD	HD, NORMAL, CINEMA1, CINEMA2	☐	☐
		MASTER GAMMA	0.45	0.15～0.75 (0.01ステップ)	☐	☐
		R GAMMA	0	-75～+75	☐	☐
		B GAMMA	0	-75～+75	☐	☐
		BLACK GAMMA	OFF	OFF, ON	☐	☐
		MASTER BLACK GAMMA	0	-48～+48	☐	☐
		R BLACK GAMMA	0	-20～+20	☐	☐
		B BLACK GAMMA	0	-20～+20	☐	☐
		BLACK GAMMA RANGE	1	1～3	☐	☐
		INITIAL GAMMA	4.5	4.0, 4.5, 5.0	☐	☐

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
PAINT	KNEE	KNEE	ON	OFF, ON	☐	☐
		KNEE MODE	AUTO	AUTO, MANUAL	☐	☐
		KNEE MASTER POINT	0.95	80.00% ~ 110.00% (0.25% ステップ)	☐	☐
		KNEE R POINT	0	-25.00% ~ 25.00% (0.25% ステップ)	☐	☐
		KNEE B POINT	0	-25.00% ~ 25.00% (0.25% ステップ)	☐	☐
		KNEE MASTER SLOPE	130	00 ~ 199	☐	☐
		KNEE R SLOPE	0	-99 ~ +99	☐	☐
		KNEE B SLOPE	0	-99 ~ +99	☐	☐
		AUTO KNEE RESPONSE	4	1 ~ 8	☐	☐
	WHITE CLIP	WHITE CLIP	ON	OFF, ON	☐	☐
		MASTER WHITE CLIP LEVEL	109	80% ~ 109%	☐	☐
		R WHITE CLIP LEVEL	0	-15% ~ +15%	☐	☐
		B WHITE CLIP LEVEL	0	-15% ~ +15%	☐	☐
		HI-COLOR	OFF	OFF, ON	☐	☐
		HI-COLOR LEVEL	32	1 ~ 32	☐	☐
	DRS	DRS	OFF	OFF, ON	☐	☐
		EFFECT DEPTH	5	1 ~ 5	☐	☐
	DETAIL SETTING	DETAIL	ON	OFF, ON	☐	☐
		MASTER DETAIL	0	-31 ~ +31	☐	☐
		PEAK FREQUENCY	6	1 ~ 8	☐	☐
		CRISP	0	00 ~ 63	☐	☐
		DETAIL GAIN(+)	0	-31 ~ +31	☐	☐
		DETAIL GAIN(-)	0	-31 ~ +31	☐	☐
		DETAIL CLIP(+)	0	00 ~ 63	☐	☐
		DETAIL CLIP(-)	0	00 ~ 63	☐	☐
		KNEE APERTURE LEVEL	0	00 ~ 39	☐	☐
		DETAIL KNEE	0	00 ~ 15	☐	☐
		LEVEL DEPENDENT SW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		LEVEL DEPENDENT	8	00 ~ 15	☐	☐
		DARK DETAIL SW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		DARK DETAIL	3	0 ~ 7	☐	☐
	DOWNCON SETTING	CHROMA				
		CHROMA LEVEL SW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		CHROMA LEVEL	0	-100% ~ 40%	☐	☐
		DETAIL SETTING				
		DETAIL	ON	OFF, ON	☐	☐
		MASTER DETAIL	0	-31 ~ +31	☐	☐
		H DETAIL LEVEL	7	00 ~ 63	☐	☐
		V DETAIL LEVEL	7	00 ~ 63	☐	☐
		PEAK FREQUENCY	22.4MHz	12.4MHz ~ 37.1MHz	☐	☐
		V DETAIL FREQUENCY	10	00 ~ 31	☐	☐
		CRISP	10	00 ~ 63	☐	☐
		DETAIL CLIP(+)	0	00 ~ 63	☐	☐
		DETAIL CLIP(-)	0	00 ~ 63	☐	☐
		KNEE APERTURE LEVEL	0	00 ~ 39	☐	☐
		DETAIL KNEE	0	00 ~ 15	☐	☐
		LEVEL DEPENDENT SW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		LEVEL DEPENDENT	8	00 ~ 15	☐	☐
		DARK DETAIL SW	OFF	OFF, ON	☐	☐
		DARK DETAIL	2	0 ~ 7	☐	☐

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
PAINT	DOWNCON SETTING	SKIN TONE DETAIL SETTING				
		SKIN TONE DETAIL	OFF	OFF, ON	○	○
		MEMORY SELECT	A	A, B, C	○	○
		ZEBRA	OFF	OFF, ON	○	○
		ZEBRA EFFECT MEMORY	A+B+C	A, B, C, A+B, A+C, B+C, A+B+C	○	○
		SKIN TONE EFFECT MEMORY	A+B+C	A, B, C, A+B, A+C, B+C, A+B+C	○	○
		SKIN TONE CRISP	8	0～8	○	○
		I CENTER	65	000～255	○	○
		I WIDTH	63	000～255	○	○
		Q WIDTH	32	000～127	○	○
		Q PHASE	90	0～359	○	○
	SKIN TONE DETAIL SETTING	SKIN TONE DETAIL	OFF	OFF, ON	○	○
		MEMORY SELECT	A	A, B, C	○	○
		ZEBRA	OFF	OFF, ON	○	○
		ZEBRA EFFECT MEMORY	A+B+C	A, B, C, A+B, A+C, B+C, A+B+C	○	○
		SKIN TONE EFFECT MEMORY	A+B+C	A, B, C, A+B, A+C, B+C, A+B+C	○	○
		SKIN TONE CRISP	63	-63～0～+63	○	○
		I CENTER	65	000～255	○	○
		I WIDTH	63	000～255	○	○
		Q WIDTH	32	000～255	○	○
		Q PHASE	90	0～359	○	○
	LINEAR MATRIX	PRESET MATRIX	HD	HD, NORMAL, CINEMA1, CINEMA2, USER	○	○
		MATRIX	OFF	OFF, ON	○	○
		LINEAR MATRIX	OFF	OFF, ON	○	○
		LINEAR TABLE	A	A, B	○	○
		COLOR CORRECT	OFF	OFF, ON	○	○
		COLOR CORRECT TABLE	A	A, B	○	○
		MATRIX (R-G)_N	0	-31～+31	○	○
		MATRIX (R-G)_P	0	-31～+31	○	○
		MATRIX (R-B)_N	0	-31～+31	○	○
		MATRIX (R-B)_P	0	-31～+31	○	○
		MATRIX (G-R)_N	0	-31～+31	○	○
		MATRIX (G-R)_P	0	-31～+31	○	○
		MATRIX (G-B)_N	0	-31～+31	○	○
		MATRIX (G-B)_P	0	-31～+31	○	○
		MATRIX (B-R)_N	0	-31～+31	○	○
		MATRIX (B-R)_P	0	-31～+31	○	○
		MATRIX (B-G)_N	0	-31～+31	○	○
		MATRIX (B-G)_P	0	-31～+31	○	○

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
PAINT	COLOR CORRECTION	PRESET MATRIX	HD	HD, NORMAL, CINEMA1, CINEMA2, USER	☐	☐
		MATRIX	OFF	OFF, ON	☐	☐
		LINEAR MATRIX	OFF	OFF, ON	☐	☐
		LINEAR TABLE	A	A, B	☐	☐
		COLOR CORRECT	OFF	OFF, ON	☐	☐
		COLOR CORRECT TABLE	A	A, B	☐	☐
		G SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		G PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐
		G_CY SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		G_CY PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐
		CY SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		CY PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐
		CY_B SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		CY_B PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐
		B SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		B PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐
		B_MG SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		B_MG PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐
		MG_SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		MG_PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐
		MG_R SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		MG_R PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐
		R SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		R PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐
		R_YE SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		R_YE PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐
		YE SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		YE PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐
		YE_G SAT	0	-127～0～+126	☐	☐
		YE_G PHASE	0	-127～0～+126	☐	☐

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
PAINT	DNR	DNR	ON	OFF, ON	☐	☐
		DNR LEVEL	3	1～5	☐	☐
	V-LOG PAINT	COLOR TEMP SETTING				
		COLOR TEMP ACH/BCH				
		COLOR TEMP ACH	3200K	2000K～15000K	☐	☐
		R GAIN ACH	0	-400～+400	☐	☐
		B GAIN ACH	0	-400～+400	☐	☐
		G AXIS ACH	0	-400～+400	☐	☐
		COLOR TEMP BCH	3200K	2000K～15000K	☐	☐
		R GAIN BCH	0	-400～+400	☐	☐
		B GAIN BCH	0	-400～+400	☐	☐
		G AXIS BCH	0	-400～+400	☐	☐
		DNR				
		DNR	ON	OFF, ON	☐	☐
		DNR LEVEL	3	1～5	☐	☐
	HDR PAINT	HLG MODE	FIX	FIX, VAR	☐	☐
		SDR CONVERT MODE	FIX	FIX, VAR	☐	☐
		GAMMA/BLACK GAMMA				
		BLACK GAMMA	OFF	OFF, ON	☐	☐
		MASTER BLACK GAMMA	0	-32～+32	☐	☐
		R BLACK GAMMA	0	-32～+32	☐	☐
		B BLACK GAMMA	0	-32～+32	☐	☐
	KNEE	KNEE	ON	OFF, ON	☐	☐
		KNEE POINT	100	60.00～100.00 (0.25%ステップ)	☐	☐
		KNEE SLOPE	0	00～199	☐	☐
	SDR CONVERT	GAIN	-6	0dB, -5dB, -6dB, -7dB, -8dB, -9dB, -10dB, -11dB, -12dB	☐	☐
		POINT	100	000～100	☐	☐
		SLOPE	0	000～127	☐	☐
		BLACK OFFSET	0	-100～+100	☐	☐
	PAINT SWITCH	FLARE	ON	OFF, ON	☐	☐
		GAMMA	ON	OFF, ON	☐	☐
		BLACK GAMMA	OFF	OFF, ON	☐	☐
		KNEE	ON	OFF, ON	☐	☐
		WHITE CLIP	ON	OFF, ON	☐	☐
		DRS	OFF	OFF, ON	☐	☐
		DETAIL	ON	OFF, ON	☐	☐
		SKIN TONE DETAIL	OFF	OFF, ON	☐	☐
		MATRIX	OFF	OFF, ON	☐	☐
		LINEAR MATRIX	OFF	OFF, ON	☐	☐
		COLOR CORRECT	OFF	OFF, ON	☐	☐

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
LENS	FOCUS MODE		AUTO	MANUAL, AUTO		○
	AF SENSITIVITY		NORMAL	NORMAL, STABLE		○
	ZOOM MODE		Opt.ZOOM	Opt.ZOOM, i.ZOOM, D.ZOOM		○
		MAX DIGITAL ZOOM	x10	x2～x10 (1ステップ)		○
	DIGITAL EXTENDER		OFF	OFF, x1.4, x2.0		○
	O.I.S.		OFF	OFF, ON		○
	O.I.S. MODE		O.I.S.(STABLE)	O.I.S.(STABLE), O.I.S.(PAN/TILT), HYBRID(STABLE), HYBLID(PAN/TILT)		○
	ND FILTER		THROUGH	THROUGH, 1/4, 1/16, 1/64	○	○
MONITOR DISPLAY	WFM	MODE	OFF	OFF, ON(Y), ON(Y/Pb/Pr)		○
		POSITION	UR	UR, BR, BL, UL		○
	STATUS INDICATOR	RETURN SELECT	OFF	OFF, ON		○
		STATUS(AUTO)	OFF	OFF, ON		○
		LEVEL GAUGE	OFF	OFF, ON		○
TRACKING DATA OUTPUT	SERIAL		OFF	OFF, ON		○
	IP		OFF	OFF, ON		○
	INVERT PAN/TILT AXIS		OFF	OFF, ON		○
	CAMERA ID		0xFF	0x00～0xFF		○
CROP	UHD CROP		OFF	OFF, CROP(1080), CROP(720)		○
	CROP ZOOM		OFF	OFF, ON		○
	CROP AF		OFF	OFF, ON		○
	3G SDI1 OUT		CROP	FULL, CROP		○
	NDI OUT		CROP	FULL, CROP		○
	IP(H.264/H.265) OUT1		CROP	FULL, CROP		○
	IP(H.264/H.265) OUT2		CROP	FULL, CROP		○
	CROP MARKER		YL+G+MG	OFF, YL, G, MG, YL+G, YL+MG, G+MG, YL+G+MG		○
	CROP OUT		YL	YL, G, MG		○
	CROP ADJUST		YL	YL, G, MG		○
	CROP H POSITION		960	0～3072		○
	CROP V POSITION		540	0～1728		○
	CROP ZOOM RATIO		200.00%	120.00%～500.00%		○

カメラメニュー項目一覧（つづき）

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
PAN/TILT	INSTALL POSITION		DESKTOP	DESKTOP, HANGING		○
	SMART PICTURE FLIP		OFF	OFF, AUTO		○
		FLIP DETECT ANGLE	90deg	60～120deg (1degステップ)		○
	P/T SPEED MODE		NORMAL(60deg/s)	NORMAL(60deg/s), FAST1(90deg/s), FAST2(180deg/s)		○
	P/T ACCELERATION SETTING	P/T ACCELERATION	AUTO	MANUAL, AUTO		○
		RISE S-CURVE	15	0～30		○
		FALL S-CURVE	15	0～30		○
		RISE ACCELERATION	128	1～255		○
		FALL ACCELERATION	128	1～255		○
	SPEED WITH ZOOM POSITION		ON	OFF, ON		○
	FOCUS ADJUST WITH PTZ.		OFF	OFF, ON		○
	PRIVACY MODE		OFF	OFF, ON		○
	POWER ON POSITION		STANDBY	NONE, STANDBY, HOME, PRESET		○
		PRESET NUMBER	001	001～100		○
PRESET	PRESET PTZ SYNC MODE		OFF	OFF, ON		○
	PRESET SPEED UNIT		SPEED TABLE	SPEED TABLE, TIME		○
		PRESET SPEED TABLE	FAST	SLOW, FAST		○
		PRESET SPEED	[PRESET SPEED UNIT]が [SPEED TABLE]のとき：20 [PRESET SPEED UNIT]が [TIME]のとき：20s	[PRESET SPEED UNIT]が[SPEED TABLE]のとき：1～30 [PRESET SPEED UNIT]が[TIME]の とき：1s～99s		○
	PRESET ACCELERATION SETTING	PRESET ACCELERATION	AUTO	MANUAL, AUTO		○
		RISE S-CURVE	15	0～30		○
		FALL S-CURVE	15	0～30		○
		RISE ACCELERATION	128	1～255		○
		FALL ACCELERATION	128	1～255		○
		RISE RAMP TIME	0.1s	0.1s～10.0s		○
		FALL RAMP TIME	0.1s	0.1s～10.0s		○
	PRESET SCOPE		MODE A	MODE A, MODE B, MODE C		○
	PRESET DIGITAL EXTENDER		OFF	OFF, ON		○
	PRESET CROP		OFF	OFF, ON		○
	PRESET THUMBNAIL UPDATE		ON	OFF, ON		○
	PRESET NAME		RESET	RESET, HOLD		○
	PRESET IRIS		OFF	OFF, ON		○
	PRESET SHUTTER		OFF	OFF, ON		○
	PRESET ZOOM MODE		MODE A	MODE A, MODE B		○
	FREEZE DURING PRESET		OFF	OFF, ON		○

カメラメニュー項目一覧 (つづき)

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
FILES	SCENE FILE	MODE	LOAD	LOAD, STORE		
		FILE NO	OFF	[MODE]が[LOAD]のとき：OFF/1～8 [MODE]が[STORE]のとき：1～8		
		FILE NAME	SCENE1～SCENE8	15文字以内 (半角英数字、空白、!#%&'()*+,-./:;<=>?[]_~\$@)		○
		LIST	SCENE1 SCENE2 SCENE3			
		EXECUTE	---	NO, YES		
	USER FILE	MODE	LOAD	LOAD, STORE		
		FILE NO	1	1, 2, 3		
		FILE NAME	USER1～USER3	15文字以内 (半角英数字、空白、!#%&'()*+,-./:;<=>?[]_~\$@)		○
		LIST	USER1 USER2 USER3			
		EXECUTE	---	NO, YES		
MAINTENANCE	FAN SETTING	FAN1	HIGH	AUTO, LOW, MID, HIGH		○
		FAN2	HIGH	AUTO, LOW, MID, HIGH		○
	DATE/TIME	PRESENT		(現在時刻を表示)		
		DATE YY	23	23～99		
		DATE MM	01	01～12		
		DATE DD	01	01～31		
		TIME HH	00	00～23		
		TIME MM	00	00～59		
		TIME SS	00	00～59		
		SET EXECUTE	---	NO, YES		
		RESET	---	NO, YES		
	INITIALIZE	MENU INITIALIZE	---	NO, YES		
		ALL DATA INITIALIZE	---	NO, YES		
	VERSION	SYSTEM VERSION	出荷バージョン			
	HOUR METER	OPERATION	00000000	(表示のみ) 8桁の数値		
		FAN1	00000000	(表示のみ) 8桁の数値		
		FAN2	00000000	(表示のみ) 8桁の数値		
	HDMI STATUS	CONNECT	---	---		
		FORMAT	---	---		
		VIDEO SAMPLING	---	---		
		MONITOR	---	---		

カメラメニュー項目一覧（つづき）

Top Menu	カメラメニュー	項目	出荷時設定	選択項目	SCENE FILE	USER FILE
MAINTENANCE	ERROR STATUS	LENS		(表示のみ) NO ERROR, ERROR		
		PAN/TILT		(表示のみ) NO ERROR, ERROR		
		FAN1		(表示のみ) NO ERROR, ERROR		
		FAN2		(表示のみ) NO ERROR, ERROR		
		TEMPERATURE		(表示のみ) NO ERROR, HIGH TEMPERATURE, SENSOR ERROR		
	WHITE SHADING	CORRECT	OFF	OFF, ON		
		W H SAW R	0	-100～0～+100		
		W H SAW G	0	-100～0～+100		
		W H SAW B	0	-100～0～+100		
		W H PARA R	0	-100～0～+100		
		W H PARA G	0	-100～0～+100		
		W H PARA B	0	-100～0～+100		
		W V SAW R	0	-100～0～+100		
		W V SAW G	0	-100～0～+100		
		W V SAW B	0	-100～0～+100		
		W V PARA R	0	-100～0～+100		
		W V PARA G	0	-100～0～+100		
		W V PARA B	0	-100～0～+100		
	WIRELESS CONTROL	WIRELESS CONTROL	ENABLE	ENABLE, DISABLE		○
		WIRELESS ID	CAM1	CAM1, CAM2, CAM3, CAM4		○
	STATUS LAMP	STATUS LAMP	ENABLE	ENABLE, DISABLE		○

Web画面の表示

本機とパーソナルコンピュータをつないで、WebブラウザからカメラのIP映像を見たり、各種の設定を行うことができます。

本機のIP制御用LAN端子とパーソナルコンピュータを直接接続する場合はLANクロスケーブルを、スイッチングハブなどを介して接続する場合はLANストレートケーブルを使用します。

パーソナルコンピュータのIPアドレスは、プライベートアドレスの範囲内で本機と違うアドレスを設定し、サブネットマスクは本機と同じアドレスに設定します。

〈NOTE〉

- IPアドレスとサブネットマスクを変更する場合は、必ず販売店にお申し付けください。

本機のIPアドレスとサブネットマスク(工場出荷時)*1

<LAN>

IPアドレス : 192.168.0.10
サブネットマスク : 255.255.255.0

*1 工場出荷時の設定の場合、プライベートアドレスの可変可能範囲は、192.168.0.1～192.168.0.255までとなります。

<SFP+>

IPアドレス : 192.168.1.10
サブネットマスク : 255.255.255.0

*1 工場出荷時の設定の場合、プライベートアドレスの可変可能範囲は、192.168.1.1～192.168.1.255までとなります。

<USB3.0 HOST>

IPアドレス : 192.168.3.10
サブネットマスク : 255.255.255.0

*1 工場出荷時の設定の場合、プライベートアドレスの可変可能範囲は、192.168.3.1～192.168.3.255までとなります。

- コントローラーとWebブラウザを同時に使用している場合、コントローラーで設定した内容がWebブラウザの表示に反映されないことがあります。
このような使い方をする場合は、必ずコントローラーがカメラメニューで設定内容を確認してください。

必要なパーソナルコンピュータの環境については、7ページを参照してください。

〈NOTE〉

- Web設定画面における一部の機能は、Microsoft Edge(IEモード)からのみ利用できます。
Microsoft Edge(IEモード)のみ利用可能な機能には、
Microsoft Edge (I.E. Mode) マークを付けて記載しています。
- Microsoft Edge(IEモード)で本機のIP映像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされている必要があります。
Microsoft Edge(IEモード)以外のWebブラウザを使用する場合は必要ありません。
詳しくは、「表示用プラグインソフトウェアをインストールする」(→42ページ)を参照してください。
- [Tracking Data Output]の[IP(UDP)]が[On]のときに、Web画面を開くと警告メッセージが出ますので、そのままWeb画面を開く場合は[Continue]ボタンをクリックしてください。
- Web画面表示中は、[Tracking Data Output]の[IP(UDP)]が[On]のときに出力されるトラッキングデータが遅延したり、値が更新されない場合があります。(→175ページ)

パーソナルコンピュータによるWeb画面の表示

本書では、Windows (Internet Explorer) の画面をもとに説明しています。それ以外のブラウザの場合、画面上の表示が一部異なりますが、同様の手順となります。

1. パersonalコンピュータのWebブラウザを起動する

パーソナルコンピュータに搭載のOSに応じて、それぞれ下記のWebブラウザを使用してください。

搭載OS	Webブラウザ
Windows	Windows 10 Windows 10 / Microsoft Edge Windows 10 / Google Chrome
macOS	macOS 13 macOS 12 Safari Google Chrome

2. EasyIP Setup Tool Plusで設定したIPアドレスを、Webブラウザのアドレスボックスに入力する

IPv4アドレスの入力例：

http://[IPv4アドレスで登録したURL]
http://192.168.0.10/



IPv6アドレスの入力例：

http://[IPv6アドレスで登録したURL]
http://[2001:db8::10]/

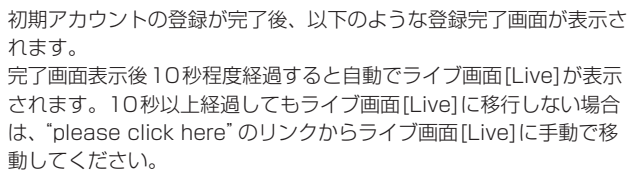
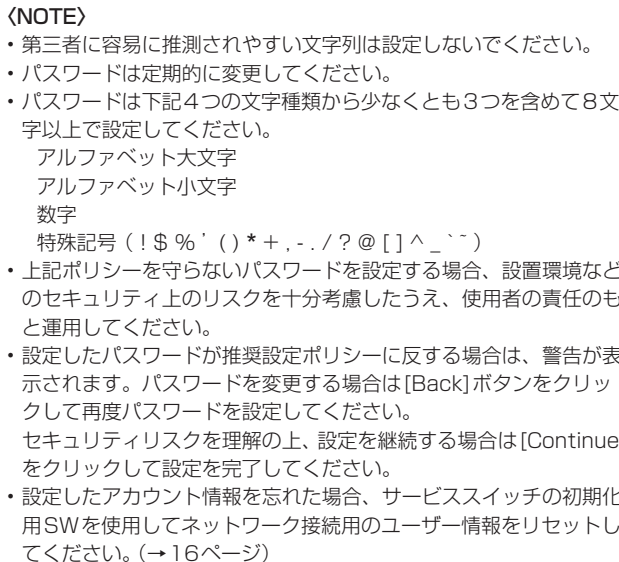


〈NOTE〉

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://カメラのIPアドレス:ポート番号」をアドレスボックスに入力してください。
例：ポート番号が8080に設定されている場合：
http://192.168.0.10:8080
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Webブラウザ(メニューバーの[ツール] - [インターネットオプション])からプロキシサーバーの設定を行ってください。
- ネットワーク設定画面[Network]の[Advanced]の[HTTPS] - [Connection] (→186ページ)で[HTTPS]を設定している場合については、「HTTPSでカメラにアクセスする」(→193ページ)を参照してください。

初期状態でWeb画面を表示する場合、初期アカウント設定画面が表示されます。

ユーザー名とパスワードを設定してください。

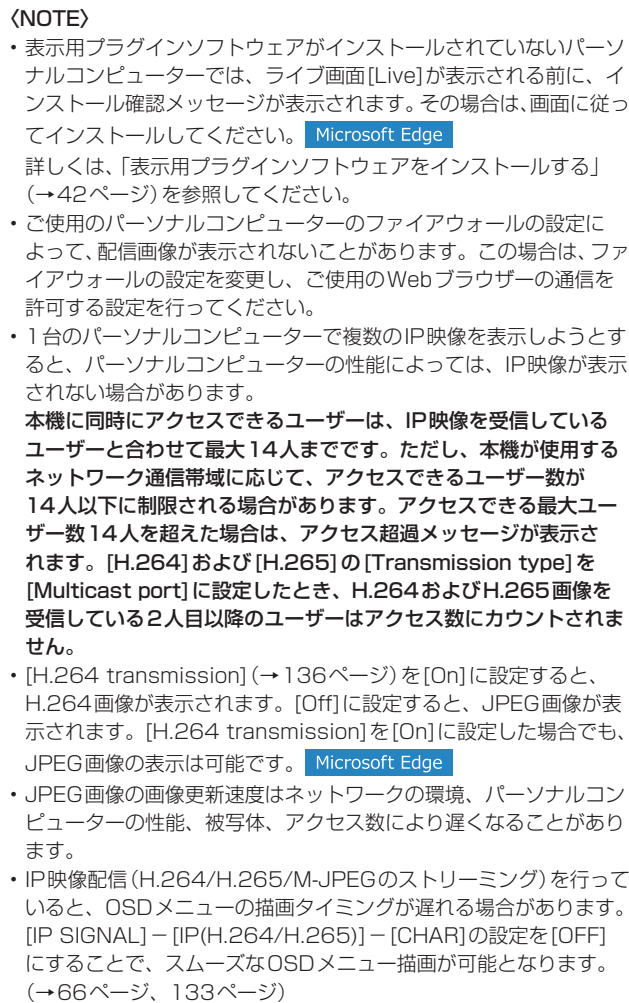


Administrator registration completed.

Automatically reconnect to camera after 10 seconds.
If it is not automatically reconnected, please click [here](#).

Web画面が表示されます。

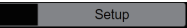
初期画面は、ライブ画面[Live] (→112ページ)が表示されますので、必要に応じてWeb設定画面[Setup] (→119ページ)に切り替えてください。(→111ページ)



- AW-RP150またはAW-RP60とネットワーク接続する場合、初期アカウント設定が必要です。(→41ページ)
初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。

ライブ画面 [Live] / Web 設定画面 [Setup] の切り替え

ライブ画面 [Live]   を表示しているときに、ライブ画面 [Live] 上部の [Setup] ボタン  をクリックします。
Web 設定画面 [Setup] についての詳細は、「Web 設定画面 [Setup]」（→ 119 ページ）をご覧ください。

Web 設定画面 [Setup]   を表示しているときに、Web 設定画面 [Setup] 上部の [Live] ボタン  をクリックします。
ライブ画面 [Live] についての詳細は、「ライブ画面 [Live]」（→ 112 ページ）をご覧ください。

〈NOTE〉

- スタンバイ中は [Setup] ボタンが無効になり、Web 設定画面 [Setup] に切り替えることができません。
- Web 設定画面 [Setup] を表示しているときに、他の端末から本機を Standby モードに切り替えた場合、数秒後にライブ画面 [Live] 表示へ自動的に切り替わります。

Web 画面へのログイン

ユーザー認証有効時

ライブ画面 [Live] を表示するとき

Camera control または Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

Web 設定画面 [Setup] を表示するとき

Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

ユーザー認証無効時

ライブ画面 [Live] を表示するとき

アカウント情報の入力は必要ありません。

Web 設定画面 [Setup] を表示するとき

Administrator 権限のアカウント情報の入力が必要となります。

〈NOTE〉

- アカウント入力画面は Web ブラウザーからポップアップウィンドウで表示されます。
- あらかじめ登録したユーザー名とパスワードを正しく入力してください。
- パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- Standby モード中は [Setup] ボタンが無効になり、Web 設定画面 [Setup] を表示することができません。

Web画面からの操作

ライブ画面 [Live]

パーソナルコンピュータから、カメラ画像の表示や、カメラに対してパン、チルト、ズーム、フォーカスなどの制御を行います。
[Compression] ボタンで、[H.264]を選択しているときと[JPEG]を選択しているときでは、表示される項目が一部異なります。

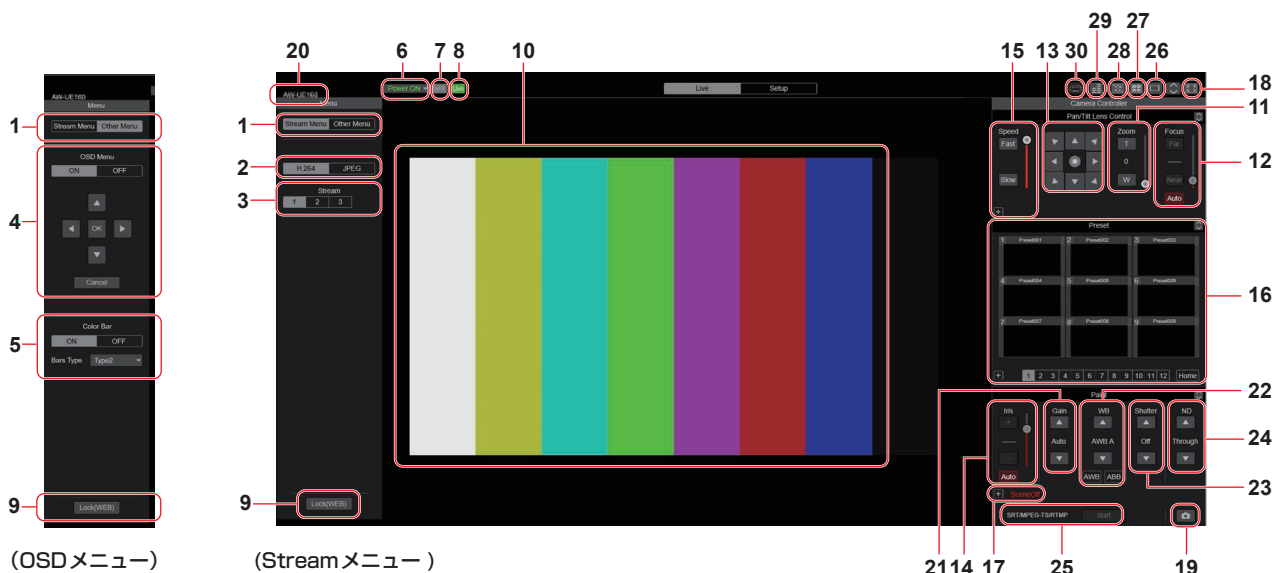
H.264選択時 Microsoft Edge



操作画面表示ボタン(タッチパネル用)
タッチパネル用に操作ボタンを拡大した画面を表示します。詳細は「タッチパネル搭載PCによるWeb画面表示」(→200ページ)を参照してください。



拡張パネル表示ボタン
(→115ページ、116ページ)



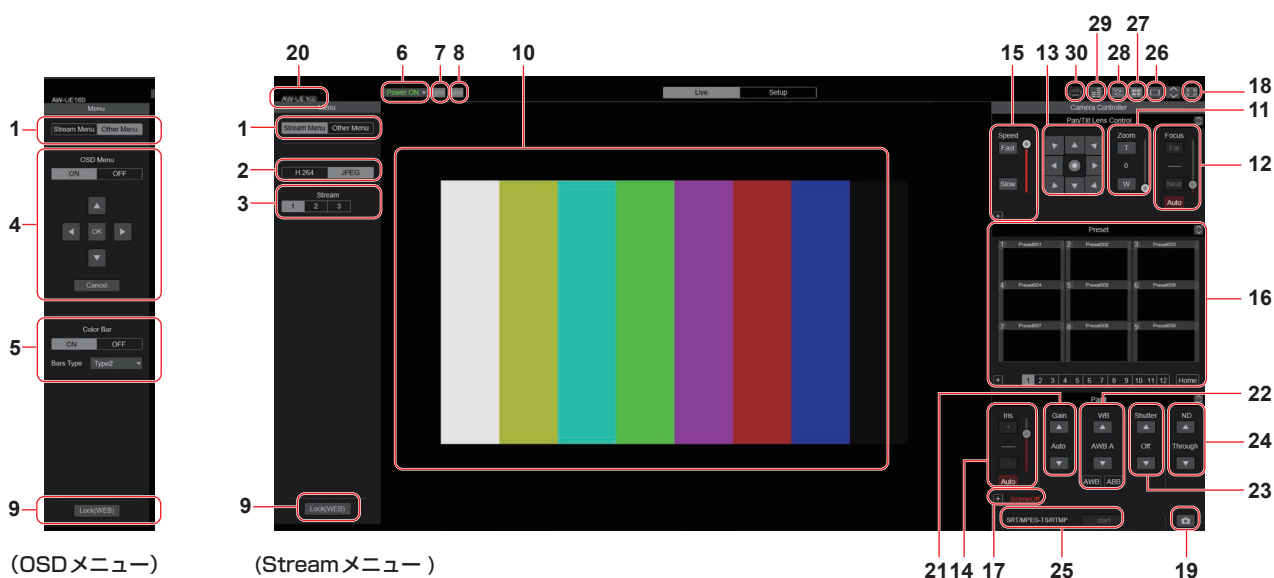
JPEG選択時



操作画面表示ボタン(タッチパネル用)
タッチパネル用に操作ボタンを拡大した画面を表示します。詳細は「タッチパネル搭載PCによるWeb画面表示」(→200ページ)を参照してください。



拡張パネル表示ボタン
(→115ページ、116ページ)



1. メニュー切り替え [Stream Menu]/[Other Menu]

メニュー表示を切り替えます。

Streamメニューを表示しているときに[Other Menu]をクリックすると、Otherメニューが表示されます。

Otherメニューを表示しているときに[Stream Menu]をクリックすると、Streamメニューが表示されます。

2. Compressionボタン [Compression]

H.264 [H.264]	[H.264] ボタンが灰色に変わり、H.264画像が表示されます。 Microsoft Edge IP 映像設定で[H.264(1)]～[H.264(3)]の[H.264 transmission]を[On]に設定すると、[H.264] ボタンが有効になります。(→136ページ)
JPEG [JPEG]	[JPEG] ボタンが灰色に変わり、JPEG画像が表示されます。

〈NOTE〉

- 次のような場合、[Compression] ボタンの選択状態は、[Video over IP] - [Initial display setting]の[Stream] (→135ページ)での設定に戻ります。
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を再更新した場合

3. Streamボタン [Stream]

H.264選択時

このボタンは、H.264画像が表示されているときに表示されます。

[Microsoft Edge](#)

1 [1]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[H.264(1)]で設定した内容(→136ページ)に従って表示されます。
2 [2]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[H.264(2)]で設定した内容(→136ページ)に従って表示されます。
3 [3]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[H.264(3)]で設定した内容(→136ページ)に従って表示されます。

〈NOTE〉

- 次のような場合、[Stream] ボタンの選択状態は、[Video over IP] - [Initial display setting]の[Stream] (→135ページ)での設定に戻ります。
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を更新した場合
- 選択したH.264画像の解像度設定が[1920×1080]または[1280×720]の場合、Webブラウザ画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。

JPEG選択時

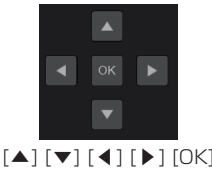
このボタンは、JPEG画像が表示されているときに表示されます。

1 [1]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[JPEG(1)]で設定した内容(→135ページ)に従って表示されます。
2 [2]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[JPEG(2)]で設定した内容(→135ページ)に従って表示されます。
3 [3]	ボタンが灰色に変わり、メインエリアの画像が、[JPEG(3)]で設定した内容(→135ページ)に従って表示されます。

〈NOTE〉

- [Video over IP] - [JPEG]の[JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)] (→135ページ)で選択している解像度で表示されます。
- 解像度が[1920×1080]または[1280×720]の場合、Webブラウザの画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。
- 次のような場合、[Image Capture Size] ボタンの選択状態は、[Video over IP] - [Initial display setting]の[Stream] (→135ページ)での設定に戻ります。
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を更新した場合

4. OSDメニュー操作 [OSD Menu]

ON OFF [ON] [OFF]	カメラのOSDメニューの表示・非表示を切り替えます。
Cancel [Cancel]	設定変更中の選択をキャンセルします。変更前の設定に戻ります。
 [▲][▼][◀][▶] [OK]	メニュー操作を行います。 [▲][▼][◀][▶]ボタンで項目の選択を行います。 選択した項目にサブメニューがあるときは、[OK] ボタンを押すとサブメニューが表示されます。 最下層の設定画面で、任意の項目にカーソルを合わせて[OK] ボタンを押すと、選択した項目の設定値が点滅します。 通常のメニューは、点滅表示状態で設定値を変更したらすぐに設定が反映されますが、[OK] ボタンを押して点滅が止まり設定が確定された時点で反映されるメニューもあります。

〈NOTE〉

- IP映像配信時(H.264/H.265/M-JPEG)に、OSDメニュー操作が遅れる場合があります。[IP SIGNAL] - [IP(H.264/H.265)] - [CHAR]の設定を[OFF]にすることで、スムーズなOSDメニュー操作が可能となります。(→66ページ、133ページ)

5. カラーバーボタン [Color bar]

ON OFF [ON] [OFF]	カラーバー信号の表示・非表示を切り替えます。
Bars Type Type2 ▼ [Type1] [Type2] [Type3] [Type4] [Type5]	表示するカラーバーのType1、Type2、Type3、Type4、Type5を切り替えます。[Color bar]が[ON]のときに有効です。

6. Power ONボタン [Power ON] /

Standbyボタン [Standby]

Power ON ▼ [Power ON]	本機の電源がONになります。
Standby ▼ [Standby]	本機はスタンバイ状態 (Standbyモード) になります。

スタンバイ時、ライブ画面 [Live] では [Power ON] ボタン、[Standby] ボタンを除くすべてのボタンは無効になります。

〈NOTE〉

- [Power ON] と [Standby] をすばやく切り替えると、状態と表示が一致なくなることがあります。この場合、以下の操作で正しい状態表示に戻ります。

Windowsの場合

[F5] キーを押す

Macの場合

[Command] + [R] キーを押す

• **Standbyモード移行時：**

現在のPan/Tilt/Zoomの位置を記憶します。[Power ON Position] メニューで [Standby] を選択したときに、記憶した位置情報を使用します。

• **Power ONモード移行時：**

[Power ON Position] メニューで選択した位置にPan/Tilt/Zoomを移動します。

7. SYNCステータス表示 [Sync]

Sync	本機は、REF SIGNALで外部の同期源に対し同期しています。
Sync	本機は、外部の同期源に対し非同期状態です。

〈NOTE〉

- 本機の時刻設定によっては、外部の同期源を入力してから、本機が同期するまで数分かかることがあります。

8. ストリーミング配信ステータス表示 [Live]

Live	本機は、外部機器 (ソフト) に対して、IPでのストリーミング配信中です。
Live	本機は、外部機器 (ソフト) に対して、IPでのストリーミング配信をしていません。

〈NOTE〉

- M-JPEG、ST2110の配信状態は含まれません。

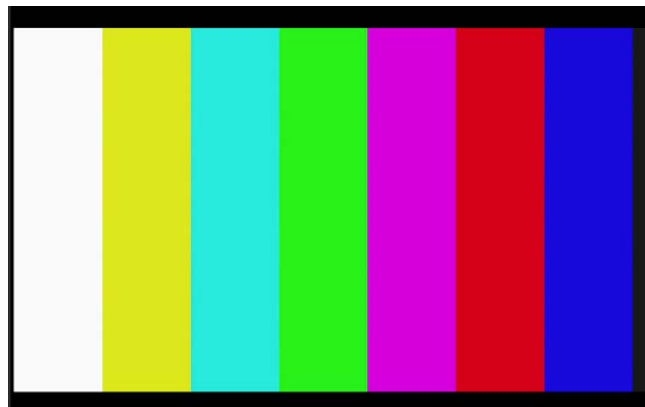
9. 操作ロックボタン [Lock]

Lock(WEB) [Lock(WEB)]	ライブ画面 [Live] のパン・チルト・ズーム・フォーカス・アイリス・ゲイン・ホワイトバランス・シャッター・NDフィルター・プリセットなどの操作をロックし、誤動作を防止することができます。ロック中はボタンが赤色に変わり、再度ボタンをクリックすることでロックを解除できます。
Lock(CAM) [Lock(CAM)]	当社製コントローラー (AW-RP150、AW-RP60) のカメラロック機能により、本機がロック状態となった場合に表示され、クリックすることでカメラロック状態を解除することができます。

〈NOTE〉

- [Lock (WEB)] 機能によるロック状態は実行したWebブラウザで状態を保持しているため、Webブラウザを再表示するとロック状態は解除されます。
- [Lock (CAM)] 機能によるロック状態はカメラ本体に保持しているため、当社製コントローラー (AW-RP150、AW-RP60) でカメラロック機能を解除するか、ロック中にWebブラウザから [Lock (CAM)] を解除する必要があります。
- Webブラウザから [Lock (CAM)] 機能を有効にすることはできません。

10. メインエリア (IP映像表示エリア)



接続中のカメラのIP映像が表示されます。

カメラのタリールンプが点灯中の場合、映像の上部に赤と緑のラインが表示されます。赤タリールンプ受信時には赤のライン、緑タリールンプ受信時には緑のライン、黄タリールンプ受信時には黄のラインが表示されます。

タリールンプが消灯すると、元に戻ります。

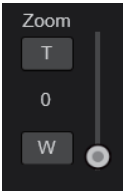
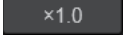
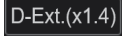
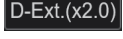
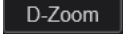
エリア内部をクリックすると、クリックした箇所がエリアの中央に移動するようにカメラの向きが移動します。

エリア内でマウスホイールを操作すると、表示用プラグインソフトウェアによるデジタルズームが可能です。 [Microsoft Edge](#)

〈NOTE〉

- お使いのパーソナルコンピュータによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、搭載OSの描画処理 (GDI) の制約により、ティアリング (画面の一部がずれて表示される現象) が発生することがあります。
- Microsoft Edge (IEモード) では、[H.264 transmission] (→ 136 ページ) を [On] に設定すると、H.264 映像が表示可能です。
- Microsoft Edge (IEモード) 以外では、[H.264 transmission] の設定にかかわらず、JPEG 画像のみ表示可能です。(H.264 映像は表示できません。)
- JPEG 画像の画像更新速度は、ネットワークの環境、お使いのパーソナルコンピュータの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、IP 映像を受信しているユーザーを合計した 14 人までです。
ただし、IP 映像の通信帯域が上限に達した場合は、アクセスできるユーザー数が 14 人以下に制限される場合があります。
- [Tally] (→ 57 ページ、124 ページ) を [Disable] に設定した場合は、タリー信号が入力されていても本機のタリーランプは点灯しませんが、メインエリア (IP 映像表示エリア) の上部に赤と緑のラインが表示されます。
- 本機垂直方向に対し ±15° のチルト範囲内では、クリックした箇所がエリアの中央に移動するようにカメラの向きが移動しない場合があります。
- [Tracking Data Output] の [IP (UDP)] が [On] のとき、IP 配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。(→ 175 ページ)
IP 配信映像の遅延およびフレーム欠落を避けたい場合は、[Tracking Data Output] の [IP (UDP)] を [Off] にすることを推奨します。
- IP 映像配信時 (H.264/H.265/M-JPEG) に、OSD メニュー操作が遅れる場合があります。[IP SIGNAL] - [IP (H.264/H.265)] - [CHAR] の設定を [Off] にすることで、スムーズな OSD メニュー操作が可能となります。(→ 66 ページ、133 ページ)

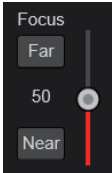
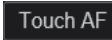
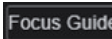
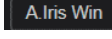
11. ズーム [Zoom]

 [T] [W]	[T] : ズーム (倍率) を「望遠」方向に調整します。 [W] : ズーム (倍率) を「広角」方向に調整します。 中央に光学ズーム位置が数値で表示されます。 数値範囲 : 000 (ワイド端) ~ 999 (光学テレ端)
	PTZ 用拡張パネル表示ボタン ズーム用ボタン [D-Zoom]、[D-Ext.(×1.4)]、[D-Ext.(×2.0)]、[×1.0] とフォーカス用ボタン [O.T.AF]、[Touch AF]、[Focus Guide] (→ 115 ページ) を表示します。 表示中は [−] ボタンに表示が変わり、再度ボタンを押すと非表示となります。
 [×1.0]	ズーム (倍率) を 1.0 倍にします。
 [D-Ext.(×1.4)]	デジタルエクステンダー x1.4 の有効/無効を切り替えます。
 [D-Ext.(×2.0)]	デジタルエクステンダー x2.0 の有効/無効を切り替えます。
 [D-Zoom]	デジタルズームの有効/無効を切り替えます。

〈NOTE〉

- デジタルズーム領域のズーム操作時は、光学ズーム位置を表す数値は変化しません。
- デジタルズームが有効な場合、光学ズーム位置が光学テレ端の 999 であっても、[T] ボタンをクリックすることでデジタルズームによるズームインを行うことができます。
- ライブ画面 [Live] 表示直後、[D-Zoom]、[D-Ext.(×1.4)]、[D-Ext.(×2.0)]、[×1.0] ボタンは表示されていません。[PTZ 用拡張パネル表示ボタン] を押すと表示されます。

12. フォーカス [Focus]

 [Far] [Near]	[Far] : フォーカス (焦点) を「遠 (Far)」方向に調整します。オート時は無効です。 [Near] : フォーカス (焦点) を「近 (Near)」方向に調整します。オート時は無効です。 中央にフォーカス距離が数値で表示されます。 数値範囲 : 00 (Near) ~ 99 (Far)
 [Auto]	フォーカスのオート/マニュアルを切り替えます。オート (Auto) の場合は、自動的にフォーカス (焦点) を調整します。
 [O.T.AF]	フォーカス (焦点) がマニュアルのときに押すと、一度だけ自動でフォーカス (焦点) を調整します。オート時は無効です。[PTZ 用拡張パネル表示ボタン] (→ 115 ページ) を押すと表示されます。
 [Touch AF]	フォーカス (焦点) がマニュアルのときに押すと、タッチしたエリアに自動的にフォーカス (焦点) を調整します。オート時は無効です。[PTZ 用拡張パネル表示ボタン] (→ 115 ページ) を押すと表示されます。
 [Focus Guide]	フォーカス (焦点) がマニュアルのときに押すと、タッチしたエリアの合焦状態をアイコンで表示します。[PTZ 用拡張パネル表示ボタン] (→ 115 ページ) を押すと表示されます。
 [A.Iris Win]	[IRIS] - [WINDOW SELECT] が [5] に設定されているときの、AUTO IRIS の測光範囲を選択できるガイド (格子枠) を表示します。(→ 118 ページ)

〈NOTE〉

- ライブ画面 [Live] 表示直後、[O.T.AF]、[Touch AF]、[Focus Guide]、[A.Iris Win] ボタンは表示されていません。[PTZ 用拡張パネル表示ボタン] を押すと表示されます。

フォーカスガイド機能について

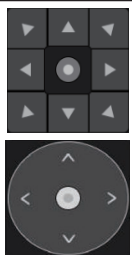
- フォーカス (焦点) がマニュアルで、[Focus Guide] が有効状態で、スクリーンをタッチすると、タッチした付近のフォーカスの合焦状態を以下のアイコンで示します。

	合焦状態 (ピンが合っている状態)
	前ピンの状態 5 段階で表示
	後ピンの状態 5 段階で表示
	合焦状態が不明

〈NOTE〉

- 以下の条件のとき、フォーカスガイドは強制的に OFF に設定されます。
 - [FOCUS MODE] が [AUTO] のとき
 - [UHD CROP] が [OFF] 以外のとき
- 以下の条件のとき、フォーカスの合焦状態が取得できません。(「合焦状態が不明」のアイコン表示となります)
 - ZOOM 倍率が、i.Zoom/D.ZOOM 領域に達しているとき
 - [DIGITAL EXTENDER] が [OFF] 以外のとき

13. コントロールパッド／ボタン

	画像の水平位置・垂直位置の調整(パン・チルト)は、パッドおよびボタンを左クリックして行います。 中央のグリップボタンをドラッグした状態で操作することができ、パッドの外側に行くほどパン・チルト動作の速度は速くなります。
---	--

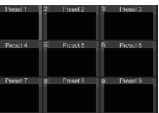
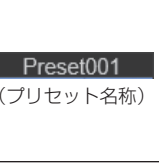
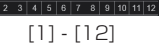
14. 明るさ [Iris]

 [+] [-]	[+]: アイリスを開く方向に段階的に動作します。オート時は無効です。 [-]: アイリスを閉じる方向に段階的に動作します。オート時は無効です。 中央にF値が表示されます。
 [Auto]	アイリス調整のオート／マニュアルを切り替えます。オート (Auto) の場合は、画像の明るさ調整を自動で行います。

15. スピード [Speed]

 [Fast] [Slow]	パン・チルト・ズーム・フォーカスの各動作速度を切り替えます。 パン・チルト動作速度は、パッド操作に反映され、グリップボタン操作には反映されません。
---	---

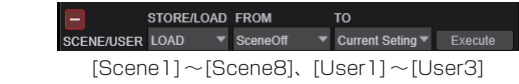
16. プリセット [Preset]

	プリセットサムネールをクリックすると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。 [Home]、[Preset 1]～[Preset 100]が選択できます。 プリセットポジション登録済みのプリセット番号は緑色で表示されます。
 (プリセット名称)	プリセット名称を表示します。 プリセット登録モード中にプリセット名称を選択して表示名を変更することができます。 半角1～15文字を入力できます。 使用可能な文字は0～9、A～Z、a～z、半角スペース、_ (アンダースコア) です。
 [1] - [12]	表示されているプリセットサムネールのページを切り替えます。
 [Home]	ホームポジションへ移動します。
	プリセット用拡張パネル表示ボタン プリセット用ボタン[SET]、[DEL]を表示します。 表示中は[-]ボタンに表示が変わり、再度ボタンを押すと非表示となります。
 [SET]	プリセット登録モードに移行します。 プリセット登録モード中にプリセットサムネールをクリックすると、現在の状態を指定したプリセットポジションへ登録します。
 [DEL]	プリセット削除モードに移行します。 プリセット削除モード中にプリセットサムネールをクリックすると、指定したプリセットポジション設定を削除します。

〈NOTE〉

- プリセットの登録時、[Preset Thumbnail Update]メニューが[Off]の場合、事前に登録していたプリセット画像を継続します。
- プリセットの登録時、[Preset Name]メニューが[Reset]の場合、事前に登録していたプリセット名称をリセットします。
- ライブ画面[LIVE]表示直後、[SET]、[DEL]ボタンは表示されていません。[プリセット用拡張パネル表示ボタン]を押すと表示されます。

17. シーン／ユーザー [Scene/User]

 [Scene 1]～[Scene 8]、[User 1]～[User 3]	[Scene 1]～[Scene 8]もしくは[User 1]～[User 3]を選択して、撮影モードを切り替えます。
	Scene/User用拡張パネル表示ボタン シーン／ユーザーファイル切り替え用のプルダウンを表示します。 表示中は[-]ボタンに表示が変わり、再度ボタンを押すと非表示となります。

〈NOTE〉

- ライブ画面[LIVE]表示直後、シーン／ユーザーファイル切り替え用のプルダウンは表示されていません。[Scene/User用拡張パネル表示ボタン]を押すと表示されます。

18. 全画面表示ボタン

	画像が全画面で表示されます。 ライブ画面[LIVE]に戻るには、全画面で表示されているときにパーソナルコンピュータのキーボードの[Esc]キーを押します。 表示される画面のアスペクト比は、モニターに合わせて調整されます。
--	---

19. スナップショットボタン

	スナップショット (静止画 1 枚) を取得し、その画像が別ウィンドウで表示されます。
---	--

〈NOTE〉

- ネットワーク環境などにより、スナップショットの取得に一定の時間以上かかる場合には、画像が表示されないことがあります。
- [JPEG transmission(1)]～[JPEG transmission(3)] (→135 ページ) のすべてを[Off]に設定している場合、スナップショットボタンで取得できる画像は黒画像となります。

20. カメラタイトル表示部

システム画面[System]の[LIVE page]内の[Camera title] (→128 ページ) で設定した本機の名称が表示されます。

21. ゲイン [Gain]

	映像のゲインを上げます。
	映像のゲインを下げます。

〈NOTE〉

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

22. ホワイトバランス [WB]

	ホワイトバランスを[AWB A]→[AWB B]→[3200K]→[5600K]→[VAR]→[ATW]の順に切り替えます。
	ホワイトバランスを[AWB A]→[ATW]→[VAR]→[5600K]→[3200K]→[AWB B]の順に切り替えます。
 [AWB]	自動ホワイトバランス (AWB) を行い、ホワイトバランスがセットされます。
 [ABB]	自動ブラックバランス (ABB) を行い、ブラックバランスがセットされます。

〈NOTE〉

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

23. シャッター [Shutter]

	シャッターモードを[Off]→[Step]→[Synchro]→[Auto]の順に切り替えます。
	シャッターモードを[Auto]→[Synchro]→[Step]→[Off]の順に切り替えます。

〈NOTE〉

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。

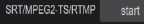
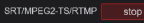
24. ND フィルター [ND]

	NDフィルターの透過率を[Through]→[1/4 ND]→[1/16 ND]→[1/64 ND]の順に切り替えます。
	NDフィルターの透過率を[1/64 ND]→[1/16 ND]→[1/4 ND]→[Through]の順に切り替えます。

〈NOTE〉

- ボタンの間には、現在の設定が表示されます。
- ナイトモード時は、NDフィルターの切り替えができません。

25. SRT/MPEG2-TS/RTMP

	あらかじめ登録した配信先にストリーミングを開始します。 配信中はボタンが赤色になり、再度ボタンをクリックすると配信が停止します。
(配信停止中)	
	(配信中)

〈NOTE〉

- [Streaming mode]が[RTMP]、[SRT(H.264)]、[SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]、[MPEG2-TS over UDP]のときのみ、このボタンは操作できます。
- [Streaming mode]が[SRT(H.264)]、[SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]のときは、Client(Caller)モードに設定されているときのみこのボタンをクリックすることで配信を開始することができます。

26. PC画面切り替えボタン

	携帯端末用の画面を表示します。 詳細は「携帯端末によるWeb画面表示」(→202ページ)を参照してください。
---	---

〈NOTE〉

- 携帯端末で表示するときのみ、このボタンは表示されます。

27. Presetサムネール一覧表示ボタン

	Presetサムネールの一覧画面をライブ画面[Live]上に表示します。
---	--------------------------------------

28. リアルタイム更新切替ボタン

	Webブラウザを動作させるパーソナルコンピューターの動作性能によっては、映像がコマ落ちして見える場合があります。このボタンを押してリアルタイム更新機能を無効化することで、問題が改善する場合があります。 リアルタイム更新対象データは以下の通りです。 - Zoom - Focus - Iris - Gain - WB - Shutter - ND
---	--

〈NOTE〉

- ボタンが有効のときはセンタークリック機能が無効化されます。
- ボタンが有効のときはAudio Level Meter機能が無効化されます。

29. Audio Level Meter表示ボタン

	本機へのAudio入力状態およびAudio設定状態をライブ画面[Live]上に表示します。
---	---

30. Level Gauge切り替えボタン

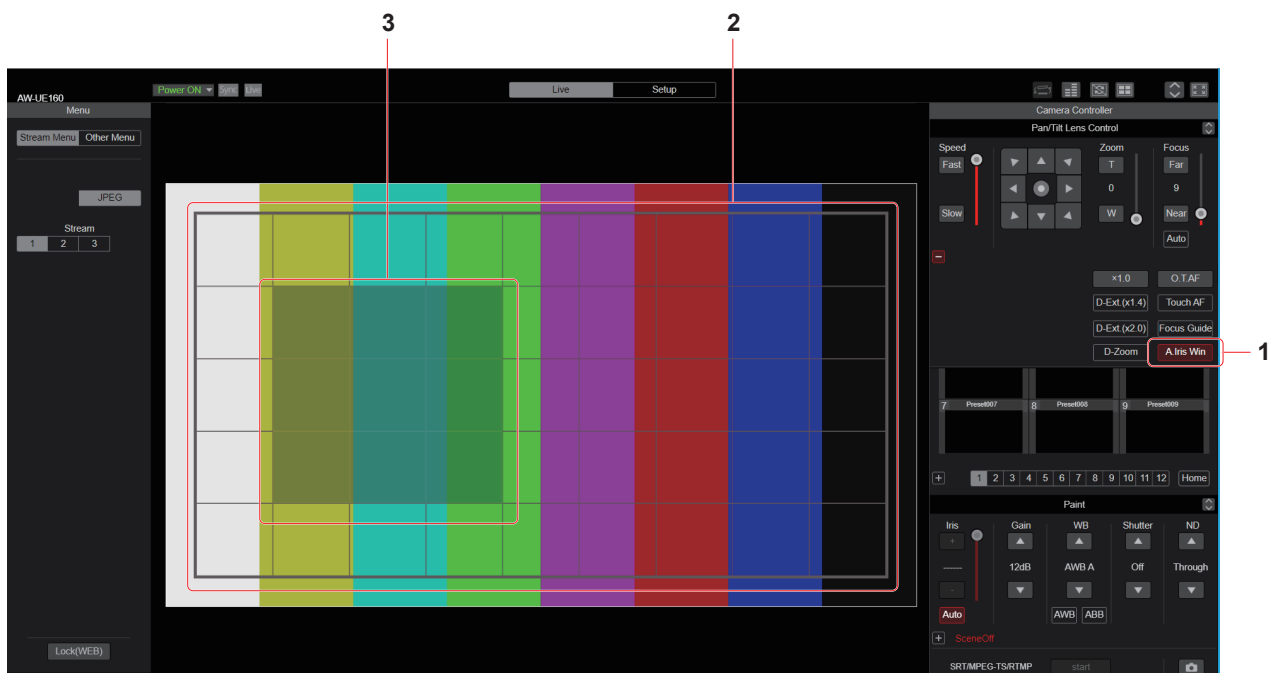
	[ON]のとき、本機の設置の傾き状態(水平方向：左右および前後)を、画面左上領域にOSD表示します。 (例) L ↑ +3.2/-3.2 ↓ R F ↓ -1.8/+1.8 ↑ F 上記表示の場合、左右方向：左上に3.2°、前後方向：前上に1.8°で設置されています。 傾きの最大は±9.9°で、10°以上傾いている場合は「±9.9」と表示されます。
---	--

〈NOTE〉

- LEVEL GAUGEは、SDI、HDMI、SMPTE ST2110のみ表示し、High bandwidth NDIおよびIP配信(H.264/H.265/M-JPEG)には表示されません。

AUTO IRIS WINDOWの領域選択

[WINDOW SELECT]が[5]に設定されているときのAUTO IRISの測光範囲は、以下の画面で設定できます。



1. [A.Iris Win] ボタン

このボタンをONにすると、AUTO IRISの測光範囲を選択できるガイド (格子枠) を表示します。

〈NOTE〉

- [WINDOW SELECT]が[5]以外に設定されているときは、ONにできません。
- [UHD CROP]が[CROP(1080)]または[CROP(720)]に設定されているときは、ONにできません。
- [Touch AF]ボタンまたは[Focus Guide]ボタンと同時にONにできません。

2. 測光範囲の格子枠 (全領域)

AUTO IRISの測光範囲の全領域のガイド (格子枠) です。

3. 測光範囲の格子枠 (選択領域)

AUTO IRISの測光範囲の選択領域のガイド (格子枠) です。
ドラッグ&ドロップで測光領域を選択可能です。

〈NOTE〉

- 連続領域 (四角形の領域) しか選択できません。(四角形以外の領域 (L字型等) や、2か所以上に離れた領域は選択できません)
- 本選択範囲は、SCENE FILEの設定値として保存されます。(89ページ)

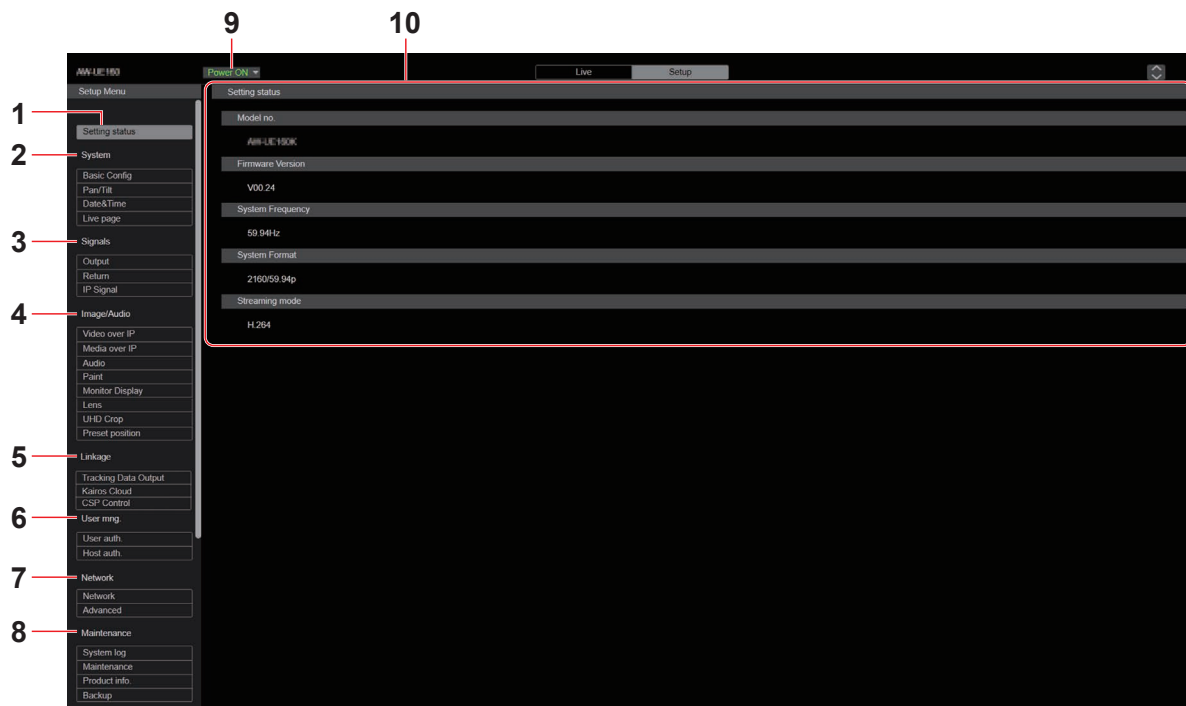
Web画面からの設定

Web設定画面 [Setup]

本機に対して各種設定を行います。

〈NOTE〉

- 設定メニューは、アクセスレベルが「1.Administrator」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、179ページを参照してください。
- 設定メニュー表示中に、OSDメニューや他のWebブラウザから設定値を変更した場合、設定値と表示値が一致しないことがあります。その場合、Webブラウザの設定メニュー表示画面を更新してください。



1. 設定状態 [Setting status]

ボタンをクリックすると、設定状態画面 [Setting status] が表示されます。

→ 「設定状態画面 [Setting status]」 (→ 121 ページ)

2. システム設定 [System]

ベーシック設定ボタン [Basic Config]

ボタンをクリックすると、ベーシック設定画面 [Basic Config] が表示されます。

→ 「ベーシック設定画面 [Basic Config]」 (→ 121 ページ)

Pan/Tilt設定ボタン [Pan/Tilt]

ボタンをクリックすると、Pan/Tilt設定画面 [Pan/Tilt] が表示されます。

→ 「Pan/Tilt設定画面 [Pan/Tilt]」 (→ 126 ページ)

時計設定ボタン [Date&Time]

ボタンをクリックすると、時計設定画面 [Date&Time] が表示されます。

→ 「時計設定画面 [Date&Time]」 (→ 127 ページ)

ライブページ設定ボタン [Live page]

ボタンをクリックすると、ライブページ画面 [Live page] が表示されます。

→ 「ライブページ画面 [Live page]」 (→ 128 ページ)

3. シグナル設定 [Signals]

アウトプット設定ボタン [Output]

ボタンをクリックすると、アウトプット設定画面 [Output] が表示されます。

→ 「Output」 (→ 128 ページ)

リターン設定ボタン [Return]

ボタンをクリックすると、リターン設定画面 [Return] が表示されます。

→ 「Return」 (→ 132 ページ)

IPシグナル設定ボタン [IP SIGNAL]

ボタンをクリックすると、IPシグナル設定画面 [IP SIGNAL] が表示されます。

→ 「IP SIGNAL」 (→ 133 ページ)

4. カメラ画面 [Image/Audio]

IP映像設定ボタン [Video over IP]

ボタンをクリックすると、IP映像設定画面[Video over IP]が表示されます。

→「IP映像設定画面[Video over IP]」（→134ページ）

MoIP設定ボタン [Media over IP]

ボタンをクリックすると、MoIP設定画面[Media over IP]が表示されます。

→「MoIP設定画面[Media over IP]」（→145ページ）

音声設定ボタン [Audio]

ボタンをクリックすると、音声設定画面[Audio]が表示されます。

→「音声設定画面[Audio]」（→150ページ）

ペイント設定ボタン [Paint]

ボタンをクリックすると、ペイント設定画面[Paint]が表示されます。

→「ペイント設定画面[Paint]」（→152ページ）

モニターディスプレイ設定ボタン [Monitor Display]

ボタンをクリックすると、モニターディスプレイ設定画面[Monitor Display]が表示されます。

→「モニターディスプレイ設定画面[Monitor Display]」（166ページ）

レンズ設定ボタン [Lens]

ボタンをクリックすると、レンズ設定画面[Lens]が表示されます。

→「レンズ設定画面 [Lens]」（→167ページ）

UHDクロップ設定ボタン [UHD Crop]

ボタンをクリックすると、UHDクロップ設定画面[UHD Crop]が表示されます。

→「UHDクロップ設定画面 [UHD Crop]」（→168ページ）

プリセットポジション設定ボタン [Preset position]

ボタンをクリックすると、プリセットポジション画面[Preset position]が表示されます。

→「プリセットポジション画面 [Preset position]」（→170ページ）

5. 連携機能 [Linkage]

トラッキングデータ出力設定ボタン [Tracking Data Output]

ボタンをクリックすると、トラッキングデータ出力設定画面[Tracking Data Output]が表示されます。

→「トラッキングデータ出力設定画面[Tracking Data Output]」（→175ページ）

Kairos Cloud接続設定ボタン [Kairos Cloud]

ボタンをクリックすると、Kairos Cloud接続設定画面[Kairos Cloud]が表示されます。

→「Kairos Cloud接続設定画面[Kairos Cloud]」（→176ページ）

Cyclic Synchronous Position Control設定ボタン [CSP Control]

ボタンをクリックすると、Cyclic Synchronous Position Control設定画面[Cyclic Synchronous Position Control]が表示されます。

→「Cyclic Synchronous Position Control設定画面[Cyclic Synchronous Position Control]」（→177ページ）

6. ユーザー管理設定 [User mng.]

ユーザー認証設定ボタン [User auth.]

ボタンをクリックすると、ユーザー認証設定画面[User auth.]が表示されます。

→「ユーザー認証設定画面[User auth.]」（→179ページ）

ホスト認証設定ボタン [Host auth.]

ボタンをクリックすると、ホスト認証設定画面[Host auth.]が表示されます。

→「ホスト認証設定画面[Host auth.]」（→180ページ）

7. ネットワーク設定 [Network]

ネットワーク設定ボタン [Network]

ボタンをクリックすると、ネットワーク設定画面[Network]が表示されます。

→「ネットワーク設定画面[Network]」（→181ページ）

ネットワーク詳細設定ボタン [Advanced]

ボタンをクリックすると、ネットワーク詳細設定画面[Advanced]が表示されます。

→「ネットワーク詳細設定画面[Advanced]」（→184ページ）

8. メンテナンス設定 [Maintenance]

システムログボタン [System log]

ボタンをクリックすると、システムログ画面[System log]が表示されます。

→「システムログ画面[System log]」（→196ページ）

メンテナンスボタン [Maintenance]

ボタンをクリックすると、メンテナンス画面[Maintenance]が表示されます。

→「メンテナンス画面[Maintenance]」（→197ページ）

製品情報確認ボタン [Product info.]

ボタンをクリックすると、製品情報確認画面[Product info.]が表示されます。

→「製品情報確認画面[Product info.]」（→198ページ）

バックアップボタン [Backup]

ボタンをクリックすると、バックアップ画面[Backup]が表示されます。

→「バックアップ画面[Backup]」（→199ページ）

9. Power ON [Power ON] /

Standbyボタン [Standby]

Power ON ▼ [Power ON]	本機の電源がONになります。
Standby ▼ [Standby]	本機はスタンバイ状態 (Standbyモード) になります。

Standbyモードになると、ライブ画面[Live]へ自動的に表示が切り替わります。また、ライブ画面[Live]の[Setup]ボタンが無効になり、Web設定画面[Setup]の全画面の操作ができません。

10. メインエリア

メニュー画面が表示されます。

設定状態画面 [Setting status]

Setting status	
Model no.	
Firmware Version	
System Frequency	
System Format	
Streaming mode	

Model no.

本機の品番が表示されます。

Firmware Version

本機のファームウェアバージョンが表示されます。
バージョン詳細情報は製品情報確認画面 [Product info.] を参照してください。

System Frequency

本機のフレーム周波数が表示されます。

System Format

本機の映像フォーマットが表示されます。

Streaming mode

本機のストリーミングモードが表示されます。

システム画面 [System]

■ ベーシック設定画面 [Basic Config]

● Setting status

Setting status	
Frequency	
Format	

Frequency

フレーム周波数の設定を表示します。

Format

映像フォーマットの設定を表示します。

● Frequency

Frequency	
Frequency	☒ 59.94Hz ☐ 50Hz ☐ 24Hz ☐ 23.98Hz ☐ 60Hz
	Set

Frequency

[60Hz、59.94Hz、50Hz、24Hz、23.98Hz]

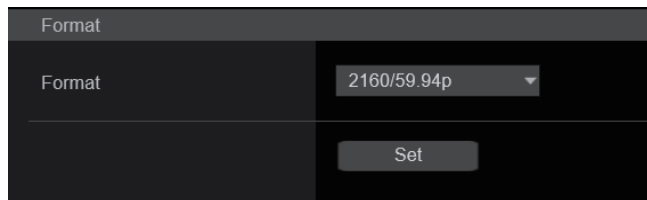
フレーム周波数を切り替えます。
設定は [Set] ボタンで確定します。

工場出荷時の設定：59.94Hz

〈NOTE〉

- フレーム周波数の切り替えを行った場合、本機は自動的に再起動します。

● Format



Format

[60Hz] のとき

2160/60p、1080/60p

[59.94Hz] のとき

2160/59.94p、2160/29.97p、1080/119.88p、
1080/59.94p、1080/29.97p、720/59.94p

[50Hz] のとき

2160/50p、2160/25p、1080/100p、1080/50p、
1080/25p、720/50p

[24Hz] のとき

2160/24p、1080/24p

[23.98Hz] のとき

2160/23.98p、1080/23.98p

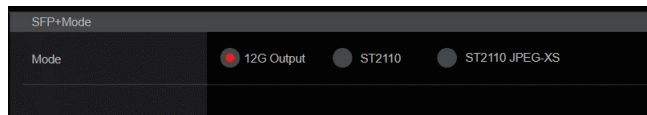
映像フォーマットを変更します。
設定は[Set]ボタンで確定します。

〈NOTE〉

- ・システムフォーマット変更時にストリーミングが停止します。
- ・フォーマット変更方法の詳細については、「フォーマット変更について」（→59ページ）を参照してください。
- ・[Video over IP]の[Streaming mode]で[H.264(UHD)]、[H.265(UHD)]、[JPEG(UHD)]、[RTMP(UHD)]、[SRT(H.264 UHD)]、[SRT(H.265 UHD)]を選択するためには、ここで4Kフォーマットを選択する必要があります。

● SFP+ Mode

SFP+端子の動作モードを設定します。



SFP+ Mode

[12G Output、ST2110、ST2110 JPEG XS]

12G Output	12G SDI OUT端子から出力する映像と同等の映像信号を出力します。
ST2110	SMPTE ST2110 (非圧縮) に準拠した映像 / 音声データを出力します。
ST2110 JPEG XS	SMPTE ST2110 JPEG XS (圧縮) に準拠した映像 / 音声データを出力します。

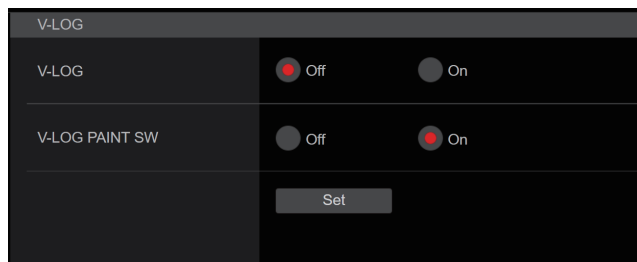
工場出荷時の設定：12G Output

〈NOTE〉

- ・[SFP+ Mode]を変更すると、本機は自動的に再起動します。
- ・[12G Output]を選択しているときは、以下の各機能は利用できません。
 - SMPTE ST2110 (非圧縮) および JPEG XS (圧縮) 映像 / 音声出力
 - SMPTE ST2110 (非圧縮) および JPEG XS (圧縮) 映像入力 (RETURN) (145ページ)
 - PTP同期 (149ページ)
- ・[ST2110 JPEG XS]を選択しているときは、以下の各機能は利用できません。
 - BAR ID (125ページ)
 - WFM (WaveForm) (166ページ)
 - High bandwidth NDI (144ページ)

● V-LOG

設定は[Set]ボタンで確定します。



V-LOG [Off、On]

V-LOGモードの設定をします。

Off	カメラで詳細な画質調整を行う設定にします。
On	幅広い階調と広いラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブに設定します。 撮影後のグレーディング処理が必要です。

工場出荷時の設定：Off

〈NOTE〉

- ・[Basic Config]－[HDR]が[On]のときは、設定できません。
- ・[Basic Config]－[V-LOG]が[On]のときは、画質調整機能が制限されます。

V-LOG PAINT SW [Off、On]

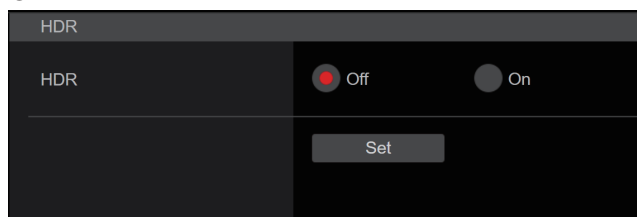
[Basic Config]－[V-LOG]が[On]のときに、[PAINT]メニューを設定可能にするかどうかを選択します。

工場出荷時の設定：Off

〈NOTE〉

- ・[Basic Config]－[V-LOG]が[Off]のときは、設定できません。

● HDR



HDR [On、Off]

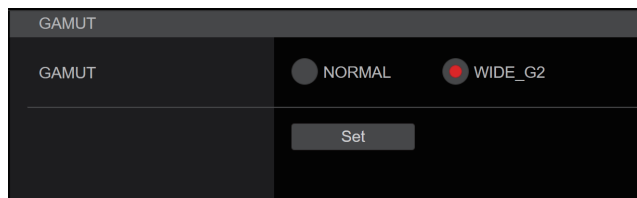
HDR モードの有効/無効を設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。

工場出荷時の設定：Off

〈NOTE〉

- ・[Basic Config]－[V-LOG]が[On]のときは、設定できません。

● GAMUT



GAMUT [NORMAL、WIDE_G2]

色域を設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。

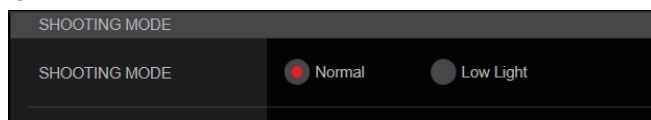
NORMAL	BT.709相当の色域です。
WIDE_G2	BT.2020相当の色域です。

工場出荷時の設定：WIDE_G2

〈NOTE〉

- ・[Basic Config]－[HDR]が[Off]のときは、設定できません。

● SHOOTING MODE



SHOOTING MODE [Normal、Low Light]

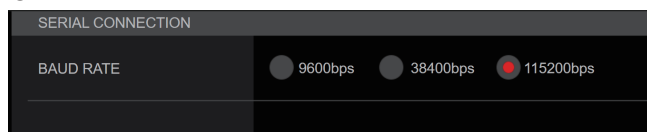
撮影環境に応じた撮影モードを選択します。

設定は[Set]ボタンで確定します。

Normal	通常の明るさの環境で撮影するときに選択します。
Low Light	高感度撮影を選択します。(暗い環境での撮影に適しています)

工場出荷時の設定：Normal

● SERIAL CONNECTION



BAUD RATE [9600bps、38400bps、115200bps]

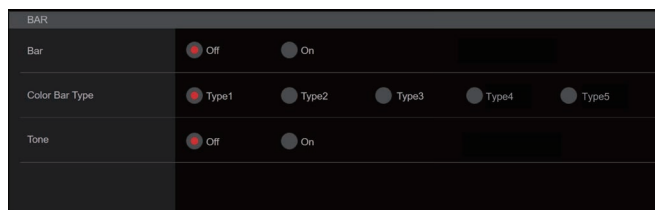
RS-422端子の通信速度（ボーレート）を設定します。

工場出荷時の設定：9600bps

〈NOTE〉

- [Tracking Data Output] – [Serial]が[On]のときは、本項目は無効です。

● BAR



Bar [Off、On]

Off	カメラ映像を出力します。
On	カラーバーを出力します。

工場出荷時の設定：Off

Color Bar Type

[Type1、Type2、Type3、Type4、Type5]

表示するカラーバーのタイプを選択します。

Color Bar Type		出力されるカラーバー	
		IP配信系 (H.264/ H.265/ M-JPEG)	SDI/HDMI または SMPTE ST2110/ High bandwidth NDI
Type1	SMPTE		SDI/HDMI または SMPTE ST2110/ High bandwidth NDI
			HD (720または 1080)
			UHD (2160)
Type2	FULL		SDI/HDMI
			Type1
			Type1
Type3	ARIB (FHD)		SDI/HDMI
			Type3
			Type3
Type4	ARIB (UHD)		SDI/HDMI
			Type3
			Type4
Type5	ARIB (2020/HLG)		SDI/HDMI
			Type3
			Type5

工場出荷時の設定：Type1

〈NOTE〉

- [Bar]が[On]のときは、HDR/GAMUT/V-LOGの各種設定値にかかわらず、すべての[HDR]が[Off]/[V-LOG]が[Off]のカラーバーを出力します。
- IP配信系(H.264/H.265/M-JPEG)のカラーバーは、SMPTE準拠しません。
- [Type4]/[Type5]では、BAR ID (→125ページ)は出力されません。
- [Type4]では、709設定時も2020が出力されます。
- IP配信系(H.264/H.265/M-JPEG)では、Type3/Type4/Type5は出力されません。
- SMPTE ST2110およびHigh bandwidth NDIでは、Type4/Type5は出力されません。

Tone [Off、On]

カラーバー映像のときに出力するテストトーン信号(1 kHz)に関する設定を行います。

Off	テストトーンを出力しません。
On	テストトーンを出力します。

工場出荷時の設定：On

● TALLY

Tally [Disable、Enable]

タリーの制御信号によってタリーランプを点灯または消灯する機能の無効[Disable]/有効[Enable]を設定します。

工場出荷時の設定：Enable

Tally Brightness [Low、Mid、High]

タリーLEDの光量を調整します。

工場出荷時の設定：Low

Tally LED Limit

タリー制御信号の色(R/G/Y)ごとに、タリーランプの点灯を抑止するかどうかを設定します。

R [Unlimit、Limit]

G [Unlimit、Limit]

Y [Unlimit、Limit]

Unlimit	タリーランプを点灯させます。
Limit	タリーランプの点灯を抑止します。

工場出荷時の設定：Unlimit

〈NOTE〉

- [Tally LED Limit] で [Limit] を選択した場合、本機のタリーランプの点灯のみ抑止し、外部機器 (AW-RP150、AW-RP60の盤面等) でのタリー状態表示は有効となります。

Tally Guard [Off、On]

Rタリー信号が入力中に限り、以下の機能を抑止します。

- オートホワイトバランス、オートブラックバランスの動作
- OSDメニュー表示
- OSDステータス表示

工場出荷時の設定：Off

External Output

RS-422端子のExternal Outputの信号線(Output1、Output2)から出力する信号の種類を選択します。(→ 17ページ)

Output1 [Off、R-Tally、G-Tally、Y-Tally]

Output2 [Off、R-Tally、G-Tally、Y-Tally]

Off	信号を出力しません。
R-Tally	赤タリー信号受信状態を出力します。
G-Tally	緑タリー信号受信状態を出力します。
Y-Tally	黄タリー信号受信状態を出力します。

工場出荷時の設定：Off

● SYNC SIGNAL

映像/音声出力信号の同期をとるための設定を行います。

REF SIGNAL

BBS/TRI-LEVEL SYNC	G/L端子からのSDI基準信号で同期をとります。
PTP	SFP+端子からのPTPにより同期をとります。

工場出荷時の設定：BBS/TRI-LEVEL SYNC

〈NOTE〉

- SMPTE ST2110ソフトウェアキー(AW-SFU60)が無効なときは、[PTP]は選択できません。
- [Basic Config] - [SFP+ Mode]が[12G Output]のときは、[PTP]は選択できません。
- [IP Signal] - [ST2110] - [MoIP Mode]が[Off]のときは、[PTP]は選択できません。

GENLOCK

位相調整を行います。

H PHASE-COURSE [-5～5]

ゲンロック時の水平位相の粗調整を行います。

工場出荷時の設定：0

H PHASE-FINE [-100～100]

ゲンロック時の水平位相の微調整を行います。

工場出荷時の設定：0

〈NOTE〉

- [Basic Config] - [Sync Signal] - [Ref Signal]が[PTP]のときは、設定できません。

● BAR ID

BAR ID	
BAR ID	☒ Off ☐ On
BRIGHTNESS	0 100%
ID1 POSITION V	0 5
ID1 POSITION H	0 15
ID1	
ID2 POSITION V	0 5
ID2 POSITION H	0 15
ID2	
OFFSET V	0 89
OFFSET H	0 79

BAR ID [Off、On]

カラーバー上のID表示のOff/Onを選択します。

工場出荷時の設定：Off

BRIGHTNESS [0～100%]

カラーバー上のカメラIDの文字色を設定します。

工場出荷時の設定：100%

ID1 POSITION V [0～5]

カラーバー上のカメラID1の表示開始位置（V方向：行番号）をフロント単位で指定します。

工場出荷時の設定：0

ID1 POSITION H [0～15]

カラーバー上のカメラID1の表示開始位置（H方向：列番号）をフロント単位で指定します。

工場出荷時の設定：0

ID1

[BAR ID]の文字列を設定します。

最大16文字

（半角英数字、空白、! # % & ' () * + , - . / : ; < = > ? [] _ ~ \$ @ |）

ID2 POSITION V [0～5]

カラーバー上のカメラID2の表示開始位置（V方向：行番号）をフロント単位で指定します。

工場出荷時の設定：1

ID2 POSITION H [0～15]

カラーバー上のカメラID2の表示開始位置（H方向：列番号）をフロント単位で指定します。

工場出荷時の設定：0

ID2

[BAR ID]の文字列を設定します。

最大16文字

（半角英数字、空白、! # % & ' () * + , - . / : ; < = > ? [] _ ~ \$ @ |）

OFFSET V [0～89]

[BAR ID]の表示位置（フロント内の画素オフセット位置：V方向）を微調整します。

工場出荷時の設定：0

OFFSET H [0～79]

[BAR ID]の表示位置（フロント内の画素オフセット位置：H方向）を微調整します。

工場出荷時の設定：0

〈NOTE〉

- BAR IDは、SDI、HDMI、SMPTE ST2110、High bandwidth NDIの各出力にのみ表示し、IP配信（H.264/H.265/M-JPEG）には表示されません。
- [SFP+ Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときは、BAR IDは無効となります。

■ Pan/Tilt設定画面 [Pan/Tilt]

設定は[Set]ボタンで確定します。

Install Position [Desktop、Hanging]

本機の設置方法を[Desktop]（据え置き）または[Hanging]（吊り下げ）から選択します。

Desktop	据え置き設置
Hanging	吊り下げ設置

工場出荷時の設定：Desktop

〈NOTE〉

- ・[Hanging]（吊り下げ）を選択した場合、映像が上下左右反転となり、パン、チルト制御も上下左右制御が反転となります。

Smart Picture Flip

Mode [Off、Auto]

チルトが[Flip Detect Angle]で設定した角度になると、自動的に映像を上下逆転します。

Off	上下逆転しません。
Auto	自動的に映像を上下逆転します。

工場出荷時の設定：off

Flip Detect Angle [60deg～120deg]

[Smart Picture Flip]が[Auto]の場合に、映像を上下逆転させるチルトの角度を設定します。

工場出荷時の設定：90deg

P/T Speed Mode

[Normal(60deg/s)、Fast1(90deg/s)、Fast2(180deg/s)]

Pan/Tilt動作のスピードを設定します。

Normal(60deg/s)	Pan/Tiltを通常スピード（最大約60° /秒）で動作させます。
Fast1(90deg/s)	Pan/Tiltを高速スピード1（最大約90° /秒）で動作させます。
Fast2(180deg/s)	Pan/Tiltを高速スピード2（最大約180° /秒）で動作させます。

工場出荷時の設定：Normal(60deg/s)

P/T Acceleration Setting

パン・チルト動作の開始/停止時の加速度を設定するための詳細設定画面を表示します。

P/T Acceleration [Manual、Auto]

パン・チルトのマニュアル操作時の加減度等の詳細設定を行うかどうかを設定します。

Manual	パン・チルト動作の開始/停止時や速度変更時における加速度等の詳細設定を行います。
Auto	パン・チルトの動作の開始/停止や速度変更時の加減速等を自動で動作させます。

工場出荷時の設定：Auto

Rise S-Curve [0～30]

パン・チルトの加速動作におけるS字カーブを31段階で設定します。（数字が大きいほどS字の程度が強くなります）

コントローラーによるレバー操作等パン・チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための加速が必要な場合、本設定で指定されたS字カーブにより加速処理を行います。

[P/T Acceleration]が[Manual]のときに有効です。

工場出荷時の設定：15

〈NOTE〉

- ・加速応答を制限するため、S字カーブの段階は加速度が高くなるほど自動的に制限されます。

Fall S-Curve [0～30]

パン・チルトの減速動作におけるS字カーブを31段階で設定します。（数字が大きいほどS字の程度が強くなります）

コントローラーによるレバー操作等パン・チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための減速が必要な場合、本設定で指定されたS字カーブにより減速処理を行います。

[P/T Acceleration]が[Manual]のときに有効です。

工場出荷時の設定：15

〈NOTE〉

- ・減速応答を制限するため、S字カーブの段階は減速度が高くなるほど自動的に制限されます。

Rise Acceleration [1～255]

パン・チルトの加速動作における加速度を255段階で設定します。（数字が大きいほど加速度は大きくなります）

コントローラーによるレバー操作等パン・チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための加速が必要な場合、本設定で指定された加速度により加速処理を行います。

[P/T Acceleration]が[Manual]のときに有効です。

工場出荷時の設定：128

〈NOTE〉

- ・指定された加速度が小さい場合、仕様の最高速まで到達できない場合があります。

Fall Acceleration [1～255]

パン・チルトの減速動作における減速度を255段階で設定します。
(数字が大きいほど減速度は大きくなります)
コントローラーによるレバー操作等パン・チルトのマニュアル制御により、指定速度に到達するための減速が必要な場合、本設定で指定された減速度により減速処理を行います。
[P/T Acceleration]が[Manual]のときに有効です。
工場出荷時の設定：128

〈NOTE〉

- ・レンズ機構部先端までの減速、停止処理を行い、メカ衝突を回避するため、実動作では[Fall Acceleration]に制限がかかる場合があります。

Speed With Zoom Position [Off, On]

ズーム倍率に連動して、パン・チルトの調整スピードを調整する機能をOFF/ONします。

[On]に設定すると、ズーム状態のときにパン、チルトの動作が遅くなります。

本機能はプリセット動作には効果がありません。

工場出荷時の設定：On

Focus Adjust With PTZ. [Off, On]

パン・チルト・ズーム操作時にフォーカスのずれを補正する機能をOff/Onします。

[Off]に設定する場合は、ズーム操作後に必要に応じてフォーカスを調整するか、[Focus Mode]を[Auto]に設定してください。

[Focus Mode]が[Manual]のときに有効です。

工場出荷時の設定：Off

Privacy Mode [Off, On]

本機をStandbyモードにしたときに、カメラの向きを真下に向ける機能のOff/Onを設定します。

Off	Standbyモードに移行したときのカメラの向きを変更しません。(Power On状態のときのカメラの向きを維持)
On	Standbyモードに移行したときに、カメラの向きを後方に移動します。 再度、Power On状態に移行したときは、[Power On Position]に従った位置に移動します。

工場出荷時の設定：Off

Power On Position

[None, Standby, Home, Preset]

電源を入れたとき、Pan/Tilt/Zoomの初期位置をどこにするかを選択します。

None	電源On時のPan/Tiltの位置をキープし、Zoomはワイド端となります。
Standby	前回Standbyモードに移行したときのPan/Tilt/Zoomの位置に移動します。
Home	Pan/Tiltはホームポジション(正面)に移動し、Zoomはワイド端となります。
Preset	[Preset Number]で指定したプリセット位置でプリセット再生します。

工場出荷時の設定：Standby

Preset Number [Preset001～Preset100]

[Power On Position]で[Preset]が設定されているとき、電源ON時にプリセット再生する番号を指定します。

工場出荷時の設定：Preset001

〈NOTE〉

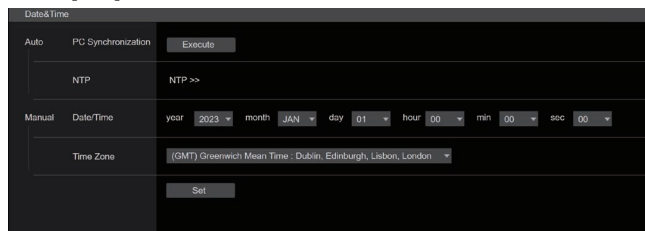
- ・未登録のプリセット番号が設定されている場合は、プリセット再生せずに[Standby]の動作となります。

■ 時計設定画面 [Date&Time]

時計の設定を行います。

[PC Synchronization]、[NTP]、[Manual]の3種類の方法を設定できます。

設定は[Set]ボタンで確定します。



Auto

PC Synchronization

[Execute]ボタンをクリックすると、接続しているパーソナルコンピュータの日付時刻に本機を同期させて設定します。

〈NOTE〉

- ・パーソナルコンピュータのタイムゾーンは、本機に反映されません。タイムゾーンは、本機で設定してください。

NTP

[NTP >>]をクリックするとNTPサーバーの設定画面を表示します。
(→184ページ)

Manual

Date/Time

「月」、「日」、「年」の設定と「時」、「分」、「秒」の設定を行います。

〈NOTE〉

- ・時刻は、24時間表示です。

Time Zone

使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。

工場出荷時の設定：

(GMT) Greenwich Mean Time : Dublin, Edinburgh, Lisbon, London

■ ライブページ画面 [Live page]

Live page

Camera title

Automatic installation of viewer software

☒ On ☐ Off

Smoother live video display on the browser(buffering)

☒ On ☐ Off

Set

Camera title

本機の名称を入力します。
[Set] ボタンをクリックすると、入力した名称がカメラタイトル表示部に表示されます。

- 工場出荷時の設定は本機の製品品番です。
- 半角0～20文字を入力できます。
- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[^_`{ }~

Automatic installation of viewer software [On, Off]

Microsoft Edge (I.E. Mode)

表示用プラグインソフトウェアの自動インストールについて設定します。

工場出荷時の設定: On

Smoother live video display on the browser(buffering)

[On, Off] Microsoft Edge (I.E. Mode)

表示用プラグインソフトウェアで、本機の画像を表示する際の設定を行います。

On	本機の画像を一時的にパーソナルコンピュータに蓄積し、より滑らかに表示します。 ただし、画面表示の画像が実際の画像よりも遅れて表示されます。
Off	本機の画像をパーソナルコンピュータに蓄積せず、リアルタイムに表示します。 ただし、画面表示の画像がスムーズな動きにならない場合があります。

工場出荷時の設定: On

■ 信号設定画面 [Signal]

● Output

Output

12G SDI Out / SFP+

Format Select

2160/59.94p

Output Item

☒ Menu Only ☐ Status

HDR OUTPUT SELECT

☐ SDR(709) ☒ HDR(709) ☐ HDR(2020)

V-LOG OUTPUT SELECT

☒ V-LOG ☐ V-709

CHAR

☐ Off ☒ On

3G SDI

☒ LEVEL-A ☐ LEVEL-B

3G SDI Out1

Format Select

1080/59.94p

HDR OUTPUT SELECT

☐ SDR(709) ☒ HDR(709) ☐ HDR(2020)

V-LOG OUTPUT SELECT

☒ V-LOG ☐ V-709

Output Item

☒ Menu Only ☐ Status

CHAR

☐ Off ☒ On

3G SDI

☒ LEVEL-A ☐ LEVEL-B

3G SDI Out2/PM

Format Select

1080/59.94p

OUTPUT SELECT

☒ CAM ☐ RETURN

HDR OUTPUT SELECT

☐ SDR(709) ☒ HDR(709) ☐ HDR(2020)

V-LOG OUTPUT SELECT

☒ V-LOG ☐ V-709

Output Item

☒ Menu Only ☐ Status

CHAR

☐ Off ☒ On

3G SDI

☒ LEVEL-A ☐ LEVEL-B

HDMI

Format Select

2160/59.94p

HDR OUTPUT SELECT

☒ SDR(709) ☐ HDR(709) ☐ HDR(2020)

V-LOG OUTPUT SELECT

☒ V-LOG ☐ V-709

Video Sampling

☒ 4:2:2/10bit ☐ 4:2:0/8bit

CHAR

☐ Off ☒ On

12G SDI Out/SFP+

12G SDI OUT/SFP+端子の出力設定を行います。

Format Select

出力フォーマットを設定します。

[Basic Config]の[Format]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (12G SDI Out/SFP+)
60Hz	2160/60p	2160/60p 1080/60p
	1080/60p	1080/60p
59.94Hz	2160/59.94p	2160/59.94p 1080/59.94p* ¹
	2160/29.97p	2160/29.97p 1080/29.97p
	1080/119.88p	1080/59.94p* ³
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/50p	2160/50p 1080/50p* ²
	2160/25p	2160/25p 1080/25p
	1080/100p	1080/50p* ³
	1080/50p	1080/50p 1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	2160/24p 1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	2160/23.98p 1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p

*¹ [UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*² [UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、720/50pとなります。

*³ 119.88p (または100p) に対して、フレームレートを1/2 (59.94p (または50p))に間引いた「第1フレーム」を出力します。

工場出荷時の設定：2160/59.94pまたは2160/50p

Output Item [Menu Only, Status]

出力映像の重畳する、OSDの種類を選択します。

Menu Only	OSDメニューのみを表示します。
Status	OSDメニューおよびOSDステータスを表示します。

工場出荷時の設定：Menu Only

HDR OUTPUT SELECT**[SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]**

[HDR]が[On]のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR出力 (BT.709相当の色域) 信号を選択します。
HDR(2020)	HDR出力 (BT.2020相当の色域) 信号を選択します。

工場出荷時の設定：HDR(2020)

〈NOTE〉

- [Basic Config] – [HDR]が[Off]のときは、設定できません。
- [HDR(2020)]は、[Basic Config] – [GAMUT]が[WIDE_G2]のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709]

[V-LOG]が[On]のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い階調とラティチュード (露光範囲) が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。

工場出荷時の設定：V-LOG

〈NOTE〉

- [Basic Config] – [V-LOG]が[Off]のときは、設定できません。

CHAR [Off, On]

OSDを重畳させるかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：On

3G SDI [LEVEL-A、LEVEL-B]

[Format Select] (12G SDI Out/SFP+)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のときに、3G SDI信号を出力するときのフォーマットを選択します。

工場出荷時の設定：LEVEL-A

〈NOTE〉

- [Format Select] (12G SDI Out/SFP+)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のとき以外は、[3G SDI]は変更できません。

3G SDI Out1

3G SDI OUT1 端子の出力設定を行います。

Format Select

出力フォーマットを設定します。

[Basic Config]の[Format]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (3G SDI Out1)
60Hz	2160/60p	1080/60p
	1080/60p	1080/60p
59.94Hz	2160/59.94p	1080/59.94p* ¹ 1080/59.94i* ¹
	2160/29.97p	1080/29.97p
	1080/119.88p	1080/59.94p* ³
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/50p	1080/50p* ² 1080/50i* ²
	2160/25p	1080/25p
	1080/100p	1080/50p* ³
	1080/50p	1080/50p 1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p

*¹ [UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*² [UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、720/50pとなります。

*³ 119.88p (または100p)に対して、フレームレートを1/2 (59.94p (または50p))に間引いた「第1フレーム」を出力します。

工場出荷時の設定：1080/59.94pまたは1080/50p

HDR OUTPUT SELECT**[SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]**

[HDR]が[On]のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR出力 (BT.709相当の色域) 信号を選択します。
HDR(2020)	HDR出力 (BT.2020相当の色域) 信号を選択します。

工場出荷時の設定：HDR(2020)

〈NOTE〉

- [Basic Config]－[HDR]が[Off]のときは、設定できません。
- [HDR(2020)]は、[Basic Config]－[GAMUT]が[WIDE_G2]のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709]

[V-LOG]が[On]のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い階調とラティチュード (露光範囲) が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。

工場出荷時の設定：V-LOG

〈NOTE〉

- [Basic Config]－[V-LOG]が[Off]のときは、設定できません。

Output Item [Menu Only、Status]

出力映像の重畳する、OSDの種類を選択します。

Menu Only	OSDメニューのみを表示します。
Status	OSDメニューおよびOSDステータスを表示します。

工場出荷時の設定：Menu Only

CHAR [Off、On]

OSDを重畳させるかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：On

3G SDI [LEVEL-A、LEVEL-B]

[Format Select] (3G SDI Out1)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のときに、3G SDI信号を出力するときのフォーマットを選択します。

工場出荷時の設定：LEVEL-A

〈NOTE〉

- [Format Select] (3G SDI Out1)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のとき以外は、[3G SDI]は変更できません。

3G SDI Out2/PM

3G SDI OUT2/PM端子の出力設定を行います。

Format Select

出力フォーマットを設定します。

[Basic Config]の[Format]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (3G SDI Out2/PM)
60Hz	2160/60p	1080/60p
	1080/60p	1080/60p
59.94Hz	2160/59.94p	1080/59.94p* ¹ 1080/59.94i* ¹
	2160/29.97p	1080/29.97p
	1080/1119.88p	1080/59.94p* ³
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/50p	1080/50p* ² 1080/50i* ²
	2160/25p	1080/25p
	1080/100p	1080/50p* ³
	1080/50p	1080/50p 1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p

*¹ [UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*² [UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、720/50pとなります。

*³ 119.88p (または100p)に対して、フレームレートを1/2 (59.94p (または50p))に引き下げた「第2フレーム」を出力します。

工場出荷時の設定：1080/59.94pまたは1080/50p

OUTPUT SELECT [CAM, RETURN]

カメラ映像を出力するか、リターン(RETURN)で受信した映像(SMPTE ST2110からの入力映像)を出力するかを切り替えます。

CAM	カメラ入力映像を出力します。
RETURN	リターン(RETURN)で受信した映像(SMPTE ST2110入力映像)を出力します。

〈NOTE〉

- [Basic Config] – [Format]が[720/59.94p]または[720/50p]のときは、設定できません。
- [Basic Config] – [SFP+ Mode]が[12G Output]のときは、設定できません。
- [Crop] – [UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、設定できません。
- [Image/Audio] – [Media over IP] – [ST2110]が[Off]のときは、設定できません。
- SMPTE ST2110ソフトウェアキー(AW-SFU60)が無効なときは、本項目は設定できません。

HDR OUTPUT SELECT

[SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]

[HDR]が[On]のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR出力(BT.709相当の色域)信号を選択します。
HDR(2020)	HDR出力(BT.2020相当の色域)信号を選択します。

工場出荷時の設定：HDR(2020)

〈NOTE〉

- [Basic Config] – [HDR]が[Off]のときは、設定できません。
- [HDR(2020)]は、[Basic Config] – [GAMUT]が[WIDE_G2]のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709]

[V-LOG]が[On]のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い階調とラティチュード(露光範囲)が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。

工場出荷時の設定：V-LOG

〈NOTE〉

- [Basic Config] – [V-LOG]が[Off]のときは、設定できません。

Output Item [Menu Only、Status]

出力映像の重畳する、OSDの種類を選択します。

Menu Only	OSDメニューのみを表示します。
Status	OSDメニューおよびOSDステータスを表示します。

工場出荷時の設定：Menu Only

CHAR [Off、On]

OSDを重畳させるかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：On

3G SDI [LEVEL-A、LEVEL-B]

[Format Select] (3G SDI Out2/PM)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のときに、3G SDI信号を出力するときのフォーマットを選択します。

工場出荷時の設定：LEVEL-A

〈NOTE〉

- [Format Select] (3G SDI Out2/PM)が[1080/59.94p]、[1080/60p]または[1080/50p]のとき以外は、[3G SDI]は変更できません。

HDMI

HDMI端子の出力設定を行います。

Format Select

出力フォーマットを設定します。

[Basic Config]の[Format]の設定によって、以下のフォーマットが設定できます。

Frequency	System Format	Format (HDMI)
60Hz	2160/60p	2160/60p 1080/60p
	1080/60p	1080/60p
59.94Hz	2160/59.94p	2160/59.94p 1080/59.94p ^{*1}
	2160/29.97p	2160/29.97p 1080/29.97p
	1080/119.88p	1080/119.88p
	1080/59.94p	1080/59.94p 1080/59.94i
	1080/29.97p	1080/29.97p
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/50p	2160/50p 1080/50p ^{*2}
	2160/25p	2160/25p 1080/25p
	1080/100p	1080/100p
	1080/50p	1080/50p 1080/50i
	1080/25p	1080/25p
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	2160/24p 1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	2160/23.98p 1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p

^{*1} [UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、720/59.94pとなります。

^{*2} [UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、720/50pとなります。

工場出荷時の設定：2160/59.94pまたは2160/50p

HDR OUTPUT SELECT

[SDR(709)、HDR(709)、HDR(2020)]

[HDR]が[On]のときに出力する信号を選択します。

SDR(709)	SDR出力信号を選択します。
HDR(709)	HDR出力 (BT.709相当の色域) 信号を選択します。
HDR(2020)	HDR出力 (BT.2020相当の色域) 信号を選択します。

工場出荷時の設定：HDR(2020)

〈NOTE〉

- [Basic Config]－[HDR]が[Off]のときは、設定できません。
- [HDR(2020)]は、[Basic Config]－[GAMUT]が[WIDE_G2]のときのみ選択できます。

V-LOG OUTPUT SELECT [V-LOG、V-709]

[V-LOG]が[On]のときに出力する信号を選択します。

V-LOG	幅広い諧調とラティチュード（露光範囲）が得られるガンマカーブで出力されます。
V-709	プレビューするのに適した映像に変換し出力します。

工場出荷時の設定：V-LOG

〈NOTE〉

- [Basic Config]－[V-LOG]が[Off]のときは、設定できません。

Video Sampling [4:2:2/10bit、4:2:0/8bit]

[HDMI]の[Format Select]が[2160/59.94p]、[2160/60p]または[2160/50p]のときに、HDMI端子から出力するビデオサンプリングを選択します。

工場出荷時の設定：4:2:2/10bit

〈NOTE〉

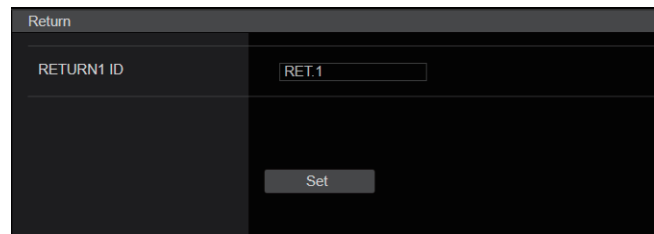
- [HDMI]の[Format Select]が[2160/59.94p]、[2160/60p]または[2160/50p]のとき以外は[Video Sampling]は変更できず、[4:2:2/10bit]固定になります。

CHAR [Off、On]

OSDを重畳させるかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：On

● Return



RETURN1 ID

リターン映像 (SMPTE ST2110入力映像) に名称を設定することができます。

5文字を設定できます。

半角英数字、空白、!#%&'()*+,-./:;<=>?[]_~\$@|

設定は[Set]ボタンで確定します。

設定した名称は、[OUTPUT]－[3G SDI OUT2/PM]－

[OUTPUT SELECT]で[RETURN]が選択されているときに、同端子の出力映像に重畳されます。

〈NOTE〉

- SMPTE ST2110ソフトウェアキー(AW-SFU60)が無効なときは、本項目は設定できません。

● IP SIGNAL

IP SIGNAL	
NDI	
FORMAT	2160/59.94p
IP(H.264/H.265)	
Output Item	☒ Menu Only ☐ Status
CHAR	☐ Off ☒ On

NDI

High bandwidth NDIの映像に関する各種設定を行います。

FORMAT

出力フォーマットを設定します。

Frequency	System Format	Format (NDI)
60Hz	2160/60p	2160/60p* ⁹ 1080/60p
	1080/60p	1080/60p
59.94Hz	2160/59.94p	2160/59.94p* ^{1, 2} 1080/59.94p
	2160/29.97p	2160/29.97p* ³ 1080/29.97p
	1080/119.88p	1080/59.94p* ¹⁰
	1080/59.94p	1080/59.94p
	1080/29.97p	1080/29.97p
	720/59.94p	720/59.94p
50Hz	2160/50p	2160/50p* ^{4, 5} 1080/50p
	2160/25p	2160/25p* ⁶ 1080/25p
	1080/100p	1080/50p* ¹⁰
	1080/50p	1080/50p
	1080/25p	1080/25p
	720/50p	720/50p
24Hz	2160/24p	2160/24p* ⁷ 1080/24p
	1080/24p	1080/24p
23.98Hz	2160/23.98p	2160/23.98p* ⁸ 1080/23.98p
	1080/23.98p	1080/23.98p

*¹ [UHD Crop]が[Crop(1080)]のときは、1080/59.94pとなります。

*² [UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、720/59.94pとなります。

*³ [UHD Crop]が[Crop(1080)]のときは、1080/29.97pとなります。

*⁴ [UHD Crop]が[Crop(1080)]のときは、1080/50pとなります。

*⁵ [UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、720/50pとなります。

*⁶ [UHD Crop]が[Crop(1080)]のときは、1080/25pとなります。

*⁷ [UHD Crop]が[Crop(1080)]のときは、1080/24pとなります。

*⁸ [UHD Crop]が[Crop(1080)]のときは、1080/23.98pとなります。

*⁹ [UHD Crop]が[Crop(1080)]のときは、1080/60pとなります。

*¹⁰ 119.88p(または100p)に対して、フレームレートを1/2(59.94p(または50p))に間引いた「第1フレーム」を出力します。

工場出荷時の設定：2160/59.94pまたは2160/50p

〈NOTE〉

- [SFP+ Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときはHigh bandwidth NDIは出力されません。また、映像フォーマットも表示されません。

IP(H.264/H.265)

IP配信映像(H.264/H.265/M-JPEG)に関する各種設定を行います。

Output Item [Menu Only、Status]

出力映像の重畳する、OSDの種類を選択します。

Menu Only	OSDメニューのみを表示します。
Status	OSDメニューおよびOSDステータスを表示します。

工場出荷時の設定：Menu Only

CHAR [Off、On]

OSDを重ねさせるかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：On

〈NOTE〉

- IP映像配信時(H.264/H.265/M-JPEG)に、OSDメニュー操作が遅れる場合があります。本項目を[Off]にすることで、スムーズなOSDメニュー操作が可能となります。

カメラ画面 [Image/Audio]

■ IP映像設定画面 [Video over IP]

JPEG 画像、H.264 画像の設定や、画質に関する設定を行います。

〈NOTE〉

- IP制御は行いがIP映像を配信したくない場合は、[JPEG transmission]、[H.264 transmission]、[H.265 transmission]、[RTMP transmission]、[SRT transmission]および[Ts Transmission]を [Off]にしてください。
- JPEG 画像の配信を [Off] にすると、Microsoft Edge (IEモード)を除くブラウザでIP映像が表示されません。これには携帯端末も含まれます。
- IP映像を配信中に、本機に接続しているネットワークケーブルを抜いたり、ネットワーク設定を変更すると、配信が停止する場合があります。

● Setting status

Setting status					
Streaming mode					
H.264					
Initial display setting					
H.264(1)					
JPEG(1)	Transmission	Image capture size	Refresh interval	Image quality	
	On	1280×720	15fps	Fine	
JPEG(2)	Transmission	Image capture size	Refresh interval	Image quality	
	On	640×360	5fps	Fine	
JPEG(3)	Transmission	Image capture size	Refresh interval	Image quality	
	On	320×180	30fps	Fine	
H.264(1)	Transmission	Image capture size	Transmission priority	Frame rate	Max bit rate
	On	1920×1080	Frame rate	30fps	14335.6144kbps
H.264(2)	Transmission	Image capture size	Transmission priority	Frame rate	Max bit rate
	On	1280×720	Frame rate	30fps	8192.4096kbps
H.264(3)	Transmission	Image capture size	Transmission priority	Frame rate	Max bit rate
	On	640×360	Frame rate	30fps	4096.1024kbps

Streaming mode

ストリーミングモードの設定を表示します。

Initial display setting

ライブ画面 [Live] を開いたときに表示する画像の設定を表示します。

JPEG

JPEG の配信設定を表示します。

H.264

H.264 の配信設定を表示します。
[Streaming mode] が [H.265]、[H.265(UHD)]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)] の場合は表示されません。

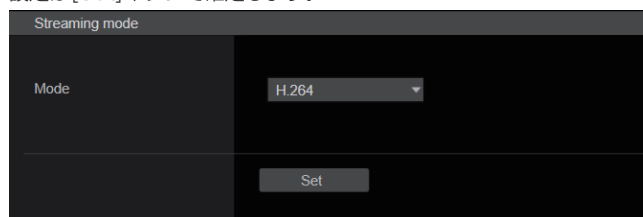
H.265

H.265 の配信設定を表示します。
[Streaming mode] が [H.265]、[H.265(UHD)]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)] の場合に表示されます。

● Streaming mode

本機は、[Streaming mode] の切り替えによって、用途に合わせた IP 配信動作が可能です。

設定は [Set] ボタンで確定します。



Mode [H.264(UHD)、H.264、H.265(UHD)、H.265、JPEG(UHD)、RTMP、RTMP(UHD)、SRT(H.264)、SRT(H.264 UHD)、SRT(H.265)、SRT(H.265 UHD)、NDI|HX V2、NDI|HX V2(UHD)、MPEG2-TS over UDP、High bandwidth NDI]

H.264(UHD)	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。H.264形式で4K画像のIP配信を行います。 ・本機のライブ画面 [Live] には、H.264形式の4K画像を表示できません。 4K画像を表示するには、4K画像対応の外部機器や外部ソフトウェアをお使いください。
H.264	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。H.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
H.265(UHD)	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。H.265形式で4K画像のIP配信を行います。 ・本機のライブ画面 [Live] には、H.265形式の4K画像を表示できません。 4K画像を表示するには、4K画像対応の外部機器や外部ソフトウェアをお使いください。
H.265	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。H.265形式でFull HD画像のIP配信を行います。
JPEG(UHD)	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。JPEG形式で4K画像のIP配信を行います。
RTMP	RTMP/RTMPSサーバーにH.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
RTMP(UHD)	RTMP/RTMPSサーバーにH.264形式で4K画像のIP配信を行います。
SRT(H.264)	SRT対応デコーダーやサービスにH.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
SRT(H.264 UHD)	SRT対応デコーダーやサービスにH.264形式で4K画像のIP配信を行います。
SRT(H.265)	SRT対応デコーダーやサービスにH.265形式でFull HD画像のIP配信を行います。
SRT(H.265 UHD)	SRT対応デコーダーやサービスにH.265形式で4K画像のIP配信を行います。
NDI HX V2/NDI HX V2(UHD)	ネットワーク上でのNewTek NDI HXと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像を送ります。
MPEG2-TS over UDP	マルチチャンネルでIP映像の配信が可能です。H.264形式でFull HD画像のIP配信を行います。
High bandwidth NDI	ネットワーク上でのNewTek High Bandwidth NDIと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像を送ります。

工場出荷時の設定: H.264

〈NOTE〉

- [Tracking Data Output] の [IP(UDP)] が [On] のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。(→ 175 ページ)
IP配信映像の遅延およびフレーム欠落を避けたい場合は、[Tracking Data Output] の [IP(UDP)] を [Off] にすることを推奨します。
- [SFP+ Mode] が [ST2 1 10 JPEG XS] のときは、High bandwidth NDIは選択できません。

● Initial display setting

ライブ画面[Live]に表示する初期設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

Stream [H.264(1)、H.264(2)、H.264(3)、JPEG(1)、JPEG(2)、JPEG(3)]

ライブ画面[Live]に表示する画像を選択します。

H.264(1) Microsoft Edge (I.E. Mode)	動画 (H.264(1)) を表示します。
H.264(2) Microsoft Edge (I.E. Mode)	動画 (H.264(2)) を表示します。
H.264(3) Microsoft Edge (I.E. Mode)	動画 (H.264(3)) を表示します。
JPEG(1)	静止画 (JPEG(1)) を表示します。
JPEG(2)	静止画 (JPEG(2)) を表示します。
JPEG(3)	静止画 (JPEG(3)) を表示します。

工場出荷時の設定: H.264(1)

〈NOTE〉

- ・ [Streaming mode] に応じて設定が自動で切り替わる場合があります。

● Timecode Overlay

Timecode Overlay [Enable、Disable]

IP 配信データにタイムコード情報を重畳するか設定します。

工場出荷時の設定: Disable

〈NOTE〉

- ・ 本機能は、NTP が有効時のみ設定可能です。
- ・ 本機能は、NTP 同期した時刻情報を重畳します。

● JPEG

JPEG の画像設定を行います。
設定は [Set] ボタンで確定します。
JPEG 画像の設定は全部で 3ch あります。

〈NOTE〉

- ・ [Streaming mode] が [JPEG(UHD)]、[NDI|HX V2] または [High bandwidth NDI] のとき、[JPEG(2)] と [JPEG(3)] の設定はできません。

JPEG transmission [On、Off]

JPEG 画像を配信するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定: On

Image capture size [3840×2160、1920×1080、1280×720、640×360、320×180]

JPEG 画像を表示する際、表示する画像解像度を以下から選択します。

JPEG(1)	3840×2160、1920×1080、1280×720、640×360、320×180
JPEG(2)	640×360、320×180
JPEG(3)	640×360、320×180

工場出荷時の設定:

JPEG(1): 1280×720
JPEG(2): 640×360
JPEG(3): 320×180

〈NOTE〉

- ・ [3840×2160] は [Streaming mode] が [JPEG(UHD)] のときに選択できます。

Refresh interval [1fps、4fps、5fps、12fps、12.5fps、15fps、24fps、25fps、30fps]

JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。

59.94Hzのとき	1fps/5fps/15fps/30fps
50Hzのとき	1fps/5fps/12.5fps/25fps
24/23.98Hzのとき	1fps/4fps/12fps/24fps

工場出荷時の設定:

59.94Hzのとき:

JPEG(1): 30fps

JPEG(2): 5fps

JPEG(3): 30fps

50Hzのとき:

JPEG(1): 25fps

JPEG(2): 5fps

JPEG(3): 25fps

24/23.98Hzのとき:

JPEG(1): 24fps

JPEG(2): 4fps

JPEG(3): 24fps

〈NOTE〉

- ネットワークの環境や解像度、画質、同時アクセス数などによっては、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。
- 設定した画像更新速度で配信されない場合は、解像度や画質を下げることで設定した値に近づけることができます。

Image quality [Fine、Normal]

それぞれの解像度におけるJPEG画像の画質を設定します。

工場出荷時の設定: Fine

● H.264

H.264の画像設定を行います。

設定は[Set]ボタンで確定します。

〈NOTE〉

- Microsoft Edge (IEモード)以外では、JPEG画像のみ表示可能です。
- [Streaming mode]が[H.264(UHD)]のとき、[H.264(1)]のみ設定が可能です。
- [Streaming mode]が[H.265(UHD)]、[H.265]、[SRT(H.265)]、[SRT(H.265 UHD)]、[NDI|HX V2]、[NDI|HX V2(UHD)]または[High bandwidth NDI]のとき、H.264の設定はできません。
- RTSP/RTP配信を開始する場合は、以下のURLをデコーダーおよびアプリケーションに設定してください。
 - H.264(1)の場合：

rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h264/stream_1
 - H.264(2)の場合：

rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h264/stream_2
 - H.264(3)の場合：

rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h264/stream_3

[/MediaInput/h264/stream_*]は[Advanced]の[RTSP]にて変更することができます。(→186ページ)

H.264 transmission [On、Off]

H.264画像を配信するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定: On

Internet mode(Over HTTP) [On, Off]

H.264画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。
ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでH.264画像を配信することができます。

On	HTTPポートを使用してH.264画像、音声配信します。 HTTPポート番号の設定については183ページをお読みください。
Off	UDPポートを使用してH.264画像、音声配信します。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [On]に設定すると、配信方式は[Unicast port(AUTO)]に制限されます。
- [On]に設定すると、H.264画像が表示されるまでに数秒かかります。
- [On]に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。
- 本機能はライブ画面[Live]で表示されるH.264画像にのみ反映されます。

Profile type [High, Main, Baseline]

H.264画像を配信するときのプロファイルを設定します。

工場出荷時の設定: High

Image capture size [3840×2160、1920×1080、1280×720、640×360]

H.264画像の解像度を選択します。
選択している解像度によっては、選択に制限がある場合があります。

H.264(1)	3840×2160、1920×1080、1280×720
H.264(2)	1920×1080、1280×720、640×360
H.264(3)	1280×720、640×360

工場出荷時の設定:

H.264(1): 1920×1080

H.264(2): 1280×720

H.264(3): 640×360

〈NOTE〉

- [3840×2160]は[Streaming mode]が[H.264(UHD)]のときに選択できます。

CBR/VBR [CBR, VBR]

H.264画像の配信モードを設定します。

CBR	H.264画像を設定したビットレートで配信します。
VBR	H.264画像を設定したビットレート並びに撮像画に応じてビットレートを可変して配信します。

工場出荷時の設定: VBR

Frame rate [24fps、25fps、30fps、50fps、60fps]

H.264画像のフレームレートを設定します。

59.94Hzのとき	30fps/60fps
50Hzのとき	25fps/50fps
24/23.98Hzのとき	24fps

工場出荷時の設定:

59.94Hzのとき: 30fps

50Hzのとき: 25fps

24/23.98Hzのとき: 24fps

〈NOTE〉

- 映像フォーマットが[29.97p(25p)]の場合、[60fps(50fps)]を選択することはできません。

Max bit rate(per client)

[2048kbps、4096kbps、8192kbps、10240kbps、12800kbps、14336kbps、20480kbps、24576kbps、25600kbps、51200kbps、76800kbps]

1クライアントに対するH.264ビットレートを選択します。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 14336kbps

H.264(2): 8192kbps

H.264(3): 4096kbps

〈NOTE〉

- 解像度によって設定可能な範囲が異なります。

Transmission type [Unicast port(AUTO)、Unicast port(MANUAL)、Multicast]

H.264画像の配信方式を以下から選択します。

Unicast port(AUTO)	1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできません。 カメラから画像・音声を送信する場合、[Unicast port(Image)]、[Unicast port(Audio)]が自動的に設定されます。 ネットワーク内で使用する場合など、H.264画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、[Unicast port(AUTO)]に設定することをお勧めします。
Unicast port(MANUAL)	1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできません。 カメラから画像・音声を送信する場合、[Unicast port(Image)]、[Unicast port(Audio)]を手動で設定する必要があります。 インターネット経由でH.264画像を配信する場合、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください（→181ページ）。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
Multicast	1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。 マルチキャストでH.264画像を送信する場合は、[Multicast address]、[Multicast port]、[Multicast TTL/HOPLimit]を入力します。

工場出荷時の設定: Unicast port(AUTO)

〈NOTE〉

- 最大同時アクセス数については、110ページの〈NOTE〉をご参照ください。

Unicast port(Image) [1024～50000]

ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。

偶数のみ設定可能です。

10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 32004

H.264(2): 32014

H.264(3): 32024

Unicast port(Audio) [1024～50000]

偶数のみ設定可能です。

10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定:

H.264(1): 33004

H.264(2): 33014

H.264(3): 33024

〈NOTE〉

- [Transmission type]の[Unicast port(MANUAL)]が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。

Multicast address

[IPv4 : 224.0.0.0～239.255.255.255

IPv6 : FFから始まるマルチキャストアドレス]

マルチキャストのIPアドレスを入力します。

指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。

工場出荷時の設定:

H.264(1) : 239.192.0.20

H.264(2) : 239.192.0.21

H.264(3) : 239.192.0.22

〈NOTE〉

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。
- リンクローカスコープのマルチキャストアドレスでは動作しません。

Multicast port [1024～50000]

マルチキャストポート番号(本機から画像を送信するときに使用)を入力します。

偶数のみ設定可能です。

10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定: 37004

〈NOTE〉

- 本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1000」を足したポート番号が使用されます。

Multicast TTL/HOPLimit [1～254]

マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。

工場出荷時の設定: 16

〈NOTE〉

- インターネット経由でH.264画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているパーソナルコンピュータを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使用しないLANカードを無効にしてください。

● H.265

H.265の画像設定を行います。

設定は[Set]ボタンで確定します。

H.265(1)	
H.265 transmission	☒ On ☐ Off
Image capture size	1920×1080
CBR/VBR	VBR
Frame rate	30fps
Max bit rate(per client)	Max 14336(14Mbps)
Transmission type	Unicast port(AUTO)
Unicast port(Image)	32004 (1024 - 50000)
Unicast port(Audio)	33004 (1024 - 50000)
Multicast address	239.192.0.20
Multicast port	37004 (1024 - 50000)
Multicast TTL/HOPLimit	16 (1 - 254)
Set	

〈NOTE〉

- 本機のライブ画面[Live]には、H.265形式の画像を表示できません。
- H.265画像を表示するには、H.265画像対応の外部機器や外部ソフトウェアをお使いください。
- RTSP/RTP配信を開始する場合は、以下のURLをデコーダーおよびアプリケーションに設定してください。
 - H.265(1)の場合：
rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h265/stream_1
 - H.265(2)の場合：
rtsp://[本機のIPアドレス]/MediaInput/h265/stream_2

[/MediaInput/h265/stream_*]は[Advanced]の[RTSP]にて変更することができます。(→186ページ)

H.265 transmission [On, Off]

H.265画像を配信するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定: On

Image capture size [3840×2160、1920×1080、1270×720、640×360]

H.265画像の解像度を選択します。

選択している解像度によっては、選択に制限がある場合があります。

H.265(1)	3840×2160、1920×1080、1270×720
H.265(2)	1920×1080、1270×720、640×360

工場出荷時の設定:

H.265(1) : 1920×1080

H.265(2) : 1280×720

〈NOTE〉

- [3840×2160]は[Streaming mode]が[H.265(UHD)]のときに選択できます。

CBR/VBR [CBR、VBR]

H.265 画像の配信モードを設定します。

CBR	H.265 画像を設定したビットレートで配信します。
VBR	H.265 画像を設定したビットレート並びに撮像画に応じてビットレートを可変して配信します。

工場出荷時の設定: VBR

Frame rate [24fps、25fps、30fps、50fps、60fps]

H.265 画像のフレームレートを設定します。

59.94Hzのとき	30fps、60fps
50Hzのとき	25fps、50fps
24/23.98Hzのとき	24fps

工場出荷時の設定:

59.94Hzのとき: 30fps

50Hzのとき: 25fps

24/23.98Hzのとき: 24fps

〈NOTE〉

- 映像フォーマットが[29.97p(25p)]の場合、[60fps(50fps)]を選択することはできません。

Max bit rate(per client)

[2048kbps、4096kbps、8192kbps、10240kbps、12800kbps、14336kbps、20480kbps、24576kbps、25600kbps、51200kbps、76800kbps]

1 クライアントに対する H.265 ビットレートを選択します。

工場出荷時の設定:

H.265(1): 14336kbps

H.265(2): 8192kbps

Transmission type

[H.264]の[Transmission type] (→ 137 ページ) と同等です。

Unicast port(Image)	[H.264]の[Unicast port(Image)] (→ 137 ページ) と同等です。
Unicast port(Audio)	[H.264]の[Unicast port(Audio)] (→ 137 ページ) と同等です。

Multicast address

[H.264]の[Multicast address] (→ 138 ページ) と同等です。

Multicast port

[H.264]の[Multicast port] (→ 138 ページ) と同等です。

Multicast TTL/HOPLimit

[H.264]の[Multicast TTL/HOPLimit] (→ 138 ページ) と同等です。

● RTMP

RTMP/RTMPS 配信の設定を行います。

Server setup

設定は[Set]ボタンで確定します。

〈NOTE〉

- RTMP/RTMPS 配信サーバー情報の登録方式は、使用する RTMP/RTMPS 配信サーバーから通知される設定情報に応じて、適切な方式に切り替えて使用してください。
- Stream Key 設定欄は、[Type2]に設定したときだけ表示されます。
- RTMP 配信を行う場合は外部アプリケーションより取得した Server URL および Stream key を設定し、ライブ画面[Live]の[SRT/MPEG2-TS/RTMP]の[start] ボタンをクリックしてください。
- RTMP 配信を行うときは[Network]画面にてネットワークに接続できるように設定してください。

URL type [Type1、Type2]

RTMP/RTMPS 配信サーバー情報の登録方式を選択します。

Type1	サーバーURLとRTMP/RTMPSストリームキーを[Server URL]に連結して設定する場合に指定します。
Type2	サーバーURLとRTMP/RTMPSストリームキーを[Server URL]と[Stream Key]に個別に設定する場合に指定します。

URL

Server URL	配信先のRTMP/RTMPSサーバーURLを設定します。
Stream key	サービスが[Type2]に設定している場合のみ、配信時にRTMP/RTMPSサーバーから取得したストリームキーを設定します。

Streaming format

RTMP/RTMPS 配信用の H.264 画像の設定を行います。

設定は [Set] ボタンで確定します。

[Profile type]、[Image capture size]、[CBR/VBR]、[Frame rate]、[Max bit rate(per client)] については、[H.264] の説明（→ 136 ページ）を参照してください。

Streaming format	
RTMP transmission	☒ On ☐ Off
Profile type	☒ High ☐ Main ☐ Baseline
Image capture size	1920x1080
CBR/VBR	CBR
Frame rate	30fps
Max bit rate(per client)	Max 14336(14Mbps)
Set	

〈NOTE〉

- RTMP/RTMPS 配信中は [Streaming format] 設定は変更できません。
- [Streaming format] は、配信先サーバーの推奨値を設定してください。推奨値については配信先のサイトまたは窓口にお問い合わせください。
- [Tracking Data Output] の [IP(UDP)] が [On] のとき、IP 配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。（→ 175 ページ）

RTMP/RTMPS 配信中は、[Tracking Data Output] の [IP(UDP)] を [Off] にすることを推奨します。

● SRT

SRT 配信の設定を行います。

〈NOTE〉

- [Listener] モード時に SRT 配信を行う場合は、デコーダーおよびアプリケーションを [Client(Caller)] モードに設定し、以下の URL を設定してください。
srt://[本機の IP アドレス]:[Client(Caller) port で設定した値]
- [Client(Caller)] モード時に SRT 配信を行う場合、デコーダーおよびアプリケーションの IP アドレスおよびポート番号を [Destination IP address(IPv4)]、[Destination port] に設定し、ライブ画面 [Live] の [SRT/MPEG2-TS/RTMP] の [start] ボタンをクリックしてください。

Common setup

設定は [Set] ボタンで確定します。

Common setup	
Mode	☒ Client(Caller) ☐ Listener
Destination IP address(IPv4)	
Destination port	0 (1024 - 50000)
Stream ID	Insert Template
Client(Caller) port	2020 (1-65535)
TTL/HOP Limit	16 (1 - 254)
Latency	120
Encryption	☒ Off ☐ AES-128 ☐ AES-256
Passphrase	
Set	

Mode [Client(Caller)、Listener]

SRT 対応デコーダーまたはサービスへの接続方法を選択します。

Client(Caller)	配信先の IP アドレス、ポート番号を指定し本機から配信を開始する場合に指定します。
Listener	待ち受けポートを指定し、外部からの配信開始要求を待ち受ける場合に指定します。

工場出荷時の設定: Listener

Destination IP address(IPv4)

[Mode] で [Client(Caller)] が設定されているときに、IP アドレスを入力します。

指定した IP アドレスに画像と音声を送信します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.3

〈NOTE〉

- IP Address には IPv4 のみ設定できます。

Destination port [1～65535]

[Mode]で[Client(Caller)]が設定されているときに、ポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。
指定したポート番号に接続します。

工場出荷時の設定: 7002

Stream ID

[Mode]で[Client(Caller)]が設定されているときに、Stream IDを入力します。

入力された情報はSRT配信開始時に接続先に通知されます。

[InsertTemplate] ボタンをクリックした場合は以下のテンプレートが入力欄に自動挿入されます。

#!::m=publish,r=PanasonicStream

・使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	!"#\$%&'()*~^!`@[]*+:;<>.,?/_

工場出荷時の設定: #!::m=publish,r=PanasonicStream

Client(Caller) port [1～65535]

[Mode]で[Listener]が設定されているときに、ポート番号（本機が接続を待ち受けるときに使用）を入力します。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、
123、161、162、443、546、547、554、995、
5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、
59000～61000

工場出荷時の設定: 2020

TTL/HOP Limit

[H.264]の[Multicast TTL/HOPLimit] (→138ページ) と同等です。

工場出荷時の設定: 254

Latency

映像・音声を送信されてから、受信側で再生されるまでの時間(ms)を0～65535の範囲で設定します。

工場出荷時の設定: 120

〈NOTE〉

・ネットワークの帯域によっては設定された時間が保証されない場合もあります。

Encryption [Off, AES-128, AES-256]

配信されるIP映像を暗号化するか設定します。(10～24文字)

Off	非暗号でIP映像を配信します。
AES-128	AES-128方式でIP映像を暗号化し、配信します。
AES-256	AES-256方式でIP映像を暗号化し、配信します。

工場出荷時の設定: Off

・使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字／小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	_-

Passphrase

暗号化されたIP映像を復号化するためのフレーズを設定します。

Streaming format

SRT配信用のH.264またはH.265画像の設定を行います。

設定は[Set]ボタンで確定します。

[Profile type]、[Image capture size]、[CBR/VBR]、
[Frame rate]、[Max bit rate(per client)]については、[H.264]の説明 (→136ページ) または [H.265] の説明 (→138ページ) を参照してください。

〈NOTE〉

・SRT配信中は[Streaming format]設定は変更できません。
・[Tracking Data Output]の[IP(UDP)]が[On]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。(→175ページ)

SRT配信中は、[Tracking Data Output]の[IP(UDP)]を[Off]にすることを推奨します。

・フレーム周波数が24/23.98Hzのときは、SRT(H.264)、SRT(H.264 UHD)、SRT(H.265)、SRT(H.265 UHD)モードに設定できません。

● MPEG2-TS over UDP

MPEG2-TS over UDP配信の設定を行います。

〈NOTE〉

- カメラが配信している映像を受信するためには、アプリケーションやサービスで以下のURLを入力してください。
 - Unicastの場合
udp://@[unicast ipaddress]:[unicast port]
 - Multicastの場合
udp://@[multicast ipaddress]:[multicast port]

Common setup	
Transmission type	Unicast
Unicast address(IPv4)	
Unicast Port	0 (1024 - 50000)
Multicast address(IPv4)	
Multicast Port	0 (1024 - 50000)
Multicast TTL/HOPLimit	0 (1 - 254)
Push UDP	Enable
Set	

Transmission type [Unicast、Multicast]

MPEG2-TS over UDP配信を[Unicast]と[Multicast]のどちらで行うか設定します。

工場出荷時の設定: Unicast

Unicast address(IPv4)

MPEG2-TS over UDP配信を行うUnicastアドレスを設定します。受信するアプリケーション・サービスはこのIPアドレスを指定します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.3

Unicast Port [1024～50000]

MPEG2-TS over UDP配信を行うUnicastポート番号を設定します。受信するアプリケーション・サービスはこのポート番号を指定します。

工場出荷時の設定: 7002

Multicast address(IPv4)

MPEG2-TS over UDP配信を行うMulticastアドレスを設定します。受信するアプリケーション・サービスはこのIPアドレスを指定します。

工場出荷時の設定: 239.192.0.20

Multicast Port [1024～50000]

MPEG2-TS over UDP配信を行うMulticastポート番号を設定します。受信するアプリケーション・サービスはこのポート番号を指定します。

工場出荷時の設定: 32004

Multicast TTL/HOPLimit

[H.264]の[Multicast TTL/HOP Limit] (→ 138ページ) と同等です。

Push UDP [Enable、Disable]

[Push UDP]が[Enable]に設定されている場合、カメラ起動時に自動的にMPEG2-TS over UDP配信が開始されます。

工場出荷時の設定: Enable

Streaming format

MPEG2-TS over UDP配信用のH.264画像の設定を行います。

設定は[Set]ボタンで確定します。

[Profile type]、[Image capture size]、[CBR/VBR]、[Frame rate]、[Max bit rate(per client)]については、[H.264]の説明 (→ 136ページ) を参照してください。

Streaming format	
Ts transmission	On
Profile type	High
Image capture size	1920x1080
CBR/VBR	CBR
Frame rate	30fps
Max bit rate(per client)	Max 14336(14Mbps)
Set	

〈NOTE〉

- MPEG2-TS over UDP配信中は[Streaming format]設定は変更できません。
- [Tracking Data Output]の[IP(UDP)]が[On]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。(→ 175ページ)

MPEG2-TS over UDP配信中は、[Tracking Data Output]の[IP(UDP)]を[Off]にすることを推奨します。

● NDI|HX V2/NDI|HX V2(UHD)

NDI|HX V2 配信の設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

NDI|HX V2

Common setup

Source name: NDI_HX_Device-987654321

Protocol: ☐ TCP ☐ UDP ☒ RUDP

Multicast Transmit: ☐ On ☒ Off

Address(IPv4): 239.192.0.30

Subnet(IPv4): 255.255.255.255

TTL/HOP Limit: 16 (1 - 254)

Group: ☐ Enable ☒ Disable

Name:

Use discovery server: ☐ Enable ☒ Disable

Server address(IPv4):

Set

〈NOTE〉

- [Streaming mode]を[NDI|HX V2]に変更または、[NDI|HX V2]から他のモードに変更した場合は、本機は再起動します。

Source name

本機がNDI|HXと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアから検知された際に、表示されるデバイス名を設定します。

工場出荷時の設定：NDI_Device-[本機のシリアルナンバー]

入力可能文字数	1～32文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号：- _

Protocol [TCP、UDP、RUDP]

ユニキャスト配信する際の方式を設定します。

工場出荷時の設定：RUDP

Multicast Transmit [On、Off]

NDIと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像をマルチキャスト配信するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：Off

Address(IPv4) [IPv4：224.0.0.0～239.255.255.255]

マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したマルチキャストアドレスに画像と音声を送信します。

工場出荷時の設定：239.192.0.30

〈NOTE〉

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

Subnet(IPv4)

サブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定：225.255.255.255

〈NOTE〉

- [Address(IPv4)]と[Subnet(IPv4)]は、マルチキャスト配信時にランダムに設定されるマルチキャストアドレスの範囲にします。
- [Address(IPv4)]を[239.255.0.0]、[Subnet(IPv4)]を[255.255.0.0]に設定した場合は、[239.255.0.0]～[239.255.255.255]の範囲からランダムに選択されます。
- [Address(IPv4)]に設定したIPアドレスを使用したい場合は、[Subnet(IPv4)]に[255.255.255.255]を設定してください。

TTL/HOP Limit

[H.264]の[Multicast TTL/HOPLimit] (→138ページ) と同等です。

Group [Enable、Disable]

NDI配信を行うときにグルーピング機能を使用するかどうかを設定します。

工場出荷時の設定：Disable

Name

グルーピング機能を使用するときのグループ名を設定します。

入力可能文字数	1～63文字
入力可能文字	半角英数字

Use discovery server

NDI配信を行うときにディスカバリーサーバーを使用するかどうかを設定します。

Server address(IPv4)

ディスカバリーサーバーを使用するとき、サーバーのIPv4アドレスを設定します。

Streaming format

NDI|HX V2 配信用のH.264画像の設定を行います。

設定は[Set]ボタンで確定します。

[Image capture size]、[Frame rate]、[Max bit rate(per client)]、[CBR/VBR]については、[H.264]の説明 (→136ページ) を参照してください。

Streaming format

Image capture size: 1920x1080

CBR/VBR: VBR

Frame rate: 60fps

Max bit rate(per client): Max 10240(10Mbps)

Set

● High bandwidth NDI

NDI配信の設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

High bandwidth NDI

High bandwidth NDI	
Format	2160/59.94P
Source name	NDI_Device-987654321
Protocol	☐ TCP ☐ UDP ☒ RUDP
Multicast Transmit	☐ On ☒ Off
Address(IPv4)	239.192.0.30
Subnet(IPv4)	255.255.255.255
TTL/HOP Limit	16 (1 - 254)
Group	☐ Enable ☒ Disable
Name	
Use discovery server	☐ Enable ☒ Disable
Server address(IPv4)	
Set	

Format

NDI画像の解像度を表示します。

〈NOTE〉

- Formatに設定される解像度は、各映像フォーマットの出力条件（→18ページ）を確認してください。

Source name

本機がNDIと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアから検知された際に、表示されるデバイス名を設定します。

工場出荷時の設定: NDI Device [本機のシリアルナンバー]

Protocol [TCP、UDP、RUDP]

ユニキャスト配信する際の方式を設定します。

工場出荷時の設定: RUDP

Multicast Transmit [On、Off]

NDIと互換性のあるソフトウェアアプリケーションやハードウェアに対して映像をマルチキャスト配信するか設定します。

工場出荷時の設定: Off

Address(IPv4)

[IPv4 : 224.0.0.0 ~ 239.255.255.255]

マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。

工場出荷時の設定: 239.192.0.30

〈NOTE〉

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

Subnet(IPv4)

サブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.255

〈NOTE〉

- [Address(IPv4)]と[Subnet(IPv4)]はマルチキャスト配信時にランダムに選択されるマルチキャストアドレスの範囲を明確にします。
- [Address(IPv4)]を[239.255.0.0]、[Subnet(IPv4)]を[255.255.0.0]に設定した場合は、[239.255.0.0] ~ [239.255.255.255]の範囲からランダムに選択されます。
- [Address(IPv4)]に設定したIPアドレスを使用したい場合は、[Subnet(IPv4)]に[255.255.255.255]を設定してください。

TTL/HOP Limit

[H.264]の[Multicast TTL/HOPLimit]（→138ページ）と同等です。

Group [Enable、Disable]

NDI配信を行うときにグルーピング機能を使用するかどうか設定します。

工場出荷時の設定: Disable

Name

グルーピング機能を使用するときのグループ名を設定します。

Use discovery server

NDI配信を行うときにディスカバリーサーバーを使用するかどうか設定します。

Server address(IPv4)

ディスカバリーサーバーを使用するとき、サーバーのIPv4アドレスを設定します。

〈NOTE〉

- [SFP+ Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときは、High bandwidth NDIは選択できません。

■ MoIP設定画面 [Media over IP]

MoIP(SMPTE ST2110/NMOS/PTP)に関する設定を行います。

〈NOTE〉

- AW-UE160で本機能を使用するには、SMPTE ST2110ソフトウェアキー(AW-SFU60)が有効である必要があります。

● Setting status

Setting status						
ST2110	Port	JPEG-XS				
Enable	49330	On				
JPEG-XS video TX	Video Select	Destination Address	Destination Port	Format	Compression Ratio	
Enable	MAIN	239.0.0.1	49361	2160/59.94p	5:1	
Input1 audio TX	Destination Address	Destination Port	Format			
Disable	239.2.0.1	49321	1mstch			
Input2 audio TX	Destination Address	Destination Port	Format			
Disable	239.2.0.2	49322	1mstch			
JPEG-XS video RX	Destination Address	Source Address	Destination Port	Status	Bit Rate	Frame Rate
Enable	239.7.0.1	0.0.0.0	49371		1080/59.94p	
PTP	Status	Domain	PTP Grandmaster ID			
	not used	127	-----			
NMOS	Status	IS-04 Port	IS-05 Port	REDIS IP Address	REDIS Port	
On	UNREGISTERED	50040	50050	-----	-----	
NMOS Master Enable	Main video TX	Crop video TX	Monitor video TX	Input1 audio TX	Input2 audio TX	Return video RX
Disable	Disable	Disable	Disable	Disable	Disable	Disable

ST2110

SMPTE ST2110機能のOff/On状態およびJPEG XSのOff/Onの状態や、SMPTE ST2110の送信で使用するポート番号を表示します。

Main video TX

[Main video TX] (非圧縮) の配信設定を表示します。
JPEG XSがOffのときのみ表示されます。

Crop video TX

[Crop video TX] (非圧縮) の配信設定を表示します。
JPEG XSがOffのときのみ表示されます。

Monitor video TX

[Monitor video TX] (非圧縮) の配信設定を表示します。
JPEG XSがOffのときのみ表示されます。

JPEG XS video TX

[JPEG XS video TX] (圧縮) の配信設定を表示します。
JPEG XSがOnのときのみ表示されます。

Input1 audio TX

[Input1 audio TX] の配信設定を表示します。

Input2 audio TX

[Input2 audio TX] の配信設定を表示します。

Return video RX

[Return video RX] (非圧縮) の配信設定を表示します。
JPEG XSがOffのときのみ表示されます。

JPEG XS video RX

[JPEG XS video RX] (圧縮) の配信設定を表示します。
JPEG XSがOnのときのみ表示されます。

PTP

[PTP] の設定を表示します。

NMOS

[NMOS] の設定を表示します。

NMOS Master Enable

[NMOS Master Enable] の設定を表示します。

この設定はカメラと同じネットワーク上にあるNMOSのコントローラーから切り替えが可能です。SMPTE ST2110の送受信の有効/無効の設定です。

〈NOTE〉

- カメラ起動時は[On]の状態です。設定値の保存はできません。

● ST2110

本機は、SFP+からSMPTE ST2110の送受信が可能です。設定は[Set] ボタンで確定します。

〈NOTE〉

- SMPTE ST2110ソフトウェアキー(AW-SFU60)が無効なときは、設定できません。
- [Basic Config] – [SFP+ Mode]が[12G Output]のときは、設定できません。

ST2110

ST2110

On

Off

ST2110 port

49330

(1024~65535)

Set

ST2110 [On, Off]

SMPTE ST2110の送受信のOn/Offを設定します。

工場出荷時の設定: Off

ST2110 port [1024~65535]

SMPTE ST2110用ポート番号(本機からSMPTE ST2110を送信するときに使用)を入力します。

10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定: 49330

● ST2110 TX

SMPTE ST2110（非圧縮）の送信設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

〈NOTE〉

- ・[ST2110]が[Off]のときは、このメニューは非表示です。

ST2110 TX

Main video

Format

1080/59.94p

Destination Address

239.1.0.1

Destination Port

49311

(1024~65535)

Crop video

Format

1080/59.94p

Destination Address

239.1.0.2

Destination Port

49312

(1024~65535)

Monitor video

Format

1080/59.94p

Destination Address

239.1.0.3

Destination Port

49313

(1024~65535)

Input1 audio

Destination Address

239.2.0.1

Destination Port

49321

(1024~65535)

Input2 audio

Destination Address

239.2.0.2

Destination Port

49322

(1024~65535)

Set

Main video

〈NOTE〉

- ・Main videoからはOSDメニューやCROP枠などを重畳していないカメラ映像が出力されます。
- ・[ST2110]が[Off]のときは、Main videoは出力されません。
- ・[SFP+ Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときはMain videoは出力されません。

Format

[Main video]の出力フォーマットを設定/表示します。

Destination Address

[Main video]の配信先IPアドレスを入力します。
次の範囲のIPアドレスが設定できます。

第1オクテット	0～239
第2オクテット	0～255
第3オクテット	0～255
第4オクテット	0～255

0.0.0.0、224.0.0.0～224.0.1.255、第1オクテットが127のIPアドレスは設定できません。

工場出荷時の設定: 239.1.0.1

Destination Port [1024～65535]

[Main video]の配信先ポート番号を入力します。
10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定: 49311

Crop video

〈NOTE〉

- ・Crop videoからはOSDメニューなどを重畳していないCROP映像が出力されます。
- ・[ST2110]が[Off]のとき、[UHD Crop]－[Crop Mode]が[Off]のときは、Crop videoは出力されません。
- ・[SFP+ Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときは、Crop videoは出力されません。

Format

[Crop video]の出力フォーマットを設定/表示します。

Destination Address

[Crop video]の配信先IPアドレスを入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。

工場出荷時の設定: 239.1.0.2

Destination Port [1024～65535]

[Crop video]の配信先ポート番号を入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。

工場出荷時の設定: 49312

Monitor video

〈NOTE〉

- ・Monitor videoからは3G SDI OUT2/PMと同じ映像が出力されます。
- ・[ST2110]が[Off]のとき、[Output]－[3G SDI Out2/PM]－[OUTPUT SELECT]が[RETURN]のときは、Monitor videoは出力されません。
- ・[SFP+ Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときは、Monitor videoは出力されません。

Format

[Monitor video]の出力フォーマットを設定/表示します。

Destination Address

[Monitor video]の配信先IPアドレスを入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。

工場出荷時の設定: 239.1.0.3

Destination Port [1024～65535]

[Monitor video]の配信先ポート番号を入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。

工場出荷時の設定: 49313

Input1 audio

〈NOTE〉

- [Audio] – [CH Select]が[Input2]のとき、ST2110のInput1 Audioは出力されません。

Destination Address

[Input1 audio]の配信先IPアドレスを入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。

工場出荷時の設定: 239.2.0.1

Destination Port [1024～65535]

[Input1 audio]の配信先ポート番号を入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。

工場出荷時の設定: 49321

Input2 audio

〈NOTE〉

- [Audio] – [CH Select]が[Input1]のとき、ST2110のInput2 Audioは出力されません。

Destination Address

[Input2 audio]の配信先IPアドレスを入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。

工場出荷時の設定: 239.2.0.2

Destination Port [1024～65535]

[Input2 audio]の配信先ポート番号を入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。

工場出荷時の設定: 49322

● ST2110 RX

SMPTE ST2110 (非圧縮)の受信設定を行います。

設定は[Set]ボタンで確定します。

〈NOTE〉

- [ST2110]が[Off]のときは、このメニューは非表示です。

Return video

〈NOTE〉

- [ST2110]が[Off]で、[Basic Config] – [Format]が[1080/59.94p]または[1080/50p]以外のときは、Return videoは入力できません。
- [SFP+ Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときは、Return videoは入力できません。

Format

[Return video]の入力フォーマットを設定/表示します。

Destination Address

[Main video]として受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。

次の範囲のIPアドレスが設定できます。

第1オクテット	224～239
第2オクテット	0～255
第3オクテット	0～255
第4オクテット	0～255

0.0.0.0、224.0.0.0～224.0.1.255のIPアドレスは設定できません。

工場出荷時の設定: 239.3.0.1

Source Address

[Main video]として受信するストリームの送信元機器のIPアドレスを入力します。

次の範囲のIPアドレスが設定できます。

第1オクテット	0～223
第2オクテット	0～255
第3オクテット	0～255
第4オクテット	0～255

第1オクテットが127のIPアドレスは設定できません。

工場出荷時の設定: 0.0.0.0

〈NOTE〉

- 0.0.0.0を設定した場合、送信元アドレスによるフィルタリングを行いません。
- 使用しているネットワークスイッチがIGMPv3に対応していない場合、送信元アドレスによるフィルタリングはできません。

Destination Port [1024～65535]

[Main video]として受信するストリームのポート番号を入力します。
10670はポート番号に設定できません。

工場出荷時の設定: 49331

● JPEG XS TX

SMPTE ST2110 JPEG XS (圧縮) の送信設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

〈NOTE〉

- ・[ST2110]が[Off]のときは、このメニューは非表示です。

Video Select

SMPTE ST2110 JPEG XS (圧縮) の出力を選択します。

MAIN	本線映像を出力します。
CROP	CROP映像を出力します。

工場出荷時の設定: MAIN

〈NOTE〉

- ・[MAIN]と[CROP]の両方を同時に出力できません。
- ・[ST2110]が[Off]のときは、本項目は設定できません。
- ・[SFP+ Mode]が[ST2110]のときは、本項目は設定できません。
- ・[Basic Config]－[Format]が[720/59.94p]または[720/50p]のときは、本項目は設定できません。
- ・[UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、本項目は設定できません。
- ・[SFP+ Mode]が[ST2110 JPEG XS]で[MOIP MODE]が[ON]かつ[UHD Crop]が[Off]のときは、本項目は[MAIN]固定となります。

Format

出力フォーマットを設定/表示します。

Compression Ratio

圧縮率を設定します。

Format	Compression Ratio
2160/60p、2160/59.94p、 2160/50p、2160/29.97p、 2160/25p、2160/24p、 2160/23.98p	5:1、8:1、12:1、20:1
1080/60p、1080/59.94p、 1080/50p、1080/29.97p、 1080/25p、1080/24p、 1080/23.98p	4:1、6:1、10:1、15:1

工場出荷時の設定: 5:1

Destination Address

配信先IPアドレスを入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。
工場出荷時の設定: 239.6.0.1

Destination Port [1024～65535]

配信先ポート番号を入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。
工場出荷時の設定: 49361

● JPEG XS RX

SMPTE ST2110 JPEG XS (圧縮) の受信設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

〈NOTE〉

- ・[ST2110]が[Off]のときは、このメニューは非表示です。

〈NOTE〉

- ・[ST2110]が[Off]のとき、RET VIDEO JPEG XS RXは入力できません。
- ・[SFP+ Mode]が[ST2110]のときは、RET VIDEO JPEG XS RXは入力できません。
- ・[Basic Config]－[Format]が[720/59.94p]または[720/50p]のときは、RET VIDEO JPEG XS RXは入力できません。
- ・[UHD Crop]が[Crop(720)]のときは、RET VIDEO JPEG XS RXは入力できません。
- ・JPEG XS TXの[Compression Ratio]で設定できる圧縮率(4:1～15:1)の範囲外のストリームを入力したときは、RET VIDEO JPEG XS RXは正しく映像表示されない場合があります。

Format

入力フォーマットを設定/表示します。

Destination Address

受信するストリームのマルチキャストアドレスを入力します。
設定可能範囲は[Return video]と同じです。
工場出荷時の設定: 239.7.0.1

Source Address

受信するストリームの送信元機器のIPアドレスを入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。
工場出荷時の設定: 0.0.0.0

〈NOTE〉

- ・[0.0.0.0]を設定した場合、送信元アドレスによるフィルタリングを行いません。
- ・使用しているネットワークスイッチがIGMPv3に対応していない場合、送信元アドレスによるフィルタリングはできません。

Destination Port [1024～65535]

受信するストリームのポート番号を入力します。
設定可能範囲は[Main video]と同じです。
工場出荷時の設定: 49371

● PTP

PTPの設定を行います。

PTP	
Domain	127
Sync signal	Sync signal>>
Set	

Domain

PTPのドメイン番号を入力します。

工場出荷時の設定: 127

〈NOTE〉

- ドメイン番号はグランドマスターと設定を合わせる必要があります。グランドマスターの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- [Sync signal]が[PTP]のときのみ設定可能です。
- [SFP+ Mode]が[ST2110 JPEG XS]のとき、ST2110 JPEG XS (圧縮) 映像の出力タイミングは、基準信号 (PTP) に対して約12ライン遅れて出力されます。

Sync signal

[Sync signal>>]をクリックすると、映像/音声の同期信号の設定画面を表示します。(124ページ)

● NMOS

NMOSの設定を行います。

〈NOTE〉

- [ST2110]が[Off]のときは、このメニューは非表示です。

NMOS	
NMOS control	On Off
Status	UNREGISTERED Rediscovery
IS-04 Port	50040 (1024~65535)
IS-05 Port	50050 (1024~65535)
Label setting	Auto Manual
Label prefix	UE160_356D
Discovery	Auto mDNS uniDNS
Set	

NMOS control [On, Off]

NMOSの機能をOff/Onを設定します。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [NMOS]を[On]に設定するには、SMPTE ST2110ソフトウェアキー(AW-SFU60)が有効である必要があります。

Status

NMOSのRDSサーバーとの接続状況を表示します。

UNREGISTERED	未接続状態
REGISTERING	RDSサーバーの検索中
REGISTERED	RDSサーバーに登録済み
P2P MODE	NMOSのコントローラーとP2Pで接続済み

IS-04 Port [1024~65535]

NMOSのIS-04用ポート番号を入力します。

工場出荷時の設定: 50040

IS-05 Port [1024~65535]

NMOSのIS-05用ポート番号を入力します。

工場出荷時の設定: 50050

Label setting

NMOSで使用するラベル名の自動/手動を選択します。

Manual	ラベル名をユーザーが手動で入力します。
Auto	ラベル名を固定値とします。

工場出荷時の設定: Auto

〈NOTE〉

- Auto設定時のラベル名は、「UE160_**** (****はMACアドレスの下4桁)」になります。

Label prefix

NMOSで使用するラベル名を入力します。

Label settingがAutoの場合は、変更できません。

工場出荷時の設定: UE160_**** (****はMACアドレスの下4桁)

Discovery

RDSサーバーの探索方法を設定します。

Auto	uniDNS/mDNSで順番に自動で探索します。
mDNS	mDNSで探索します。
uniDNS	unicast DNSで探索します。

工場出荷時の設定: Auto

〈NOTE〉

- 全モードにおいて、RDSサーバーが見つからなかった場合、自動でP2Pモードに切り替わります。

■ 音声設定画面[Audio]

音声に関する設定を行います。

〈NOTE〉

- ・ 画像と音声は同期しません。そのため、画像と音声に若干のずれが生じる場合があります。
- ・ ネットワークの環境によっては、音声途切れる場合があります。

- Setting status

Setting status				
Audio		Audio		
		Off		
Input1 Setting		Input Select	MAC Gain	Line Level
		LINE	60dB	0dB
Input2 Setting		Input Select	MAC Gain	Line Level
		LINE	60dB	0dB
Output Setting		CH Select	CH1 Volume Level	CH2 Volume Level
		Head Room		
		INPUT1/INPUT2	0dB	0dB
				FS-12dB
Audio over IP		Audio transmission	Audio bit rate	
		On	128kbps	
Audio over ST2110		Input1 audio TX	Input2 audio TX	
		0.125ms/8ch	0.125ms/8ch	

Audio

音声入力の設定状態を表示します。

Input1 Setting

音声入力1の設定状態を表示します。

Input2 Setting

音声入力2の設定状態を表示します。

Output Setting

音声出力の設定状態を表示します。

Audio over IP

Audio transmission	音声データのIP配信の設定状態を表示します。
Audio bit rate	音声データをIP配信するときのビットレート設定状態を表示します。

Audio over ST2110

音声データのSMPTE ST2110配信の設定状態を表示します。

● Audio

設定は[Set]ボタンで確定します。

Audio	
Audio	☒ On ☐ Off
Input Setting 1	
Input Select	☒ Line ☐ Mic ☐ Mic+48V
Mic Gain	☒ 60dB ☐ 40dB
Line Level	☐ +4dB ☒ 0dB
Input Setting 2	
Input Select	☒ Line ☐ Mic ☐ Mic+48V
Mic Gain	☒ 60dB ☐ 40dB
Line Level	☐ +4dB ☒ 0dB
Output Setting	
CH Select	☒ Input1/Input2 ☐ Input1 ☐ Input2
CH1 Volume Level	- 0dB +
CH2 Volume Level	- 0dB +
Head Room	☒ FS-12dB ☐ FS-18dB ☐ FS-20dB

Audio [Off、 On]

Audio入力をOff/Onします。

工場出荷時の設定: Off

Input Setting 1

Input Select [LINE, MIC, MIC+48V]

Audio Input1 入力の切り替えを設定します。

LINE	ライン入力に設定します。
MIC	マイク入力に設定します。
MIC+48V	ファントム電源+48Vマイク入力に設定します。

[Audio]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: LINE

Mic Gain [60dB, 40dB]

Audio Input1 マイク入力のマイクアンプGAINを設定します。

[Audio] - [Input 1 Setting] - [Input Select]が[MIC]または[MIC+48V]のときのみ有効です。

工場出荷時の設定: 60dB

Line Level [+4dB, 0dB]

Audio Input 1 ライン入力を入力レベルを設定します。

[Audio] – [Input 1 Setting] – [Input Select]が[LINE]のときのみ有効です。

工場出荷時の設定: 0dB

Input Setting 2

Input Select [LINE、MIC、MIC+48V]

Audio Input2入力の切り替えを設定します。

LINE	ライン入力に設定します。
MIC	マイク入力に設定します。
MIC+48V	ファントム電源+48Vマイク入力に設定します。

[Audio]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: LINE

Mic Gain [60dB、40dB]

Audio Input2マイク入力のマイクアンプGAINを設定します。

[Audio]－[Input2 Setting]－[Input Select]が[MIC]または[MIC+48V]のときのみ有効です。

工場出荷時の設定: 60dB

Line Level [+4dB、0dB]

Audio Input2ライン入力の入力レベルを設定します。

[Audio]－[Input2 Setting]－[Input Select]が[LINE]のときのみ有効です。

工場出荷時の設定: 0dB

Output Setting

音声出力の設定状態を表示します。

CH Select [Input1/Input2、Input1、Input2]

音声出力先の選択をします。

Input1/Input2	CH1-Input1/CH2-Input2
Input1	CH1-Input1/CH2-Input1
Input2	CH1-Input2/CH2-Input2

工場出荷時の設定: Input1/Input2

〈NOTE〉

- ・[CH Select]が[Input1]のとき、ST2110のInput2 Audioは出力されません。
- ・[CH Select]が[Input2]のとき、ST2110のInput1 Audioは出力されません。

CH1 Volume Level

[－40dB～0dB～+20dB (1dBステップ)]

CH1 音声出力のボリュームを設定します。

工場出荷時の設定: 0dB

CH2 Volume Level

[－40dB～0dB～+20dB (1dBステップ)]

CH2 音声出力のボリュームを設定します。

工場出荷時の設定: 0dB

Head Room [FS-12dB、FS-18dB、FS-20dB]

オーディオのヘッドルーム（基準レベル）を設定します。

FS-12dB	-12dBFS
FS-18dB	-18dBFS
FS-20dB	-20dBFS

工場出荷時の設定: FS-12dB

● Audio over IP

設定は[Set]ボタンで確定します。

Audio transmission [Off、On]

パーソナルコンピュータなどに音声データの配信を行うときの通信モードを設定します。

Off	本機から音声データの配信を行いません。従って、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。
On	本機から音声データの配信を行います。パーソナルコンピュータで画像と共に音声を聞くことができます。

工場出荷時の設定: On

Audio bit rate

[64kbps、96kbps、128kbps、256kbps]

音声を配信するときのビットレートを設定します。

工場出荷時の設定: 128kbps

● Audio over ST2110

ST2110 Audio Format

Input1 audio TX [1ms/8ch、0.125ms/8ch]

SMPTE ST2110のAUDIO (Input1 audio TX) のフォーマットを設定します。

工場出荷時の設定: 1ms/8ch

Input2 audio TX [1ms/8ch、0.125ms/8ch]

SMPTE ST2110のAUDIO (Input2 audio TX) のフォーマットを設定します。

工場出荷時の設定: 1ms/8ch

〈NOTE〉

- ・SMPTE ST2110ソフトウェアキー(AW-SFU60)が無効なときは、本項目は設定できません。
- ・[Basic Config]－[SFP+ Mode]が[12G Output]のときは、設定できません。

■ ペイント設定画面 [Paint]

画質の調整を行います。

この画面の項目は、[Scene]と[Matrix]を除き、設定内容がすぐに反映されます。[Scene]と[Matrix]は設定内容を選択した後、[Set]ボタンを押して実行する必要があります。

SCENE [Scene1～Scene8]

USER [User1～User3]

	STORE/LOAD	FROM	TO	
SCENE	LOAD	SceneOff	Current Setting	SET
USER	LOAD	User1	Current Setting	SET

撮影状況に合わせて、撮影モードの切り替えを行います。

撮影条件やお好みに合わせて、撮影モードを選択してください。

プルダウンメニューから撮影モードを選択し、[SET]ボタンをクリックすると選択中の撮影モードに切り替わります。

Scene1～Scene8、 User1～User3	撮影条件やお好みに合わせて、詳細な設定調整を マニュアル操作で行うモードです。
-------------------------------	--

Camera control/Setup Menuボタン

Camera control >>	Setup Menu <<
-------------------	---------------

[Camera control]ボタンをクリックすることで、カメラ制御画面を表示することができます。

画質調整をしながらカメラの制御も行えるようになります。

BRIGHTNESS

Brightness	Picture	Matrix	GAMMA/KNEE	DETAIL
GAIN SETTING				
GAIN	- 0 +			
AGC	☒ Off ☐ On			
AGC MAX GAIN	☐ 6dB ☒ 12dB			
FRAME MIX SW	☒ Off ☐ On			
FRAME MIX	☒ 6dB ☐ 12dB ☐ 18dB ☐ 24dB			
DAY/NIGHT	☒ DAY ☐ NIGHT			
IRIS				
AUTO IRIS	☐ Off ☒ On			
WINDOW SELECT	- 1 +			
PICTURE LEVEL	- 0 +			
PEAK RATIO	- 30 +			
AUTO IRIS CLOSE LIMIT	☒ NORMAL ☐ F8 ☐ F7 ☐ F5.6			
IRIS SPEED	- 2 +			
SHUTTER SPEED				
SHUTTER SW	☒ Off ☐ On			
SHUTTER MODE	☒ STEP ☐ SYNCHRO			
SHUTTER SPEED	1/100			
SYNCHRO SCAN	60			
AUTO SHUTTER	☒ Off ☐ On			
AUTO SHUTTER LIMIT	☒ 1/100 ☐ 1/120 ☐ 1/250			

● GAIN SETTING

GAIN [- 6dB ~ 12dB]

映像のゲイン調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

AGC [OFF、ON]

オートゲイン制御の動作を設定します。

工場出荷時の設定: OFF

AGC MAX GAIN [6dB、12dB]

[AGC]動作時の最大ゲインアップ量を設定します。

工場出荷時の設定: 12dB

FRAME MIX SW [OFF、ON]

フレーム加算（センサー蓄積によるゲインアップ）制御を設定します。

工場出荷時の設定: OFF

FRAME MIX [6dB、12dB、18dB、24dB]

フレーム加算（センサー蓄積によるゲインアップ）の量を設定します。

フレーム加算を行うと、映像がコマ落ちしたように見えます。

工場出荷時の設定: 6dB

DAY/NIGHT [DAY、NIGHT]

通常撮影と暗視撮影（赤外線照射による暗視撮影）を切り替えます。

DAY	通常撮影（デイモード）
NIGHT	暗視撮影（ナイトモード）

工場出荷時の設定: DAY

〈NOTE〉

- ・ナイトモード時、映像出力は白黒となります。また、レンズ絞りは強制的に開放となります。
- ・ナイトモードでは、ホワイトバランス調整はできません。
- ・ナイトモードでは、NDフィルターの切り替えができません。

● IRIS

AUTO IRIS [OFF、ON]

自動アイリス調整のOFF/ONを選択します。

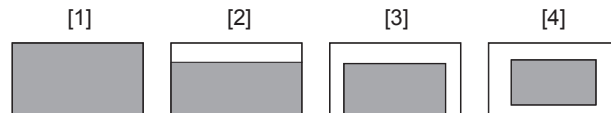
OFF	自動でアイリス調整を行いません。
ON	自動でアイリス調整を行います。

工場出荷時の設定: OFF

WINDOW SELECT [1 ~ 5]

[AUTO IRIS]時の測光範囲を設定します。

[1] ~ [4]を選択したときのウィンドウイメージは、次のようになります。



[5]を選択したときは、任意のウィンドウ（領域）を指定できます。領域の指定は、Webブラウザから設定可能です。（118ページ）

工場出荷時の設定: 1

PICTURE LEVEL [-50 ~ +50]

自動露出補正の目標映像レベルを設定します。

工場出荷時の設定: 0

PEAK RATIO [0 ~ 100]

[AUTO IRIS]時の測光のピーク値と平均値の割合を設定します。

設定値の数値が大きいくほど、アイリス検出ウィンドウ内のピークに対して反応します。

設定値の数値が小さいほど、アイリス検出ウィンドウ内の平均値に対して反応します。

工場出荷時の設定: 0

AUTO IRIS CLOSE LIMIT [NORMAL、F8、F7、F5.6]

オートアイリス機能の制御スピードを設定します。

NORMAL	通常の位置 (F9 付近) まで動作します。
F8	F8 付近でリミットします。
F7	F7 付近でリミットします。
F5.6	F5.6 付近でリミットします。

工場出荷時の設定: NORMAL

IRIS SPEED [1 ~ 3]

アイリス機能の制御スピードを設定します。

1	緩やかなスピードでアイリス制御します。
2	標準的なスピードでアイリス制御します。
3	素早いスピードでアイリス制御します。

工場出荷時の設定: 0

● SHUTTER SPEED

SHUTTER SW [Off、On]

シャッター機能のOn/Offを設定します。

SHUTTER MODE [STEP、SYNCHRO]

シャッターモードを選択します。

STEP	ステップシャッターの設定（段階可変）を行います。
SYNCHRO	シンクロシャッターの設定（連続可変）を行います。

IRIS SPEED

設定できるシャッター速度は下記の通りです。

	[SHUTTER MODE]で[STEP]を選択した場合
60p/59.94p/ 59.94iモード	1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
29.97pモード	1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
23.98pモード	1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100, 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
50p/50iモード	1/60, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
25pモード	1/48, 1/50, 1/60, 1/96, 1/100, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
119.88pモード	1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000
100pモード	1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/1500, 1/2000

工場出荷時の設定:

[59.94Hz] 1/100

[50Hz] 1/120

SYNCHRO SCAN

[SHUTTER MODE]で指定したモードのシャッター速度の調整を行います。

シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなりますが、映像は暗くなります。

設定できるシャッター速度は下記の通りです。

	[SHUTTER MODE]で[SYNCHRO]を選択した場合
60p/59.94p/ 59.94iモード	60.0 Hz～7200 Hz
29.97pモード	30.0 Hz～7200 Hz
23.98pモード	24.0 Hz～7200 Hz
50p/50iモード	50.0 Hz～7200 Hz
25pモード	25.0 Hz～7200 Hz
119.88pモード	120.1 Hz～7200 Hz
100pモード	100.1 Hz～7200 Hz

工場出荷時の設定:

[59.94Hz] 60.0Hz

[50Hz] 50.0Hz

AUTO SHUTTER [Off、On]

自動シャッターモードのOff/Onを選択します。

Off	自動シャッターをOffにします。
On	自動シャッターをOnにします。

工場出荷時の設定: Off

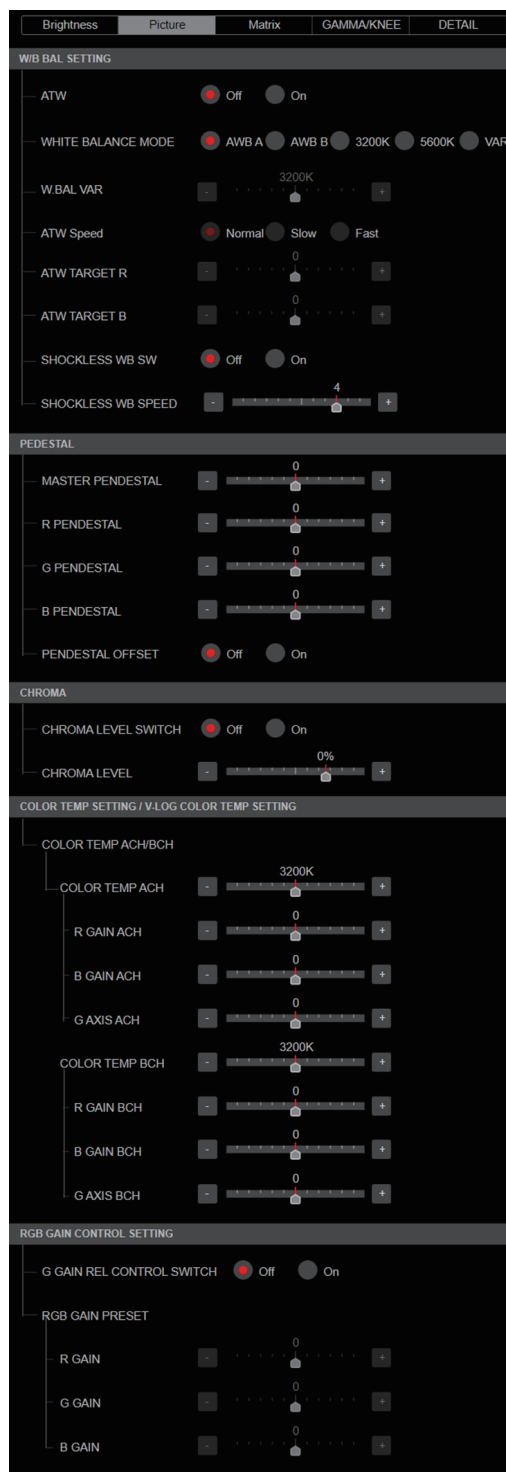
AUTO SHUTTER LIMIT [1/100、1/120、1/250]

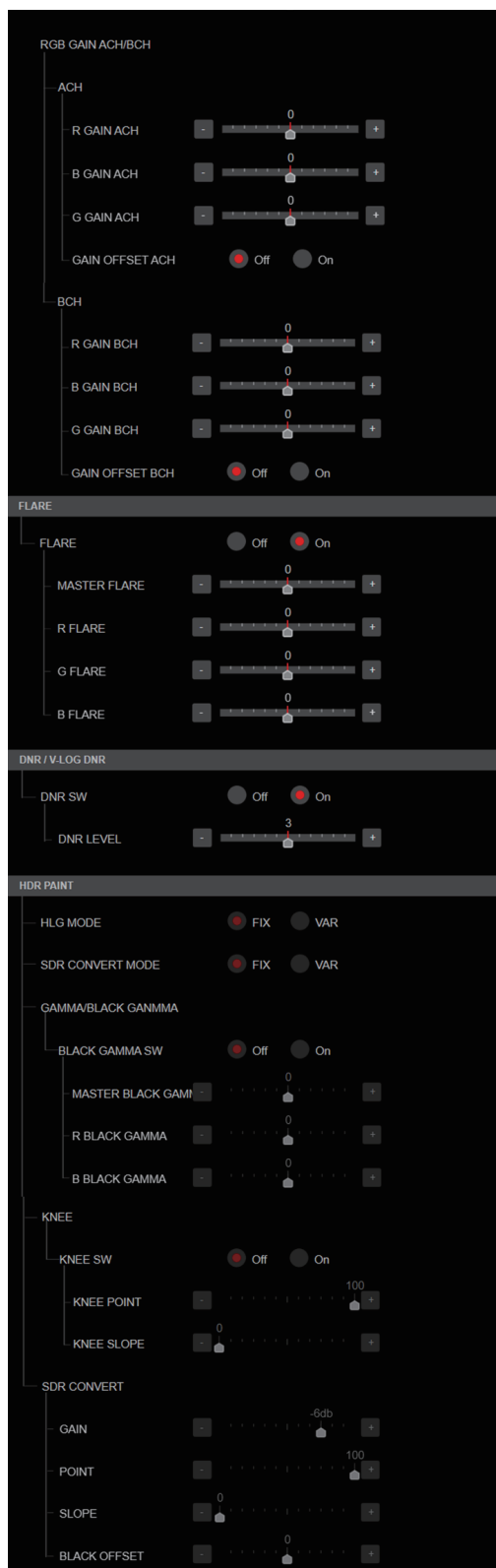
自動シャッターモードの最大シャッター値を設定します。

[AUTO SHUTTER]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 1/100

PICTURE





● W/B BAL SETTING

ATW [Off, On]

オートトラッキングホワイトバランス機能の動作を設定します。
[On]に設定した場合、常にホワイトバランスを自動的に調整し続けて、光源や色温度が変わっても自動的に補正します。

WHITE BALANCE MODE

[AWB A、AWB B、3200K、5600K、VAR]

ホワイトバランス（白バランス）のモードを設定します。
光源などによって、色合いが自然でない場合に設定してください。
基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮影することができます。

AWB A	[AWB A]、[AWB B]を選択してホワイトバランスを実行すると、その調整結果を記憶します。[AWB A]または[AWB B]を選択すると、記憶しているホワイトバランスを呼び出すことができます。
3200K	3200Kのハロゲンライトが光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
5600K	5600Kの太陽光や蛍光灯が光源の場合に適したホワイトバランスモードです。
VAR	色温度2000K～15000Kを指定できます。

工場出荷時の設定: AWB A

W.BAL VAR

色温度2000K～15000Kを指定できます。

工場出荷時の設定: 3200K

ATW Speed [Slow, Normal, Fast]

ATW機能の制御スピードを設定します。

Slow	[Normal]よりも遅いスピードで追従します。
Normal	通常のスピードで追従します。
Fast	[Normal]よりも速いスピードで追従します。

[ATW]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Normal

ATW TARGET R [-10～+10]

オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Rchの出力を微調整します。

工場出荷時の設定: 0

ATW TARGET B [-10～+10]

オートトラッキングホワイトバランス動作で収束したときに、Bchの出力を微調整します。

工場出荷時の設定: 0

SHOCKLESS WB SW [OFF, ON]

[WHITE BALANCE MODE]を切り替えたときに、瞬時に移行するか、緩やかに移行するかを制御を設定します。

工場出荷時の設定: OFF

SHOCKLESS WB SW SPEED [1～5]

[WHITE BALANCE MODE]を切り替えたとき、移行するまでのスピードを設定します。

工場出荷時の設定: 4

● PEDESTAL

〈NOTE〉

- PEDESTALのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

MASTER PEDESTAL [-200～+200]

黒レベルの調整（ペDESTAL調整）を行います。
マイナス方向にすると黒くなり、プラス方向にすると白っぽくなります。

工場出荷時の設定: 0

R PEDESTAL [-800～+800]

RペDESTALを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

G PEDESTAL [-800～+800]

GペDESTALを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

B PEDESTAL [-800～+800]

BペDESTALを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

PEDESTAL OFFSET [Off, On]

オートブラックバランスの調整を行ったときの、Rch、Gch、BchのペDESTALレベルを設定します。

Off	[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL]のペDESTALレベルを[0]にします。
On	[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL]の各項目で設定した値を保持したままにします。

工場出荷時の設定: Off

● CHROMA

〈NOTE〉

- CHROMAのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

CHROMA LEVEL SWITCH [Off, On]

映像の色の濃淡設定のOff/Onを選択します。

Off	映像の色の濃淡設定をOffにします。
On	映像の色の濃淡設定をOnにします。

CHROMA LEVEL [-100%～40%]

映像の色の濃淡を設定します。

工場出荷時の設定: 0%

● COLOR TEMP SETTING / V-LOG COLOR TEMP SETTING

〈NOTE〉

- COLOR TEMP SETTING / V-LOG COLOR TEMP SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

COLOR TEMP ACH/BCH

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]または[AWB B]のときの色温度を表示します。

AchとBchの出力バランスを変化させることにより、色温度を変化させることができます。

COLOR TEMP ACH [2000K～15000K]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときの色温度を設定します。

工場出荷時の設定: 3200K

R GAIN ACH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのRゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

B GAIN ACH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのBゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

G AXIS ACH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのG-Mg方向のゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

COLOR TEMP BCH [2000K～15000K]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときの色温度を設定します。

工場出荷時の設定: 3200K

R GAIN BCH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのRゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

B GAIN BCH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのBゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

G AXIS BCH [-400～+400]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのG-Mg方向のゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

● RGB GAIN CONTROL SETTING

〈NOTE〉

- RGB GAIN CONTROL SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

G GAIN REL CONTROL SWITCH [Off、On]

Gゲインの相対値制御のOn/Offを設定します。

工場出荷時の設定: Off

RGB GAIN PRESET

[WHITE BALANCE MODE]が[3200K]、[5600K]、[VAR]のときのゲインを設定します。

R GAIN [-1000～+1000]

Rゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

G GAIN [-1000～+1000]

Gゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

B GAIN [-1000～+1000]

Bゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

RGB GAIN ACH/BCH

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]、[AWB B]のときのゲインを設定します。

ACH

R GAIN ACH [-1000～+1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのRゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

B GAIN ACH [-1000～+1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのBゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

G GAIN ACH [-1000～+1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB A]のときのGゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

GAIN OFFSET ACH [Off、On]

[WHITE BALANCE MODE]を[AWB A]にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rゲインと Bゲインの値を設定します。

Off	[R GAIN ACH] と [B GAIN ACH] の値を [0] にします。
On	[R GAIN ACH] と [B GAIN ACH] で設定した値を保持したままにします。

工場出荷時の設定: Off

BCH

R GAIN BCH [-1000～+1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのRゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

B GAIN BCH [-1000～+1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのBゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

G GAIN BCH [-1000～+1000]

[WHITE BALANCE MODE]が[AWB B]のときのGゲインを調整できます。

工場出荷時の設定: 0

GAIN OFFSET BCH [Off、On]

[WHITE BALANCE MODE]を[AWB B]にしてオートホワイトバランスを行ったときの、Rゲインと Bゲインの値を設定します。

Off	[R GAIN BCH] と [B GAIN BCH] の値を [0] にします。
On	[R GAIN BCH] と [B GAIN BCH] で設定した値を保持したままにします。

工場出荷時の設定: Off

● FLARE

〈NOTE〉

- FLAREのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

FLARE [Off、On]

フレア補正のOff/Onを設定します。

工場出荷時の設定: Off

MASTER FLARE [-200～0～+200]

マスターフレアを調整します。

工場出荷時の設定: 0

R FLARE [-200～0～+200]

Rchフレアを調整します。

工場出荷時の設定: 0

G FLARE [-200～0～+200]

Gchフレアを調整します。

工場出荷時の設定: 0

B FLARE [-200～0～+200]

Bchフレアを調整します。

工場出荷時の設定: 0

DNR / V-LOG DNR

〈NOTE〉

- DNR / V-LOG DNRのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

DNR SW [OFF、ON]

夜間など低照度の環境でも、明るくノイズのない鮮明な映像を出力するために、デジタルノイズリダクション効果のOFF/ONを選択します。

工場出荷時の設定: OFF

DNR LEVEL [1～5]

デジタルノイズリダクションのレベルを設定します。

工場出荷時の設定: 3

● HDR PAINT

HLG MODE [FIX、VAR]

HDR時の画質設定のモードを選択します。

工場出荷時の設定: FIX

〈NOTE〉

- [V-LOG]が[On]のときは無効です。

SDR CONVERT MODE [FIX、VAR]

SDRに変換するモードを選択します。

FIX	固定モード
VAR	可変モード

工場出荷時の設定: FIX

GAMMA/BLACK GAMMA

BLACK GAMMA SW [Off、On]

暗部のガンマカーブのOn/Offを選択します。

工場出荷時の設定: Off

MASTER BLACK GAMMA [-32～+32]

マスターブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

R BLACK GAMMA [-32～+32]

Rchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

B BLACK GAMMA [-32～+32]

Bchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

KNEE

〈NOTE〉

- KNEEのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。
- KNEEのすべての項目において、[HDR]が[On]のときは設定できません。
- [DRS]を有効にしているときは、二一の設定が無効になります。

KNEE SW [Off、On]

階調圧縮（二一）の動作モードのOn/Offを設定します。

工場出荷時の設定: On

KNEE POINT [-25.00%～25.00% (0.25%ステップ)]

高輝度映像信号の圧縮レベル（二一ポイント）の位置設定を行います。

[KNEE SW]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

KNEE SLOPE [-25.00%～25.00% (0.25%ステップ)]

二一の傾きを設定します。

[KNEE SW]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

SDR CONVERT

[SDR CONVERT MODE]で[FIX]を選択した場合は、設定は無効になり設定できません。

GAIN [0dB、-5dB、-6dB、-7dB、-8dB、-9dB、-10dB、-11dB、-12dB]

SDR映像のゲインを設定します。

工場出荷時の設定: -6

POINT [000～100]

SDR映像に圧縮を開始する映像レベルを設定します。

工場出荷時の設定: 0

SLOPE [000～127]

SDR映像を圧縮する傾きを設定します。

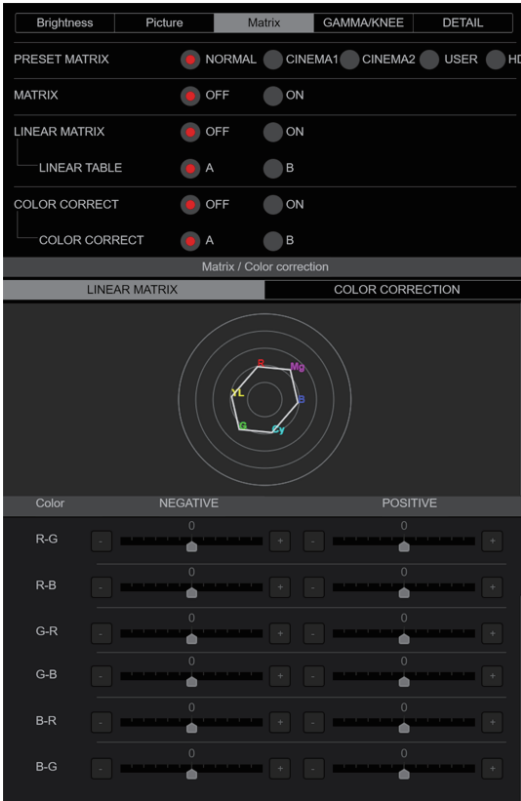
工場出荷時の設定: 0

BLACK OFFSET [-100～+100]

SDR映像の黒レベルオフセットを調整します。

工場出荷時の設定: 0

MATRIX



〈NOTE〉

- [Matrix / Color correction]横のアイコンをクリックすると[LINER MATRIX]、[COLOR CORRECTION]の設定画面が別ウィンドウで表示されます。

PRESET MATRIX

[NORMAL、CINEMA1、CINEMA2、USER、HD]

マトリクスのタイプを選択します。

NORMAL	標準的なマトリクス設定です。
CINEMA1	コントラストが強めのマトリクス設定です。
CINEMA2	落ち着いた調子のマトリクス設定です。
USER	当社リモートカメラAW-UE150に準じたマトリクス設定です。 AW-UE150と色再現を合わせたい場合にご使用ください。
HD	当社製の放送機器に準じたマトリクス設定です。

工場出荷時の設定: HD

MATRIX [OFF、ON]

マトリクス (リニアマトリクス/カラーコレクション) のON/OFF設定をします。

工場出荷時の設定: OFF

LINEAR MATRIX [OFF、ON]

リニアマトリクス機能のON/OFFを設定します。

工場出荷時の設定: OFF

LINEAR TABLE [A、B]

リニアマトリクスのテーブルを選択します。

工場出荷時の設定: A

COLOR CORRECT [OFF、ON]

カラーコレクション機能のON/OFFを設定します。

工場出荷時の設定: OFF

COLOR CORRECT TABLE [A、B]

カラーコレクションのテーブルを選択します。

工場出荷時の設定: A

LINEAR MATRIX

リニアマトリックスの調整を行います。

〈NOTE〉

- LINEAR MATRIXのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

COLOR R-G

NEGATIVE [-31 ~ +31]	R-GのN方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	R-GのP方向を設定します。

COLOR R-B

NEGATIVE [-31 ~ +31]	R-BのN方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	R-BのP方向を設定します。

COLOR G-R

NEGATIVE [-31 ~ +31]	G-RのN方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	G-RのP方向を設定します。

COLOR G-B

NEGATIVE [-31 ~ +31]	G-BのN方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	G-BのP方向を設定します。

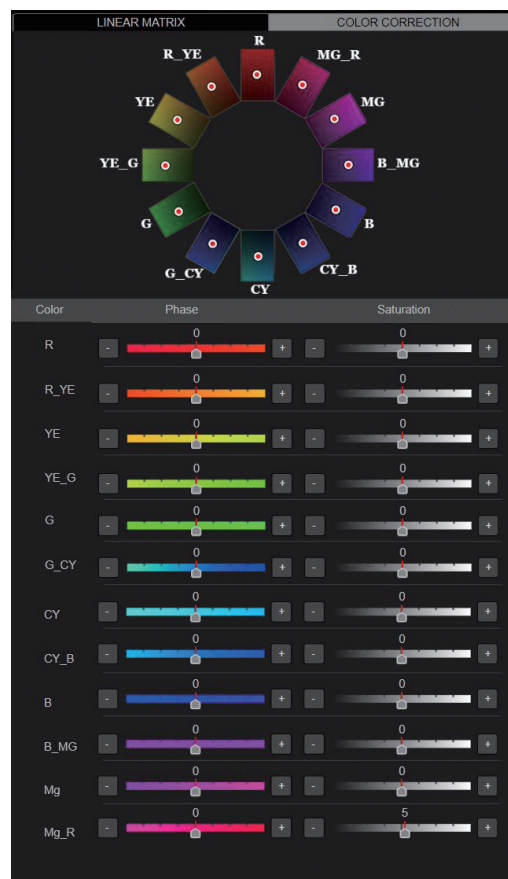
COLOR B-R

NEGATIVE [-31 ~ +31]	B-RのN方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	B-RのP方向を設定します。

COLOR B-G

NEGATIVE [-31 ~ +31]	B-GのN方向を設定します。
POSITIVE [-31 ~ +31]	B-GのP方向を設定します。

工場出荷時の設定: 0

**COLOR CORRECTION**

色飽和度と色相の調整を行います。

〈NOTE〉

- COLOR CORRECTIONのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

COLOR R

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	赤の色相を調整します。
--------------------------	-------------

COLOR R_YE

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	赤と黄間の色相を調整します。
--------------------------	----------------

COLOR YE

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	黄の色相を調整します。
--------------------------	-------------

COLOR YE_G

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	黄と緑間の色相を調整します。
--------------------------	----------------

COLOR G

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	緑の色相を調整します。
--------------------------	-------------

COLOR G_CY

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	緑とシアン間の色相を調整します。
--------------------------	------------------

COLOR CY

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	シアンの色相を調整します。
--------------------------	---------------

COLOR CY_B

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	シアンと青間の色相を調整します。
--------------------------	------------------

COLOR B

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	青の色相を調整します。
--------------------------	-------------

COLOR B_MG

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	青とマゼンタ間の色相を調整します。
--------------------------	-------------------

COLOR MG

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	マゼンタの色相を調整します。
--------------------------	----------------

COLOR MG_R

PHASE [-127 ~ 0 ~ + 126]	マゼンタと赤間の色相を調整します。
--------------------------	-------------------

工場出荷時の設定: 0

GAMMA/KNEE



● GAMMA/BLACK GAMMA

〈NOTE〉

- GAMMA/BLACK GAMMAのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。
- GAMMA/BLACK GAMMAのすべての項目において、[HDR]が[On]のときは設定できません。

GAMMA [OFF、ON]

ガンマモードのON/OFFを選択します。

工場出荷時の設定: OFF

GAMMA MODE SELECT

[HD、NORMAL、CINEMA1、CINEMA2]

ガンマカーブのタイプを選択します。

HD	HD (High Definition) 用のビデオガンマ特性です。
NORMAL	標準的なガンマ特性です。
CINEMA 1	コントラストが強めのガンマ特性です。
CINEMA2	落ち着いた調子のガンマ特性です。

工場出荷時の設定: HD

MASTER GAMMA [0.15～0.75]

マスターガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0.45

R GAMMA [-75～+75]

Rchのガンマを設定します。

工場出荷時の設定: 0

B GAMMA [-75～+75]

Bchのガンマを設定します。

工場出荷時の設定: 0

BLACK GAMMA [OFF、ON]

暗部のガンマカーブのON/OFFを選択します。

工場出荷時の設定: OFF

MASTER BLACK GAMMA [-48～+48]

マスターブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

-48～-1	暗部を圧縮します。
+1～+48	暗部を伸張します。

工場出荷時の設定: 0

R BLACK GAMMA [-20～+20]

Rchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

B BLACK GAMMA [-20～+20]

Bchのブラックガンマ補正レベルの調整を行います。

工場出荷時の設定: 0

BLACK GAMMA RANGE [1～3]

暗部のガンマカーブの圧縮/伸張を行う上限レベルを設定します。

1	20%程度
2	30%程度
3	40%程度

工場出荷時の設定: 1

INITIAL GAMMA [4.0、4.5、5.0]

ガンマカーブの立ち上がり傾きを設定します。

[GAMMA MODE SELECT]が[HD]の時のみ設定可能です。

工場出荷時の設定: 4.0

● KNEE

〈NOTE〉

- KNEEのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。
- KNEEのすべての項目において、[HDR]が[On]のときは設定できません

KNEE [OFF、ON]

階調圧縮（ニー）の動作モードのON/OFFを設定します。

工場出荷時の設定: ON

KNEE MODE [AUTO、MANUAL]

階調圧縮（ニー）の動作モードを設定します。

AUTO	ニーポイントやニーの傾きを自動で設定します。
MANUAL	ニーポイントやニーの傾きを手動で設定します。

工場出荷時の設定: AUTO

KNEE MASTER POINT

[80.00%～110.00% (0.25%ステップ)]

高輝度映像信号の圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。
[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0.95

KNEE R POINT

[-25.00%～25.00% (0.25%ステップ)]

[KNEE MASTER POINT]に対してRchの圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。
[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

KNEE B POINT

[-25.00%～25.00% (0.25%ステップ)]

[KNEE MASTER POINT]に対してBchの圧縮レベル（ニーポイント）の位置設定を行います。
[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

KNEE MASTER SLOPE [00～199]

ニーの傾きを設定します。

[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 130

KNEE R SLOPE [-99～+99]

[KNEE MASTER SLOPE]に対してRchの傾きを設定します。

[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

KNEE B SLOPE [-99～+99]

[KNEE MASTER SLOPE]に対してBchの傾きを設定します。

[KNEE MODE]が[MANUAL]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

AUTO KNEE RESPONSE [1～8]

オートニー応答速度を設定します。

設定値が小さいほど応答速度が速くなります。

工場出荷時の設定: 4

● WHITE CLIP

〈NOTE〉

- WHITE CLIPのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。
- WHITE CLIPのすべての項目において、[HDR]が[On]のときは設定できません。

WHITE CLIP [OFF、ON]

ホワイトクリップ機能のOFF/ONを設定します。

工場出荷時の設定: OFF

MASTER WHITE CLIP LEVEL [80%～109%]

マスターホワイトクリップレベルを設定します。

工場出荷時の設定: 1.09

R WHITE CLIP LEVEL [-15%～+15%]

[MASTER WHITE CLIP LEVEL]に対してRchのホワイトクリップレベルを設定します。

[WHITE CLIP]が[ON]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

B WHITE CLIP LEVEL [-15%～+15%]

[MASTER WHITE CLIP LEVEL]に対してBchのホワイトクリップレベルを設定します。

[WHITE CLIP]が[ON]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

HI COLOR [OFF、ON]

色のダイナミックレンジを拡大するモードの制御を設定します。

高輝度部分の色再現性を改善します。

工場出荷時の設定: OFF

HI COLOR LEVEL [1～32]

色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベルを設定します。

工場出荷時の設定: 32

● DRS

〈NOTE〉

- DRSのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

DRS [OFF、ON]

明暗差の大きな映像を映したときに、適正に補正を行うDRS機能のON/OFFを設定します。

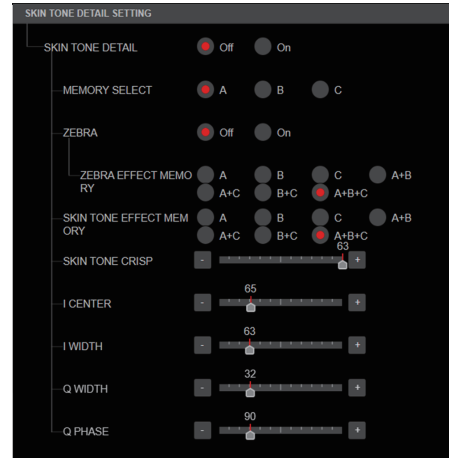
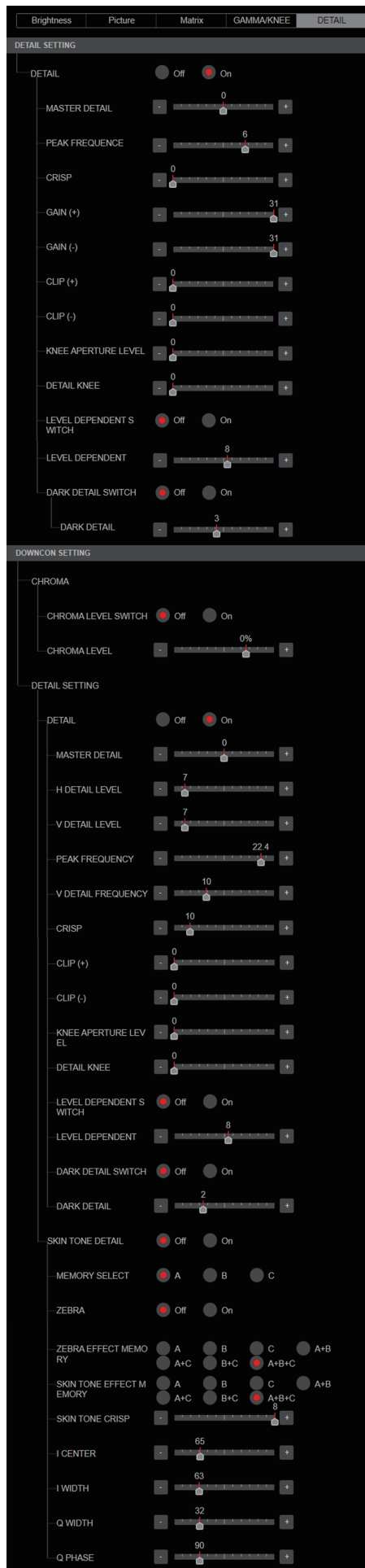
工場出荷時の設定: OFF

EFFECT DEPTH [1～5]

DRS機能の効果レベルを設定します。数値が大きいほど効果レベルが大きくなります。

工場出荷時の設定: 5

DETAIL



● DETAIL SETTING

〈NOTE〉

- DETAIL SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

DETAIL [Off、On]

映像の輪郭(映像のシャープさ)の調整のOn/Offを設定します。

工場出荷時の設定: On

MASTER DETAIL [-31 ~ +31]

輪郭補正レベル(マスター)の調整を行います。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

PEAK FREQUENCY [1 ~ 8]

ディテールのブースト周波数を設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 6

CRISP [00 ~ 63]

ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

GAIN(+) [-31～+31]

プラス方向（明るくする方向）のディテール信号レベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

GAIN(-) [-31～+31]

マイナス方向（暗くする方向）のディテール信号レベルを設定します。
[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

CLIP(+) [00～63]

プラス方向（明るくする方向）のディテール信号をクリップするレベルを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

CLIP(-) [00～63]

マイナス方向（暗くする方向）のディテール信号をクリップするレベルを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

KNEE APERTURE LEVEL [00～39]

高輝度部のディテールのレベルを調整します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

DETAIL KNEE [00～15]

二のディテール成分を調整します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

LEVEL DEPRENDED SWITCH [Off、On]

暗部ディテールを除去するレベルのOn/Offを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Off

LEVEL DEPENDENT [00～15]

暗部ディテールを除去するレベルを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

DARK DETAIL SWITCH [Off、On]

暗部ディテールを付加する制御のOn/Offを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Off

DARK DETAIL [0～7]

暗部ディテールのレベルを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 3

● DOWNCON SETTING

4KからHDへダウンコンバートした映像の輪郭や色を調整します。

[Format]が以下のときに有効です。

2160/59.94p、2160/29.97p、2160/23.98p、

2160/24p、2160/50p、2160/25p

〈NOTE〉

- DOWNCON SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

CHROMA

CHROMA LEVEL SWITCH [Off、On]

クロマレベル制御のOn/Offを設定します。

工場出荷時の設定: Off

CHROMA LEVEL [-100%～40%]

映像の色の濃淡を設定します。

工場出荷時の設定: 0

DETAIL SETTING

DETAIL [Off、On]

映像の輪郭（映像のシャープさ）の調整のOn/Offを設定します。

工場出荷時の設定: On

MASTER DETAIL [-31～+31]

輪郭補正レベル（マスター）の調整を行います。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

H DETAIL LEVEL [00～63]

水平方向の輪郭補正レベルの調整を行います。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 7

V DETAIL LEVEL [00～63]

垂直方向の輪郭補正レベルの調整を行います。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 7

PEAK FREQUENCY [12.4MHz～37.1MHz]

ディテールのブースト周波数を設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 22.4MHz

V DETAIL FREQUENCY [00～31]

垂直方向ディテールのブースト周波数を設定します。

00：低周波数

}

31：高周波数

高周波数にすると、より細かい被写体にディテール効果がつきます。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 10

CRISP [00～63]

ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 10

CLIP(+) [00～63]

プラス方向(明るくする方向)のディテール信号をクリップするレベルを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

CLIP(-) [00～63]

マイナス方向(暗くする方向)のディテール信号をクリップするレベルを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

KNEE APERTURE LEVEL [00～39]

高輝度部のディテールのレベルを調整します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

DETAIL KNEE [00～15]

二のディテール成分を調整します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0

LEVEL DEPRENDED SWITCH [Off, On]

暗部ディテールを除去する制御のOn/Offを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Off

LEVEL DEPENDENT [00～15]

暗部ディテールを除去するレベルを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 8

DARK DETAIL SWITCH [Off, On]

暗部ディテールを付加する制御のOn/Offを設定します。

[DETAIL]が[On]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Off

DARK DETAIL [0～7]

暗部ディテールのレベルを設定します。

工場出荷時の設定: 2

SKIN TONE DETAIL [Off, On]

人の肌を滑らかに、よりきれいに映す機能です。

スキントーンディテール機能のOn/Offを設定します。

工場出荷時の設定: Off

MEMORY SELECT [Off, On]

スキントーンを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。

工場出荷時の設定: Off

ZEBRA [Off, On]

スキントーンエリアのゼブラ表示のOn/Offを設定します。

ゼブラパターンは、3G SDI OUT2/PM端子に接続した機器のみに表示されます。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- ・[SKIN TONE DETAIL SETTING]の[ZEBRA]が[On]のときは、設定できません。

ZEBRA EFFECT MEMORY

[A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]

ゼブラ表示する肌色テーブルを選択します。

工場出荷時の設定: A+B+C

SKIN TONE EFFECT MEMORY

[A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]

スキントーンを効かせる肌色テーブルを選択します。

工場出荷時の設定: A+B+C

SKIN TONE CRISP [0～8]

スキントーンディテールを調整します。

工場出荷時の設定: 8

I CENTER [000～255]

I軸上の中心位置(スキントーンを効かせるエリア)を設定します。

工場出荷時の設定: 65

I WIDTH [000～255]

[I CENTER]を中心としたI軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。

工場出荷時の設定: 63

Q WIDTH [000～127]

[I CENTER]を中心としたQ軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。

工場出荷時の設定: 32

Q PHASE [0～359]

Q軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。

工場出荷時の設定: 90

● SKIN TONE DETAIL SETTING

〈NOTE〉

- SKIN TONE DETAIL SETTINGのすべての項目において、[V-LOG]が[On]で[V-LOG PAINT SW]が[Off]のときは設定できません。

SKIN TONE DETAIL [Off, On]

人の肌を滑らかに、よりきれいに映す機能です。
スキントーンディテール機能のOn/Offを設定します。
工場出荷時の設定: Off

MEMORY SELECT [A、B、C]

スキントーンを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A

ZEBRA [Off, On]

スキントーンエリアのゼブラ表示のOn/Offを設定します。
ゼブラパターンは、3G SDI OUT2/PM端子に接続した機器のみに表示されます。
工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [DOWNCON SETTING]の[ZEBRA]が[On]のときは、設定できません。

ZEBRA EFFECT MEMORY

[A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]

ゼブラ表示する肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A+B+C

SKIN TONE EFFECT MEMORY

[A、B、C、A+B、A+C、B+C、A+B+C]

スキントーンを効かせる肌色テーブルを選択します。
工場出荷時の設定: A+B+C

SKIN TONE CRISP [-63～0～+63]

スキントーンディテールを調整します。

工場出荷時の設定: 63

I CENTER [000～255]

I軸上の中心位置(スキントーンを効かせるエリア)を設定します。

工場出荷時の設定: 65

I WIDTH [000～255]

[I CENTER]を中心としたI軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。

工場出荷時の設定: 63

Q WIDTH [000～255]

[I CENTER]を中心としたQ軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。

工場出荷時の設定: 32

Q PHASE [0～359]

Q軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。

工場出荷時の設定: 90

■ モニターディスプレイ設定画面

[Monitor Display]

The image shows a 'Monitor Display' settings menu. It has several sections with toggle buttons (red dot for Off, grey dot for On):

- WFM**
 - Mode**: Off (selected), On(Y), On(Y/Pb/Pr)
 - Position**: UR (selected), BR, UL, BL
- Status Indicator**
 - RETURN SELECT**: Off (selected), On
 - STATUS(AUTO)**: Off (selected), On
 - LEVEL GAUGE**: Off (selected), On

WFM

Mode [Off, On(Y), On(Y/Pb/Pr)]

WaveFormを表示する/しないを切り替えます。

Off	WaveFormを表示しません。
On(Y)	Y成分のみ波形を表示します。
On(Y/Pb/Pr)	Y/Pb/Pr成分のそれぞれの波形を表示します。

工場出荷時の設定: Off

Position [UR、BR、BL、UL]

WaveFormを表示するエリア選択します。

UR	WaveFormを右上エリアに表示します。
BR	WaveFormを右下エリアに表示します。
BL	WaveFormを左下エリアに表示します。
UL	WaveFormを左上エリアに表示します。

工場出荷時の設定: UR

〈NOTE〉

- WaveFormは3G SDI OUT2/PM端子に接続した機器のみに表示し、他の出力系統の端子に接続した機器には表示されません。
- [SFP+ Mode]が[ST2110 JPEG XS]のときは、WaveFormは無効となります。

Status Indicator

[On]に設定した項目に対して、所定のステータスになると、[CHAR]が[ON]かつ、[OUTPUT ITEM]が[STATUS]に設定されている端子映像に各ステータスが表示されます。

RETURN SELECT [Off, On]

[On]のとき、[RETURN] - [RETURN1 ID]で設定した文字列を、画面上部中央領域にOSD表示します。

RETURN SELECTの文字列は、3G SDI OUT2/PM端子に接続した機器のみに表示されます。

STATUS(AUTO) [Off, On]

[On]のとき、OSDにて以下のステータス表示を行います。

- オートホワイトバランスを実施した後の結果表示
- オートブラックバランスを実施した後の結果表示
- エラーが発生した時のエラー表示

工場出荷時の設定: Off

LEVEL GAUGE [Off, On]

[On]のとき、本機の設置の傾き状態（水平方向：左右および前後）を、画面左上領域にOSD表示します。

工場出荷時の設定: Off
(例)

L ↑ +3.2/-3.2 ↓ R
F ↓ -1.8/+1.8 ↑ F

上記表示の場合、左右方向：左上に3.2°、前後方向：前上に1.8°で設置されています。

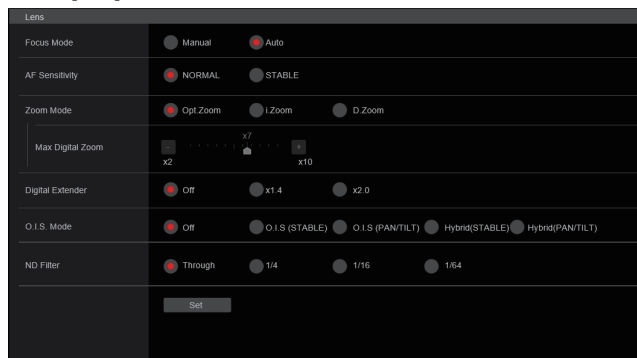
傾きの最大は、±9.9°まで、10°以上の傾いている場合は「±9.9」と表示されます。

〈NOTE〉

- LEVEL GAUGEは、SDI、HDMI、SMPTE ST2110のみ表示し、High bandwidth NDIおよびIP配信(H.264/H.265/M-JPEG)には表示されません。
- PAN/TILT動作中は、LEVEL GAUGEの値は更新されません。
- CSP Control動作中は、LEVEL GAUGEの値は更新されません。
(→177ページ)

■ レンズ設定画面 [Lens]

設定は[Set]ボタンで確定します。

**Focus Mode [Manual, Auto]**

フォーカス調整（ピント合わせ）機能の自動/手動を選択します。

Manual	フォーカスをマニュアル操作します。
Auto	常にフォーカスを自動的に合わせます。

工場出荷時の設定: Auto

AF Sensitivity [NORMAL, STABLE]

オートフォーカス機能の追従モードを選択します。

NORMAL	通常の追従性でフォーカス合わせをします。
STABLE	安定性を重視してフォーカス合わせをします。

工場出荷時の設定: NORMAL

Zoom Mode [Opt.Zoom, i.Zoom, D.Zoom]

ズームの最大倍率を設定します。

Opt.Zoom	光学ズームのみを使用します。 光学20倍までズームが可能です。 • [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、強制的に[Opt.Zoom]となります。
i.Zoom	i.Zoom機能を有効にします。 この機能を有効にすると、画質劣化を軽減しながらデジタルズームを行います。 [Basic Config] – [Format]が2160/59.94p、2160/29.97p、2160/50p、2160/25p、2160/24p、2160/23.98pのとき 光学ズームとデジタルズームを合わせて28倍までズームが可能です。 • [Basic Config] – [Format]がそれ以外のときは、光学ズームとデジタルズームを合わせて32倍までズームが可能です。 • [i.Zoom]に設定されている状態で、[Preset PTZ Sync Mode]が[On]に変更されると、強制的に[Opt.Zoom]に変更されます。
D.Zoom	デジタルズーム機能を有効にします。 デジタルズーム時は、倍率を大きくするほど画質は粗くなります。 • [D.Zoom]に設定されている状態で、[Preset PTZ Sync Mode]が[On]に変更されると、強制的に[Opt.Zoom]に変更されます。

工場出荷時の設定: Opt.Zoom

〈NOTE〉

- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、Zoom Modeは強制的に[Opt.Zoom]に変更されます。

Max Digital Zoom

[×2、×3、×4、×5、×6、×7、×8、×9、×10]

デジタルズームの倍率の上限を設定します。

[Zoom Mode]が[D.Zoom]のときに有効です。

工場出荷時の設定: ×10

〈NOTE〉

- デジタルズーム時は、倍率を大きくするほど画質は粗くなります。

Digital Extender [Off, ×1.4, ×2.0]

デジタルエクステンダー機能の設定を行います。

Off	デジタルエクステンダーの機能をOffにします。
×1.4	常にデジタルズームが1.4倍として動作します。
×2.0	常にデジタルズームが2.0倍として動作します。

[Zoom Mode]が[Opt.Zoom]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Off

O.I.S. Mode

[Off, O.I.S.(STABLE)、O.I.S.(PAN/TILT)、Hybrid(STABLE)、Hybrid(PAN/TILT)]

光学式画揺れ補正(O.I.S.)およびロール方向の電子式画揺れ補正(E.I.S.)のモードを設定します。

Off	光学式画揺れ補正(O.I.S.)およびロール方向の電子式画揺れ補正(E.I.S.)のモードをOffにします。
O.I.S.(STABLE)	光学式画揺れ補正機能(O.I.S.)をOnにします。 パン・チルトを固定した撮影シーンでご使用ください。
O.I.S.(PAN/TILT)	光学式画揺れ補正機能(O.I.S.)をOnにします。 パン・チルトを操作しながらの撮影で画揺れ補正の効果を高めたいシーンでご使用ください。
Hybrid(STABLE)	光学式画揺れ補正機能(O.I.S.)とロール方向の電子式画揺れ補正機能(E.I.S.)をOnにします。 パン・チルトを固定した撮影シーンでご使用ください。
Hybrid(PAN/TILT)	光学式画揺れ補正機能(O.I.S.)とロール方向の電子式画揺れ補正機能(E.I.S.)をOnにします。 パン・チルトを操作しながらの撮影で画揺れ補正の効果を高めたいシーンでご使用ください。

工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- [O.I.S.(STABLE)]および[Hybrid(STABLE)]では、パン・チルト動作時の画揺れ補正の収束応答を小さくするため、パン・チルト動作中は画揺れ補正機能(O.I.S.)による補正量を低下させます。
- [O.I.S.(PAN/TILT)]および[Hybrid(PAN/TILT)]では、パン・チルト動作中の画揺れ補正の効果を高めることを優先しているため、パン・チルト制御中に画揺れ補正により生じる収束応答が気になる場合があります。
画揺れ補正による収束応答を抑えたいシーンでは
[O.I.S.(STABLE)]または[Hybrid(STABLE)]をご使用ください。

ND Filter [Through, 1/4, 1/16, 1/64]

レンズ内蔵のNDフィルター(減光フィルター)の透過率を設定します。

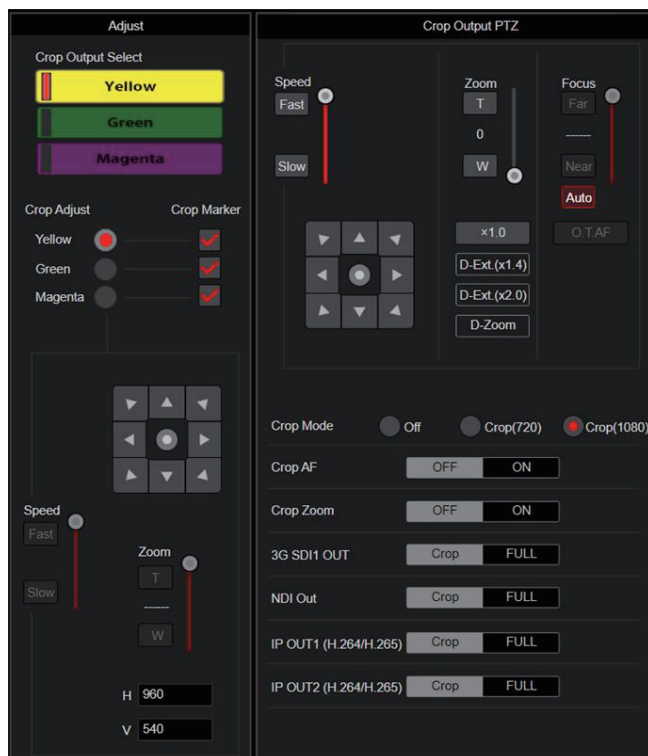
設定項目を確定した時点でフィルターが切り替わります。

Through	NDフィルターを設定しません。
1/4	NDフィルターの透過率を1/4に設定します。
1/16	NDフィルターの透過率を1/16に設定します。
1/64	NDフィルターの透過率を1/64に設定します。

(NOTE)

- [PAINT] – [GAIN SETTING] – [DAY/NIGHT]が[DAY]のときのみ有効です。

■ UHDクロップ設定画面 [UHD Crop]



Crop Output PTZ

カメラコントロール用に使います。ライブ画面[Live]で操作するカメラコントローラーと同じ操作ができます。(→115ページ)

Crop Mode [Off, Crop(720)、Crop(1080)]

UHD(3840×2160)の映像から切り出しを行う機能(Crop機能)を設定します。

Off	CROP切り出しを実施しません。
Crop(720)	CROP切り出し映像を720画角で出力します。
Crop(1080)	CROP切り出し映像を1080画角で出力します。

工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- [Crop Mode]を変更すると、IP映像配信は一時的に停止します。
- [Basic Config] – [Format]にて、[2160/59.94p]または[2160/50p]を選択しているときのみ、[Off]、[Crop(720)]および[Crop(1080)]が選択可能であり、[2160/60p]、[2160/29.97p]、[2160/25p]、[2160/24p]、[2160/23.98p]のときは、[Off]および[Crop(1080)]のみ選択可能です。
その他のFORMATのときは、[Off]となります。
- [Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のとき、[Streaming mode]で以下の値は設定できません。
H.264(UHD)、U.265(UHD)、JPEG(UHD)、RTMP(UHD)、SRT(H.264 UHD)、SRT(H.265 UHD)、NDI|HX V2(UHD)
(→134ページ)
- [Streaming mode]で以下のいずれかの値
H.264(UHD)、U.265(UHD)、JPEG(UHD)、RTMP(UHD)、SRT(H.264 UHD)、SRT(H.265 UHD)、NDI|HX V2(UHD)
が選択されている状態で、[Crop Mode]を[Crop(720)]または[Crop(1080)]に切り替えた場合、[Streaming mode]は[H.264]に設定変更されます。
- [Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のとき、[Zoom Mode]は無効となり、[Opt.Zoom]として動作します。

Crop AF [OFF、ON]

Crop切り出し枠内の映像でのAFを実施するかどうかの設定を行います。
[Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。

Crop Zoom [OFF、ON]

D-Zoomを用いたCropを実施するかどうかの設定を行います。
[ON]のときは、Zoom倍率の設定ができます。
(→「Crop Zoom Ratio」)
[Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。

工場出荷時の設定: OFF

Zoom (Crop Zoom Ratio) [120.00% ~ 500.00%]

[Crop Zoom]が[ON]のときの、Crop枠の大きさを指定します。
指定可能な範囲は、120.00%~500.00%であり、OSDメニューから設定できるのは10.00%単位の粒度となります。
本項目の設定値と、Crop枠のサイズ、[Crop H Position]および[Crop V Position]の可変範囲は以下ようになります。

Crop Zoom Ratio	Crop枠サイズ	可変範囲	
		Crop H Position	Crop V Position
120.00%	3200×1800	0 ~ 640	0 ~ 360
⋮	⋮	⋮	⋮
200.00%	1920×1080	0 ~ 1920	0 ~ 1080
⋮	⋮	⋮	⋮
300.00%	1280×720	0 ~ 2560	0 ~ 1440
⋮	⋮	⋮	⋮
400.00%	960×540	0 ~ 2880	0 ~ 1620
⋮	⋮	⋮	⋮
500.00%	768×432	0 ~ 3072	0 ~ 1728

[Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。

[Crop Zoom]が[ON]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 200.00%

3G SDI1 OUT [FULL、Crop]

3G SDI OUT1 端子に出力する映像のFULL/Cropの設定を行います。

FULL	UHDの映像を切り出すことなく、そのままFHDにダウンコンバートした映像を出力します。
Crop	UHDの映像から、FHDを切り出した映像を出力します。 このとき、[Crop Output Select]で指定した切り出し枠の映像を出力します。

[Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Crop

NDI Out [FULL、Crop]

High bandwidth NDIに出力する映像のFULL/Cropの設定を行います。

FULL	UHDの映像を切り出すことなく、そのままFHDにダウンコンバートした映像を出力します。
Crop	UHDの映像から、FHDを切り出した映像を出力します。 このとき、[Crop Output Select]で指定した切り出し枠の映像を出力します。

[Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Crop

IP OUT1 (H.264/H.265) [FULL、Crop]

IP OUT2 (H.264/H.265) [FULL、Crop]

H.264/H.265/M-JPEGの配信(LAN端子)に出力する映像のFULL/Cropの設定を行います。

[IP OUT1 (H.264/H.265)]で指定した設定は、各配信のCH1 (H.264(1)、H.265(1)、JPEG(1))の配信映像に適用されます。
[IP OUT2 (H.264/H.265)]で指定した設定は、各配信のCH2~CH3 (H.264(2)~(3)、H.265(2)~(3)、JPEG(2)~(3))の配信映像に適用されます。

FULL	UHDの映像を切り出すことなく、そのままFHDにダウンコンバートした映像を出力します。
Crop	UHDの映像から、FHDを切り出した映像を出力します。 このとき、[Crop Output Select]で指定した切り出し枠の映像を出力します。

[Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。

WEB画面における[Streaming mode]が[NDI|HX V2]のときは、[IP OUT1 (H.264/H.265)]および[IP OUT2 (H.264/H.265)]は連動動作となります。

工場出荷時の設定: Crop

Adjust

Crop Output Select [Yellow、Green、Magenta]

3G SDI OUT1 端子、SMPTE ST2110のCROP映像、High bandwidth NDI映像、LAN端子 (H.264/H.265/M-JPEG) に出力する映像の切り出し枠の設定を行います。

Yellow	黄の切り出し枠の映像を出力します。
Green	緑の切り出し枠の映像を出力します。
Magenta	マゼンタの切り出し枠の映像を出力します。

[Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Yellow

〈NOTE〉

- [Crop Output Select]で指定している色の枠は、他の色の枠に比べて濃色となります。
- 12G SDI OUT/SFP+端子、3G SDI OUT2/PM端子、HDMI端子、SMPTE ST2110 MAIN映像、SMPTE ST2110 MONITOR映像においては、切り出し映像は出力できません。

Crop Marker [Off、Yellow、Green、Magenta、Yellow+Green、Yellow+Magenta、Green+Magenta、Yellow+Green+Magenta]

3G SDI OUT1 端子、3G SDI OUT2/PM端子、SMPTE ST2110のMONITOR映像、LAN端子 (H.264/H.265/M-JPEG) に出力する映像に表示する切り出し枠の設定を行います。

Off	切り出し枠を表示しません。
Yellow	黄の切り出し枠のみを表示します。
Green	緑の切り出し枠のみを表示します。
Magenta	マゼンタの切り出し枠のみを表示します。
Yellow+Green	黄および緑の切り出し枠を表示します。
Yellow+Magenta	黄およびマゼンタの切り出し枠を表示します。
Green+Magenta	緑およびマゼンタの切り出し枠を表示します。
Yellow+Green+Magenta	黄および緑およびマゼンタの切り出し枠を表示します。

[Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Yellow+Green+Magenta

Crop Adjust [Yellow、Green、Magenta]

位置調整を行う切り出し枠の選択を行います。

Yellow	黄の切り出し枠の位置調整を行います。
Green	緑の切り出し枠の位置調整を行います。
Magenta	マゼンタの切り出し枠の位置調整を行います。

[Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Yellow

(NOTE)

- [Crop Adjust] で指定されている色の枠は、他の色の枠に比べて太枠となります。

H [0～3072]

[Crop Adjust] で指定した切り出し枠の、水平方向の位置の設定を行います。

[Crop Mode]が[Crop(1080)]で、[Crop Zoom]が[OFF]のときの可変範囲は0～1920であり、0が左端、1920が右端となり、偶数のみ設定可能です。

[Crop Mode]が[Crop(720)]で、[Crop Zoom]が[OFF]のときの可変範囲は0～2560であり、0が左端、2560が右端となり、偶数のみ設定可能です。

[Crop Zoom]が[ON]のときの可変範囲は、[Zoom (Crop Zoom Ratio)]の設定値によって異なり、[Zoom (Crop Zoom Ratio)]が500.00%のときの可変範囲が0～3072となり、偶数のみ設定可能です。

[Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 960

V [0～1728]

[Crop Adjust] で指定した切り出し枠の、垂直方向の位置の設定を行います。

[Crop Mode]が[Crop(1080)]で、[Crop Zoom]が[OFF]のときの可変範囲は0～1080であり、0が上端、1080が下端となります。

[Crop Mode]が[Crop(720)]で、[Crop Zoom]が[OFF]のときの可変範囲は0～1440であり、0が上端、1440が下端となります。

[Crop Zoom]が[ON]のときの可変範囲は、[Zoom (Crop Zoom Ratio)]の設定値によって異なり、[Zoom (Crop Zoom Ratio)]が500.00%のときの可変範囲が0～1728となり、偶数のみ設定可能です。

[Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。

[Crop Zoom]が[ON]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 540

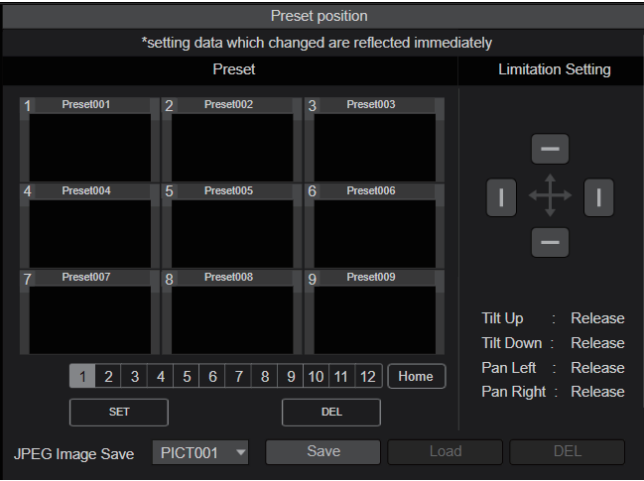
■ プリセットポジション画面 [Preset position]

The screenshot displays the 'Preset position' menu, which is used for setting camera parameters for different presets. The menu is organized into several sections:

- Preset position**: A header indicating that settings are reflected immediately.
- Preset**: A grid of 12 preset slots (1-12) and a 'Home' button. Below the grid are 'SET' and 'DEL' buttons.
- Limitation Setting**: Controls for Tilt Up, Tilt Down, Pan Left, and Pan Right, each with a 'Release' button.
- JPEG Image Save**: A dropdown menu showing 'PICT001' and buttons for 'Save', 'Load', and 'DEL'.
- Pan/Tilt Lens Control**: A section for controlling camera movement and focus, including:
 - Speed**: A slider between 'Fast' and 'Slow'.
 - Zoom**: A slider between 'T' (Tele) and 'W' (Wide), with a 'x1.0' button and a list of options: 'D-Ext. (x1.4)', 'D-Ext. (x2.0)', and 'D-Zoom'.
 - Focus**: A slider between 'Far' and 'Near', with an 'Auto' button and an 'O.T.A.F.' button.
 - Iris**: A slider with '+' and '-' buttons, and an 'Auto' button.
 - Gain**: A slider with an '0dB' label and '+' and '-' buttons.
- Preset Setting**: A section for configuring preset behavior, including:
 - Preset PTZ Sync Mode**: Radio buttons for 'Off' and 'On'.
 - Preset Speed Unit**: Radio buttons for 'Speed Table' and 'Time'.
 - Preset Speed Table**: Radio buttons for 'Slow' and 'Fast', with a 'Preset Speed' slider set to 20.
 - Preset Acceleration**: Radio buttons for 'Manual' and 'Auto'.
 - Rise S-Curve**: A slider set to 15.
 - Fall S-Curve**: A slider set to 15.
 - Rise Acceleration**: A slider set to 128.
 - Fall Acceleration**: A slider set to 128.
 - Rise Ramp Time**: A slider set to 0.1S.
 - Fall Ramp Time**: A slider set to 0.1S.
 - Preset Scope**: Radio buttons for 'Mode A', 'Mode B', and 'Mode C'.
 - Preset Digital Extender**: Radio buttons for 'Off' and 'On'.
 - Preset Crop**: Radio buttons for 'Off' and 'On'.
 - Preset Thumbnail Update**: Radio buttons for 'Off' and 'On'.
 - Preset Name**: Radio buttons for 'Reset' and 'Hold'.
 - Preset Iris**: Radio buttons for 'Off' and 'On'.
 - Preset Shutter**: Radio buttons for 'Off' and 'On'.
 - Preset Zoom Mode**: Radio buttons for 'Mode A' and 'Mode B'.
 - Freeze During Preset**: Radio buttons for 'Off' and 'On'.

Preset

設定は[SET]ボタンで確定します。



	プリセットサムネールをクリックすると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。 [Home]、[Preset001]～[Preset100]が選択できます。 プリセットポジション登録済みのプリセット番号は緑色で表示されます。
Preset001 (プリセット名称)	プリセット名称を表示します。 プリセット登録モード中にプリセット名称を選択して表示名を変更することができます。 半角1～15文字を入力できます。 使用可能な文字は0～9、A～Z、a～z、半角スペース、_(アンダースコア)です。
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 [1] - [12]	表示されているプリセットサムネールのページを切り替えます。
Home [Home]	ホームポジションへ移動します。
SET [SET]	プリセット登録モードに移行します。 プリセット登録モード中にプリセットサムネールをクリックすると、現在の状態を指定したプリセットポジションへ登録します。
DEL [DEL]	プリセット削除モードに移行します。プリセット削除モード中にプリセットサムネールをクリックすると、指定したプリセットポジション設定を削除します。

JPEG Image Save PICT001 Save Load DEL [Save]
JPEGイメージ(静止画)を取得し、保存します。 保存先に[PICT001]～[PICT100]または[STIL001]～[STIL005]を指定することができます。 [PICT***]を選択した場合は、対応したプリセット番号のサムネール画像を更新することができます、[STIL001]～[STIL005]を選択した場合は、より高解像度な静止画を保存することができます。 また、[STIL001]～[STIL005]が選択されている場合、[Load]および[DEL]ボタンが有効になり、保存した静止画の読み込みおよび削除が可能です。

● Limitation Setting

上下左右の回転台のリミット設定を行います。
まず、コントロールパッドを使ってリミット設定したい位置まで回転台を動かします。
リミット位置が決まると、下記の項目に該当するボタンをクリックして確定します。
再度、ボタンをクリックすると解除されます。

Tilt Up	現在の位置を上向きのリミットとして記憶します。
Tilt Down	現在の位置を下向きのリミットとして記憶します。
Pan Left	現在の位置を左向きのリミットとして記憶します。
Pan Right	現在の位置を右向きのリミットとして記憶します。

●Pan/Tilt Lens Control

カメラコントロール用に使用します。ライブ画面[Live]で操作するカメラコントローラーと同じ操作ができます。(→115ページ)

● Preset Setting

Preset PTZ Sync Mode [Off, On]

プリセットメモリーを再生したときの、パン・チルト・ズームの同時性を優先させるモードをOff/Onにします。

[On]に設定すると、パン・チルト・ズームの動作開始/終了タイミングの同時動作と、移動中のパン・チルト・ズームの動きをそろえるような制御を行います。

加えて、通常のプリセットメモリー再生よりも滑らかなズーム画角の変化で制御します。

〈NOTE〉

- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、[Lens]－[Zoom Mode]が強制的に[Opt.Zoom]に変更されます。(167ページ)
- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、[Preset Acceleration]の一部の設定項目が利用できません。(172ページ)
- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、[Preset Zoom Mode]は設定できません。(174ページ)

工場出荷時の設定: Off

Preset Speed Unit [Speed Table, Time]

プリセットメモリーに登録されているカメラの向きなどの情報を再現するときに、その再生時間のスピードを指定するか時間を指定するかを選択します。

Speed Table	プリセット再生時に、スピードを指定して再生します。
Time	プリセット再生時に、時間を指定して再生します。

工場出荷時の設定: Speed Table

Preset Speed Table [Slow, Fast]

プリセットスピードのテーブル(Slow, Fast)を設定します。プリセット再生時には、ここで設定したテーブルに従った[Preset Speed](1～30)の値でプリセットを実行します。

[Preset Speed Unit]が[Speed Table]のときに有効です。

工場出荷時の設定: Fast

Preset Speed [1～30 / 1s～99s]

[Preset Speed Unit]が[Speed Table]のとき: [1～30]

プリセットメモリーを再生する時のパン・チルトの動作スピードを、30段階で設定します。

工場出荷時の設定: 20

〈NOTE〉

- [Preset Speed]を大きな値に設定すると、停止するときに画面が揺らぐことがあります。

[Preset Speed Unit]が[Time]のとき: [1s～99s]

プリセットメモリーを再生する時のパン・チルトの動作時間を1秒～99秒で設定します。

工場出荷時の設定: 20s

〈NOTE〉

- パン・チルトの移動距離によっては、指定した時間と誤差が生じる場合があります。

Preset Acceleration [Manual, Auto]

プリセット再生の開始/停止時の加減速等の詳細設定を行うかどうかを設定します。

Manual	プリセット再生の開始/停止時の加速度等の詳細設定を行います。
Auto	プリセット再生の開始/停止時の加速度等を自動で動作させます。

工場出荷時の設定: Auto

Rise S-Curve [0～30]

パン・チルトの加速動作におけるS字カーブを31段階で設定します。(数字が大きいくほどS字の程度が強くなります)

プリセット再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための加速動作において、本設定で指定されたS字カーブにより加速処理を行います。

[Preset Acceleration]が[Manual]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 15

〈NOTE〉

- 加速応答を制限するため、S字カーブの段階は加速度が高くなるほど自動的に制限されます。
- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、本項目は設定できません。

Fall S-Curve [0～30]

パン・チルトの減速動作におけるS字カーブを31段階で設定します。(数字が大きいくほどS字の程度が強くなります)

プリセット再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための減速動作において、本設定で指定されたS字カーブにより減速処理を行います。

[Preset Acceleration]が[Manual]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 15

〈NOTE〉

- 減速応答を制限するため、S字カーブの段階は減速度が高くなるほど自動的に制限されます。
- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、本項目は設定できません。

Rise Acceleration [1～255]

パン・チルトの加速動作における加速度を255段階で設定します。(数字が大きいくほど加速度は大きくなります)

プリセット再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための加速動作において、本設定で指定された加速度により加速処理を行います。

[Preset Acceleration]が[Manual]、かつ[Preset Speed Unit]が[Speed Table]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 128

〈NOTE〉

- プリセット再生の最高到達速度が[Preset Speed]の指定速度となることを優先するため、ここで指定した加速度が小さい場合では、指定通りの動作とならない場合があります。
- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、本項目の設定内容は[Fall Acceleration]にも適用されます。([Rise Acceleration]と[Fall Acceleration]は共通の値で動作します)

Fall Acceleration [1～255]

パン・チルトの減速動作における減速度を255段階で設定します。(数字が大きいくほど減速度は大きくなります)

プリセット再生によるパン・チルト動作時、指定速度もしくは指定時間で動作するための減速動作において、本設定で指定された減速度により減速処理を行います。

[Preset Acceleration]が[Manual]、かつ[Preset Speed Unit]が[Speed Table]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 128

〈NOTE〉

- プリセット再生の最高到達速度が[Preset Speed]の指定速度となることを優先するため、ここで指定した減速度が小さい場合では、指定通りの動作とならない場合があります。
- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、本項目は設定できません。([Rise Acceleration]で設定された値が、[Fall Acceleration]にも適用されます)

Rise Ramp Time [0.1s～10.0s]

プリセット再生時の時間指定動作で加速時間を設定します。(0.1s～10.0sを0.1s単位で設定)

[Preset Acceleration]が[Manual]、かつ[Preset Speed Unit]が[Time]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0.1s

〈NOTE〉

- プリセット再生のトータル時間が[Preset Speed]の指定時間となることを優先するため、ここで指定した時間が[Preset Speed]で指定した時間の半分よりも大きいときは指定通りの動作にはなりません。
- デバイスの最高加速度でも指定時間での加速動作ができない場合、指定時間通りの動作にはなりません。
- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、本項目の設定内容は[Fall Ramp Time]にも適用されます。([Rize Ramp Time]と[Fall Ramp Time]は共通の値で動作します)

Fall Ramp Time [0.1s～10.0s]

プリセット再生時の時間指定動作で減速時間を設定します。(0.1s～10.0sを0.1s単位で設定)

[Preset Acceleration]が[Manual]、かつ[Preset Speed Unit]が[Time]のときに有効です。

工場出荷時の設定: 0.1s

〈NOTE〉

- プリセット再生のトータル時間が[Preset Speed]の指定時間となることを優先するため、ここで指定した時間が[Preset Speed]で指定した時間の半分よりも大きいときは指定通りの動作にはなりません。
- デバイスの最高減速度でも指定時間での減速動作ができない場合、指定時間通りの動作にはなりません。
- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、本項目は設定できません。([Rize Ramp Time]で設定された値が、[Fall Ramp Time]にも適用されます)

Preset Scope [Mode A、Mode B、Mode C]

プリセットメモリーを再生したときに呼び出す設定項目を選択します。

Mode A	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris、Gain、Shutter、ホワイトバランス調整値
Mode B	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus、Iris
Mode C	Pan、Tilt、Zoom (デジタルズーム含む)、Focus

工場出荷時の設定: Mode A

Preset Digital Extender [Off、On]

プリセットデジタルエクステンダー機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、プリセットメモリー再生時にデジタルエクステンダー機能の設定状態を呼び出します。

[Off]に設定すると、プリセットメモリー登録時のデジタルエクステンダー機能の設定状態は呼び出されません。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、本項目は設定できません。

Preset Crop [Off、On]

プリセットメモリーを再生したときに、[Crop Mode]の各メニューで設定していた内容を再現させるかどうかをOff/Onします。

[On]に設定すると、プリセットメモリー再生時に、[Crop Mode]の各メニューの値を再現させます。

[Off]に設定すると、プリセットメモリー再生時に、[Crop Mode]の各メニューの値を再現させずに、現在の値をそのまま維持します。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]のときに有効です。
- [Crop Mode]が[Off]または[Crop(1080)]の状態ではプリセットメモリーを登録しておき、[Crop Mode]が[Crop(720)]の状態でのこのプリセット再生を実施した場合、[Preset Crop]が[On]であっても、[Crop Mode]の各メニューで設定していた内容は再現されません。
- [Crop Mode]が[Crop(720)]の状態ではプリセットメモリーを登録しておき、[Crop Mode]が[Crop(1080)]の状態でのこのプリセット再生を実施した場合、[Preset Crop]が[On]であっても、[Crop Mode]の各メニューで設定していた内容は再現されません。

Preset Thumbnail Update [Off、On]

プリセットメモリーを登録したときに、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)を登録する機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、プリセットメモリー登録時に、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)を登録します。

[Off]に設定すると、プリセットメモリー登録時に、そのとき出力していた映像の静止画(サムネール)を登録せずに、事前に登録していた静止画(サムネール)を継続します。

工場出荷時の設定: On

〈NOTE〉

- [IP SIGNAL]－[IP(H.264/H.265)]－[CHAR]が[On]の場合は、メニュー画面がサムネールに取り込まれます。
- [Crop Mode]が[Crop(720)]または[Crop(1080)]の場合は、Full映像ではなく、切り出し後の映像の静止画を登録します。
- WEB画面などから、ユーザーファイルのアップロードを実施した場合、リセットメモリーで登録されている静止画(サムネール)は消去されます。(→199ページ)
- プリセットメモリーの連続登録(3秒以内で連続登録)を行った場合、2つ目以降のプリセットメモリーに対する静止画(サムネール)が登録できずに黒映像の静止画(サムネール)になる場合があります。

Preset Name [Reset、Hold]

プリセットメモリーを登録したときに、事前に登録されていたプリセット名称をリセットするか、維持するかの設定を行います。

Reset	プリセットメモリーを登録したときに、事前に登録していたプリセット名称をリセットします。 リセットするプリセット名称は、[Preset***]となります。(***は3桁のプリセット番号：001～100)
Hold	プリセットメモリーを登録したときに、事前に登録していたプリセット名称を維持します。

工場出荷時の設定: Reset

〈NOTE〉

- 工場出荷時には、プリセット名称は[Preset***]が設定されています。(***は3桁のプリセット番号：001～100)
- プリセット名称の登録は、Webブラウザから設定できます。
0～9、A～Z、a～z、_、半角スペース

Preset Iris [Off、On]

プリセットメモリーを再生したときに、Irisに関する各種メニュー値を再現させるかどうかをOff/Onします。

[On]に設定すると、プリセットメモリー再生時に以下の各メニューの値を再現させます。

- [PAINT] – [IRIS] – [AUTO IRIS]
- [PAINT] – [IRIS] – [WINDOW SELECT]
- [PAINT] – [IRIS] – [PICTURE LEVEL]
- [PAINT] – [IRIS] – [IRIS SPEED]

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [Preset Scope]が[Mode A]または[Mode B]のときに有効です。

Preset Shutter [Off、On]

プリセットメモリーを再生したときに、SHUTTERの設定値を再現させるかどうかをOff/Onします。

〈NOTE〉

- [Preset Scope]が[Mode A]のときに有効です。
- プリセットメモリーを登録したときのフレームレートと、プリセットメモリーを再生するときのフレームレートが一致するときのみ、SHUTTER値を再現させます。

Preset Zoom Mode [Mode A、Mode B]

プリセットメモリーを再生したときのズーム動作を選択します。

Mode A	パン・チルトの動作に合わせて滑らかなズーム動作を行います。
Mode B	パン・チルトの動作に合わせて一定速度でズーム動作を行います。

工場出荷時の設定: Mode A

〈NOTE〉

- [Preset PTZ Sync Mode]が[On]のとき、本項目は設定できません。

Freeze During Preset [Off、On]

プリセット再生中に映像をフリーズさせる機能をOff/Onします。

[On]に設定すると、プリセット再生開始直前の映像をフリーズ出力した状態でプリセット再生を実施し、プリセット再生を完了したときに映像のフリーズを解除します。

工場出荷時の設定: Off

連携機能 [Linkage]

■ トラッキングデータ出力設定画面 [Tracking Data Output]

トラッキングデータ出力モードと、IPモード時の通信先を設定します。
IPモード有効時の通知先は最大で4つまで設定できます。

● Setting status

トラッキングデータ出力モードの設定とIPモード時の宛先を表示します。

Setting status		
Connection type	Serial	IP(UDP)
	Off	Off
IP out	IP address	Port
1.	192.168.0.111	1111
2.	192.168.0.112	1112
3.	192.168.0.113	1113
4.	192.168.0.114	1114

● Connection type

Connection type	
Camera ID	255 Set
Serial	☐ On ☒ Off
IP(UDP)	☐ On ☒ Off
Invert Pan/Tilt Axis	☐ On ☒ Off

Camera ID [0~255]

トラッキングデータのCamera IDを設定します。

工場出荷時の設定: 255

Serial [On, Off]

シリアル出力(RS-422)から、Pan/Tilt/Zoom情報等のトラッキングデータを、Genlock信号に同期して出力する機能のOn/Offを設定します。(→80ページ)

On設定時に警告メッセージが出ますので、設定を有効にする場合は[OK]ボタンをクリックしてください。

工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- [Serial]が[On]のときは、RS-422端子からのカメラ制御コマンドは動作しません。
- 以下のとき、トラッキングデータの出力が遅延したり、値が更新されない場合があります。
 - OSDメニューの表示中
 - プリセット再生中に、プリセット再生を実施したとき
 - AWB/ABBを実行したとき
 - 赤タリまたは緑タリ信号入力のOff/Onが変わったとき
 - プリセットメモリーを削除したとき
 - 出力映像がFlip(上下左右反転)したとき
 - [SCENE]を切り替えたとき
 - [IRIS]を切り替えたとき
 - [WHITE BALANCE MODE]を切り替えたとき
 - [COLOR TEMP SETTING]の各項目を切り替えたとき
 - [Gamma]を切り替えたとき
 - [MATRIX]を切り替えたとき

- [FOCUS MODE]を切り替えたとき
- [Zoom Mode]を切り替えたとき
- [MAX DIGITAL ZOOM]を切り替えたとき
- [DIGITAL EXTENDER]を切り替えたとき
- [FAN SETTING]を切り替えたとき
- [Tally]を切り替えたとき
- [Crop Mode]のCrop枠の移動を行ったとき
- [INSTALL POSITION]を切り替えたとき
- [Preset Speed Unit]を切り替えたとき
- [Maintenance]の[Reset to the default (Except the network settings)]を行ったとき

IP(UDP) [On, Off]

IP出力から、Pan/Tilt/Zoom情報等のトラッキングデータを、Genlock信号に同期してUDPで出力する機能のOn/Offを設定します。(→79ページ)

[On]設定時に警告メッセージが出ますので、設定を有効にする場合は[OK]ボタンをクリックしてください。

工場出荷時の設定: Off

(NOTE)

- [IP(UDP)]が[On]のとき、IP配信映像に遅延またはフレーム欠落が発生する場合があります。
IP配信映像の遅延およびフレーム欠落を避けたい場合は、[IP(UDP)]を[Off]にすることを推奨します。
- 以下のとき、トラッキングデータの出力が遅延したり、値が更新されない場合があります。
 - IP配信 (M-JPEG/H.264/H.265/RTMP/RTMPS/NDI/NDI|HX/SRT) を実施しているとき
 - Web画面(ライブ画面[Live]/Web設定画面[Setup])を開いているとき
 - OSDメニューの表示中
 - プリセット再生中に、プリセット再生を実施したとき
 - AWB/ABBを実行したとき
 - 赤タリまたは緑タリ信号入力のOff/Onが変わったとき
 - プリセットメモリーを削除したとき
 - 出力映像がFlip(上下左右反転)したとき
 - [SCENE]を切り替えたとき
 - [IRIS]を切り替えたとき
 - [WHITE BALANCE MODE]を切り替えたとき
 - [COLOR TEMP SETTING]の各項目を切り替えたとき
 - [Gamma]を切り替えたとき
 - [MATRIX]を切り替えたとき
 - [FOCUS MODE]を切り替えたとき
 - [Zoom Mode]を切り替えたとき
 - [MAX DIGITAL ZOOM]を切り替えたとき
 - [DIGITAL EXTENDER]を切り替えたとき
 - [FAN SETTING]を切り替えたとき
 - [Tally]を切り替えたとき
 - [Crop Mode]のCrop枠の移動を行ったとき
 - [INSTALL POSITION]を切り替えたとき
 - [Preset Speed Unit]を切り替えたとき
 - [Maintenance]の[Reset to the default (Except the network settings)]を行ったとき

Invert Pan/Tilt Axis [On, Off]

トラッキングデータのうち、Pan/Tiltの情報を反転させて出力するかどうかを設定します。

On	Pan/Tiltの情報を反転させて出力します。
Off	Pan/Tiltの情報を反転しません。

工場出荷時の設定: Off

● IP out

IP out	
Output client select	☐ Client 1 ☐ Client 2 ☐ Client 3 ☐ Client 4
Client 1	
IP address(IPv4)	192.168.0.111
Port	1111 (1-65535)
Client 2	
IP address(IPv4)	192.168.0.112
Port	1112 (1-65535)
Client 3	
IP address(IPv4)	192.168.0.113
Port	1113 (1-65535)
Client 4	
IP address(IPv4)	192.168.0.114
Port	1114 (1-65535)
Set	

Output client select [Client 1～4]

[IP(UDP)]が[On]のときにトラッキングデータを通知する4つのクライアントの有効/無効を切り替えます。
 ここで有効に設定したクライアントに対し、Pan/Tilt/Zoom情報等のトラッキングデータをUDPで通知します。
 設定は[Set]ボタンで確定します。

工場出荷時の設定:

Client 1: 無効
 Client 2: 無効
 Client 3: 無効
 Client 4: 無効

〈NOTE〉

- 有効なクライアントに対しシステム周波数の間隔でUDPパケットが送信されるため、通知が不要なクライアントは無効に設定してください。
- 複数のクライアントが有効になっている場合、2つ目以降のクライアントへのUDPパケットの送信タイミングは、Genlock信号に対して遅延が定期的に発生します。
 (1クライアントごとに、約200～300μsecの遅延が発生します。遅延量は本機のシステムの状態およびネットワーク環境によっては増加する場合があります。)

Client 1～4

IP address(IPv4)

Pan/Tilt/Zoom情報等のトラッキングデータをUDPで通知する宛先のIPアドレスを設定します。
 設定は[Set]ボタンで確定します。

工場出荷時の設定:

Client 1: 192.168.0.111
 Client 2: 192.168.0.112
 Client 3: 192.168.0.113
 Client 4: 192.168.0.114

〈NOTE〉

- トラッキングデータ通知先のアドレスはIPv4のみ設定できます。
- 通知先にマルチキャストアドレスは指定できません。

Port

Pan/Tilt/Zoom情報等のトラッキングデータをUDPで通知する宛先のポート番号を設定します。
 設定は[Set]ボタンで確定します。
 以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
 20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000

工場出荷時の設定:

Client 1: 1111
 Client 2: 1112
 Client 3: 1113
 Client 4: 1114

〈NOTE〉

- IP Addressとポートの組み合わせが2つ以上のクライアントで重複した場合は設定できません。

■ Kairos Cloud接続設定画面 [Kairos Cloud]

Kairos Cloudに対する接続の有効/無効と接続先のサーバーURLとユーザーアカウント設定をします。
 設定は[Set]ボタンで確定します。

Kairos Cloud	
Mode	☒ Off ☐ On
Cloud URL	
User ID	
Password	
Recommended Kairos Cloud Platform Setting	☐
Set	

Mode [On、Off]

本機をネットワーク経由でKairos Cloudに接続するか設定します。
 工場出荷時の設定: Off

Cloud URL

[Mode]が[On]のときに接続するKairos CloudのサーバーURLを設定します。

〈NOTE〉

- URLは最大512文字まで設定できます。

User ID

[Mode]が[On]のときにKairos Cloudへ接続するユーザーIDを設定します。

Password

[Mode]が[On]のときにKairos Cloudへ接続するパスワードを設定します。

Recommended Kairos Cloud Platform Setting

Kairos Cloud Platformに接続するための推奨設定に、自動的に本機の設定を切り替えます。

〈NOTE〉

- 推奨設定変更後に本機は自動的に再起動を行います。

■ Cyclic Synchronous Position Control設定画面 [Cyclic Synchronous Position Control]

Cyclic Synchronous Position Control	
Mode	☒ Off ☐ On
Destination IP address	192.168.0.115
Destination port	1115
Source port	1116
Cycle time	16 ms
Set	

Mode [On, Off]

Cyclic Synchronous Position Controlモードの有効/無効を設定します。(→ 177ページ)

(NOTE)

- 本機の電源をOFFまたはスタンバイモードに移行すると、本モードは強制的に[Off]に設定されます。
- 本モードが[On]のとき、通常のPan/Tilt制御は実施できません。(Pan/Tilt関連の制御コマンドも動作しません)
- Pan/Tiltが動作中は、本モードを[On]に設定できません。

Destination IP Address

Cyclic Synchronous Position Controlにて制御するクライアントのIPアドレスを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.115

Destination Port

Cyclic Synchronous Position Controlにて制御するクライアントのポート番号を入力します。

工場出荷時の設定: 1115

Source Port

Cyclic Synchronous Position Controlの制御コマンドを受信するポート番号(本機のポート番号)を入力します。

工場出荷時の設定: 1116

Cycle time [8 ~ 255]

Cyclic Synchronous Position Controlのコマンド送信間隔(msec)を入力します。

ここで指定された送信間隔で本機からクライアントに対してReady信号が発行されます。(→ 177ページ)

工場出荷時の設定: 16

■ CSP(Cyclic Synchronous Position) Controlについて

より高精度なPan/Tilt制御を行うための動作モードです。

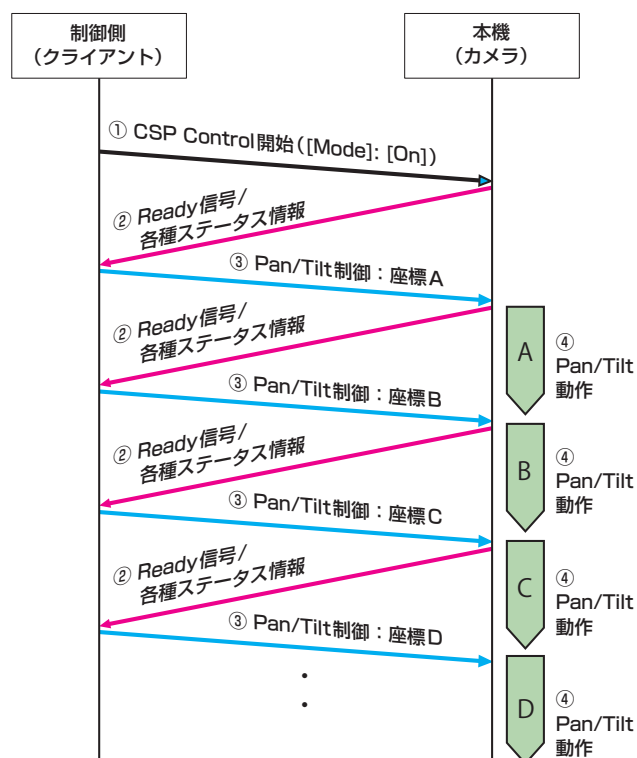
- Pan/Tilt制御コマンドの送信タイミングをカメラ側が規定することで、従来よりも短い周期(固定周期)でのコマンド制御を実現します。
- 通信プロトコルをUDPとすることで、TCP通信によるオーバーヘッドを軽減します。

動作シーケンスとしては以下のようになります。

- CSP Controlを開始します。([Mode]を[On]にする)
 - Webブラウザから[Mode]を[On]にするか、もしくは所定のコマンドで[Mode]を[Off] → [On]に変更します。
 - [Mode]を[On]にするコマンドはCGIコマンド(HTTP)での制御となります。(UDPコマンドではありません)
- 本機(カメラ)から制御側(クライアント)に対して、Ready信号を発行します。
 - [Destination IP Address]/[Destination Port]で指定された送信先(制御側/クライアント)に対して、Ready信号を発行します。
 - [Cycle time]で指定された間隔ごとに、Ready信号を発行します。
 - 本Ready信号と合わせて、Pan/Tilt制御に必要なステータス情報を付加して送信します。
 - UDP通信を利用します。
- 制御側(クライアント)から本機(カメラ)に対して、Pan/Tilt制御コマンドを発行します。
 - 本機(カメラ)からのReady信号を受けた直後に、本制御コマンドが発行されることを想定しています。
 - UDP通信を利用します。
- Pan/Tilt制御コマンドに従って、本機(カメラ)がPan/Tilt動作を実行します。

以降、②～④の動作を連続的に繰り返すことによって、より高精度なPan/Tilt動作を実現させます。

動作シーケンス(イメージ)



■ コマンド詳細仕様

コマンドの詳細仕様は以下となります。

① CSP Controlの開始/終了（[Mode]の[On]/[Off]）

CGIコマンド（HTTP通信）にて、以下の要領で開始/終了を制御します。

/cgi-bin/csp_control_mode?mode=0 (Off)

/cgi-bin/csp_control_mode?mode=1 (On)

② Ready信号

UDP通信にて、以下のデータ形式でReady信号を通知します。

ブロック	データ長	値
<Version>	2 [Byte]	00 01h
<Command Type>	1 [Byte]	02h
<Data Length>	2 [Byte]	00 09h
<Data>	9 [Byte]	Status : 1 [Byte] bit0 : PAN同期状態 0 : 同期、1 : 非同期 bit1 : PAN端減速 0 : 減速なし、1 : 端減速中 bit2 : PAN速度制約 0 : OK、1 : 範囲外 bit3 : PAN加速度制約 0 : OK、1 : 範囲外 bit4 : TILT同期状態 0 : 同期、1 : 非同期 bit5 : TILT端減速 0 : 減速なし、1 : 端減速中 bit6 : TILT速度制約 0 : OK、1 : 範囲外 bit7 : TILT加速度制約 0 : OK、1 : 範囲外 PAN速度率 (%) : 1 [Byte] PANのMAX速度に対する指示速度率 (%) : 00～64h PAN加速度率 (%) : 1 [Byte] PANのMAX加速度に対する指示加速度率 (%) : 00～64h TILT速度率 (%) : 1 [Byte] TILTのMAX速度に対する指示速度率 (%) : 00～64h TILT加速度率 (%) : 1 [Byte] TILTのMAX加速度に対する指示加速度率 (%) : 00～64h PAN目標位置 : 2 [Byte] 2D 09h : CCW Limit : 80 00h : Center : D2 F5h : CW Limit TILT目標位置 : 2 [Byte] 1C 71h : UP Limit : 80 00h : Center : 8E 38h : DOWN Limit

③ Pan/Tilt制御コマンド

UDP通信にて、以下のデータ形式でPan/Tilt制御コマンドを発行します。

ブロック	データ長	値
<Version>	2 [Byte]	00 01h
<Command Type>	1 [Byte]	01h
<Data Length>	2 [Byte]	00 04h
<Data>	4 [Byte]	PAN目標位置 : 2 [Byte] 2D 09h : CCW Limit : 80 00h : Center : D2 F5h : CW Limit TILT目標位置 : 2 [Byte] 1C 71h : UP Limit : 80 00h : Center : 8E 38h : DOWN Limit

ユーザー管理画面 [User mng.]

ユーザー管理画面 [User mng.] では、パーソナルコンピュータや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーやパーソナルコンピュータ（IPアドレス）を制限する認証登録を行います。
ユーザー管理画面 [User mng.] は、[User auth.]、[Host auth.] で構成されています。

■ ユーザー認証設定画面 [User auth.]

ユーザー管理画面 [User mng.] の [User auth.] をクリックします。
パーソナルコンピュータや携帯端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。
最大9ユーザーまで登録できます。

〈NOTE〉

- 同じIPアドレスのパーソナルコンピュータから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

● Setting status

現状のユーザー認証の設定とユーザー認証方式の設定を表示します。また、現在登録されているアカウント情報を表示します。

Setting status		
User auth.	Authentication	
Off	Digest	
	User name	Access level
1.	admin	Administrator

● Mode

Mode.	
User auth.	☐ On ☒ Off
Authentication	☐ Basic ☒ Digest
Wait time mode	☒ Mode1 ☐ Mode2
Current "User auth." setting have possibility include vulnerability parameter.	
Set	

User auth. [On, Off]

ユーザー認証を行うかどうかを On/Off で設定します。
設定は [Set] ボタンで確定します。
工場出荷時の設定: Off

Authentication [Basic, Digest]

ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。
設定は [Set] ボタンで確定します。

Basic	ベーシック認証を使用します。
Digest	ダイジェスト認証を使用します。

工場出荷時の設定: Digest

Wait time mode [Mode1, Mode2]

パーソナルコンピュータや当社製コントローラーから本機を制御する際に、ユーザー認証で認証に失敗した場合、再入力するまでの待ち時間のモードを設定します。

Mode1	[Mode2] に比べ再入力までの待ち時間が長くなります。セキュリティ面を優先される場合に推奨の設定です。
Mode2	再入力までの待ち時間が短くなります。操作性を優先される場合に推奨の設定です。

工場出荷時の設定: Mode1

〈NOTE〉

- 当社製コントローラー（AW-RP150、AW-RP60）を使用する場合、ダイジェスト認証のときは [Wait time mode] を [Mode2] に設定してご利用ください。
[Wait time mode] を [Mode1] に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。

● Add user

Add user.	
User name	
Password	
Retype password	
Access level	☒ 1.Administrator ☐ 2.Camera control
Set	

User name

[半角1～32文字]

ユーザー名を入力します。
設定は [Set] ボタンで確定します。
・使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字/小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	! \$ % ' () * + , - . / ? @ [] ^ _ ` ~

Password

Retype password

[半角4～32文字]

パスワードを入力します。
設定は [Set] ボタンで確定します。

Access level [1.Administrator, 2.Camera control]

ユーザーのアクセスレベルを設定します。
設定は [Set] ボタンで確定します。

1.Administrator	本機のすべての操作を行うことができます。
2.Camera control	ライブ画面 [Live] での操作のみ行うことができます。

工場出荷時の設定: 1.Administrator

● Delete user

本機に登録されているユーザーアカウントを削除します。
右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

Delete user.		
User name	Access level	
1. admin	Administrator	Delete

■ ホスト認証設定画面 [Host auth.]

ユーザー管理画面 [User mng.] の [Host auth.] をクリックします。本機にアクセスできるパーソナルコンピュータ（IPアドレス）を制限するホスト認証設定を行います。

● Setting status

The screen shows the 'Setting status' section with 'Host auth.' set to 'Off'. Below this, there are labels for 'Host IP address' and 'Access level'.

Host auth.

ホスト認証の設定を表示します。

Host IP address

ホストのIPアドレスを表示します。

Access level

ホストのアクセスレベルを表示します。

● Mode

The screen shows the 'Mode' section with 'Host auth.' set to 'Off'. There is a 'Set' button below the status.

Host auth. [On, Off]

ホスト認証をするかどうかをOn/Offで設定します。
設定は [Set] ボタンで確定します。

工場出荷時の設定: Off

● Add host

The screen shows the 'Add host' section with an 'IP address' input field and 'Access level' selection buttons for '1.Administrator' and '2.Camera control'. A 'Set' button is at the bottom.

IP address

本機へのアクセスを許可するパーソナルコンピュータのIPアドレスを入力します。ホスト名をIPアドレスとして入力することはできません。

〈NOTE〉

- 「IPアドレス/サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるパーソナルコンピュータを制限できます。たとえば、「192.168.0.1/24」と入力し、[Access level] で [2.Camera control] を選択した場合は、「192.168.0.1」～「192.168.0.254」のパーソナルコンピュータが [2.Camera control] のアクセスレベルで本機へアクセスできます。
- 登録済みのIPアドレスを入力し、[Set] ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

Access level [1.Administrator、2.Camera control]

ホストのアクセスレベルを選択します。

設定は [Set] ボタンで確定します。

1.Administrator	本機のすべての操作ができます。
2.Camera control	画像表示、本機の操作ができます。本機の設定はできません。

工場出荷時の設定: 2.Camera control

● Delete host

本機に登録されているホスト情報を削除します。

右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したホスト情報を削除できます。

The screen shows the 'Delete host' section with a table of registered hosts. Each row has a 'Delete' button.

	IP address	Access level	
1	192.168.0.20	Administrator	Delete
2	192.168.0.30	Camera control	Delete

ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面 [Network] では、ネットワークに関する設定を行います。
ネットワーク設定画面 [Network] は、[Network]、[Advanced] で構成されています。

■ ネットワーク設定画面 [Network]

ネットワーク設定画面 [Network] の [Network] をクリックします。
設定は各項目のページにて行います。
以降の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- HTTPポート
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNSを使用する場合）、ドメイン

Network	Setting status
Setting status	
LAN	LAN
SFP+	IPv4
USB	IPv4
DNS	IPv4
Domain	IPv4
Common	IPv4

〈NOTE〉

- LAN/SFP+/USB で設定されている IP アドレスのサブネットが重複している場合、本機のネットワーク接続性の保証はできませんので、マニュアルで設定する IP アドレス、DHCP で割り当てられる IP アドレスに注意してください。
- サブネットが異なる IP アドレスへの接続を行う場合は、使用するインターフェースのメトリックが最小値となるように設定してください。
例）ドメイン名を名前解決したときの IP アドレスと接続する場合は、使用するインターフェースのメトリックを最小に設定してください。
- マルチキャスト通信を行う場合には、使用するインターフェースのメトリックを最小に設定してください。
- SFP+ インターフェースを使用した Media over IP 機能以外のマルチキャスト通信は、行うことができません。
- 同一サブネットを設定してしまい本機へのアクセスができなくなった場合は、EasyIP Setup tool にて異なるサブネットの IP アドレスを設定し、再度 Web ページより設定の見直しをしてください。
- 各インターフェースのメトリック値を同じ値に設定している場合、本機のネットワーク接続性の保証はできませんので、マニュアルで設定する IP アドレス、DHCP で割り当てられる IP アドレスに注意してください。

● LAN

LAN

IPv4 network

DHCP

IP address(IPv4)

Subnet mask

Default gateway

IPv6 network

Manual

IP address(IPv6)

Default gateway

DHCPv6

Metric

Set

IPv4 network

DHCP [On, Off]

IP アドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [DHCP] を [On] に設定している場合、AW-RP150 または AW-RP60 からの IP アドレス自動設定 (AUTO IP) を利用できません。

IP address (IPv4)

DHCP 機能を使用しない場合、本機の IP アドレスを入力します。パーソナルコンピューターや他のネットワークカメラに設定した IP アドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.0.10

〈NOTE〉

- DHCP 機能を使用する場合でも、複数の IP アドレスは使用できません。DHCP サーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP 機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway

DHCP 機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.1

〈NOTE〉

- DHCP 機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数の IP アドレスは使用できません。
DHCP サーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

IPv6 network

Manual [On, Off]

IPv6 アドレスを手動で設定するかどうかを On / Off で設定します。

On	手動で IPv6 アドレスを入力します。
Off	IPv6 アドレスの手動入力できません。

工場出荷時の設定: Off

IP address (IPv6)

[Manual]を[On]に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。

他の機器と重複しないよう入力してください。

〈NOTE〉

- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるプレフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。
- リンクローカルアドレスは設定できません。

Default gateway

[IPv6 network]の[Manual]が[On]のとき、本機のIPv6ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 空欄

〈NOTE〉

- [DHCPv6]が[On]の場合はデフォルトゲートウェイの設定を行うことはできません。

DHCPv6 [On, Off]

IPv6のDHCP機能を使用するかどうかをOn/Offで設定します。DHCP機能を使用しないパーソナルコンピューターと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

On	IPv6のDHCP機能を使用します。
Off	IPv6のDHCP機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

Metric [100～110]

本機のLANインターフェースの優先度を設定します。[SFP+]/[USB]で設定した値と比較し、数値が低いインターフェースに優先的にパケットが出力されます。

工場出荷時の設定: 100

● SFP+

SFP+

IPv4 network

DHCP ☒ On ☐ Off

IP address(IPv4) 192.168.1.10

Subnet mask 255.255.255.0

Default gateway 192.168.1.1

Metric 100 (100~110)

Set

〈NOTE〉

- [Basic Config] - [SFP+ Mode]が[12G Output]のときは、設定できません。

IPv4 network

DHCP [On, Off]

IPアドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [DHCP]を[On]に設定している場合、AW-RP150またはAW-RP60からのIPアドレス自動設定(AUTO IP)を利用できません。

IP address (IPv4)

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パーソナルコンピューターや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.0.10

〈NOTE〉

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.0.1

〈NOTE〉

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Metric [100～110]

本機のSFP+インターフェースの優先度を設定します。

[LAN]/[USB]で設定した値と比較し、数値が低いインターフェースに優先的にパケットが出力されます。

工場出荷時の設定: 103

● USB

USB

IPv4 network

DHCP ☒ On ☐ Off

IP address(IPv4) 192.168.2.10

Subnet mask 255.255.255.0

Default gateway 192.168.2.1

IPv6 network

Manual ☒ On ☐ Off

IP address(IPv6)

Default gateway

DHCPv6 ☒ On ☐ Off

Metric 100 (100~110)

Set

IPv4 network

DHCP [On]

IPアドレスの設定方法を選択します。

工場出荷時の設定: Off

〈NOTE〉

- [DHCP]を[On]に設定している場合、AW-RP150またはAW-RP60からのIPアドレス自動設定(AUTO IP)を利用できません。

IP address (IPv4)

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。パーソナルコンピュータや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

工場出荷時の設定: 192.168.3.10

(NOTE)

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Subnet mask

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。

工場出荷時の設定: 255.255.255.0

Default gateway

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 192.168.3.1

(NOTE)

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。
DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

IPv6 network**Manual [On, Off]**

IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn / Offで設定します。

On	手動でIPv6アドレスを入力します。
Off	IPv6アドレスの手動入力できません。

工場出荷時の設定: Off

IP address (IPv6)

[Manual]を[On]に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。

他の機器と重複しないよう入力してください。

(NOTE)

- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるプレフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。
- リンクローカルアドレスは設定できません。

Default gateway

[IPv6 network]の[Manual]が[On]のとき、本機のIPv6ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。

工場出荷時の設定: 空欄

(NOTE)

- [DHCPv6]が[On]の場合はデフォルトゲートウェイの設定を行うことはできません。

DHCPv6 [On, Off]

IPv6のDHCP機能を使用するかどうかをOn/Offで設定します。DHCP機能を使用しないパーソナルコンピュータと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

On	IPv6のDHCP機能を使用します。
Off	IPv6のDHCP機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Off

Metric [100～110]

本機のUSBインターフェースの優先度を設定します。

[LAN]/[SFP+]で設定した値と比較し、数値が低いインターフェースに優先的にパケットが出力されます。

工場出荷時の設定: 109

● DNS
DNS [Auto, Manual]

DNSサーバーの設定方法を選択します。

設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

工場出荷時の設定: Manual

Primary server address**Secondary server address**

DNSサーバーのIPv4/IPv6アドレスを入力します。

DNSサーバーのIPv4/IPv6アドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

● Domain
Domain

本機が所属するドメインを設定します。

● Common (IPv6/IPv4共通)
HTTP port [1～65535]

ポート番号を個別に割り当てます。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定: 80

Max RTP packet size

[Unlimited-1500byte、Limited-1280byte]

RTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信するRTPパケットサイズを制限するかどうかを設定します。

Unlimited-1500byte	制限なし (1500 byte)
Limited-1280byte	制限あり (1280 byte)

工場出荷時の設定: Unlimited-1500byte

通常は、[Unlimited-1500byte]のまま使用することをお勧めします。

使用する通信回線のパケットサイズが制限されている場合は、[Limited-1280byte]を選択してください。通信回線の最大パケットサイズについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

HTTP max segment size (MSS)

[Unlimited(1460byte)、Limited(1280byte)、Limited(1024byte)]

HTTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ(MSS)を制限するかどうかを設定します。

Unlimited(1460byte)	制限なし (1460 byte)
Limited(1280byte)	制限あり (1280 byte)
Limited(1024byte)	制限あり (1024 byte)

工場出荷時の設定: Unlimited(1460byte)

通常は、初期設定のまま使用することをお勧めします。

使用する通信回線の最大セグメントサイズ(MSS)が制限されている場合は、[Limited(1024byte)] / [Limited(1280byte)]を選択してください。通信回線の最大セグメントサイズ(MSS)については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Easy IP Setup accommodate period

[20min、Unlimited]

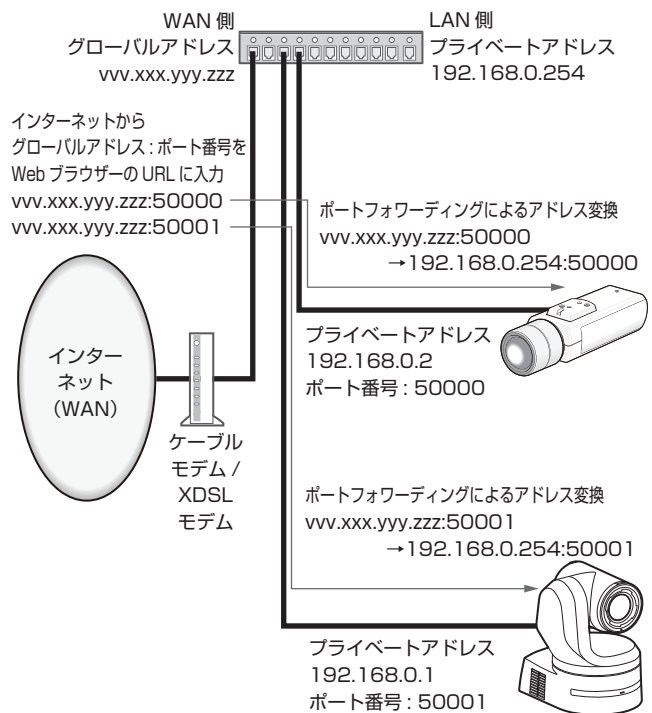
EasyIP Setup Tool Plusからネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから[20min] / [Unlimited]のどちらかに設定します。

20min	EasyIP Setup Tool Plusでのカメラ設定操作を、本機起動後20分間のみに有効にします。
Unlimited	EasyIP Setup Tool Plusでのカメラ設定操作を常時有効にします。

工場出荷時の設定: 20min

(NOTE)

- EasyIP Setup Tool Plusでのカメラ表示は常時有効で、カメラ画面を開くことができます。
- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換(NAT)」などがあります。この機能はルーターに設定します。
- ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。



■ ネットワーク詳細設定画面 [Advanced]

ネットワーク設定画面[Network]の[Advanced]をクリックします。ここでは、NTP、HTTPS機能について設定します。各項目へのリンクをクリックすると、それぞれの設定ページに移動します。

● NTP

ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。

設定は[Set]ボタンで確定します。

NTP	
Synchronization with NTP	☒ On ☐ Off
NTP server address setting	Manual
NTP server address	
NTP port	123 (1-65535)
Time adjustment interval	1h
Set	

Synchronization with NTP [On, Off]

On	NTPサーバーとの同期により自動的に調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。
Off	時計設定画面[Date&Time]で設定した時刻が、本機の標準時間として使用されます。

工場出荷時の設定: Off

NTP server address setting [Auto, Manual]

NTPサーバーアドレスの取得方法を選択します。

Auto	DHCPサーバーからNTPサーバーアドレスを取得します。
Manual	NTPサーバーアドレスを[NTP server address]に入力して設定します。

工場出荷時の設定: Manual

〈NOTE〉

- NTPサーバーアドレスをDHCPサーバーから取得する場合は、ネットワーク設定画面[Network]の[Network]で、[DHCP]または[DHCPv6]を[On]に設定する必要があります。(→181ページ)

NTP server address

[NTP server address setting]で[Manual]を選択した場合は、NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字数	1～128文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号：、 _ -

工場出荷時の設定: 空欄

〈NOTE〉

- [NTP server address]のホスト名を入力するには、ネットワーク設定画面[Network]の[Network]で[DNS]の設定を行う必要があります。(→181ページ)
- [NTP server address]にリンクローカルアドレスを設定した場合は動作しません。

NTP port [1～65535]

NTPサーバーのポート番号を入力します。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、
161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、
7960～8060、10669、10670、11900、59000～
61000

工場出荷時の設定: 123

Time adjustment interval [1h～24h]

NTPサーバーから時刻を取得する間隔（1～24時間で1時間単位）を選択します。

工場出荷時の設定: 1h

● HTTPS

HTTPS機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。

設定は[Set]ボタンで確定します。

HTTPSの設定方法については、190ページを参照してください。

HTTPS	
CRT key generate	Execute
Self-signed Certificate Generate	Execute
Information	Confirm Delete Not generated
CA Certificate Generate Certificate Signing Request	Execute
CA Certificate install	Select Execute
Information	Confirm Delete Invalid
Connection	HTTP
HTTPS port	443 (1-65535)
HTTPS mode	TLS1.2
	Set

CRT key generate

HTTPSで使用するCRT鍵(SSL暗号化キー)を生成します。

CRT鍵の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される「CRT key generate」ダイアログで行います。

詳細は「CRT鍵(SSL暗号化キー)の生成」(→191ページ)を参照してください。

Self-signed Certificate - Generate

HTTPSで使用するセキュリティ証明書を本機自身で生成します。(自己証明書)

自己証明書(セキュリティ証明書)の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される、「Self-signed Certificate - Generate」ダイアログで行います。

詳細は「自己証明書(セキュリティ証明書)の生成」(→191ページ)を参照してください。

Self-signed Certificate - Information

自己証明書(セキュリティ証明書)の情報が表示されます。

[Confirm]ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、「Self-signed Certificate - Confirm」ダイアログに表示されます。

[Delete]ボタンをクリックすると、生成した自己証明書(セキュリティ証明書)を削除します。

CA Certificate - Generate Certificate Signing Request

HTTPSで使用するセキュリティ証明書として、認証機関(CA: Certificate Authority)によって発行されたセキュリティ証明書を使用する場合に、認証機関に申請するための署名リクエスト(CSR: Certificate Signing Request)を生成します。

署名リクエスト(CSR)の生成は、[Execute]ボタンをクリックすると表示される、「CA Certificate - Generate Certificate Signing Request」ダイアログで行います。

詳細は「署名リクエスト(CSR)の生成」(→192ページ)を参照してください。

CA Certificate - CA Certificate install

認証機関から発行されたサーバー証明書(セキュリティ証明書)のインストールおよびインストールされたサーバー証明書(セキュリティ証明書)の情報表示を行います。

[Select]ボタンをクリックすると表示される「ファイルを開く」ダイアログで、認証機関から発行されたサーバー証明書(セキュリティ証明書)のファイルを選択し、[Execute]ボタンをクリックするとサーバー証明書(セキュリティ証明書)のインストールが実行されます。サーバー証明書(セキュリティ証明書)がインストールされている場合は、インストールしたサーバー証明書のファイル名を表示します。詳細は「サーバー証明書のインストール」(→193ページ)を参照してください。

CA Certificate - Information

サーバー証明書(セキュリティ証明書)の情報が表示されます。

[Confirm]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書(セキュリティ証明書)の登録内容が、「サーバー証明書確認」ダイアログに表示されます。サーバー証明書(セキュリティ証明書)をインストールしていない場合は、生成した署名リクエスト(CSR)の内容が表示されます。

[Delete]ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書(セキュリティ証明書)を削除します。

〈NOTE〉

- 有効なサーバー証明書(セキュリティ証明書)を削除する場合は、パーソナルコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書(セキュリティ証明書)のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書(セキュリティ証明書)が必要になります。

Connection [HTTP、HTTPS]

本機への接続方法を設定します。

HTTP	HTTP接続のみ可能になります。
HTTPS	HTTPS接続のみ可能になります。

工場出荷時の設定: HTTP

詳細は「接続方法の設定」(→193ページ)を参照してください。

〈NOTE〉

- HTTPS接続の場合、AW-RP120、AW-RP50、AK-HRP200をネットワークで接続できません。

HTTPS port [1～65535]

HTTPSで使用するポート番号を設定します。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定: 443

〈NOTE〉

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合:
HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書(セキュリティ証明書)をパーソナルコンピュータにインストールしてください。(→194ページ)
- サーバー証明書を使用する場合:
あらかじめご使用のWebブラウザに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。
ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声が入り切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

HTTPS mode [TLS1.0/1.1/1.2/1.3、TLS1.2、TLS1.3]

HTTPSでカメラにアクセスする際の暗号プロトコルを設定します。

TLS1.0/1.1/1.2/1.3	HTTPS有効時にTLS1.0/1.1/1.2/1.3での接続を許可します。
TLS1.2	HTTPS有効時にTLS1.2での接続を許可します。
TLS 1.3	HTTPS有効時にTLS1.3での接続を許可します。

工場出荷時の設定: TLS1.2

● RTSP

RTSP機能に関する設定を行います。RTSP機能ではIP映像配信で使用するRTSPの通信ポートおよびRTSP request URLを設定します。設定は[Set]ボタンで確定します。

RTSP

RTSP port	554	(1-65535)
RTSP request URL H.264(1)	MediaInput/h264/stream_1	
RTSP request URL H.264(2)	MediaInput/h264/stream_2	
RTSP request URL H.264(3)	MediaInput/h264/stream_3	
RTSP request URL H.264(4)	MediaInput/h264/stream_4	
RTSP request URL H.265(1)	MediaInput/h265/stream_1	
	Set	

RTSP port [1～65535]

RTSP受信ポート番号を設定します。

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、546、547、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定: 554

RTSP request URL

IP映像配信要求を本機に対して行う場合に、RTSPで指定するURLの設定を行います。

RTSP request URL H.264(1)	H.264(1) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.264(2)	H.264(2) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.264(3)	H.264(3) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.265(1)	H.265(1) 映像配信用RTSP URL
RTSP request URL H.265(2)	H.265(2) 映像配信用RTSP URL

工場出荷時の設定:

RTSP request URL H.264(1)	MediaInput/h264/stream_1
RTSP request URL H.264(2)	MediaInput/h264/stream_2
RTSP request URL H.264(3)	MediaInput/h264/stream_3
RTSP request URL H.265(1)	MediaInput/h265/stream_1
RTSP request URL H.265(2)	MediaInput/h265/stream_2

- 入力可能な文字数は255文字です。
- 使用可能な文字は次の通りです。

半角数字	0123456789
半角英字 (大文字/小文字)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
半角記号	/ - _

〈NOTE〉

- RTSP request URLに同じURLを指定することはできません。

● SNMP

SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。
設定は[Set]ボタンで確定します。

SNMP	
SNMP	☐ On ☒ Off
SNMP version	SNMPv3
User name	
Authentication	☒ MD5 ☐ SHA1
Encryption method	☒ DES ☐ AES
Password	
System name	
Location	
Contact	
Set	

SNMP [On, Off]

SNMP機能を使用するか設定を行います。

工場出荷時の設定: Off

User name

ユーザー認証用のユーザー名を設定します。
ここで設定したユーザー名と同じものを、SNMPv3 マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	0～32文字
入力不可文字	全角

Authentication

ユーザー認証で使用するアルゴリズムを設定します。

MD5	ユーザー認証のアルゴリズムにMD5を使用します。
SHA1	ユーザー認証のアルゴリズムにSHA1を使用します。

工場出荷時の設定: SHA1

Encryption method

通信で使用する暗号方式を設定します。

DES	SNMPv3の暗号通信方式にDESを使用します。
AES	SNMPv3の暗号通信方式にAESを使用します。

工場出荷時の設定: AES

Password

ユーザー認証で使用するパスワードを設定します。
ここで指定したパスワードと同じものを、SNMPv3 マネージャーで指定する必要があります。

入力可能文字数	[Authentication]を[MD5]に設定した場合： 8～16文字 [Authentication]を[SHA1]に設定した場合： 8～20文字
入力不可文字	全角

System name

SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。

入力可能文字数	0～32文字
入力不可文字	全角

Location

本機を設置した場所を設定します。

入力可能文字数	0～32文字
入力不可文字	全角

Contact

管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。

入力可能文字数	0～255文字
入力不可文字	全角

● TSL5.0

TSLプロトコルバージョン5.0に関する設定を行います。TSL5.0機能ではTSL5.0プロトコルに対応した機器から本機のタリーを制御するために必要な情報を設定します。
設定は[Set]ボタンで確定します。

TSL5.0	
Index number	1
TSL5.0 port	62000
Set	

Index number [1～65534]

TSL5.0制御機器に設定されているINDEXと本機のIndex numberを合わせることで、個別に本機のタリーを制御することができます。

工場出荷時の設定: 1

TSL5.0 Port [1～65535]

TSL5.0プロトコルによる制御を受け付けるポート番号を設定します。

工場出荷時の設定: 62000

● Referrer check

Referrer checkを有効にすることで、カメラに対するアクセス要求元が正当なものであるか確認することができます。
不正なアクセス元と判断された場合は、アクセスを拒否します。
ご使用していただく環境によってはReferrer checkが有効な場合、本機にアクセスできない場合があります。
その場合は、Referrer checkを無効にすることでアクセスが可能になりますが、不正なアクセス元か判断ができなくなります。

Referrer check

Referrer check

☒ Enable ☐ Disable

Enable	Referrer check 機能を使用します。
Disable	Referrer check 機能を使用しません。

工場出荷時の設定: Enable

● mDNS

[mDNS]の[Host name]を設定することで、本機に対して
http://Host name.localでアクセスすることが可能になります。

mDNS

Host name

panasonic-ptz

Set

入力可能文字数	63文字
入力可能文字	半角英数字、半角記号：-

工場出荷時の設定：panasonic-ptz

〈NOTE〉

- 同一ネットワーク内に同じ設定のカメラがあった場合の動作は、保証いたしません。

● 802.1X

IEEE 802.1X クライアントの設定を行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

802.1x

802.1x

☐ On ☒ Off

EAP authentication method

☒ TLS ☐ PEAP

TLS

Client certificate type

☒ PEM ☐ PKCS#12

Private Key password usage

☐ Enable ☒ Disable

Private Key password

TLS User name

Client certificate install

Information

PEAP

User name

Password

CA Certificate install

Information

Set

〈NOTE〉

- 設定には、802.1Xに関する知識が必要になります。
詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機能を用いたシステムを構成するには、認証サーバー、Authenticatorの設定が、別途必要です。
詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 802.1Xが有効になっているシステム構成では、AW-RP150、AW-RP60からカメラを制御することができません。
- 設定前に、[Date&Time]設定画面または[NTP]設定画面にて本機の時刻設定を行ってください。
本機の時刻設定が正しく行われていない場合、正しく動作しない場合があります。
- 設定前に、[Date&Time]設定画面の[Memory]を[Enable]に設定してください。

802.1X [On、Off]

802.1X機能を使用するかどうかの設定を行います。

工場出荷時の設定：Off

EAP authentication method [TLS、PEAP]

802.1X機能で用いる認証方式の設定を行います。

本機では、TLSまたはPEAPを用いた認証方式に対応しています。

工場出荷時の設定：TLS

〈NOTE〉

- 認証サーバーで許可されている認証方式と一致しない場合、正しく動作しない場合があります。

TLS

TLS認証方式を用いた場合の設定を行います。

Client certificate type [PEM、PKCS#12]

TLS認証で用いるクライアント証明書の方の設定を行います。

本機では、PEM、PKCS#12方式に対応しています。

〈NOTE〉

- 秘密鍵を用いる場合は、クライアント証明書内に秘密鍵情報が含まれている必要があります。
[Private Key password usage]を[Enable]に設定し、正しいパスワードを設定してください。
- PKCS#12方式でクライアント証明書をインストールする場合、[Private Key password usage]を[Enable]に設定し、正しいパスワードを設定する必要があります。
- PKCS#12方式を選択した場合、PKCS#12のパスワードと[Private Key password]を一致させる必要があります。

Private Key password usage [Enable、Disable]

クライアント証明書に秘密鍵を使用するかどうかの設定をします。

Enable	秘密鍵を使用するときに選択します。
Disable	秘密鍵を使用しないときに選択します。

〈NOTE〉

- [Enable]を選択した場合、[Private Key password]で正しい値を設定する必要があります。

Private Key password

秘密鍵に設定したパスワードの設定を行います。

〈NOTE〉

- PKCS#12方式のクライアント証明書をインストールする場合は、PKCS#12に設定したパスワードと同一のものを入力してください。

TLS User name

TLS認証で許可されるユーザー名を設定します。

〈NOTE〉

- 有効なユーザー名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Client certificate install

クライアント証明書をインストールします。

〈NOTE〉

- クライアント証明書は、認証局より発行された正しいものをインストールしてください。
- 証明書をインストールする前に[Client certificate type]、[Private Key password usage]、[Private Key password]の設定が完了していることを確認してください。
上記設定がされていない状態では、証明書が正しくインストールされない場合があります。

PEAP

PEAP認証方式を用いた場合の設定を行います。

User name

PEAP認証で許可されるユーザー名を設定します。

〈NOTE〉

- 有効なユーザー名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Password

PEAP認証でUser nameにひもづくパスワードを設定します。

〈NOTE〉

- 有効なパスワードについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

CA Certificate install

IEEE 802.1X認証で用いるCA証明書をインストールします。

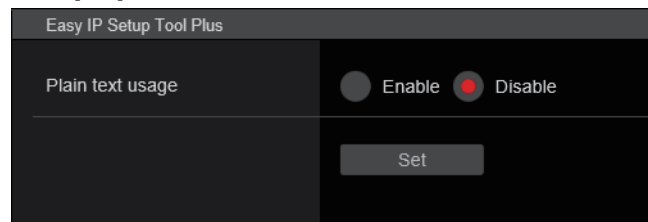
〈NOTE〉

- CA証明書は、正しい認証局より発行されたものをインストールしてください。

● Easy IP Setup Tool Plus

Easy IP Setup Tool Plus関連の設定を行います。

設定は[Set]ボタンで確定します。



Plain text usage [Enable、Disable]

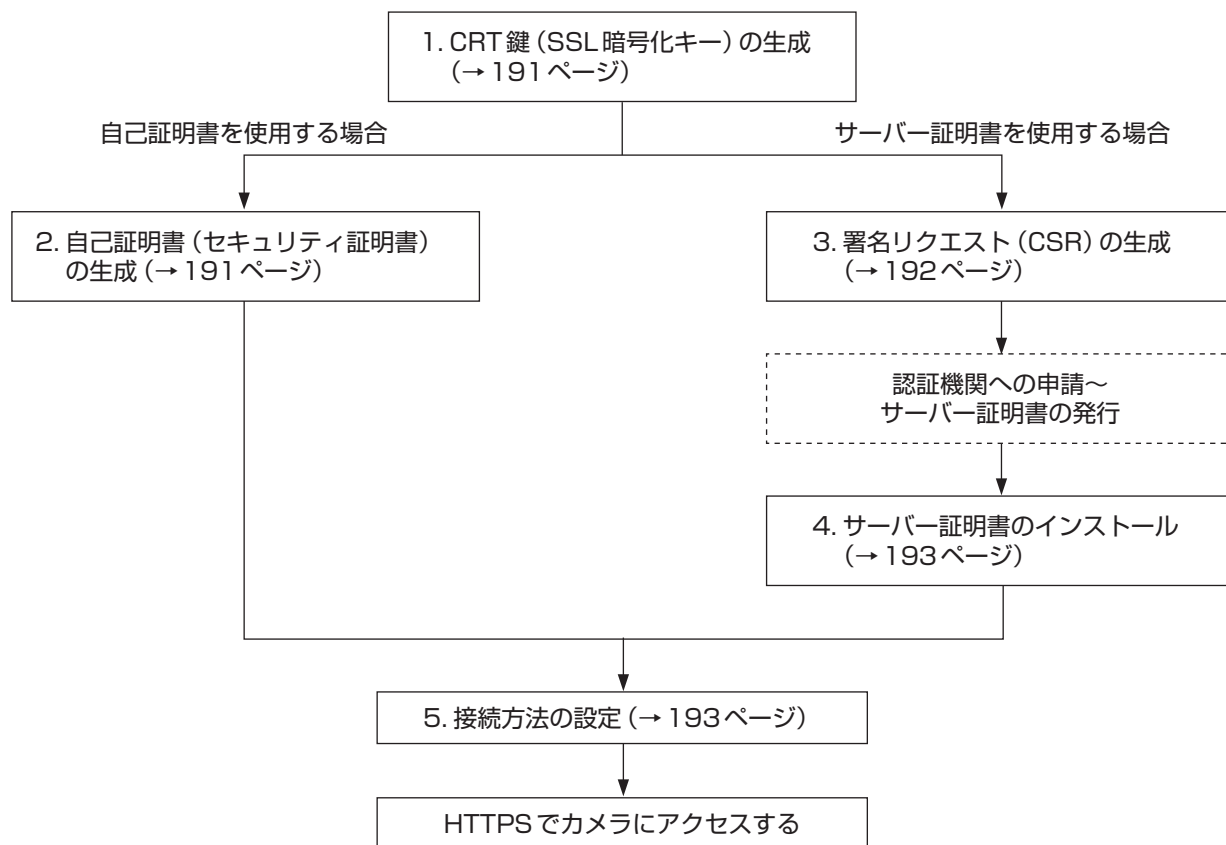
Easy IP Setup Tool Plusとの通信を暗号化するかどうかの設定をします。

工場出荷時の設定：Disable

■ HTTPSの設定方法[HTTPS]

カメラへのアクセスを暗号化し、通信の安全性を高めるためのHTTPSを設定します。
HTTPSの設定は次の手順で行います。
設定は[Set]ボタンで確定します。

The screenshot shows the 'HTTPS' configuration page. It has a dark theme with white text. The interface is divided into sections for certificate management and connection settings. Red lines with numbers 1 through 5 point to specific elements: 1 points to the 'Execute' button for 'CRT key generate'; 2 points to the 'Execute' button for 'Self-signed Certificate Generate' and the 'Delete' button for 'Self-signed Certificate Information'; 3 points to the 'Execute' button for 'CA Certificate Generate Certificate Signing Request'; 4 points to the 'Execute' button for 'CA Certificate install'; 5 points to the 'HTTP' dropdown menu, the 'HTTPS port' input field (showing 443), and the 'HTTPS mode' dropdown menu (showing TLS1.2).



〈NOTE〉

- サーバー証明書を使用する場合、認証機関への申請～サーバー証明書の発行は、お客様と認証機関の間で行っていただく必要があります。
- 自己証明書あるいはサーバー証明書はいずれか一方を使用します。本機では、自己証明書の生成とサーバー証明書のインストールがともに行われた場合は、サーバー証明書を優先して使用します。

■ CRT鍵(SSL暗号化キー)の生成

[CRT key generate]

〈NOTE〉

- 自己証明書、サーバー証明書が有効な場合は、CRT鍵の生成を行うことはできません。
- サーバー証明書を使用する場合は、認証機関によって使用できる鍵長が異なります。あらかじめ使用できる鍵長を確認してください。
- CRT鍵の生成は、1024 bitの場合で1分程度、2048 bitの場合は2分程度かかります。CRT鍵の生成が完了するまで、Webブラウザを操作しないでください。CRT鍵生成中は、画面の表示速度や通信速度が低下することがあります。

1.[CRT key generate]の[Execute]ボタンをクリックする

[Current CRT key]ダイアログが表示されます。

2.[CRT key generate] - [RSA key size]で、生成するCRT鍵の長さを[1024bit] / [2048bit]から選択する

〈NOTE〉

- サーバー証明書を使用する場合、RSA鍵長は申請する認証機関から要求される内容に従ってください。

3.[Execute]ボタンをクリックする

CRT鍵の生成が始まります。

CRT鍵の生成が終了すると、[Current CRT key]に生成したCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時が表示されます。

〈NOTE〉

- 生成したCRT鍵を変更(更新)したい場合は、手順1～3の操作を行います。CRT鍵と自己証明書、サーバー証明書は一組で有効になるため、CRT鍵を変更した場合は、あらためて自己証明書の生成あるいはサーバー証明書の申請を行う必要があります。
- CRT鍵を更新した場合、それまでのCRT鍵を1つ分履歴管理しています。[Current CRT key]ダイアログの[CRT key]で[History]ボタンをクリックすると、[Previous CRT key]ダイアログが表示され、鍵長と生成が完了した日時を確認することができます。[Previous CRT key]で、[Apply]ボタンをクリックすると、過去のCRT鍵を現在のCRT鍵と入れ替えることができます。

■ 自己証明書(セキュリティ証明書)の生成

[Self-signed Certificate - Generate]

〈NOTE〉

- CRT鍵が生成されていない場合、自己証明書の生成を行うことはできません。

1.[Self-signed Certificate] - [Generate]の[Execute]ボタンをクリックする

[Self-signed Certificate - Generate]が表示されます。

2.生成する証明書の情報を入力する

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
Country	国別記号を入力します。 (省略可能)	2文字：国名コード (日本の場合：JP)
State	都道府県名を入力します。 (省略可能)	128文字
Locality	市区町村名を入力します。 (省略可能)	128文字
Organization	組織名を入力します。 (省略可能)	64文字
Organizational Unit	部署名を入力します。 (省略可能)	64文字
CRT key	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

〈NOTE〉

- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit]で入力可能な文字は、0～9(半角)、A～Z(半角)、a～z(半角)、半角記号 - _ + / () です。
- カメラをインターネットに公開している場合、[Common Name]にはインターネットからアクセスするアドレスまたはホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスすると、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスすることにセキュリティ警告画面が表示されます。
- [Common Name]にIPv6アドレスを入力する場合は、アドレスを [] で囲んでください。
例：[2001:db8::10]

3. 入力終了したら、[OK] ボタンをクリックする

自己証明書が生成されます。

〈NOTE〉

- 生成した自己証明書の情報は、[Self-signed Certificate] – [Information]に表示されます。自己証明書（セキュリティ証明書）の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Not generated	自己証明書が生成されていない場合
Invalid (Reason: CA Certificate installed)	自己証明書が生成済みで、サーバー証明書もインストール済みの場合 ・この場合、サーバー証明書が有効になります。
自己証明書の[Common Name]	自己証明書が生成済みで、有効な場合

- [Confirm] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）の登録内容が、[Self-signed Certificate – Confirm] ダイアログに表示されます。

Self-signed Certificate - Confirm

Common Name	panasonic.com
Country	
State	
Locality	
Organization	
Organizational Unit	
CRT key	
RSA key size	2048bit
Last modified	2018/01/01 00:42:00

Close

- [Delete] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）を削除します。
- [Connection] で [HTTPS] が選択されている場合は、自己証明書（セキュリティ証明書）の削除を行うことはできません。

■ 署名リクエスト(CSR)の生成

[CA Certificate - Generate Certificate Signing Request]

〈NOTE〉

- CRT 鍵が生成されていない場合、署名リクエスト (CSR) の生成を行うことはできません。
- 署名リクエスト (CSR) を生成する場合、Web ブラウザーのインターネットオプションであらかじめ以下の設定を行ってください。メニューバーの [ツール] – [インターネットオプション] – [セキュリティ] タブで、以下の設定を行ってください。
- カメラを「信頼済みサイト」に登録する。
- [レベルのカスタマイズ] で [ダウンロード] – [ファイルのダウンロード] を [有効にする] に設定する。
- [レベルのカスタマイズ] で [ダウンロード] – [ファイルのダウンロード] 時に自動的にダイアログを表示] を [有効にする] に設定する。

1. [CA Certificate - Generate Certificate Signing Request] の [Execute] ボタンをクリックする

[CA Certificate - Generate Certificate Signing Request] ダイアログが表示されます。

CA Certificate - Generate Certificate Signing Request

Common Name	
Country	
State	
Locality	
Organization	
Organizational Unit	
CRT key	
RSA key size	2048bit
Last modified	not_generated

OK Cancel

2. 生成する証明書の情報を入力する

入力する項目は、下表の通りです。

項目	説明	入力可能文字数
Common Name	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64 文字
Country	国別記号を入力します。	2 文字：国名コード (日本の場合：JP)
State	都道府県名を入力します。	128 文字
Locality	市区町村名を入力します。	128 文字
Organization	組織名を入力します。	64 文字
Organizational Unit	部署名を入力します。	64 文字
CRT key	現在の CRT 鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

〈NOTE〉

- サーバー証明書を使用する場合、入力する情報は、申請する認証機関から要求される内容に従ってください。
- [Common Name]、[Country]、[State]、[Locality]、[Organization]、[Organizational Unit] で入力可能な文字は、0 ～ 9 (半角)、A ～ Z (半角)、a ～ z (半角)、半角記号 - . _ , + / () です。

3. 入力終了したら、[OK] ボタンをクリックする

[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

4. [名前を付けて保存] ダイアログで、署名リクエスト (CSR) にファイル名を付け、パーソナルコンピュータに保存する

保存した署名リクエスト (CSR) を使用して認証機関に申請します。

〈NOTE〉

- 生成した署名リクエスト (CSR) と CRT 鍵の組に対して、サーバー証明書が発行されます。認証機関に申請後、CRT 鍵を生成 / 更新すると、発行されるサーバー証明書が使用できなくなります。
- 本機で生成する署名リクエスト (CSR) は、PEM 形式です。

■ サーバー証明書のインストール

[CA Certificate - CA Certificate install]

〈NOTE〉

- 署名リクエスト (CSR) が生成されていない場合、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) のインストールを行うことはできません。
- サーバー証明書のインストールには認証機関から発行されたサーバー証明書が必要です。

1. [CA Certificate - CA Certificate install] の [Select] ボタンをクリックする

[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

2. サーバー証明書ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックし、[実行] ボタンをクリックする

サーバー証明書がインストールされます。

〈NOTE〉

- インストールしたサーバー証明書に登録されているホスト名が、[CA Certificate] - [Information] に表示されます。また、サーバー証明書の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
Invalid	サーバー証明書がインストールされていない場合
サーバー証明書の [Common Name]	サーバー証明書がインストール済みで、有効な場合
Expired	サーバー証明書の有効期限が切れた場合

- [Confirm] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書 (セキュリティ証明書) の内容が、[CA Certificate - Confirm] ダイアログに表示されます。([Organizational Unit] の欄のみアスタリスクが表示されます。)

- [Delete] ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書 (セキュリティ証明書) を削除します。
- [Connection] で [HTTPS] が選択されている場合は、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) の削除を行うことはできません。
- サーバー証明書を更新する場合は、手順 1 ～ 手順 2 の操作を行います。
- 有効なサーバー証明書 (セキュリティ証明書) を削除する場合は、パーソナルコンピューター、記録メディアなどにサーバー証明書 (セキュリティ証明書) のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書 (セキュリティ証明書) が必要になります。
- サーバー証明書の有効期限が切れると、HTTPS 機能を使用することができなくなります。この場合、再起動すると、接続方法が HTTP に変更されます。サーバー証明書の有効期限が切れる前に、サーバー証明書の更新を行ってください。
- サーバー証明書の有効期限は、認証機関から発行されたサーバー証明書ファイルをダブルクリックすると確認することができます。

■ 接続方法の設定

[Connection]

1. [Connection] で、カメラへのアクセス方法を設定する

HTTP: HTTP 接続のみ可能になります。

HTTPS: HTTPS 接続のみ可能になります。

〈NOTE〉

- HTTPS 接続の場合、AW-RP120、AW-RP50、AK-HRP200 をネットワークで接続できません。

2. [HTTPS port] に、HTTPS で使用するポート番号を設定する

設定可能なポート番号: 1 ～ 65535

以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、546、547、554、995、5960～5985、7960～8060、10669、10670、11900、59000～61000

工場出荷時の設定: 443

3. [HTTPS mode] に、HTTPS で使用する暗号プロトコルを設定する

TLS1.0/1.1/1.2: TLS1.0/1.1/1.2 で接続可能になります。

TLS1.2: TLS1.2 で接続可能になります。

4. [Set] ボタンをクリックする

カメラが再起動し、HTTPS でのカメラへのアクセスが有効になります。

〈NOTE〉

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合**
HTTPS でカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書 (セキュリティ証明書) をパーソナルコンピューターにインストールしてください。(→ 194 ページ)
- サーバー証明書を使用する場合**
あらかじめご使用の Web ブラウザーに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPS でカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPS でカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPS でカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

■ HTTPS でカメラにアクセスする

1. パーソナルコンピューターで Web ブラウザーを起動する

2. カメラの IP アドレスを、Web ブラウザーのアドレスボックスに入力する

入力例: https://192.168.0.10/

〈NOTE〉

- HTTPS ポートの番号が「443」から変更されている場合は、「https://カメラの IP アドレス: ポート番号」を [アドレス] ボックスに入力してください。
例: https://192.168.0.11:61443
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Web ブラウザー (メニューバーの [ツール] - [インターネットオプション]) からプロキシサーバーの設定を行ってください。

3. [Enter] キーを押す

ライブ画面 [Live] が表示されます。

セキュリティ警告画面が表示されたら、セキュリティ証明書をインストールします。(→ 194 ページ)

[User auth.] を [On] に設定した場合、ライブ画面 [Live] が表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

〈NOTE〉

- HTTPS を使用すると、画面表示や画像表示が遅くなり、画像更新間隔 (フレームレート) も遅くなることがあります。

● セキュリティ証明書のインストール

HTTPSを使用してカメラにアクセスするときに、アクセスするカメラのセキュリティ証明書がパーソナルコンピュータにインストールされていない場合に、セキュリティの警告画面が表示されます。この警告画面を表示しないようにするには、以下の手順に従ってセキュリティ証明書をインストールする必要があります。インストールしない場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されません。

〈NOTE〉

- [Common Name]に設定している内容でセキュリティ証明書がパーソナルコンピュータにインストールされます。そのため、「ホスト名」に設定している内容をカメラにアクセスするためのアドレス/ホスト名に合わせる必要があります。異なる場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書をインストールしても、カメラのアドレス/ホスト名を変更した場合は、セキュリティの警告画面が表示されます。再度、セキュリティ証明書をインストールしてください。
- インターネットに公開している場合、[Common Name]には、インターネットからアクセスするアドレス/ホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスした場合、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスするごとにセキュリティ警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書が正しくインストールされると、カメラにアクセスしたWebブラウザのアドレスボックスに鍵のアイコンが表示されます。

1.HTTPSでカメラにアクセスする

2.セキュリティ警告画面が表示されたら、[このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。]をクリックする



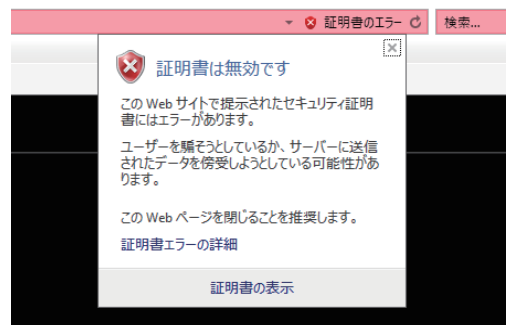
ライブ画面[Live]が表示されます。

なお、認証画面が表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。

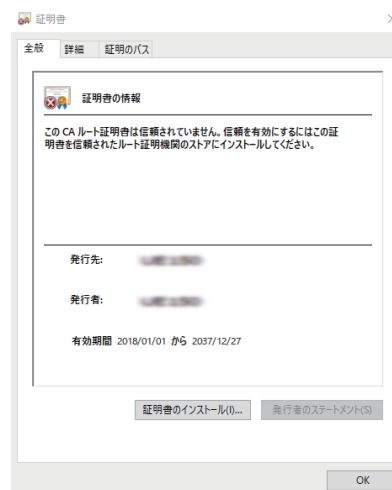
〈NOTE〉

- カメラ以外の機器/サイトにアクセスし、上記の画面が表示された場合は、セキュリティ上の問題がある可能性がありますので、よくご確認ください。

3.URL上の[証明書のエラー]をクリックし、[証明書の表示]をクリックする



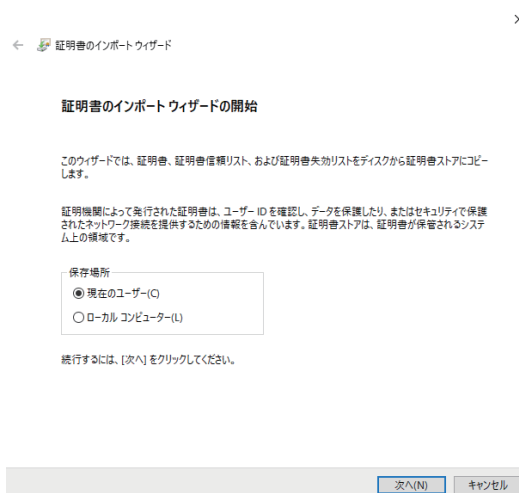
4.[証明書のインストール(I)...]をクリックする



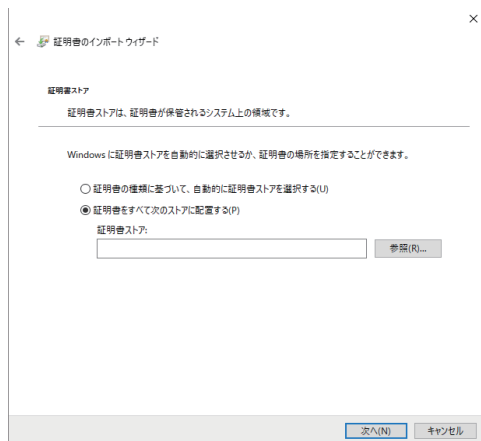
〈NOTE〉

- [証明書のインストール(I)...]が表示されない場合は、一度Internet Explorerを閉じて、[管理者として実行(A)...]を選択し起動してください。[スタート] - [プログラム] - [Internet Explorer]を右クリックして、[管理者として実行(A)...]をクリックします。

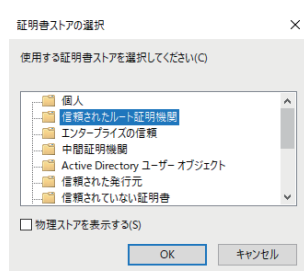
5.証明書のインポートウィザードに表示される[次へ(N)]をクリックする



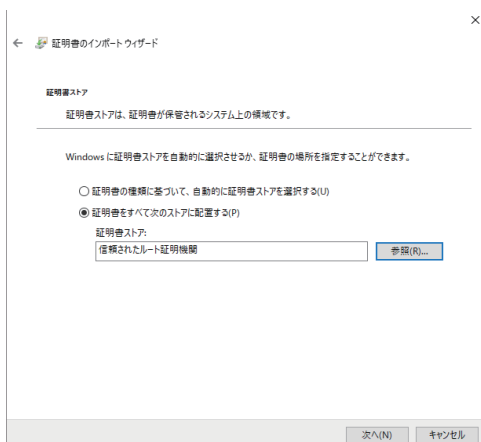
6. [証明書をすべて次のストアに配置する (P)] を選択し、[参照 (R)...] をクリックする



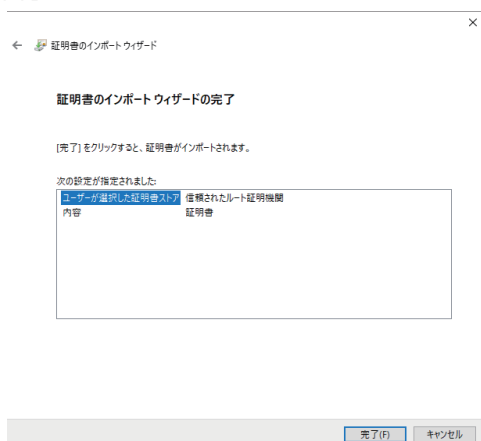
7. [信頼されたルート証明機関] を選択し、[OK] をクリックする



8. [次へ (N)] をクリックする



9. [完了 (F)] をクリックする

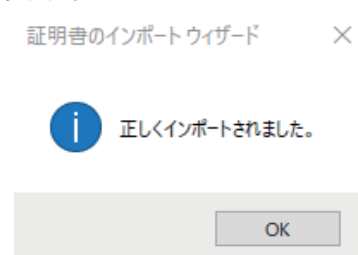


10. [はい (Y)] をクリックする



インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

11. [OK] をクリックする



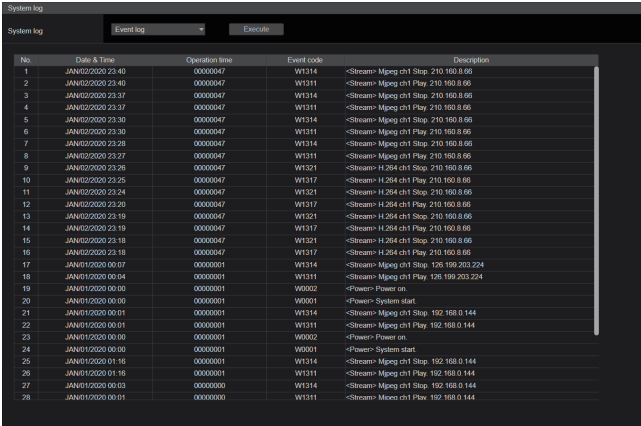
証明書をインポートしたあと Web ブラウザーを閉じて、再接続すると、「証明書エラー」は表示されなくなります。

メンテナンス画面 [Maintenance]

システムログの確認やソフトウェアのバージョン確認、本機の初期化などを行います。
[System log]、[Maintenance]、[Product info.]、[Backup]の4つの設定で構成されています。

■ システムログ画面 [System log]

本機の内部メモリに最大1000件のイベントログと最大100件のエラーログを保存できます。
保存できるログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。
本機の電源を切っても、ログは保存されます。



No.	Date & Time	Operation time	Event code	Description
1	JAN02/2020 23:40	00000047	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 210.168.0.66
2	JAN02/2020 23:40	00000047	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 210.168.0.66
3	JAN02/2020 23:37	00000047	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 210.168.0.66
4	JAN02/2020 23:37	00000047	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 210.168.0.66
5	JAN02/2020 23:30	00000047	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 210.168.0.66
6	JAN02/2020 23:30	00000047	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 210.168.0.66
7	JAN02/2020 23:28	00000047	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 210.168.0.66
8	JAN02/2020 23:27	00000047	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 210.168.0.66
9	JAN02/2020 23:26	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210.168.0.66
10	JAN02/2020 23:25	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210.168.0.66
11	JAN02/2020 23:24	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210.168.0.66
12	JAN02/2020 23:20	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210.168.0.66
13	JAN02/2020 23:19	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210.168.0.66
14	JAN02/2020 23:18	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210.168.0.66
15	JAN02/2020 23:18	00000047	W1321	<Stream> H.264 ch1 Stop. 210.168.0.66
16	JAN02/2020 23:18	00000047	W1317	<Stream> H.264 ch1 Play. 210.168.0.66
17	JAN01/2020 00:07	00000001	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 126.199.203.224
18	JAN01/2020 00:04	00000001	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 126.199.203.224
19	JAN01/2020 00:00	00000001	W0002	<Power> Power on
20	JAN01/2020 00:00	00000001	W0001	<Power> System start
21	JAN01/2020 00:01	00000001	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 192.168.0.144
22	JAN01/2020 00:01	00000001	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 192.168.0.144
23	JAN01/2020 00:00	00000001	W0002	<Power> Power on
24	JAN01/2020 00:00	00000001	W0001	<Power> System start
25	JAN01/2020 01:16	00000001	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 192.168.0.144
26	JAN01/2020 01:16	00000001	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 192.168.0.144
27	JAN01/2020 01:03	00000000	W1314	<Stream> Mpeg ch1 Stop. 192.168.0.144
28	JAN01/2020 00:01	00000000	W1311	<Stream> Mpeg ch1 Play. 192.168.0.144

〈NOTE〉

- ・システムログ画面を表示したときは、イベントログの表示になります。

System log [Event log、Error log1、Error log2]

イベントログとエラーログの表示を切り替えます。

[Execute]ボタンをクリックすると、イベントログの表示が更新されます。

Event log	イベントログを表示します。
Error log1	エラーログを表示します。
Error log2	エラーログを表示します。

[Event log]

No.

ログの通し番号が表示されます。

「1」が最新情報を示し、最大1000件までログを保存できます。

Date & Time

イベントの発生日時が表示されます。

イベントの発生日時は、本機の時計に従って24時間形式で表示されます。

Operation time

イベントの発生日時が表示されます。

イベントの発生日時は、本機のアワーメーター (0h～99999h) で表示されます。

Event code

イベントのコード番号が表示されます。

Description

イベントの内容が表示されます。

表示例：

- <Power> Power on.
- <Stream> H.264 ch1 Play.
- <Stream> H.264 ch1 Stop.

[Error log1、Error log2]

No.

ログの通し番号が表示されます。

「1」が最新情報を示し、最大100件までログを保存できます。

Date & Time

エラーの発生日時が表示されます。

エラーの発生日時は、本機の時計に従って24時間形式で表示されます。

Operation time

エラーの発生日時が表示されます。

エラーの発生日時は、本機のアワーメーター (0h～99999h) で表示されます。

Error code

エラーのコード番号が表示されます。

Error description

エラーの内容が表示されます。

表示例：

- Motor Driver Error
- Temp Sensor Error

■ メンテナンス画面 [Maintenance]

本機の設定データの初期化、本機の再起動などを行います。

Maintenance	
Fan1	☐ Auto ☐ Low ☐ Mid ☒ High
Fan2	☐ Auto ☐ Low ☐ Mid ☒ High
Wireless Control	☒ Enable ☐ Disable
Wireless ID	☒ CAM1 ☐ CAM2 ☐ CAM3 ☐ CAM4
Status Lamp	☒ Enable ☐ Disable
Reset to the default (Except the network settings)	Execute
Reboot	Execute

Fan1 [Auto、Low、Mid、High]

冷却ファン1 (LENSユニット側)の動作を設定します。

Fan2 [Auto、Low、Mid、High]

冷却ファン2 (ベースユニット側)の動作を設定します。

Auto	冷却ファンを自動制御します。
Low	冷却ファンを低速で動作させます。
Mid	冷却ファンを中速で動作させます。
High	冷却ファンを高速で動作させます。

<NOTE>

- [Low]、[Mid]または[High]に設定していても、低温時には、冷却ファンを強制的に停止させる場合があります。
- [Low]または[Mid]に設定していても、高温時には、冷却ファンを強制的に[High]に動作させる場合があります。

Wireless Control [Enable、Disable]

ワイヤレスリモコンからの操作の有効 [Enable] / 無効 [Disable] を設定します。

Wireless ID [CAM1、CAM2、CAM3、CAM4]

リモコンID (CAM1～CAM4)を設定します。

本設定の[CAM1]～[CAM4]がワイヤレスリモコンのCAMERA<1>～<4>ボタンに対応しています。

<NOTE>

- ワイヤレスリモコンでStandbyから電源ON状態に遷移した場合、本設定値に関係なく、ワイヤレスリモコンによる操作が可能となります。
- 本項目は、設定値を変更した時点では、動作に反映されません。本機をStandby状態にして、ワイヤレスリモコン以外の外部機器から電源をONしたときに反映されます。
- 本項目が[Disable]の状態では給電を開始した場合、本設定は動作に反映されません。本機をStandby状態にして、ワイヤレスリモコン以外の外部機器から電源をONしたときに反映されます。

Status Lamp [Enable、Disable]

状態表示ランプの無効/有効を設定します。本機動作中に状態表示ランプを常時消灯したい場合、[Disable]に設定してください。

<NOTE>

- [Disable]に設定していても、起動中やファームウェアのアップデート中、異常発生時など、状態表示ランプが点灯する場合があります。

Reset to the default (Except the network settings)

[Execute]ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。

初期化動作を行うと、本機を再起動しますので、約2分間は操作できません。

<NOTE>

- 次の設定項目は初期化されません。
 - [Live page - Automatic installation of viewer software]
 - [Live page - Smoother live video display on the browser(buffering)]
 - [User mng.] 以下のすべての項目
 - [Network - Network] 以下のすべての項目
 - [HTTPS - Connection]
 - [HTTPS - HTTPS port]
 - [HTTPS - HTTPS mode]
 - HTTPS : CRT 鍵、サーバー証明書
 - [UPnP] 以下のすべての項目
- [AWB]および[ABB]の調整値は、初期化されません。
- [Format]と[Frequency]の設定内容(→121ページ)は、初期化されません。

Reboot

[Execute]ボタンをクリックすると、本機を再起動します。

再起動後は、本機の電源をONしたときと同様、約2分間操作できません。

■ 製品情報確認画面 [Product info.]

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。

[Model no.], [MAC address(LAN)], [MAC address(SFP+)], [Serial no.], [Firmware version]など本機の各情報が表示されます。

Product info.	
Model no.	#A4JC1889PJ
MAC address(LAN)	XX-XX-XX-XX-XX-XX
MAC address(SFP+)	XX-XX-XX-XX-XX-XX
Serial no.	XXXXXXXX
Firmware version	V00.30 NDI NDIHX * This product is compatible with NDI and NDIHX technology of NewTek, Inc.
Activation	MoIP Activated
Operation time	351h
Viewer software installation counter	0
OSS license display	View
Firmware file Select	
Execute	

Model no.

本機の品番が表示されます。

MAC address(LAN)

本機のLANのMACアドレスが表示されます。

MAC address(SFP+)

本機のSFP+のMACアドレスが表示されます。

〈NOTE〉

- ・ [Basic Config] – [SFP+Mode] が [1.2G Output] のときは、表示されません。

Serial no.

本機の製造番号が表示されます。

Firmware version

本機のシステム全体のバージョンを表示します。

Activation

アクティベーションされている機能についての情報が表示されます。

Operation time

本機が動作した時間を表示します。

Viewer software installation counter

本機から自動インストールを実施した表示用プラグインソフトウェアの数が表示されます。

OSS license display

[View] ボタンを押すと、OSSライセンスを表示します。

OSSライセンスの表示画面を閉じる時は [Close] ボタンを押してください。

Firmware file

ファームウェアのバージョンアップを行います。

バージョンアップの方法については、「ファームウェア (Firmware file) のバージョンアップ」(→198ページ) をご参照ください。

● ファームウェア (Firmware file) のバージョンアップ

1.最新のソフトウェアをパーソナルコンピュータにダウンロードする

〈NOTE〉

- ・ 保存ディレクトリー名とダウンロードしたソフトウェア名を合わせて、250文字以内にしてください。

2.[Select] ボタンをクリックして、ダウンロードしたソフトウェアを指定する

3.[Execute] ボタンをクリックする

バージョンアップ実行の確認画面が表示されます。

バージョンアップを行った後は、必ずインターネット一時ファイルを削除してください。

〈NOTE〉

- ・ [Execute] ボタンをクリックした後、バージョンアップ処理中を示すプログレスバーが表示されるまで、1分程度かかることがあります。
- ・ バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるパーソナルコンピュータで行ってください。
- ・ バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、注意事項を必ずご確認ください。
- ・ バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定の下記ファイルを使用してください。

UPDATE.bin

- ・ バージョンアップ中は、本機の状態表示ランプが以下の状態になります。
 - 橙色点滅：ファイル転送中
 - 赤色点滅：データ書込中
- ・ バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。(完了したことを示すポップアップ画面が表示されるまで)
- ・ バージョンアップ中は、バージョンアップが終了するまでは一切の操作を行わないでください。
- ・ バージョンアップを行った後は、Webブラウザを一度閉じてください。
- ・ 本機のバージョンアップには、最大1時間程度を要する場合があります。
- ・ Microsoft Edge (IEモード) でバージョンアップを行った場合、Webブラウザがフリーズしてしまう場合があります。その場合でもバージョンアップは継続されているので、本機の電源を切らないでください。バージョンアップの進捗状況は、本機の状態表示ランプ (橙色点滅または赤色点滅) にてご確認ください。
- ・ [DHCP] が [On] になっている状態でバージョンアップを行うと、バージョンアップ後の再起動時に本機のIPアドレスが変更される場合があります。その場合、Webブラウザにてバージョンアップ完了を示すポップアップ画面が表示されずに、タイムアウトが発生する場合があります。本機の状態表示ランプにてバージョンアップ完了を確認してください。

■ バックアップ画面 [Backup]

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存したり、パーソナルコンピュータに保存してある設定を本機に適用することができます。

Download

Config data type

[Camera(CURRENT)、Camera(SCENE1) ~ Camera(SCENE8)、Camera(USER1) ~ Camera(USER3)、Camera(PRESET)、Network]

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存する際の設定データの種別を指定します。

設定値	保存される内容	保存ファイル拡張子
Camera(CURRENT)	現在の設定内容	.cs0
Camera(SCENE1)	Scene1の設定内容	.cs1
Camera(SCENE2)	Scene2の設定内容	.cs2
Camera(SCENE3)	Scene3の設定内容	.cs3
Camera(SCENE4)	Scene4の設定内容	.cs4
Camera(SCENE5)	Scene5の設定内容	.cs5
Camera(SCENE6)	Scene6の設定内容	.cs6
Camera(SCENE7)	Scene7の設定内容	.cs7
Camera(SCENE8)	Scene8の設定内容	.cs8
Camera(USER1)	User1の設定内容	.us1
Camera(USER2)	User2の設定内容	.us2
Camera(USER3)	User3の設定内容	.us3
Camera(PRESET)	Presetの設定内容	.cpr
Network	Web画面での設定内容 ネットワークの設定内容	.nal

Download

本機の設定をパーソナルコンピュータに保存します。

[Download] ボタンで保存先ダイアログ画面を表示したら、保存先のフォルダーを指定します。

〈NOTE〉

- [Download] ボタンをクリックしてから保存先ダイアログ画面が表示されるまで、カメラの設定ファイルの場合で約50秒、ネットワークの設定ファイルの場合で約10秒かかります。
- 本機の状態によっては、設定ファイルをダウンロードできないことがあります。この場合、本機は自動的に再起動します。

Upload

Config data type

[Camera(CURRENT)、Camera(SCENE1) ~ Camera(SCENE8)、Camera(USER1) ~ Camera(USER3)、Camera(PRESET)、Network]

パーソナルコンピュータに保存した設定データを本機に反映するときの、設定データの種別を指定します。

設定値	アップロード可能なファイル拡張子
Camera(CURRENT)	.cs0
Camera(SCENE1)	.cs1
Camera(SCENE2)	.cs2
Camera(SCENE3)	.cs3
Camera(SCENE4)	.cs4
Camera(SCENE5)	.cs5
Camera(SCENE6)	.cs6
Camera(SCENE7)	.cs7
Camera(SCENE8)	.cs8
Camera(USER1)	.us1
Camera(USER2)	.us2
Camera(USER3)	.us3
Camera(PRESET)	.cpr
Network	.nal

Upload

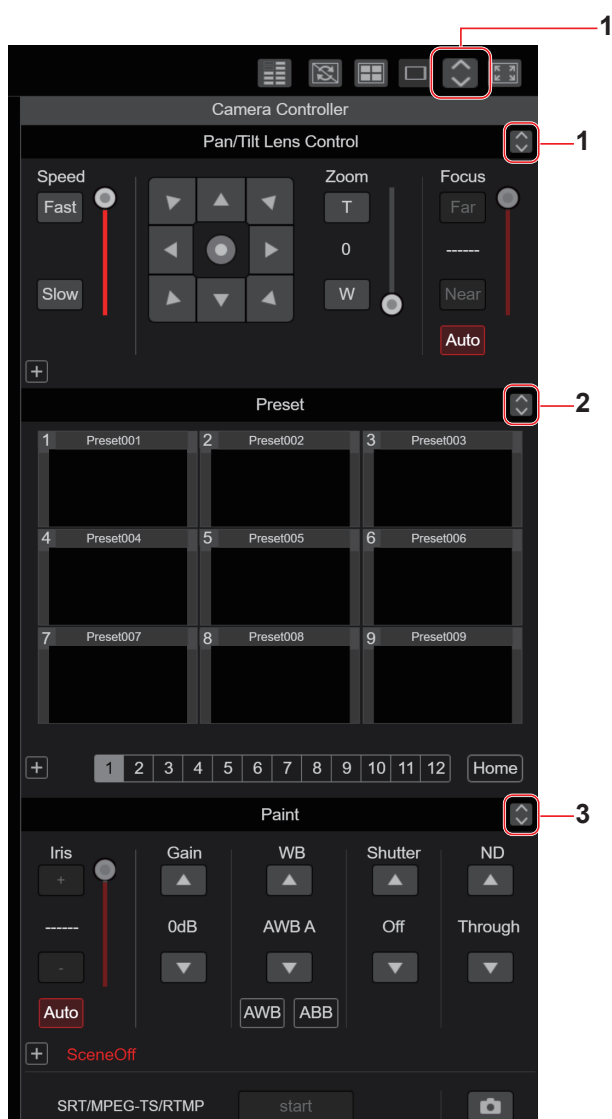
ダウンロード機能でパーソナルコンピュータに保存した本機の設定ファイルをアップロードします。

[Select] ボタンをクリックしてダイアログ画面を表示し、保存したファイルを指定します。

[Upload] ボタンをクリックするとメッセージダイアログ画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると、アップロードを開始します。アップロード完了後にメッセージダイアログ画面が表示され、[OK] ボタンをクリックすると、本機は自動的に再起動します。

〈NOTE〉

- アップロードに使用するデータは、本機でダウンロードしたファイルを使用してください。
- ダウンロード／アップロード中は、本機の電源を切らないください。
- ダウンロード／アップロード中は、ダウンロード／アップロードが終了するまで一切の操作を行わないください。
- カメラの設定ファイルの場合、アップロード完了ダイアログ画面が表示されるまで約3分かかります。



1. タッチパネル用PTZ操作画面表示ボタン

このボタンを押すと、タッチパネル用PTZ操作画面に切り替わります。

2. タッチパネル用Preset操作画面表示ボタン

このボタンを押すと、タッチパネル用Preset操作画面に切り替わります。

3. タッチパネル用Paint操作画面表示ボタン

このボタンを押すと、タッチパネル用Paint操作画面に切り替わります。

■ タッチパネル用PTZ操作画面



4. タッチパネル用操作画面からの復帰ボタン

このボタンを押すと、通常のライブ画面に戻ります。

5. タッチパネル用操作画面の切り替えボタン

タッチパネル用操作画面を[PTZ]/[Preset]/[Paint]操作用に切り替えます。

6. タッチパネル用PTZ操作エリア

タッチパネル用に適した、ズーム、フォーカス、パン/チルト、スピードの操作ボタンが配置されたエリアです。
操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

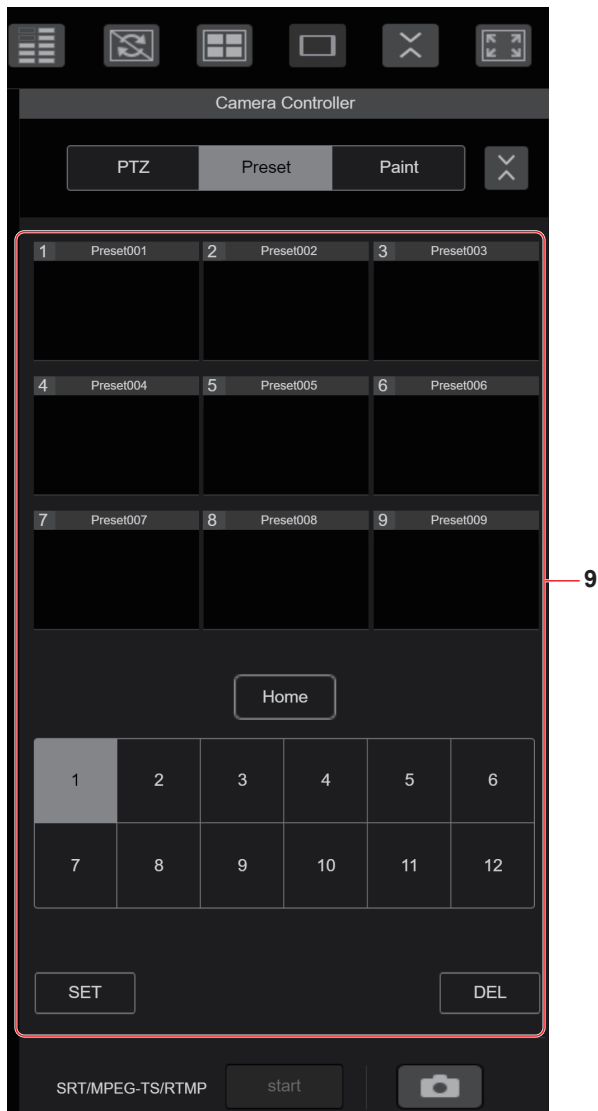
7. タッチパネル用SRT/MPEG2-TS/RTMP操作エリア

タッチパネル用に適した、SRT/MPEG2-TS/RTMP操作ボタンが配置されたエリアです。
操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

8. タッチパネル用スナップショットボタン

タッチパネル用に適した、スナップショットボタンです。
操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

■ タッチパネル用Preset操作画面



9. タッチパネル用Preset操作エリア

タッチパネル用に適した、プリセット操作ボタンが配置されたエリアです。操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

■ タッチパネル用Paint操作画面



10. タッチパネル用Paint操作エリア

タッチパネル用に適した、アイリス、ゲイン、バランス調整、シャッター、NDフィルター、シーンの操作ボタンが配置されたエリアです。操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

■ タッチパネル用Setup操作画面

Setup画面表示時においても、タッチパネル用に適した、Setupメニューが表示可能です。操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

携帯端末による Web 画面表示

Web ブラウザーのライブ画面を携帯端末操作用に適したデザインで操作を行うことができます。

1. 携帯端末から本機にアクセスする

パーソナルコンピュータで本機にアクセスするのと同じように [http://IP アドレス/] を携帯端末の Web ブラウザーの URL に入力してください。自動で携帯端末用の画面が表示されます。



2. 表示を切り替える

携帯端末で Web ブラウザーから本機にアクセスした直後は、Full Screen 画面となり、映像のみ表示されます。携帯端末の表示画面には「Camera Control」、「Full Screen」、「Touch Operation Select」の 3 種類あります。

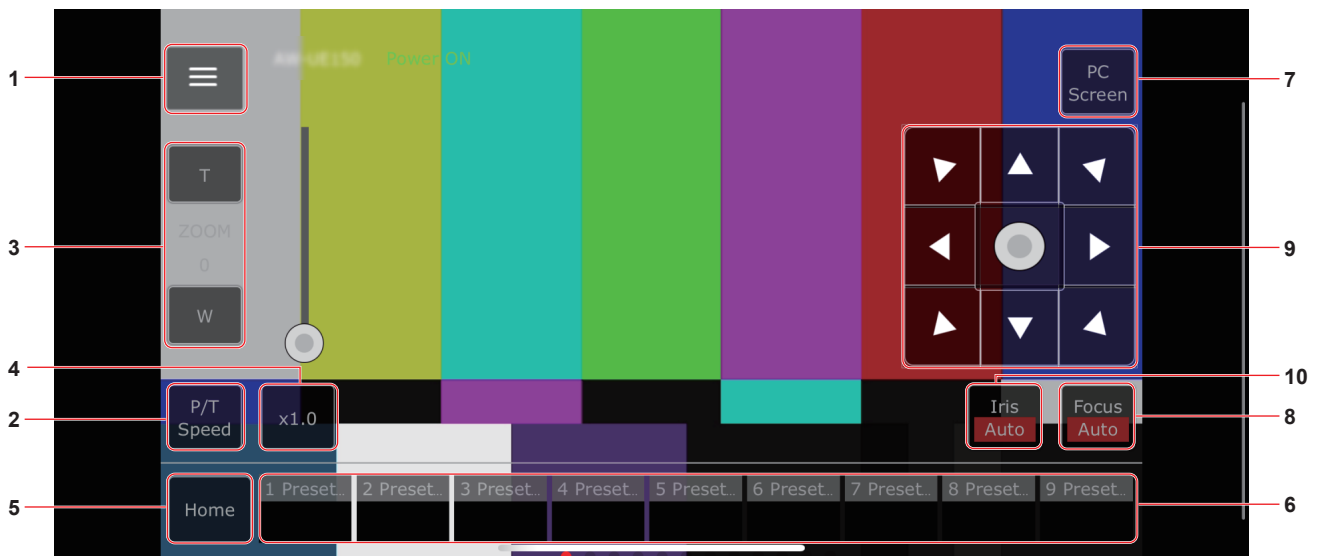


Camera Control、Full Screen、Touch Operation Select は画面の左右方向へのスワイプ操作により切り替え可能です。Touch Operation Select で Touch P/T が選択された場合、Full Screen 画面でセンタークリック機能が有効になります。また、Touch AF が選択された場合、Full Screen 画面で Touch AF 機能が有効になります。

〈NOTE〉

- Touch Operation Select でボタンを選択した場合、Full Screen に自動的に切り替わります。
- 携帯端末からは、M-JPEG 形式でのみ画像の表示が可能です。

カメラ操作画面 [Camera Control]



1. ライブ画面用操作メニュー表示ボタン

ライブ画面用の操作メニューを表示します。



< Live

ライブ画面用操作メニューを閉じます。

Power

Power On/Standbyを切り替えます。

詳細は [Power On] ボタン、[Standby] ボタンを参照してください。

Compression

携帯端末からは JPEG 画像のみ表示できるため [JPEG] ボタンのみ表示されます。

Streaming

JPEG(1)/JPEG(2)/JPEG(3) を切り替えます。

詳細は [Stream] を参照してください。

Zoom

[D-Zoom]、[D-Ext. × 1.4]、[D-Ext. × 2.0] の有効/無効を切り替えます。

詳細は [Zoom] を参照してください。

Stream (SRT/RTMP)

あらかじめ登録した RTMP/RTMPS サーバー、または SRT 対応デコーダーにストリーミング配信を開始します。

Lock (WEB)

[Lock (WEB)] の有効/無効を切り替えます。

詳細は操作ロックボタン [Lock] を参照してください。

Color Bar

カラーバー信号の表示・非表示を切り替えます。

Bar Type

表示するカラーバーの Type1、Type2 を切り替えます。

2. P/T Speed/Zoom切り替えボタン

操作エリアのボタンの切り替えを行います。

[P/T Speed] 表示時にボタンを押すと、操作エリアにスピード [Speed] ボタン・スライダーを表示します。

[Zoom] 表示時にボタンを押すと、操作エリアにズーム [Zoom] ボタン・スライダーを表示します。

3. P/T Speed/Zoom操作エリア

[P/T Speed]/[Zoom] 操作ボタン・スライダーが表示されます。
[P/T Speed]、[Zoom] の切り替えは P/T Speed/Zoom 切り替えボタンで行います。

- 操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

4. × 1.0 ボタン

ズーム (倍率) を 1.0 倍にします。

5. Home ボタン

プリセットのホームポジションへ移動します。

6. プリセットサムネール操作エリア

プリセットサムネールをクリックすると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。

プリセットサムネール操作エリアを左にスワイプすると、表示されていないプリセットサムネールを表示します。

- Preset 1 ~ Preset 100 が選択できます。

7. PC 画面切り替えボタン

PC 用のライブ画面表示に切り替えます。

PC 用ライブ画面上の携帯画面表示ボタンを押すと、携帯用ライブ画面に戻ります。

携帯画面表示ボタン：



8. PTZ/Focus切り替えボタン

操作エリアのボタンの切り替えを行います。

[PTZ] 表示時にボタンを押すと、操作エリアにコントロールパッド ボタンを表示します。

[Focus Manual] または [Focus Auto] 表示時にボタンを押すと、操作エリアに [Focus] ボタン・スライダーを表示します。

9. PTZ/Focus操作エリア

[PTZ]/[Focus] 操作ボタン・スライダーが表示されます。

[PTZ]、[Focus] の切り替えは PTZ/Focus 切り替えボタンで行います。

- 操作ボタンの機能については、通常のライブ画面で表示されるボタンと同様です。

10. Focus (AUTO)/Iris (AUTO) ボタン

[PTZ]/[Focus] 切り替えボタンで [PTZ] が選択されている場合、Iris (Auto) の有効/無効切り替えボタンを表示します。

[Focus] が選択されている場合、Focus (Auto) の有効/無効切り替えボタンを表示します。

■ Control Area

Control Area では操作ボタンによるオペレーションが優先されます。画面全体のスクロール操作は Control Area 以外のタッチ操作により可能です。



〈NOTE〉

- 使用する携帯端末によって、画面全体をスクロール操作し、Control Area の位置を調整する必要があります。

リミッターについて

本機には、パン・チルトの可動範囲を制限する設定（リミッター）があります。

設置場所によっては、可動範囲内に障害物があり、リモートカメラが接触する場合があります。

このような場合、障害物の手前でリミッターを設定することにより、接触を防ぐことができます。

リミッターの位置は、可動範囲の上限・下限・左限・右限の4か所が設定できます。

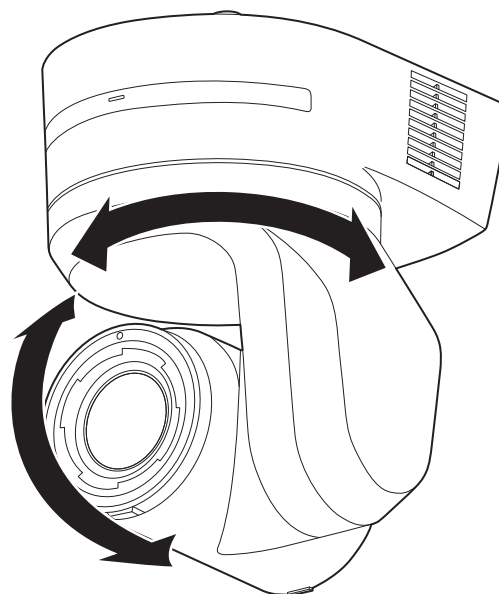
一度設定されたリミッター位置は、電源を切っても消えません。

リミッターの設定と解除は、ワイヤレスリモコンとコントローラーまたはWeb設定画面[Setup]で行うことができます。

最後に行った設定または解除が優先されます。

コントローラーの操作については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。

ここでは、ワイヤレスリモコンを使ったリミッターの設定について説明します。



リミッターの設定と解除

リミッターの基本操作

1.<MENU> ボタンを押す

短く押しください。2秒間押すとカメラメニューが表示されます。その場合は、再度<MENU> ボタンを2秒間押して、カメラメニューを終了してください。

そのあと手順 **1** からやり直してください。

2.<PRESET> ボタンを押しながら、<▲ / ▼ / ◀ / ▶> ボタンのいずれかを2秒間押す

それぞれ上限、下限、左端、右端のリミッターの設定（または解除）を行います。このときタリーランプが点滅します。設定のときは1回点滅し、解除のときは2回点滅します。

手順 **1** と **2** の間に他のボタン操作を行った場合は、手順 **1** からやり直してください。

リミッターの設定

以下の手順でリミッター位置を設定することができます。設定すると、タリーランプが1回点滅します。

1.CAMERA<1> ～<4> ボタンのいずれかを押しして本機を選ぶ

・可動範囲の上限位置を設定

ワイヤレスリモコンの<▲>または<▼> ボタンを押し、上限位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながらか<▲> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の下限位置を設定

ワイヤレスリモコンの<▲>または<▼> ボタンを押し、下限位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながらか<▼> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の左端位置を設定

ワイヤレスリモコンの<◀>または<▶> ボタンを押し、左端位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながらか<◀> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の右端位置を設定

ワイヤレスリモコンの<◀>または<▶> ボタンを押し、右端位置としたい位置まで本機を回転させます。次に「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながらか<▶> ボタンを2秒間押します。）

リミッターの解除

設定されているリミッター位置を、以下の手順で解除することができます。

解除すると、タリーランプが2回点滅します。

1.CAMERA<1> ～<4> ボタンのいずれかを押しして本機を選ぶ

2.以下の方法でリミッターを解除する

・可動範囲の上限位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながらか<▲> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の下限位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながらか<▼> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の左端位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながらか<◀> ボタンを2秒間押します。）

・可動範囲の右端位置を解除

「リミッターの基本操作」を行います。（<MENU> ボタンを短く押した後、<PRESET> ボタンを押しながらか<▶> ボタンを2秒間押します。）

リミッターの再設定

リミッターの再設定をするには、現在設定されている設定を解除する必要があります。設定されているリミッター位置を以下の手順で再設定することができます。

1.再設定したいリミッター位置の設定を、「リミッターの解除」の手順で解除する

2.「リミッターの設定」の手順で、リミッター位置を設定する

セーフモード

セーフモードについて

本機は、回転台（パン・チルト）が外力によって強制的に動かされたり、回転が阻害されたりしたときにセーフモードになります。
セーフモードになると、安全確保および機器の損傷を防止するために、一部またはすべての操作を受け付けなくなります。

機器の異常検知について

本機が異常を検知した場合、機能を停止して再起動、または初期設定動作を行い、30秒程度で通常状態に復帰します。

〈NOTE〉

- ・異常検知すると、映像が出力されなくなりますが、5秒～10秒で復帰します。

■ 操作関係

症 状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	外部DC電源のACコードがACコンセントに確実に接続されていますか？	---
	外部DC電源の電源プラグが正しく接続されていますか？	---
	LANケーブルがIP制御用LAN端子<LAN LINK/ACT>に確実に接続されていますか？	P.15
	PoE++ (IEEE 802.3btに準拠) 対応の給電装置と本機のネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	P.37
	複数のPoE++ 端末を接続できる給電装置によっては、給電できるトータル電力の制限を超えると、電源給電されないものがあります。 → PoE++ 給電装置の取扱説明書をお読みください。	---
	コントローラーと接続している場合、正しく接続されていますか？ → 詳細については、コントローラーの取扱説明書も参照してください。	P.33~P.39
	ワイヤレスリモコンで操作の場合 → 「ワイヤレスリモコンで操作できない」の項目もご覧ください。	---
操作できない (ワイヤレスリモコン、 コントローラー共通)	電源は入っていますか？ → 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯の場合は、本機の電源が入っていません。	P.44
	セーフモード機能がはたらいている場合があります。	P.206
	リミッター機能を設定していませんか？	P.204~P.205
	操作したい本機を正しく選んでいますか？	P.45
ワイヤレスリモコンで操作できない	電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ → ワイヤレスリモコンをワイヤレスリモコン信号受光部の近くで操作しても、状態表示ランプが点滅しない場合は、電池が消耗しています。電池を交換してください。	---
	ワイヤレスリモコンのID設定 (CAMERA<1>~<4>) は正しく設定されていますか？	P.32
	本機の近くに蛍光灯やプラズマモニターがあり、それらからの光がワイヤレスリモコン信号受光部に当たっていませんか？	P.14
コントローラーで操作できない	コントローラーと正しく接続されていますか？ → 詳細については、コントローラーの取扱説明書も参照してください。	P.33~P.39
	初期アカウントの設定をしましたか？ → 初期アカウントが未設定の場合、AW-RP150またはAW-RP60から本機を認識することは可能ですが、制御はできません。	P.41
	本機のダイジェスト認証がON ([User auth.] が [On] で [Authentication] が [Digest]) で、[Wait time mode] が [Mode1] の設定になっていませんか？ → 当社製コントローラー (AW-RP150、AW-RP60) を使用する場合、ダイジェスト認証のときは [Wait time mode] を [Mode2] に設定してご利用ください。 [Wait time mode] を [Mode1] に設定している場合、スムーズな操作性が損なわれる可能性があります。	P.179
	本機に対応するためにコントローラーのアップデートが必要です。 → アップデート方法についての詳細は、下記Webサイトのサポートサイトを参照してください。 日本語： https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav 英語： https://pro-av.panasonic.net/en/	---
操作と逆方向に回転する	据え置き設定は正しく選択されていますか？	P.83、P.126
	コントローラーと接続している場合、コントローラー側で逆転の設定がされている場合があります。 → 詳細については、コントローラーの取扱説明書を参照してください。	---

症 状	原因・対策	参照ページ
Web ブラウザーからアクセスできない	• IP制御用LAN端子<LAN LINK/ACT>にカテゴリ5e以上のLANケーブルは接続されていますか？	P.33～P.39
	• IP制御用LAN端子の[LINK] LEDは点灯していますか？ → 点灯していない場合は、LANに正常に接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 LANケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	P.15
	• 電源は入っていますか？ → 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯の場合は、本機の電源が入っていません。	P.44
	• 本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？	P.180
	• 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ → 次の方法で接続を確認してください。 【Windows の場合】 Windows のコマンドプロンプトで > ping [本機に設定したIP アドレス] を実行し、本機からReply が返ってくれば、正常に動作しています。 Reply が返ってこない場合は、次の操作を行ってください。 • 本機を再起動し、20 分以内にEasyIP Setup Tool Plusを使って、IP アドレスを変更する。 【Mac の場合】 macOS のターミナルで > ping -c 10 [本機に設定したIP アドレス] を実行し、本機からReply が返ってくれば、正常に動作しています。	---
	• HTTPS機能を使用中に「http://」でアクセスしていませんか？ → HTTPSをご使用の場合は、「https://」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。	P.193
	• 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ → 本機およびアクセス機器（パーソナルコンピューター・コントローラーなど）、他のカメラのIP アドレスを確認してください。	P.59
	• 設定したサブネットマスクが設置先のネットワークサブネットと一致していますか？ → 本機およびアクセス機器に設定されているサブネットマスクをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。	P.59
	• Web ブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？（本機とパーソナルコンピューターが同一サブネットに接続されている場合） → Web ブラウザーの[プロキシ設定]でプロキシサーバーが設定されている場合は、本機のIP アドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。	---
	• 本機に設定したデフォルトゲートウェイが間違っていないですか？（本機とパーソナルコンピューターが異なるサブネットに接続されている場合） → 本機に設定されているデフォルトゲートウェイをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。	P.59

症 状	原因・対策	参照ページ
Web 設定画面 [Setup] の設定値がうまく更新されない、表示されない	【Windows の場合】 - パーソナルコンピュータのキーボードの [F5] キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 【Mac の場合】 - パーソナルコンピュータのキーボードの [Command] + [R] キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。	---
	- 以下の手順でインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。 【Windows の場合】 - Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [全般] タブをクリックし、[閲覧の履歴] の [削除] ボタンをクリックする。 [閲覧の履歴の削除] ダイアログボックスで、[インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル] チェックボックスをオンにして [削除] ボタンをクリックする。 [OK] ボタンをクリックする。 【Mac の場合】 - Safari で [開発] - [キャッシュを空にする] を選択する。 [キャッシュを空にしてもよろしいですか?] ポップアップの [空にする] ボタンをクリックする。	---
	【Windows の場合】 - インターネット一時ファイルの設定において、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] が [Web サイトを表示するときに確認する] に設定されていない場合、Web 設定画面がうまく表示されないことがあります。 → 以下の手順を行ってください。 - Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [全般] タブをクリックし、[閲覧の履歴] の [設定] ボタンをクリックする。 [インターネット一時ファイル] ダイアログボックスで、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] の [Web サイトを表示するときに確認する] ラジオボタンをオンにする。 [OK] ボタンをクリックする。	---
	ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 → 本機の HTTP ポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	---
設定ファイルのダウンロードができない	【Windows の場合】 - ファイルのダウンロード機能が無効になっていませんか？ → 以下の手順を行ってください。 - Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 [セキュリティ] タブをクリックし、[このゾーンのセキュリティのレベル] の [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする。 [セキュリティ設定] ダイアログボックスで、[ファイルのダウンロード] の [有効にする] ラジオボタンをオンにする。 [OK] ボタンをクリックする。 [OK] ボタンをクリックする。	---
タリーランプが点灯しない	[TALLY] の設定が [DISABLE] になっていませんか？ → [TALLY] の設定が [DISABLE] の場合には、本機のタリーランプは点灯しません。設定を [ENABLE] に変更してください。	P.57、P.124

症 状	原因・対策	参照ページ
状態表示ランプが点灯しない	• [STATUS LAMP] の設定が [DISABLE] になっていませんか？ → [STATUS LAMP] の設定が [DISABLE] の場合には、本機正常動作中の状態表示ランプは点灯しません。設定を [ENABLE] に変更してください。	P.91
認証画面が連続して表示される	• ユーザー名やパスワードが変更されていませんか？ → 本機にアクセス中に、別の Web ブラウザーでログイン中のユーザーのユーザー名やパスワードを変更すると、画面を切り替えたりするたびに、認証画面が表示されます。Web ブラウザーを閉じて、本機にアクセスし直してください。	P.179
	• ユーザー認証方式の設定を変更していませんか？ → [User auth.] - [Authentication] の設定を変更した場合は、Web ブラウザーを閉じて、アクセスし直してください。	P.179
画面表示に時間がかかる	• HTTPS モードでアクセスしていませんか？ → HTTPS では、復号処理のため、表示が遅くなります。	---
	• 同じローカルネットワークの本機をプロキシ経由でアクセスしていませんか？ → プロキシを経由しないように Web ブラウザーの設定を行ってください。	---
	• 複数のユーザーが同時に本機の IP 映像を参照していませんか？ → 複数のユーザーが同時に本機の IP 映像を参照すると、画面表示に時間がかかったり、IP 映像の更新速度が遅くなったりする場合があります。	---

■ 映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
映像が出ない、乱れる	・ 接続した機器と正しく接続されていますか？	P.33～P.39
	・ 操作するカメラを選ぶと映像も切り替えるシステム構成の場合、カメラを正しく選んでいますか？	P.45
	・ 映像信号設定は正しく選択されていますか？	P.55、P.122
	・ 設定した映像信号フォーマットに適した外部同期信号を入力していますか？	P.217
映像が上下逆になる	・ 据え置き設定は正しく選択されていますか？	P.83、P.126
複数の色の帯 (カラーバー) が表示される	・ カメラ映像に切り替えてください。	P.47
メニュー画面が表示される	・ カメラメニューを終了してください。	P.31
メニュー画面が見にくい	・ お使いのHDMIモニターによっては、下記のような現象が見られる場合があります。 ・ カメラメニュー表示の文字の解像度が背景の映像変化によって変化する ・ モニター側の輪郭強調によって、カメラメニューの黒影の前に白い線が出る ・ モニター側の輪郭強調によって、カメラメニューの白部分に背景の色が載る	---
自動でフォーカスが合わない	・ フォーカスがマニュアル設定になっていませんか。 → フォーカスをオート設定にすると自動でフォーカスが合います。	P.47
	・ 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はマニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。	P.49
マニュアルフォーカスのとき、ズーミングでフォーカスが合わない	・ テレ端でフォーカスは調整されましたか？ → フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス調整後、ズーミングしてください。	---
	・ 使用条件によっては、フォーカスが合いにくい場合があります。 → その場合はフォーカスをオート設定で使用してください。	P.47
ナイトモードでフォーカスが合わない	・ 可視光で撮影していませんか？ → 可視光と赤外線では屈折率の違いによりフォーカス位置が異なります。本機では、ナイトモード時は波長 850 nm 付近の赤外線を想定しています。 - 必要に応じてマニュアル調整を実施してください。	P.49
映像の色がおかしい	・ ATW (自動追尾式ホワイト調整) を有効にしてください。	P.52
	・ 場面によってはATWでは正しい色にならない場合があります。 → その場合はホワイトバランス調整を行ってください。	P.51～P.52
映像が明るすぎる、または暗すぎる	・ アイリスをオート設定にするか、マニュアル設定にして手動で調整してください。	P.49
	・ アナログ映像信号用ケーブルが長いと、信号の減衰のために映像が暗くなる場合があります。	---
映像が白黒になる	・ ナイトモードになっていませんか？ → ナイトモードでは出力は白黒になります。	P.67、P.153
ホワイトバランス自動調整 (AWB) ができない	・ ナイトモードになっていませんか？ → ナイトモードではホワイトバランス自動調整 (AWB) はできません。	P.67、P.153
ナイトモードで画面が明るすぎる	・ ナイトモードでは、盗撮防止のため絞りは開放に設定されます。光源側で明るさを調整してください。	P.49
ナイトモードでアイリスが操作できない		

症 状	原因・対策	参照ページ
被写体がゆがんで見える	本機はMOS撮像素子を使用しており、画面の左上と右下では撮像タイミングが異なるため、被写体がすばやく横切った場合、ゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。	---
撮影中にフラッシュをたくと、画面の上側あるいは下側だけが明るくなる	MOS撮像素子では、画面の左上と右下では撮像タイミングが異なるため、フラッシュをたくとそのフィールドでは下側が明るくなり、次のフィールドでは上側が明るくなります。これは故障ではありません。	---
明るさが周期的に変わったり、色が変化したり、横じまが流れて見えたりする	蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下で発生することがあります。(フリッカー) このようなときは電子シャッタースピードを、電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では電子シャッターをOFFに設定することをお勧めします。	---
細かい線や周期的な模様を撮影したとき、ちらついて見えたり、色がついたりする	撮像素子上で画素が規則正しく配列されているため発生します。被写体の空間周波数と画素ピッチが近づくと目立ちますので、アングルを変えるなどしてください。	---
音声入力にノイズが発生する	- 以下のことが考えられます。 - カメラ、スイッチングハブ、周辺機器のアースが接地されていない - 電力線などが近くに配線されている - 周辺に、強い電界や磁界を発生する機器がある(テレビやラジオの送信アンテナ、エアコンのモーター、電源トランスなど) 周辺機器の見直しで改善されない場合は、アンプ付きマイクを使用するか、出力インピーダンスの低いオーディオ出力を接続してください。	P.6

■ IP映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
画像が表示されない	【Windows の場合】 ・表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ → 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。	P.42
	【Windows の場合】 ・インターネット一時ファイルの設定において、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認]が[Webサイトを表示するたびに確認する]に設定されていない場合、ライブ画面[Live]のIP映像が表示されないことがあります。 → 以下の手順を行ってください。 ① Internet Explorerで[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。 ② [全般]タブをクリックし、[閲覧の履歴]の[設定]ボタンをクリックする。 ③ [インターネット一時ファイル]ダイアログボックスで、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認]の[Webサイトを表示するたびに確認する]ラジオボタンをオンにする。 ④ [OK]ボタンをクリックする。	---
画像がぼやける	・フォーカスは正しく調節されていますか？ → フォーカス調節を確認してください。	---
画像が更新されない	・ご使用のWeb ブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。 ・ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。 ・本機のIP映像設定を変更した場合、一時的に画像の表示が止まる場合があります。 → 本機へのアクセス状況を確認し、中断可能なアクセスを停止してください。 その後、以下の手順を確認してください。 【Windowsの場合】 パーソナルコンピュータのキーボードの[F5]キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 【Macの場合】 パーソナルコンピュータのキーボードの[Command] + [R]キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。	---
画像がうまく更新されない、表示されない	・以下の手順でインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してください。 【Windowsの場合】 ① Internet Explorerで[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。 ② [全般]タブをクリックし、[閲覧の履歴]の[削除]ボタンをクリックする。 ③ [閲覧の履歴の削除]ダイアログボックスで、「インターネット一時ファイルおよびWebサイトのファイル」チェックボックスをオンにして[削除]ボタンをクリックする。 ④ [OK]ボタンをクリックする。 【Macの場合】 ① Safariで[開発] - [キャッシュを空にする]を選択する。 ② 「キャッシュを空にしてもよろしいですか？」ポップアップの[空にする]ボタンをクリックする。	---
	・ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 → 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	---

症 状	原因・対策	参照ページ
H.264画像が表示されない	表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」を削除した場合、H.264画像の表示が行われなくなります。その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4S」のインストールを行ってください。	---
	- ルーター経由(たとえばインターネット経由)でカメラとパーソナルコンピューターを接続していませんか？ → UDPのポート転送が正しく設定されないと、H.264画像は表示されません。[Internet mode(Over HTTP)]の設定を[On]にすると、HTTPでH.264を伝送することができます。 - セキュリティソフトや、ファイアウォールで、UDP通信がブロックされていませんか？ → [Internet mode(Over HTTP)]が[Off]の場合、H.264はUDPで伝送されます。 → セキュリティソフトや、ファイアウォールの設定を変更し、ご使用のWebブラウザの通信を許可する設定を行ってください。	P.137
画像が乱れる	伝送路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されず、映像が乱れる場合があります。 → ネットワーク管理者にお問い合わせください。	---
	伝送路にて映像パケットの順序入替が発生し、映像が乱れる場合があります。 → インターネットサービスプロバイダーを、カメラ側とパーソナルコンピューター側で同一のものにすることで回避できる場合があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	---
複数のWebブラウザを起動してH.264画像を表示したとき、1つのWebブラウザに複数のカメラ画像が切り替わり表示される	【Windows の場合】 - パーソナルコンピューターのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 → この現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。それでも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。 ここでは、Windows 10を例に説明します。ご使用の環境によっては、設定を変更できない場合もあります。 ① デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから[ディスプレイ設定]を選択する ② [ディスプレイの詳細設定]をクリックする ③ [トラブルシューティング]タブを選択し、[設定の変更]をクリックする ④ [ハードウェアアクセラレータ]の項目を一番左の[なし]に変更し、[OK]ボタンをクリックする	---
NDI HX対応スイッチャーで音声が出ない	「音声設定画面 [Audio]」の [Audio] が [Off] に設定されている可能性があります。 → 設定を [On] にしてください。	P.150
High bandwidth NDI対応アプリケーションで映像が停止する	パーソナルコンピューターと本機を市販のUSB LAN変換アダプターを使用して接続している場合、パーソナルコンピューター側のネットワーク不具合によって映像が停止する場合があります。 → この現象が発生した場合は、最初にパーソナルコンピューターの本機と接続しているネットワークアダプターを無効化し、[Video over IP]の[Streaming mode]を[H.264]に切り替えてください。その後、無効化したネットワークアダプターを再度有効化し、[Streaming mode]を[High bandwidth NDI]に変更すると映像が出力されます。	P.134

■ Web画面

お使いのパーソナルコンピュータのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作に影響を与えることはありません。

症 状	原因・対策	参照ページ
画像がコマ落ちして見える	パーソナルコンピュータの性能が不足している可能性があります。 → 必要なパーソナルコンピュータの環境を確認してください。	P.7
	リアルタイム更新切替ボタンで、Web ブラウザーのリアルタイム更新機能を無効化することで現象が改善される場合があります。	P.117

【Windowsの場合】

下記の説明で使用している「情報バー」とは、Internet Explorer 11に表示されるメッセージバーのことです。「情報バー」は、Internet Explorerの下方に表示されます。



症 状	原因・対策	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co., Ltd.' からの 'WebVideo Module' アドオンを実行しようとしています。」	[許可(A)]を選択してください。	---
下記メッセージの情報バーが表示される 「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co., Ltd.' からの 'nwcw4SSetup.exe' アドオンをインストールしようとしています。」	[インストール(I)]を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)] ボタンをクリックしてください。	---
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、[インターネット]を選択します。[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックし、[その他]の[サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する]で[有効にする]を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。警告画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。	---
IP映像が表示用の枠と一致していない	画像のDPI設定が120 DPI以上に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 → パーソナルコンピュータ画面上で右クリックし、[ディスプレイの設定] - [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する]をクリックし、[100% (推奨)]に設定してください。	---
	Internet Explorerのズーム機能における拡大レベルが100%以外に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 → Internet Explorerのメニューバーから[表示(V)] - [拡大(Z)]を選択し、[100%]をクリックしてください。	---
画面レイアウトが崩れている、または画面の一部のボタンが操作できない	Internet Explorerのメニューバーから[ツール(T)] - [互換表示設定(B)]を選択し、本機を互換表示しないように設定してください。	---

保証とアフターサービス(よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。
※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品 8年

当社では、4Kインテグレートッドカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス(保守・点検)

定期メンテナンス(保守・点検)は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。
部品の摩耗、劣化、ゴミ、ほこりの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。
定期メンテナンス(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品 名	4K インテグレートッドカメラ
品 番	AW-UE160W AW-UE160K
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

電源電圧: DC === 12 V (10.8 V - 13.2 V) DC === 42 V - 57 V (PoE++電源) 消費電流: 5.0 A (XLRコネクター入力) 1.5 A (PoE++電源)
--

 は安全項目です。

■ 総合

動作周囲温度 : 0℃～40℃

保存温度 : -20℃～50℃

動作周囲湿度 : 20%～90% (結露なきこと)

質量 : 約4.6 kg (取付金具を除く)

寸法 (幅 × 高さ × 奥行)

: 213.0 mm × 277.0 mm × 240.0 mm
(突起部、取付金具を除く)

仕上げ : AW-UE160W : パールホワイト
AW-UE160K : ブラック

対応コントローラー

: AW-RP150、AW-RP60、AK-HRP1010、
AK-HRP250

■ 入力

入力端子

DC 12 V IN

G/L IN : BBS (Black Burst Sync)、3値同期に対応

周波数: 119.88 Hz

フォーマット	外部同期信号入力フォーマット			
	3値同期			BBS
1080/119.88p	—	—	1080/59.94i 1080/29.97PsF	480/59.94i

周波数: 100 Hz

フォーマット	外部同期信号入力フォーマット			
	3値同期			BBS
1080/100p	—	—	1080/50i 1080/25PsF	576/50i

周波数: 60 Hz

フォーマット	外部同期信号入力フォーマット			
	3値同期			BBS
2160/60p 1080/60p	1080/60p	—	—	—

周波数: 59.94 Hz、29.97 Hz

フォーマット	外部同期信号入力フォーマット			
	3値同期			BBS
2160/59.94p 2160/29.97p 1080/59.94p 1080/29.97p	—	—	1080/59.94i 1080/29.97PsF	480/59.94i
720/59.94p			720/59.94p	
			—	
			—	

周波数: 50 Hz、25 Hz

フォーマット	外部同期信号入力フォーマット			
	3値同期			BBS
2160/50p 2160/25p 1080/50p 1080/25p	—	—	1080/50i 1080/25PsF	576/50i
720/50p			720/50p	
			—	
			—	

周波数: 24 Hz

フォーマット	外部同期信号入力フォーマット			
	3値同期			BBS
2160/24p 1080/24p	1080/24p	1080/24PsF	—	—

周波数: 23.98 Hz

フォーマット	外部同期信号入力フォーマット			
	3値同期			BBS
2160/23.98p 1080/23.98p	1080/23.98p	1080/23.98PsF	—	—

AUDIO INPUT1/2

- ・マイクまたはライン入力対応 (SDI / HDMI / IP)
- ・AAC対応 (IPのみ対応)
- ・XLR × 2、3ピン、メスタイプ
- ・平衡入力 2ch
- ・マイク入力時 マイクゲイン:
60 dBまたは40 dB
- ・ファンタムパワー対応、供給電圧: 47 V ± 2 V
- ・入力インピーダンス: 約10 kΩ
- ・ライン入力時 入力レベル:
0 dBuまたは+4 dBu
- ・入力インピーダンス: 約10 kΩ
- ・入力ボリウム可変範囲:
-40 dB ~ 0 dB ~ +20 dB (1 dB step)
- ・エンベデッドオーディオ出力レベル:
-12 dBFS/-18 dBFS/-20 dBFS
- ・サンプリング周波数: 48 kHz
- ・量子化ビット数:
24ビット (SDI、HDMI)、16bit (IP)

■ 出力

映像出力

HDMI

- ・HDMI 2.0 コネクター
- ・4:2:2/10bit
- ・HDCPには対応していません。
- ・ピエラリンクには対応していません。

12G SDI OUT : SMPTE2082-1 / SMPTE424M /
SMPTE292M / 75 Ω (BNC × 1)
・Level-A/Level-Bに対応

3G SDI OUT1 : SMPTE424M/SMPTE292M/75 Ω (BNC × 1)
・Level-A/Level-Bに対応

3G SDI OUT2/PM

- ・SMPTE424M/SMPTE292M/75 Ω (BNC × 1)
- ・Level-A/Level-Bに対応

SFP+

- ・SFP+ 準拠 (Single Fiber)
- ・光信号入力は非対応

USB

- ・USB3.0 HOST 5Gモバイルルーター (USBテザリ
ング対応)

■ 入出力

入出力端子

- LAN** : RJ-45
IP制御・映像配信用LAN端子
PoE++電源端子 (IEEE802.3bt準拠)
- RS-422** : CONTROL IN RS-422A (RJ-45)
- SFP+(SMPTE ST2110)**
: 対応規格:
・ SMPTE ST2110-10/-20/-21/-30
・ PTP SMPTE ST2059-2
・ NMOS IS-04/IS-05
出力数:
映像×3(本線、Crop、Monitor)、音声×2本
入力数: 映像×1(RETURN)
映像フォーマット: FHD
・ システムフォーマットに準ずる

■ 機能／性能

【カメラ部】

- 撮像素子** : 1.0型4K MOS×1
- レンズ** : 電動20倍光学ズーム: F2.8～F4.5
(f=8.8 mm～176.0 mm)
35 mm換算: 24.5 mm～490.0 mm)
i.Zoom (UHD: 24倍、FHD: 32倍)
・ 光学20倍 i.Zoom、Digital Zoomの切り替え
D.Extender(1.4倍、2倍)
- 画角範囲** : 水平画角: 75.1° (wide) ～ 4.0° (tele)
垂直画角: 46.7° (wide) ～ 2.3° (tele)
対角画角: 82.8° (wide) ～ 4.6° (tele)
- 光学フィルター** : スルー、1/4、1/16、1/64、IRスルー
・ Low pass フィルター搭載
(IRスルーは「ナイトモード」として利用)
- フォーカス** : オート/マニュアル切り替え
- フォーカス距離** : ズーム全域: 1000 mm
ワイド端: 100 mm
- 色分解光学系** : 1MOS
- 標準感度** : F11/2000lx
([Shooting Mode]が[Normal]のとき)
F14/2000lx
([Shooting Mode]が[Low Light]のとき)
- 水平解像度** : 1600TV本Type (中心部、UHD Mode、Wide端)
- ゲイン切り替え** : Auto、0 dB～12 dB (1 dBステップ刻み)
- フレームミックス**
: Auto、0 dB、6 dB、12 dB、18 dB、24 dB
・ フォーマットが2160/29.97p、
2160/23.98p、2160/24p、2160/25p、
1080/29.97p、1080/25pのときは設定でき
ません。

電子シャッター:

- ・ 60pモード
1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、
1/1000、1/1500、1/2000
- ・ 59.94p/59.94iモード
1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、
1/1000、1/1500、1/2000
- ・ 50p/50iモード
1/60、1/100、1/125、1/250、1/500、
1/1000、1/1500、1/2000
- ・ 29.97pモード
1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、
1/120、1/125、1/250、1/500、
1/1000、1/1500、1/2000
- ・ 25pモード
1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、
1/125、1/250、1/500、1/1000、
1/1500、1/2000
- ・ 23.98pモード
1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、
1/120、1/125、1/250、1/500、
1/1000、1/1500、1/2000
- ・ 119.88pモード
1/125、1/250、1/500、1/1000、
1/1500、1/2000
- ・ 100pモード
1/125、1/250、1/500、1/1000、
1/1500、1/2000

シンクロスキャン:

- ・ 60pモード
60.0 Hz～7200 Hz
- ・ 59.94p/59.94iモード
60.0 Hz～7200 Hz
- ・ 50p/50iモード
50.0 Hz～7200 Hz
- ・ 29.97pモード
30.0 Hz～7200 Hz
- ・ 25pモード
25.0 Hz～7200 Hz
- ・ 23.98pモード
24.0 Hz～7200 Hz
- ・ 119.88pモード
120.1 Hz～7200 Hz
- ・ 100pモード
100.1 Hz～7200 Hz

ガンマ

- : HD / NORMAL / CINEMA1 / CINEMA2
- ・ HLGは別メニューで設定
MASTER GAMMA (0.15～0.75)
R GAMMA (-75～+75)
B GAMMA (-75～+75)

ホワイトバランス

- : ATW、3200K、5600K
AWB: AWB-A/AWB-B
VAR (2000K～15000Kを指定された数値で選択
可)
・ ATW Speed 3段階可変あり

定 格 (つづき)

クロマ量可変 : OFF、-100% ~ 40%

シーンファイル : Scene1~8

カラーバー : SMPTE、FULL
ARIB (FHD) : ベースバンド系のみ出力
ARIB (UHD) : ベースバンド系のUHDのみ出力
ARIB (2020/HLG) :
ベースバンド系のUHDのみ出力
・IP表示のカラーバーはSMPTEに準拠していません。

出力フォーマット

UHD/FHD SDI出力 :

【4Kフォーマット】

2160/60p、2160/59.94p、2160/50p、
2160/29.97p^{*1}、2160/25p^{*1}、2160/24p^{*1}、
2160/23.98p^{*1}

【HDフォーマット】

1080/119.88p、1080/100p、1080/60p、
1080/59.94p、1080/50p、1080/29.97p^{*1}、
1080/25p^{*1}、1080/24p^{*1}、1080/23.98p^{*1}、
1080/59.94i、1080/50i、720/59.94p、720/50p
・1080/119.88p、1080/100pは、3G/SDI
OUTPUT1/2の2系統を使用します。
・12G/SDIからは出力されません。

HDMI出力 :

【4Kフォーマット】

2160/60p、2160/59.94p、2160/50p、
2160/29.97p^{*1}、2160/25p^{*1}、2160/24p^{*1}、
2160/23.98p^{*1}

【HDフォーマット】

1080/119.88p、1080/100p、1080/60p、
1080/59.94p、1080/50p、1080/59.94i、
1080/50i、1080/29.97p^{*1}、1080/25p^{*1}、
1080/24p^{*1}、1080/23.98p^{*1}、720/59.94p、
720/50p

Fiber(映像のみ) :

【4Kフォーマット】

2160/60p、2160/59.94p、2160/50p、
2160/29.97p^{*1}、2160/25p^{*1}、2160/24p^{*1}、
2160/23.98p^{*1}

【HDフォーマット】

1080/60p、1080/59.94p、1080/50p、
1080/29.97p^{*1}、1080/25p^{*1}、1080/24p^{*1}、
1080/23.98p^{*1}、1080/59.94i、1080/50i、
720/59.94p、720/50p

SMPTE ST2110(非圧縮) :

【HDフォーマット】

1080/60p、1080/59.94p、1080/50p、
1080/59.94i、1080/50i、1080/29.97p^{*1}、
1080/25p^{*1}、1080/24p^{*1}、1080/23.98p^{*1}、
720/59.94p、720/50p

SMPTE ST2110 JPEG XS(圧縮)

【4Kフォーマット】

2160/60p、2160/59.94p、2160/50p、
2160/29.97p^{*1}、2160/25p^{*1}、2160/24p^{*1}、
2160/23.98p^{*1}

【HDフォーマット】

1080/60p、1080/59.94p、1080/50p、
1080/29.97p^{*1}、1080/25p^{*1}、1080/24p^{*1}、
1080/23.98p^{*1}

同期方式 : 内部/外部同期(BBS/3値同期)

【回転台部】

据付方法 : 据え置きまたは吊り下げ
・安全のため、指定の取付金具にて固定が必要です。

カメラ/回転台コントロール :

IP接続ケーブル	・PoE++イーサネットハブありの場合 LANケーブル ^{*1} (カテゴリ5e以上、ストレートケーブル)最大100 m ・PoE++イーサネットハブなしの場合 LANケーブル ^{*1} (カテゴリ5e以上、ストレートケーブル)最大100 m
AWプロトコル接続ケーブル	LANケーブル ^{*1} (カテゴリ5e以上、ストレートケーブル)最大1000 m

^{*1} STP (Shielded Twisted Pair) をご使用ください。

・4K映像伝送時には、カテゴリ6以上をご使用ください。

PAN/TILT 動作スピード

: 速度範囲:0.08°/s ~ 180°/s(マニュアル操作時)

・速度3モード搭載

Normal : 60°/s、Fast1 : 90°/s、

Fast2 : 180°/s

・高速では駆動音が大きくなる場合がありますので
ご注意ください。

・駆動音が気になる場合は、Normalモードをご使用
ください。

PAN動作範囲 : ±175°

TILT動作範囲 : -30°~210°

・PAN、TILTの位置によっては、本体が映像に映り
込むことがあります。

静粛性 : NC35以下

・P/T静止時はNC25以下

本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。

=== DC(直流)

^{*1} Native出力

数字

× 1.0 ボタン	203
3G SDI	61, 62, 63, 129, 130, 131
3G SDI1 OUT	81, 169
3G SDI ACTIVE THRU OUT	34
3G SDI Out1	130
3G SDI OUT1	61
3G SDI Out2/PM	131
3G SDI OUT2/PM	62
3G SDI OUT 端子	17
12G SDI Out/SFP+	129
12G SDI OUT/SFP+	60
12G SDI OUT 端子	16
802.1X	188, 189
3200K	52
5600K	52

A

Access level	179, 180
ACH	157
Activation	198
Add host	180
Address (IPv4)	143, 144
Add user	179
Adjust	169
Advanced	184
AF Sensitivity	167
AF SENSITIVITY	77
AGC	67, 153
AGC MAX GAIN	67, 153
ATW	52, 67, 68, 155
ATW Speed	155
ATW SPEED	68
ATW TARGET B	68, 155
ATW TARGET R	68, 155
Audio	150
AUDIO	55, 64
Audio bit rate	151
Audio Level Meter 表示ボタン	117
Audio over IP	150, 151
Audio over ST2110	150, 151
Audio transmission	151
Authentication	179, 187
Auto	127
AUTO	67
AUTO IRIS	67, 68, 153
AUTO IRIS CLOSE LIMIT	68, 153
AUTO KNEE RESPONSE	71, 162
Automatic installation of viewer software	128
AUTO SHUTTER	67, 69, 154
AUTO SHUTTER LIMIT	69, 154
AWB	51

B

Backup	199
Bar	123
BAR	56, 123
BAR ID	57, 125
Basic Config	121
BASIC CONFIG	55
BAUD RATE	56, 123
B BLACK GAMMA	71, 158, 161
BCH	157
B FLARE	71, 158
B GAIN	157
B GAIN ACH	70, 156, 157
B GAIN BCH	70, 156, 157
B GAMMA	71, 161
BLACK GAMMA	71, 76, 77, 161
BLACK GAMMA RANGE	71, 161
BLACK GAMMA SW	158

BLACK OFFSET	76, 159
B_MG PHASE	75
B_MG SAT	75
B PEDESTAL	69, 156
B PHASE	75
BRIGHTNESS	57, 125, 152
B SAT	75
B WHITE CLIP LEVEL	72, 162

C

CA Certificate	
CA Certificate install	185, 193
Generate Certificate Signing Request	185, 192
Information	185
CA Certificate install	189
Camera Control	202
Camera control/Setup Menu ボタン	152
Camera ID	175
CAMERA ID	79
Camera title	128
CBR/VBR	137, 139
CH1 Volume Level	151
CH1 VOLUME LEVEL	65
CH2 Volume Level	151
CH2 VOLUME LEVEL	65
CHAR	62, 63, 64, 66, 129, 130, 131, 132, 133
CHROMA	69, 73, 156, 164
CHROMA LEVEL	69, 73, 156, 164
CHROMA LEVEL SW	69, 73
CHROMA LEVEL SWITCH	156, 164
CH Select	151
CH SELECT	65
Client	176
Client(Caller) port	141
Client certificate install	189
Client certificate type	189
CLIP(-)	164, 165
CLIP(+)	164, 165
Cloud URL	176
Color bar	113
Color Bar Type	123
COLOR BAR TYPE	56
COLOR CORRECT	74, 75, 77, 159
COLOR CORRECTION	75, 160
COLOR CORRECT TABLE	74, 75, 159
COLOR TEMP ACH	70, 156
COLOR TEMP ACH/BCH	70, 76, 156
COLOR TEMP BCH	70, 156
COLOR TEMP SETTING	70, 76
COLOR TEMP SETTING / V-LOG COLOR TEMP SETTING	156
Common	183
Common setup	140
Compression	113
Compression Ratio	148
Config data type	199
CONNECT	90
Connection	186, 193
Connection type	175
Contact	187
Control Area	203
CRISP	72, 73, 163, 164
CROP	55, 81
Crop Adjust	170
CROP ADJUST	81
Crop AF	169
CROP AF	81
CROP H POSITION	82
Crop Marker	169
CROP MARKER	81
Crop Mode	168

CROP OUT	81
Crop Output PTZ	168
Crop Output Select	169
Crop video	146
CROP VIDEO JPEG XS TX	67
Crop video TX	145
CROP VIDEO TX	66
CROP V POSITION	82
Crop Zoom	169
CROP ZOOM	81
CROP ZOOM RATIO	82
CRT key generate	185, 191
CY_B PHASE	75
CY_B SAT	75
Cycle time	177
Cyclic Synchronous Position Control	177
CY PHASE	75
CY SAT	75

D

DARK DETAIL	72, 73, 164, 165
DARK DETAIL SW	72, 73
DARK DETAIL SWITCH	164, 165
Date & Time	196
Date/Time	127
Date&Time	127
DATE/TIME	89
DAY/NIGHT	67, 153
DC IN端子	16
Default gateway	181, 182, 183
DEFAULT GATEWAY	59, 60
Delete host	180
Delete user	179
Description	196
Destination Address	146, 147, 148
Destination IP Address	177
Destination IP address(IPv4)	140
Destination port	141
Destination Port	146, 147, 148, 177
DETAIL	72, 73, 77, 163, 164
DETAIL CLIP(-)	72, 73
DETAIL CLIP(+)	72, 73
DETAIL GAIN(-)	72
DETAIL GAIN(+)	72
DETAIL KNEE	72, 73, 164, 165
DETAIL SETTING	72, 73, 163, 164
DHCP	59, 181, 182
DHCPv6	182, 183
Digital Extender	168
DIGITAL EXTENDER	77
DNR	75, 76
DNR LEVEL	75, 76, 158
DNR SW	158
DNR / V-LOG DNR	158
DNS	60, 183
Domain	183
DOWNCON SETTING	73, 164
Download	199
DRS	72, 77, 162

E

EAP authentication method	189
Easy IP Setup accommodate period	184
Easy IP Setup Tool Plus	189
EasyIP Setup Tool Plus	40
EFFECT DEPTH	72, 162
Encryption	141
Encryption method	187
Error code	196
Error description	196
Error log	196

ERROR STATUS	90
Event code	196
Event log	196
EXECUTE	89
External Output	124
EXTERNAL OUTPUT	57

F

Fall Acceleration	127, 172
FALL ACCELERATION	83, 85
Fall Ramp Time	173
FALL RAMP TIME	85
Fall S-Curve	126, 172
FALL S-CURVE	83, 85
Fan1	197
FAN1	89, 90
Fan2	197
FAN2	89, 90
FAN SETTING	89
FILE NAME	89
FILE NO	89
FILES	55, 89
Firmware file	198
Firmware version	198
Firmware Version	121
FLARE	71, 77, 158
Flip Detect Angle	126
FLIP DETECT ANGLE	83
Focus	115
Focus Adjust With PTZ.	127
FOCUS ADJUST WITH PTZ.	83
Focus (AUTO)/Iris (AUTO) ボタン	203
Focus Mode	167
FOCUS MODE	77
Format	59, 121, 122, 144, 146, 147, 148
FORMAT	55, 66, 67, 90, 133
Format Select	129, 130, 131, 132
FORMAT SELECT	60, 61, 62, 63, 65
FRAME MIX	67, 153
FRAME MIX SW	67, 153
Frame rate	137, 139
Freeze During Preset	174
FREEZE DURING PRESET	86
Frequency	58, 121
FREQUENCY	55

G

G	57, 124
Gain	116
GAIN	67, 76, 153, 159
GAIN(-)	164
GAIN(+)	164
GAIN OFFSET ACH	70, 157
GAIN OFFSET BCH	70, 157
GAIN SETTING	67, 153
Gamma	161
GAMMA	71, 77
GAMMA/BLACK GAMMA	71, 76, 158, 161
GAMMA/KNEE	161
GAMMA MODE SELECT	71, 161
GAMUT	56, 122
G AXIS ACH	70, 156
G AXIS BCH	70, 156
G_CY PHASE	75
G_CY SAT	75
GEN-LOCK	57
GENLOCK	124
G FLARE	71, 158
G GAIN	157
G GAIN ACH	70, 157
G GAIN BCH	70, 157

G GAIN REL CONTROL SW	70
G GAIN REL CONTROL SWITCH	157
G/L IN端子	17
G PEDESTAL	69, 156
G PHASE	75
Group	143, 144
G SAT	75

H

H	170
H.264	134, 136
H.264 transmission	136
H.265	134, 138
H.265 transmission	138
H DETAIL LEVEL	73, 164
HDMI	63, 132
HDMI STATUS	90
HDMI端子	16
HDR	56, 122
HDR OUTPUT SELECT	60, 61, 63, 129, 130, 131, 132
HDR PAINT	76, 158
Head Room	151
HEAD ROOM	65
HI COLOR	162
HI-COLOR	72
HI COLOR LEVEL	162
HI-COLOR LEVEL	72
High bandwidth NDI	144
HLG MODE	76, 158
Homeボタン	203
Host auth.	180
Host IP address	180
HOUR METER	90
HTTP max segment size (MSS)	184
HTTP port	183
HTTP PORT	60
HTTPS	185, 190, 193
HTTPS mode	186
HTTPS port	186
HTTPS PORT	60

I

I CENTER	73, 74, 165, 166
ID1	58, 125
ID1 POSITION H	57, 125
ID1 POSITION V	57, 125
ID2	58, 125
ID2 POSITION H	58, 125
ID2 POSITION V	58, 125
Image/Audio	134
Image capture size	135, 137, 138
Image quality	136
INDEX NO.	57
Index number	187
Initial display setting	134, 135
INITIAL GAMMA	71, 161
INITIALIZE	89
INPUT1	65
Input1 audio	147
Input1 audio TX	145, 151
Input1 Setting	150
INPUT1 SETTING	64
INPUT2	65
Input2 audio	147
Input2 audio TX	145, 151
Input2 Setting	150
INPUT2 SETTING	64
Input Select	150, 151
INPUT SELECT	64
Input Setting 1	150
Input Setting 2	151

Install Position	126
INSTALL POSITION	83
Internet mode(Over HTTP)	137
Invert Pan/Tilt Axis	175
INVERT PAN/TILT AXIS	79
IP	79
IP address	180
IP ADDRESS	59
IP address(IPv4)	176, 181, 182, 183
IP address(IPv6)	182, 183
IP(H.264/H.265)	66, 133
IP(H.264/H.265) OUT1	81
IP(H.264/H.265) OUT2	81
IP out	176
IP OUT1 (H.264/H.265)	169
IP OUT2 (H.264/H.265)	169
IP SIGNAL	55, 65, 133
IP(UDP)	175
IPv4 network	181, 182
IPv6 network	181, 183
IP画像出力1	23
IP制御用LAN端子	15
Iris	116
IRIS	68, 153
IRIS SPEED	68, 153, 154
IS-04 Port	149
IS-05 Port	149
I WIDTH	73, 74, 165, 166

J

JPEG	134, 135
JPEG transmission	135
JPEG XS RX	148
JPEG XS TX	148
JPEG XS TX VIDEO SELECT	66
JPEG XS video RX	145
JPEG XS video TX	145

K

Kairos Cloud	176
KNEE	71, 76, 77, 158, 162
KNEE APERTURE LEVEL	72, 73, 164, 165
KNEE B POINT	71, 162
KNEE B SLOPE	71, 162
KNEE MASTER POINT	71, 162
KNEE MASTER SLOPE	71, 162
KNEE MODE	67, 71, 162
KNEE POINT	76, 158
KNEE R POINT	71, 162
KNEE R SLOPE	71, 162
KNEE SLOPE	76, 158
KNEE SW	158

L

Label prefix	149
Label setting	149
LAN	59, 181
Latency	141
Lens	167
LENS	55, 77, 90
LEVEL DEPENDENT	72, 73, 164, 165
LEVEL DEPENDENT SW	72, 73
LEVEL DEPRENDED SWITCH	164, 165
LEVEL GAUGE	79, 167
Level Gauge切り替えボタン	117
Limitation Setting	171
LINEAR MATRIX	74, 75, 77, 159, 160
LINEAR TABLE	74, 75, 159
Line Level	150, 151
LINE LEVEL	64
Linkage	175

LIST	89
Live	111, 112, 114
Live page	128
Location	187
Lock	114

M

MAC ADDRESS	59
MAC address(LAN)	198
MAC address(SFP+)	198
Maintenance	196, 197
MAINTENANCE	55, 89
Main video	146
MAIN VIDEO JPEG XS TX	66
Main video TX	145
MAIN VIDEO TX	66
Manual	127, 181, 183
MASTER BLACK GAMMA	71, 158, 161
MASTER DETAIL	72, 73, 163, 164
MASTER FLARE	71, 158
MASTER GAMMA	71, 161
MASTER PEDESTAL	69, 156
MASTER WHITE CLIP LEVEL	72, 162
MATRIX	74, 75, 77, 159
MATRIX (B-G)_N	74
MATRIX (B-G)_P	74
MATRIX (B-R)_N	74
MATRIX (B-R)_P	74
MATRIX (G-B)_N	74
MATRIX (G-B)_P	74
MATRIX (G-R)_N	74
MATRIX (G-R)_P	74
MATRIX (R-B)_N	74
MATRIX (R-B)_P	74
MATRIX (R-G)_N	74
MATRIX (R-G)_P	74
Max bit rate(per client)	137, 139
Max Digital Zoom	167
MAX DIGITAL ZOOM	77
Max RTP packet size	184
mDNS	188
Media over IP	145
MEMORY SELECT	73, 74, 165, 166
Metric	182, 183
MG_PHASE	75
MG_R PHASE	75
MG_R SAT	75
MG_SAT	75
Mic Gain	150, 151
MIC GAIN	64
Mode	126, 134, 140, 166, 176, 177, 179, 180
MODE	78, 89
Model no.	121, 198
MOIP MODE	66
MONITOR	90
Monitor Display	166
MONITOR DISPLAY	55, 78
Monitor video	146
Monitor video TX	145
MONITOR VIDEO TX	66
MPEG2-TS over UDP	142
Multicast address	138, 139
Multicast address(IPv4)	142
Multicast port	138, 139
Multicast Port	142
Multicast Transmit	143, 144
Multicast TTL/HOPLimit	138, 139, 142

N

Name	143, 144
ND	117

ND Filter	168
ND FILTER	78
NDI	65, 133
NDI HX V2	143
NDI HX V2/NDI HX V2(UHD)	143
NDI HX対応スイッチャー	33
NDI Out	81, 169
Network	181
NETWORK	55, 59
NMOS	145, 149
NMOS control	149
NMOS Master Enable	145
No.	196
NTP	127, 184
NTP port	185
NTP server address	185
NTP server address setting	185

O

OFFSET H	58, 125
OFFSET V	58, 125
O.I.S.	77
O.I.S. Mode	78, 168
OPERATION	90
Operation time	196, 198
OSD Menu	113
OSS license display	198
Other Menu	113
Output	128
OUTPUT	55, 60
Output1	124
OUTPUT1	57
Output2	124
OUTPUT2	57
Output client select	176
Output Item	129, 130, 131, 133
OUTPUT ITEM	61, 62, 63, 66
OUTPUT SELECT	62, 131
Output Setting	150, 151
OUTPUT SETTING	65

P

Paint	152
PAINT	55, 67
PAINT SWITCH	77
Pan/Tilt	126
PAN/TILT	55, 83, 90
Pan/Tilt Lens Control	171
Passphrase	141
Password	176, 179, 187, 189
PC Synchronization	127
PC画面切り替えボタン	117, 203
PEAK FREQUENCY	72, 73, 163, 164
PEAK RATIO	68, 153
PEAP	189
PEDESTAL	69, 156
PEDESTAL OFFSET	69, 156
PICTURE	154
PICTURE LEVEL	68, 153
Plain text usage	189
POINT	76, 159
Port	176
PORT	57
Position	166
POSITION	78
Power ON	114
Power On Position	127
POWER ON POSITION	83
Preset	116, 171
PRESET	55, 84
Preset Acceleration	172

PRESET ACCELERATION SETTING	85
Preset Crop	173
PRESET CROP	86
Preset Digital Extender	173
PRESET DIGITAL EXTENDER	86
Preset Iris	174
PRESET IRIS	86
PRESET MATRIX	74, 75, 159
Preset Name	173
PRESET NAME	86
Preset Number	127
PRESET NUMBER	83
Preset position	170
Preset PTZ Sync Mode	172
PRESET PTZ SYNC MODE	84
Preset Scope	173
PRESET SCOPE	86
Preset Setting	172
Preset Shutter	174
PRESET SHUTTER	86
Preset Speed	172
PRESET SPEED	85
Preset Speed Table	172
PRESET SPEED TABLE	84
Preset Speed Unit	172
PRESET SPEED UNIT	84
Preset Thumbnail Update	173
PRESET THUMBNAIL UPDATE	86
Preset Zoom Mode	174
PRESET ZOOM MODE	86
Presetサムネール一覧表示ボタン	117
Primary server address	183
Privacy Mode	127
PRIVACY MODE	83
Private Key password	189
Private Key password usage	189
Product info.	198
Profile type	137
Protocol	143, 144
P/T Acceleration	126
P/T ACCELERATION	83
P/T Acceleration Setting	126
P/T ACCELERATION SETTING	83
PTP	145, 149
P/T Speed Mode	126
P/T SPEED MODE	83
P/T Speed/Zoom切り替えボタン	203
P/T Speed/Zoom操作エリア	203
PTZ/Focus切り替えボタン	203
PTZ/Focus操作エリア	203
Push UDP	142

Q

Q PHASE	73, 74, 165, 166
Q WIDTH	73, 74, 165, 166

R

R	57, 124
R BLACK GAMMA	71, 158, 161
Reboot	197
Recommended Kairos Cloud Platform Setting	176
Referrer check	188
Refresh interval	136
REF SIGNAL	57, 124
Reset to the default (Except the network settings)	197
Return	132
RETURN	55, 64
RETURN1 ID	132
RETURN SELECT	78, 166
Return video	147
Return video RX	145

RETURN VIDEO RX	66
RET VIDEO JPEG XS RX	67
Retype password	179
R FLARE	71, 158
R GAIN	157
R GAIN ACH	70, 156, 157
R GAIN BCH	70, 156, 157
R GAMMA	71, 161
RGB GAIN ACH/BCH	70, 157
RGB GAIN CONTROL SETTING	70, 157
RGB GAIN PRESET	70, 157
Rise Acceleration	126, 172
RISE ACCELERATION	83, 85
Rise Ramp Time	173
RISE RAMP TIME	85
Rise S-Curve	126, 172
RISE S-CURVE	83, 85
R PEDESTAL	69, 156
R PHASE	75
RS-422 端子	17
R SAT	75
RTMP	139
RTSP	186
RTSP port	186
RTSP request URL	186
R WHITE CLIP LEVEL	72, 162
R_YE PHASE	75
R_YE SAT	75

S

SCENE	152
SCENE FILE	89
Scene/User	116
SDR CONVERT	76, 159
SDR CONVERT MODE	76, 158
Secondary server address	183
Self-signed Certificate	
Generate	185, 191
Information	185
Serial	175
SERIAL	79
SERIAL CONNECTION	56, 123
Serial no.	198
Server address(IPv4)	143, 144
Server setup	139
Setting status	121, 134, 145, 150, 175, 179, 180
Setup	111, 119
SFP+	59, 182
SFP+ Mode	122
SFP+ MODE	55
SFP端子	16
SHOCKLESS WB SPEED	68
SHOCKLESS WB SW	68, 155
SHOCKLESS WB SW SPEED	155
SHOOTING MODE	56, 123
Shutter	117
SHUTTER MODE	69, 153
SHUTTER SPEED	69, 153
SHUTTER SW	69, 153
Signal	128
SKIN TONE CRISP	73, 74, 165, 166
SKIN TONE DETAIL	73, 74, 77, 165, 166
SKIN TONE DETAIL SETTING	73, 74, 166
SKIN TONE EFFECT MEMORY	73, 74, 165, 166
SLOPE	76, 159
Smart Picture Flip	126
SMART PICTURE FLIP	83
Smoother live video display on the browser(buffering)	128
SNMP	187
Source Address	147, 148
Source name	143, 144

Source Port	177
Speed	116
Speed With Zoom Position	127
SPEED WITH ZOOM POSITION	83
SRT	140
SRT/MPEG2-TS/RTMP	117
ST2110	66, 145
ST2110 Audio Format	151
ST2110 AUDIO FORMAT	65
ST2110 port	145
ST2110 RX	147
ST2110 TX	146
Standby	114
Status	149
STATUS(AUTO)	79, 166
Status Indicator	166
STATUS INDICATOR	78
Status Lamp	197
STATUS LAMP	91
Stream	113, 135
Stream ID	141
Streaming format	140, 142, 143
Streaming mode	121, 134
Stream Menu	113
Subnet(IPv4)	143, 144
Subnet mask	181, 182, 183
SUBNET MASK	59
Sync	114
Synchronization with NTP	184
SYNCHRO SCAN	69, 154
SYNC SIGNAL	57, 124
System	121
System Format	121
System Frequency	121
System log	196
System name	187
T	
Tally	124
TALLY	57, 124
Tally Brightness	124
TALLY BRIGHTNESS	57
Tally Guard	124
TALLY GUARD	57
Tally LED Limit	124
TALLY LED LIMIT	57
TEMPERATURE	90
Time adjustment interval	185
Timecode Overlay	135
Time Zone	127
TLS	189
TLS User name	189
Tone	123
TONE	57
Tracking Data Output	175
TRACKING DATA OUTPUT	55, 79
Transmission type	137, 139, 142
TSL5.0	57, 187
TSL5.0 Port	187
TTL/HOP Limit	141, 143, 144
U	
UHD Crop	168
UHD CROP	81
Unicast address(IPv4)	142
Unicast Port	142
Unicast port(Audio)	137
Unicast port(Image)	137
Upload	199
URL	139
URL type	139

USB	59, 182
USB3.0 HOST端子	16
Use discovery server	143, 144
USER	152
User auth.	179
USER FILE	89
User ID	176
User mng.	179
User name	179, 187, 189

V

V	170
VAR	52
V DETAIL FREQUENCY	73, 164
V DETAIL LEVEL	73, 164
VERSION	90
Video over IP	134
Video Sampling	132
VIDEO SAMPLING	64, 90
Video Select	148
Viewer software installation counter	198
V-LOG	55, 122
V-LOG OUTPUT SELECT	60, 61, 63, 64, 129, 130, 131, 132
V-LOG PAINT	76
V-LOG PAINT SW	56, 122

W

Wait time mode	179
WB	116
W.BAL VAR	68, 155
W/B BAL SETTING	68, 155
Web画面	109
WFM	78, 166
WHITE BALANCE MODE	68, 155
WHITE CLIP	72, 77, 162
WHITE SHADING	91
WINDOW SELECT	68, 153
Wireless Control	197
WIRELESS CONTROL	91
Wireless ID	197
WIRELESS ID	32, 91

Y

Y	57, 124
YE_G PHASE	75
YE_G SAT	75
YE PHASE	75
YE SAT	75

Z

ZEBRA	73, 74, 165, 166
ZEBRA EFFECT MEMORY	73, 74, 165, 166
Zoom	115
Zoom (Crop Zoom Ratio)	169
Zoom Mode	167
ZOOM MODE	77

あ

アイリス	49
------------	----

お

音声入力端子	17
--------------	----

か

外部同期信号入力フォーマット	217
拡張パネル表示ボタン	112
カメラ台座部固定用穴	15
カメラタイトル表示部	116
カメラ取り付け用ねじ穴	17
カメラヘッド部	15
カメラメニュー	55, 92

く				ほ	
黒レベル	53			ホワイトバランス	51
け				ま	
ゲイン	49			マスターペDESTAL	53
ゲンロック	54			マニュアル撮影	49
こ				め	
コントロールパッド／ボタン	116			メインエリア	114
さ				ら	
サービススイッチ	16			ライブ画面用操作メニュー表示ボタン	203
撮影	43, 46			落下防止ワイヤー	15
し				り	
自動追尾式ホワイト調整	52			リアルタイム更新切替ボタン	117
シャッタースピード	49			リミッター	204, 205
周波数	58			リモコンID	32
状態表示ランプ	15			わ	
初期アカウント	41, 110			ワイヤレスリモコン	14, 31, 32
す				ワイヤレスリモコン信号受光部	15
水平位相調整	54				
スナップショットボタン	116				
せ					
セーフモード	206				
セキュリティ証明書	194				
接地	6				
接地端子	17				
設置面用取付金具	15				
全画面表示ボタン	116				
そ					
操作画面表示ボタン	112				
た					
タッチパネル用Paint操作エリア	201				
タッチパネル用Paint操作画面表示ボタン	200				
タッチパネル用Preset操作エリア	201				
タッチパネル用Preset操作画面表示ボタン	200				
タッチパネル用PTZ操作エリア	200				
タッチパネル用PTZ操作画面表示ボタン	200				
タッチパネル用SRT/MPEG2-TS/RTMP操作エリア	200				
タッチパネル用スナップショットボタン	200				
タッチパネル用操作画面からの復帰ボタン	200				
タッチパネル用操作画面の切り替えボタン	200				
タリーランプ	15				
ち					
チルトヘッド部	15				
つ					
通風孔	15				
て					
電源	44				
と					
トップメニュー画面	55				
トラッキングデータ出力について	80				
ひ					
表示用プラグインソフトウェア	42				
ふ					
フォーカス	49				
フォーマット	59				
付属品	11				
ブラックバランス	53				
プリセットサムネール操作エリア	203				
プリセットメモリー	50				
へ					
別売品	11				

Handwriting practice lines consisting of multiple horizontal dashed lines for tracing and writing practice.

